

シラバス



2023(令和5)年度

学修要項

第1学年

北里大学医学部

目次

まえがき	2
1. 2023年度医学部開講科目一覧	3
2. 履修方法	4
3. 医学部進級・卒業・留年等規程	学生便覧参照
4. 医学部学生の在学年限に関する規程	学生便覧参照
5. 医学部試験及び成績評価に関する規程	学生便覧参照
6. 医学部試験細則	学生便覧参照
7. 一般教育部試験細則	5
8. 評価の対象となるレポート類に関する不正行為者の取扱いについて	8
9. 授業時間について	9
10. 医学部における出席管理システムに関する申合せ	9
11. 出席の代理登録に関する不正行為について	9
12. 学生医学論文について	10
13. 「学生用図書」の区分	11
14. 学生による授業評価アンケートについて	11
15. 一般教育部教室案内図	12
16. 2023年度 第1学年(54回生)時間表	14
17. 講義内容(一般教育部開講 1群科目)	15
人間形成の基礎科目 文化の領域	16
人間形成の基礎科目 社会の領域	36
人間形成の基礎科目 健康の領域	53
基礎教育科目 外国語系〔英語〕	66
基礎教育科目 数理・情報系〔数学・統計学A〕	77
基礎教育科目 自然科学系〔物理学〕	81
基礎教育科目 自然科学系〔化学〕	83
基礎教育科目 自然科学系〔生物学〕	85
基礎教育科目 自然科学系実験	88
教養演習系科目 教養演習B・C、大学基礎演習	93
教養演習系科目 言語と文化A	105
18. 講義内容(医学部専門科目)	115
医学原論・医学原論演習	116
生化学序説	120
タンパク質化学	122
細胞生物学	124
チーム医療論	127
医用情報学	129
解剖・発生学I	131
解剖・発生学II	133
実験動物学・実習	135
代謝学	137
分子医科学実習	140
遺伝子学	142
早期体験学習I	144
医療安全・管理学	147
テュートリアル教育I	149
19. 本学の特色ある教育科目	151

※各科目シラバスの上部に記載されている英数字は、科目ナンバリングを示す。

ま え が き

- (1) この学修要項は2023年度第1学年次の授業科目の履修方法、内容などの解説をしたものであり、別に配布した「学生便覧」の補足をなすものである。
- (2) オリエンテーションにおける説明に注意して本要項を読み、本年度の履修科目を各自で決めること。
- (3) 履修について疑問や不明な点があれば、クラス主任及び学科目担当教員に問合せること。
- (4) 学生用参考図書
各教科の中に記載されている図書については次のように区分する。
 1. 教科書
その学科目の学習のための中心となる図書であり、学生は必携するものとする。しかし、複数の図書を指定して、その中から学生に任意に選択させる場合もある。
 2. 学生参考図書
学生参考図書は教科書以外で、その科目の学習に参考書として、必要最小限のものである。医学図書館の指定図書コーナーに配架されている。
 3. その他の参考図書
学生参考図書には指定しないが、その学科目の学習のために参考となる図書。
- (5) AV資料
各教科の中に記載されているAV資料については、M2号館2階医学図書館内ビデオ・CD-ROM・DVDコーナーにて自由に利用することができる。
利用時間
月～金曜日 9：00～21：00
※奇数週土曜 9：00～17：00

1. 2023年度医学部開講科目一覧

第1学年

	科目名	コマ数 (単位数)	開講期	必修・選択	科目責任者		
1 群科目	基礎科目 人間形成の 基礎科目	人間形成の基礎科目から4科目8単位選択必修		選択必修			
		健康とスポーツ演習	(2単位)	通年	必修	北川・池村・永見	
	基礎 教育科目	語外 系国	英語AⅠ・AⅡ	(各1単位)	通年	必修 必修	和治元 義博・平井 清子 J.A.ガザード・H.カークウッド
			英語BⅠ・BⅡ	(各1単位)			
		情数 報理系・	数学	(4単位)	前	必修 必修	宮崎 直・酒井 祐貴子 米山 泰祐
			統計学A	(4単位)	通年		
		自然 科学系	物理学	(3単位)	前	必修 必修 必修 必修 必修	崔 東学 山本 洋 江川 徹 須貝 昭彦 浜崎 浩子 和田 浩則
			物理学実験	(1単位)	後		
			化学	(3単位)	前		
			化学実験	(1単位)	前		
生物学	(3単位)		前				
生物学実験	(1単位)	前					
演習系	言語と文化A			選択必修	野村・風岡・橋本・三田 志村 佳菜子		
	※いずれか1科目選択必修 ◎ドイツ語 (2単位) ◎フランス語 (2単位)		通年 通年				
2 群科目	医学原論・医学原論演習	31	通年	必修	齋藤 有紀子		
	生化学序説	12	前	必修	萬代 研二		
	タンパク質化学	15	後	必修	堺 隆一		
	細胞生物学	20	前	必修	佐藤 俊哉		
3 群科目	チーム医療論	15	後	必修	医療教育担当副学長		
	医用情報学	10	後	必修	河野 俊之		
	解剖・発生学Ⅰ	20	後	必修	小川 元之		
	解剖・発生学Ⅱ	10	後	必修	小川 元之		
	実験動物学・実習	10	後	必修	佐藤 俊哉		
	代謝学	28	後	必修	萬代 研二		
	分子医学実習	16	後	必修	堺隆一・萬代研二・藤岡正人		
	遺伝子学	20	後	必修	藤岡 正人		
	早期体験学習Ⅰ	10	通年	必修	守屋 利佳		
	医療安全・管理学	2/8	前	必修	内山 勝文		
	チュートリアル教育Ⅰ	12	後	必修	草野 央		

(注) 1群科目・教養演習系の教養演習A・B・C及び大学基礎演習は開講しているが、自由科目であり、卒業要件単位に含まないため、当該ページには未掲載。

※各科目シラバスの「担当者」に付されている※や*記号は、当該科目に関連する実務経験（医師、学校以外での就業経験者等）のある教員を示す。

2. 履修方法

必修科目及び選択必修科目は本年度に必ず履修しなければならない科目である。

選択必修科目及び自由選択科目を履修するために、Web履修登録をしなければならない。申請方法については、ガイダンス時に教務課より説明があるので、各自、下記事項に注意して北里大学ホームページから履修登録の申請を行うこと。

〈注意事項〉

(1) 履修登録申請期間

事前抽選：4月4日(火)～4月6日(木) (通年・前期・後期科目対象)

履修登録期間：4月12日(水)～4月14日(金) ※前期・後期科目を一括登録する。

追加抽選：【前期】4月17日(月)～4月18日(火) (通年・前期・後期科目対象)

履修変更期間：【前期】4月24日(月) (通年・前期・後期科目)

追加抽選：【後期】9月1日(金) (後期科目対象)

履修変更期間：【後期】9月7日(木) (通年・後期科目)

(2) 文化の領域、社会の領域、健康の科学A・B・C、教養演習B・C、大学基礎演習は抽選に通らないと登録することができない。履修を希望する場合は、必ず抽選システムにて抽選に応募すること。

(3) 履修変更期間後は科目を変更等することはできない。

(4) 教養演習系 言語と文化Aにおける「ドイツ語」又は「フランス語」の選択について

① オリエンテーション中に希望調査を行う。

② 選択者が一方の科目に極端に片寄ったときは調整する場合がある。

③ 前期・後期開講1週目の授業について

・必修科目、クラスが指定されている科目、抽選に通った科目については、1週目の授業から出席すること。

・選択科目は、履修登録を行ってなくても出席できる。履修を検討している授業に出席してみたいうえで、履修科目を決定すること。

人間形成の基礎科目、教養演習系科目に関すること

① 一度履修登録した科目は、必ず履修しなければならない。ただし、選択科目については、履修変更期間中に、当該科目の取消又は変更を行うことができる。

② 同一名称の科目は、重複して履修することはできない。

③ 履修登録した授業科目は、出席不良の場合、又は試験を受けなかった場合は、不合格の扱いとなることがある。

④ 追・再試験の取扱い

再試験は実施しない科目もあるので、本試験合格に努めること。また、出席不良の場合や受講態度が悪い場合は受験できないことがあるので留意のこと。

⑤ 教養演習B・C、大学基礎演習は自由科目であり、卒業要件単位に含まれない。

休学あるいは留年者の場合

前年度休学あるいは留年した者は、必修科目をすべて再履修しなければならない。選択必修科目については、前年度と異なる科目を履修することができる。

教授会が特に認めた科目は再履修を免除することがある。

3. 医学部進級・卒業・留年等規程

学生便覧を参照

4. 医学部学生の在学年限に関する規程

学生便覧を参照

5. 医学部試験及び成績評価に関する規程

学生便覧を参照

6. 医学部試験細則

学生便覧を参照

7. 一般教育部試験細則

(総 則)

第1条 一般教育部が開講する科目の定期試験、追試験及び再試験（以下「追再試験」という。）及び再受験については、この細則による。

(定期試験)

第2条 試験は原則として前期、後期の終りに「定期試験期間」を設けて行う。なお、定期試験期間に行う試験のほか前期・後期最終週等の授業内に一般教育連合教授会の承認を得て行う「期間外試験」も定期試験に含める。また、定期試験をレポート課題により行う場合は、課題提出締切日の2週間以上前から課題を掲示（通知）することとする。

2 評価は、優（100～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59～0点）の4種をもって表し、優・良・可を合格、不可を不合格とする。

3 一般教育連合教授会が特に定める場合を除いては、各科目の年間授業時間数（試験週間等は含まない実授業時間数）の3分の1以上欠席した者は、当該科目のその年次の試験（成績）を無効とする。

4 すべての試験の場合に次の事項に注意しなければならない。

- (1) 試験場においては、監督者の指示に従うこと。
- (2) 試験場においては、所定の席順（原則として学籍番号順）に着席すること。
- (3) 学生証は机上の監督者の見易いところに明示すること。なお、学生証を忘れた者は所属の学部事務室（薬学部、獣医学部の学生は教学センター事務室一般教育課）で受験許可証の交付を受けてからでないとう受験できない。
- (4) 参考書、ノート等の使用は、監督者の指示に従うこと。計算用紙は、所定のもの以外認めない。
- (5) 下敷きの使用は原則として認めない。また、ペンケースは「カバン等」の中にしまうこと。
- (6) 席順票が配布されたら学籍番号、氏名を記入して後席に回すこと。
- (7) 試験開始後20分以降の入場及び25分以内の退場は認めない。
- (8) 答案を書き終えた者は、答案用紙を提出して退場すること。
- (9) 答案は必ず提出すること。

- (10) スマートフォン・タブレット・携帯電話等は電源を切り、身につけずに「カバン等」の中に入れておくこと。
 - (11) 腕時計型の「スマートウォッチ」のような通信機能・PC機能を備え、身につけることのできる機器の持ち込みを禁止する。
発見した場合は、不正行為と見なす可能性がある。
 - (12) 不正行為並びに同行為の疑いを受けるようなことは一切しないこと。不正行為又は同行為とみなされるような行為は学則に従い処分する。
- 5 試験を受験するに際し、学生証を携帯しない者に対する受験許可証発行手数料は、1日500円とする。

(追試験)

第3条 追試験は原則として実施する。

- 2 追試験は、病気その他やむを得ない事由により定期試験を受けることができなかつた者について、一定の期間内に実施する試験のことである。なお、定期試験がレポート課題であった場合は、追試験を行わないこととし、インフルエンザ等の伝染性疾患についても例外とはしない。
- 3 前条の事由により、追試験を願ひ出る者は、試験期間終了後原則として3日以内に、追試験受験願をクラス主任又はチューターの承認を得たうえで所属の学部事務室（薬学部、獣医学部の学生は教学センター事務室一般教育課）に提出しなければならない。この期間内に願ひ出ない者の追試験は認めない。
- 4 追試験受験願を提出するときは、欠席事由を証明する書類等を添付しなければならない。
- 5 追試験受験願の提出があつた学部は、追試験受験願及び欠席事由を証明する書類等を取りまとめ、指定期日までに一般教育部長あてに提出する。
- 6 一般教育部長は定期試験欠席の事由が正当であり、かつ平素の履修状況及び出席状況が良好であると認められた者に限り、追試験の受験を許可する。なお、定期試験欠席の正当な事由と認められるのは、原則として次の場合である。
 - (1) 自己の病気又は怪我（医師の診断書又は療養中であつたことを証明する書類を添付）
 - (2) 電車、バス等、交通機関の事故（事故・遅延証明書添付）
 - (3) 三親等内の親族の死亡の場合（死亡診断書・埋葬許可書等（写）又は死亡が確認できる書類を添付）

（注）試験時間の誤認、バスの自然渋滞による遅延、自動車、バイク、自転車等の故障、寝ぼう等は認められないので注意すること。
- 7 追試験受験願を提出した者の受験許可、試験実施の期日、試験時間割等については、掲示をもって告示する。
- 8 追試験は原則として、前期においては後期授業開始前までに、また後期においては2月中旬までに実施する。
- 9 追試験の受験料は、各学部が定める試験内規あるいは試験細則に従うものとする。
- 10 追試験の成績は、満点を90点とし、60点以上を合格とする。
ただし、医学部は80点以上をすべて79点とし、60点以上を合格とする。
- 11 試験を受験するに際し、学生証を携帯しない者に対する受験許可証発行手数料は、1日500円とする。

(再試験)

第4条 再試験は原則として実施しない。

ただし、平素の履修状況及び出席状況が良好であるにもかかわらず、試験成績が合格点に達しなかつた者（定期試験欠席者のうち追試験受験資格のない者を含む）については、一般教育連合教授会の

承認を得て同一年度内に一回再試験を実施することがある。

- 2 再試験を願ひ出る者は、所定の期間内に、再試験申込書を所属の学部事務室（薬学部、獣医学部の学生は教学センター事務室一般教育課）に提出しなければならない。この期間中に願ひ出ない者の再試験は認めない。
- 3 再試験の受験料は、各学部が定める試験内規あるいは試験細則に従うものとする。
- 4 再試験の成績は、満点を70点とし、60点以上を合格とする。ただし、医学部は70点以上をすべて69点とし、60点以上を合格とする。
- 5 再試験については、本細則第3条第7項及び第8項を準用する。
- 6 試験を受験するに際し、学生証を携帯しない者に対する受験許可証発行手数料は、1日500円とする。

(再受験)

第5条 再受験は原則として実施しない。

- 2 再受験は、やむを得ない事由により追再試験を受けることができなかつた者について、一定の期間内に実施する試験のことである。
なお、追再試験がレポート課題であつた場合は、再受験の対象としないこととし、インフルエンザ等の伝染性疾患についても例外とはしない。
- 3 前項の事由により、再受験を願ひ出る者は、当該追再試験実施当日の午後5時までに所属の学部事務室（薬学部、獣医学部の学生は教学センター事務室一般教育課）へ連絡をしたうえで、試験期間終了後3日以内に再受験受験願をクラス主任又はチューターの承認を得たうえで所属の学部事務室（薬学部、獣医学部の学生は教学センター事務室一般教育課）に提出しなければならない。この期間内に願ひ出ない者の再受験は認めない。
- 4 再受験受験願を提出するときは、欠席事由を証明する書類等を添付しなければならない。
- 5 再受験受験願の提出があつた学部は、再受験受験願及び欠席事由を証明する書類等を取りまとめ、指定期日までに一般教育部長あてに提出する。
- 6 一般教育部長は追再試験欠席の事由が正当であり、かつ平素の履修状況及び出席状況が良好であると認められた者に限り、再受験の受験を許可する。なお、追再試験欠席の正当な事由と認められるのは、原則として次の場合である。
 - (1) 自己の感染性疾患（※疑いを含む）（医師の診断書又は療養中であつたことを証明する書類を添付）
《対象となる感染症》麻疹（はしか）、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）、風疹、インフルエンザ、百日咳、水痘、咽頭結膜炎、結核、髄膜炎菌性髄膜炎、ノロウイルス腸炎、感染性腸炎、流行性角結膜炎、带状疱疹、その他、学校保健安全法指定感染症（第一種～第三種）。
 - (2) 三親等内の親族の死亡の場合（死亡診断書・埋葬許可書等（写）又は死亡が確認できる書類を添付）
- 7 再受験受験願を提出した者の受験許可、試験実施の期日、試験時間割等については、掲示をもって告示する。
- 8 再受験は原則として、前期においては後期授業開始前までに、また後期においては2月中に実施する。
- 9 受験料は徴収しない。
- 10 評価については本細則の第3条10項及び第4条4項を適用する。
- 11 試験を受験するに際し、学生証を携帯しない者に対する受験許可証発行手数料は、1日500円とする。

附則

- 1 追試験及び再試験の受験料は、各学部が定める試験内規あるいは試験細則に従うものとする。
- 2 試験を受験するに際し、学生証を携帯しない者に対する受験許可証発行手数料は、1日500円とする。
- 3 この細則は、平成18年4月1日から施行する。

附則

- 1 この細則は、平成20年4月1日から施行する。

附則

- 1 この細則は、平成22年4月1日から施行する。

附則

- 1 この細則は、平成23年4月1日から施行する。

附則

- 1 この細則は、平成26年4月1日から施行する。

附則

- 1 この細則は、平成27年4月1日から施行する。

附則

- 1 この細則は、平成27年12月11日から施行する。

附則

- 1 この細則は、平成28年3月11日から施行する。

以 上

※1群科目合否確認（不合格理由の確認）申込みについて

1群科目の不合格科目について確認したい事柄がある場合、「合否確認申込書」を提出し、教員に不合格の理由を尋ねることができる制度がある。不合格科目の成績について、直接担当教員とやりとりすることは禁止されているので、確認したい事項がある場合は必ずこの制度を利用すること。ただし、この制度は担当教員に対し、安易に再評価や再検討を求めるものではなく、また、具体的な根拠がなければ提出できない。

申込方法及び申込期間などの詳細については、学内掲示および一般教育部授業情報サイトへの掲出を以って知らせる。

8. 評価の対象となるレポート類に関する不正行為者の取扱いについて

評価の対象となるレポート類に関する不正行為についても、学生の本分に反するものであり、定期試験の不正行為と同様に当該年度残余期間の停学を原則とする厳正な処分を行なう。

9. 授業時間について

時限	授業時間
1時限目	9:00～10:20 (80分)
2時限目	10:40～12:00 (80分)
3時限目	13:00～14:20 (80分)
4時限目	14:40～16:00 (80分)
5時限目	16:20～17:40 (80分)

※第1学年の1群科目講義は90分で行う。1群科目実習〔物理学実験、生物学実験、化学実験〕は3・4・5時限(90分) + (10分休憩) + 45分で行う。

10. 医学部における出席管理システムに関する申合せ

1. 出席管理システムは講義に出席し、その内容をすべて受講したことを管理・証明するためのものであり、学生には、本システムの目的の理解と医師を目指す者の態度・行動として相応しい適正な使用を求める。
2. 出席記録は講義室内に設置している出席管理システムで行う(実習等、一部の科目を除く)。学生証を忘れた場合は欠席とみなす。
3. 学生証に不具合が発生した際は直ちに学生課で再発行を行うこと。
4. 出席管理システムにおける代理登録の依頼・実施(他人に出席登録を依頼する、他人の出席登録を行う等)は不正行為とみなし、双方共に処分対象とする。
5. 出席管理システムで出席登録されていても、他の方法では出席を確認できない場合は、その講義は途中退場とみなして欠席とする場合がある。
6. 出席登録は、原則、講義開始時刻の10分前に登録可能となり、講義開始後10分で終了する。ただし、2時限、4時限、5時限の出席登録開始時刻は、前の時限の終了時刻とする。

(出席登録時間)

- 1時限 8:50～9:10
- 2時限 10:20～10:50
- 3時限 12:50～13:10
- 4時限 14:20～14:50
- 5時限 16:00～16:30

7. その他注意事項

- 出席状況は、学生ラウンジにあるPCで学生自身も確認することができます。

11. 出席の代理登録に関する不正行為について

1. 取扱い

北里大学医学部における出席管理システムに関する申し合わせ第4項に規定する処分とは、当該科目の本試験受験資格を喪失することとする。

12. 学生医学論文について

目的

1. 学生の研究への意欲の向上と能力の助長を計る。
2. 研究論文の書き方及び考察の仕方を学ばせる。

実施要領

1. 学生医学論文は全学生に課せられるのではなく、教員の助言においてこれを実施する。
2. 学生医学論文は、開始学年を1・2・3・4・5学年とする。なお、テーマによる開始学生の制約については、指導教員に対するテーマの依頼時に照会すると共に、学生には、テーマ揭示の際に開始学年を提示することにする。
3. 教員の範囲は講師以上のスタッフ及び主任教授が推薦する助手とし、一人一題以上の参考テーマを出して頂く。
4. 内容は実験とは限らず総説でもよい。ただし、基礎医学総論及び器官系別総合教育の範囲が望ましい。
5. テーマは学生自身が選ぶか、または教員より出された参考テーマより選ぶ。
6. 学生のテーマの選択には学生医学論文小委員会が指導を行う。
7. 学生は教務課を通じて各テーマを申込み。複数の人員で一つのテーマを分担することもできる。
8. 学生医学論文の提出期限は、第6学年の前期終了時（7月末）までとする。

学生医学論文に関する学生への注意事項

1. 定員オーバーとなったテーマを選択している学生は、指導教員の判断で第2希望のテーマになることがある。
2. テーマを申込んだ学生は、途中で放棄してはならない。
3. 途中で本来の学業成績が不良になった場合、あるいは論文作成の見込みがたなくなった場合には、クラス主任又は指導教員の判断で止めされることが出来る。
4. 論文の提出期限は、第6学年の前期終了時までであるが、それ以前に提出しても差しつかえない。
5. 優れた論文は、北里医学会で発表する機会が与えられる。

(注) 同一テーマを選択した学生は、全員揃って指導教員の所へ行き、最終的に承認を得ること。

学生医学論文開始までのタイム・スケジュール

- 毎年5月初旬 指導教員に対するテーマ依頼
- 〃 5月下旬 同締切
 - 〃 6月初旬 学生へのテーマ揭示
ガイダンスの実施
 - 〃 6月中旬 学生の申込締切
 - 〃 7月初旬 指導教員の承諾
- 前期末試験終了後より開始

13. 「学生用図書」の区分

1. 教科書

その学科目の学習のための中心となる図書であり、学生は必携するものとする。しかし、複数の図書を指定して、その中から学生に任意に選択させる場合もある。

2. 学生参考図書

学生参考図書は教科書以外で、その科目の学習に参考書として、必要最小限のものであり、その旨学修要項に明示する。図書館の学生参考図書コーナーにシングルで配架する。

3. その他の参考図書

学生参考図書には指定しないが、その学科目の学習のために参考となる図書として、学修要項に明示する。

14. 「学生による授業評価アンケート」について

1. 授業に対する学生の反応を知ることは、教育改善にとって不可欠なものである。学生による授業評価は、個々の授業の教育内容と教育目標が受講する学生自身にどの程度理解されたかを学生の目を通して再検証し、学生の学習の意欲や効果を引き出すとともに、教員が自己点検するうえでも重要となる。

①目的

学習に対する学生の自覚及び意欲を引き出すとともに、各科目における教育内容等改善に資する。

②評価対象科目

第1学年～第5学年までの医学部開講の全ての科目とする。

アンケートの集計結果は、医学部ホームページに掲載する。

2. 「授業の振り返り」のためのアンケート実施について

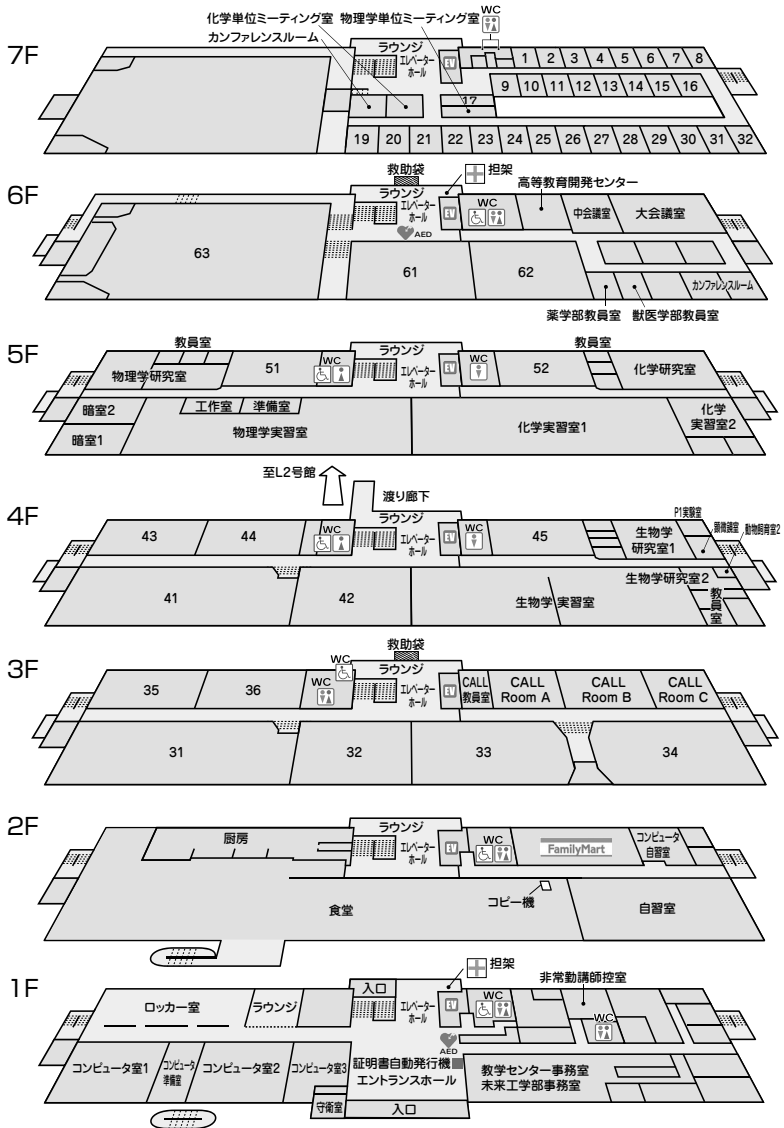
一般教育部では、個々の授業について「授業の振り返り」のためのアンケートを実施している。アンケートは、「授業と教員について」、「あなた自身について」のいくつかの項目、総合評価の項目、自由記述欄から構成される。

学生をより成長させることのできる良い授業を行うためには、教員と学生が信頼関係を築き目標に向かって学習過程を共有することが不可欠である。そのため、一般教育部では、個々の教員や授業改善や一般教育部カリキュラムの改善に向けた取り組みを行っている。本アンケートは、その手がかりを得るために活用する。また、学生も自身の学習を振り返ることで学習の向上に役立ててほしい。

なお、アンケートの集計結果は、一般教育部ホームページに掲載する。

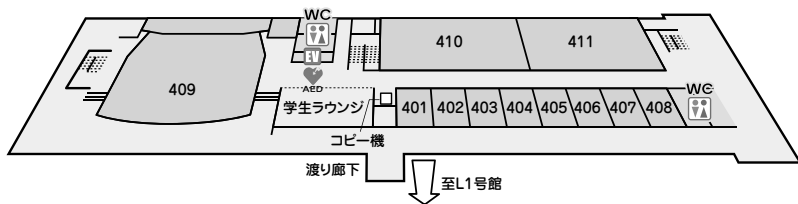
15. 一般教育部教室案内図

L1号館

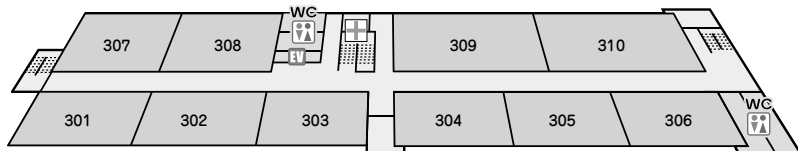


L2号館

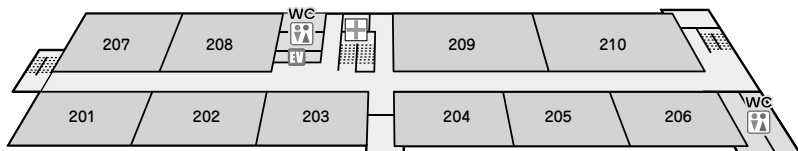
4F



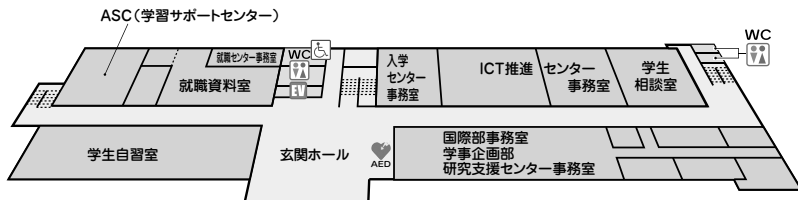
3F



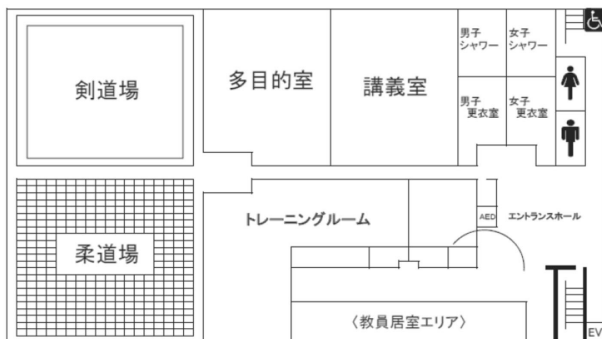
2F



1F



総合体育館 1F



17. 講義内容（一般教育部開講 1 群科目）

人間形成の基礎科目

文化の領域

人間形成の基礎科目「文化の領域」は、一般教育部が提供する1群科目において中核を成す科目群の1つです。1群科目は、大きく分けると、教養教育科目と基礎教育科目に分けることができます。基礎教育科目（英語、数理・情報、自然科学系各科目等）は、2年次以降に配当されている2群・3群科目（各専門分野に関わる科目）を履修する上での基礎的な知識を身につけてもらうための科目群ですが、教養教育科目（人間形成の基礎科目、総合領域科目、教養演習系科目等）は、一言で言えば社会人としての教養を身につけてもらうための科目群です。北里大学の学生である皆さんの多くは、4年または6年間の在学期間中にそれぞれの分野の専門的な知識と技術を身につけ、卒業後は各分野の専門職に就くことを目指していると思います。しかし、有能な専門職業人であるためには、単に専門的な知識・技術を身につけているだけでは、十分とは言えません。専門的な知識・技術だけでなく、社会人としての教養を身につけている必要があります。教養のある専門職業人であればこそ、他者に重んじられ、他者の信頼を得ることができ、専門職業人としての自らの職務をよりよく果たすことができるでしょう。豊かな教養は各人の人間的な魅力をより高め、社会生活・職業生活を円滑に送るための手助けをしてくれるのです。さらにまた、豊かな教養はこの先の長い人生を送っていく上での重要な拠り所の1つともなるでしょう。そのような教養をしっかりと身につけるつもりで、皆さんには人間形成の基礎科目「文化の領域」を履修してもらいたいと思います。

「文化の領域」に含まれる科目には、哲学の楽しみ・科学を考える・芸術の楽しみ・倫理学・文学の楽しみ・信仰と救いがあります。これらの科目群は、人間の精神生活に関わる学問（哲学・科学哲学・芸術学・倫理学・文学・宗教学）を基盤としています。こうした科目群を履修することによって、まずは豊かな感受性を育み、きちんとした倫理意識を養い、自立した大人としての自覚を深めてもらいたいと思います。その上でさらに、自分自身の頭で物事を考えることを学び、責任をもって判断を下し、自分自身の判断によって適切な行動が取れるような、他者から信頼される教養のある人間になってもらいたいと思います。

2023年度文化の領域 開講情報・受入人数

前期

科目名	担当者	授業形態	開講曜日・時限	受入人数
哲学の楽しみA	大石 敏広	対面	火1/木2	224
哲学の楽しみA	鶴澤 和彦	対面	月2	156
			水1	96
科学を考えるA	大石 敏広	対面	火2/木1	224
芸術の楽しみA	安川 智子	対面	水1・2/木1・2	48
芸術の楽しみA	星 聖子	対面	火1・2	142
倫理学A	小林 亜津子	オンライン	月2・3/木1・2	150
倫理学A	清水 明美	対面	金1・2	156
倫理学A	鶴澤 和彦	対面	月1	156
			水2	96
倫理学A	黒崎 剛	対面	水1・2	224
文学の楽しみA	野村 廣之	対面	木1・2	64
信仰と救いA	下田 和宣	オンライン	火1・2	200

後期

科目名	担当者	授業形態	開講曜日・時限	受入人数
哲学の楽しみB	大石 敏広	対面	火2	93
			木1	224
哲学の楽しみB	鶴澤 和彦	対面	月2	156
			水1	96
科学を考えるB	大石 敏広	対面	火1	93
芸術の楽しみB	安川 智子	対面	水1・2/木1・2	48
芸術の楽しみB	星 聖子	対面	火1・2	224
倫理学B	小林 亜津子	オンライン	水5	80
			木1・2	120
倫理学B	清水 明美	対面	金1・2	156
倫理学B	鶴澤 和彦	対面	月1	156
			水2	96
倫理学B	黒崎 剛	対面	水1・2	224
文学の楽しみB	野村 廣之	対面	木1・2	64
信仰と救いB	下田 和宣	オンライン	火1・2	200

授業期間	2023年度 前期	授業対象	指定なし 月2or水1
科目名	哲学の楽しみA (生と死を考える I) (Philosophy A)		
科目責任者	鶴澤 和彦	単位数	2単位
担当者	鶴澤 和彦※		
授業の目的	わたしたちは、世界や他者と関わりながら生きていますが、ふだんはその根拠について考えたりはしません。しかし、ひとたび生の転機や危機が訪れると、自分の生を振り返り、その根拠を尋ねるようになります。その場合「生きる」とは、どのようなことなのでしょう。また、生きる主体である個人の「ころろ」と「からだ」は、どのように関わっているのでしょうか。そして「生」と「死」は、本来どのような関係にあるのでしょうか。哲学には、生をめぐって議論の知的遺産があります。今日の医学・医療・看護に関する思想も、哲学の遺産を活用しながら、新しい成果を生み出しています。本授業は、現代の医学哲学を手引きとし、人間の生と死について考えることを目的とします。		
教育内容	医学哲学者の木村敏とヴィクトル・フォン・ヴァイツゼーガーのテキストを講読し、その心身問題と死生観について学びます。哲学の諸概念については、日常の様々な事例や医療の症例分析などを挙げることで、その内容を具体的に把握できるようにします。さらに、テーマごとに行われるグループディスカッションを通して、内容理解の深化を図ります。この際、著者の主張の例証や反証を考えることで、互いに問題をよりよく理解し、それを言葉で表現できるように配慮します。【キーワード】ゲシュタルトクライス、生きているもの(生物)と生命そのものの差異、心身相関、間主観性、主観と主体、公共的と私的、境界、個体と集団、主体的身体、人間学的医学、環境との相即、二重の境界、死の人称的差異、医学への主体の導入、二人称の関係の共有		
教育方法	本授業は、授業支援システム(北里大学 Moodle)を使いながら講義形式で行います。各授業の終了時に、北里大学 Moodleを通して、その授業に関する課題を出します。受講生は、次回の授業までに課題を送信してください。課題は北里大学 Moodleを通して、評価をつけて返却されます。課題のフィードバックについては、テーマごとに行われるディスカッションの際、模範解答(参考資料)の配布という仕方で行われます。さらに、各テーマの終了時にグループディスカッションと全体発表を行い、様々な観点から内容理解の深化を図ります。なお、授業の出席・質問・感想は、出席票を兼ねたアクションペーパーに記載してください。質問に対する返答(フィードバック)は、次回授業時に行います。		
準備学習(予習・復習)	【講義時間外に必要な学習の時間:60時間】 予習:受講生は授業前に教科書の該当箇所を読み、あらかじめ概要を把握しておいて下さい。また、参考書を使って、専門用語の意味等を調べたり、よく分からない表現や箇所を見つけたらしてください。(約2時間) 復習:授業時に配布された資料(講義原稿と参考資料)を読み直してください。また、ディスカッションでの他の受講生の意見を参考にしながら、そのテーマに関する自分の理解や考えをノートにまとめてください。(約2時間)。		
回	担当者	項目	授業内容
1	鶴澤【対面】	授業ガイダンス	教員の自己紹介、授業目標、到達目標、授業内容、授業の進め方、受講上の注意、成績評価の方法と基準、教科書と参考書、北里大学 Moodleの使い方、そして、導入として「哲学とは何か」について説明します。
2	〃	第1章 心身相関と間主観性 第1節 心身二元論を超えて	「からだ」と「ころろ」、わたしの身体の個性性とわたしの経験の個性性の相違、自然科学的な心身論と西洋哲学の心身論、意識体験の本質、自己及び他者の主観的理解としての「間主観性」について学びます。
3	〃	第1章 心身相関と間主観性 第2節 主観と主体	主観という哲学用語の歴史的考察(Subjektという用語の歴史的変遷)、日本語における主観と主体のニュアンスの相違、自我及び自己の同義語としての主観、主観と客観に関して学習します。
4	〃	第1章 心身相関と間主観性 3. 公共的主観性と私的主観性	公共的と私的の区別、共生関係における間主観性(私的主観性、主観的体験の共有ならびに一体感、身体的な生の共有)、第三者的な客観的關係における間主観性(公共的間主観性、純粋な意識の向性)を学びます。
5	〃	第1章 心身相関と間主観性	第1回から第3回までの課題の内容をふまえ、そのテーマに関してグループディスカッションと全体発表を行います。
6	〃	第1章 心身相関と間主観性 4. ヴァイツゼーガーの「主観・主体」	ヴァイツゼーガーの主観・主体の概念、環境世界との相即、相即の中断としての転機/危機、生物間の根拠(依存)関係、生物と生命そのものの根拠(依存)関係、従来の主観及び主体概念との相違について学びます。
7	〃	第1章 心身相関と間主観性 5. 境界はどこかー 個体と集団	個体としての生と社会集団としての生、社会集団と環境的世界との相即、生活史としての個人や共同体の歴史全体としての環境、境界としての主体の存在、個別的主体性と集団の個性性という二重の主体性について学習します。
8	〃	第1章 心身相関と間主観性 6. 主体的身体	人間の歴史的自己意識、人間存在の一回性・唯一性・交換不可能性、歴史としての自己意識の本質、人間と他の生物種との共通点としての身体(からだ)、環境への適応的行動との境界としてのからだ、ころろとしてのからだに関して学習します。
9	〃	第1章 心身相関と間主観性	第6回から第8回までの課題の内容をふまえ、そのテーマ、並びに、第1章全体に関してグループディスカッションと全体発表を行います。
10	〃	第2章 人間学的医学における生と死 1.「生きている」というアクチュアリティ	生の価値と目的をめぐる思索、「生きている」という生命の基本的な現実(アクチュアリティ)と有限な限りを持つ実在(リアリティ)の区別、「生きていること」(生命そのもの)と「生きているもの」(生物)の区別について学びます。
11	〃	第2章 人間学的医学における生と死 2. 環境との「相即」- 生きていることの本質	生きている有機体と環境世界との不可不離の相互関係(相即)、音楽の比喩による相即の説明、生物と環境世界との境界としての生、存在と存在者との存在論的差異(ハイデガー)、ライプニッツのモナド論を学習します。
12	〃	第2章 人間学的医学における生と死 3. 「二重の境界を生きる」	個体の活動と集団行動、生物の行動の「利己性」と集団全体の利益を考慮した「利他性」、自己の生命と集団の生命、各自の個別的志向性と集団全体の志向性との二重性、生き物と生命そのものとの二重性について学びます。
13	〃	第2章 人間学的医学における生と死 4. 「(死)の人称的差異」5. 「医学への主体の導入」- 二人称の関係の共有	生の越境としての死、一人称・二人称・三人称の立場からの考察、一人称的立場からの死の経験の不可能性、三人称的立場からの客観的な死の理解、二人称的立場からの死のアクチュアリティの理解を学習します。
14	〃	第2章 人間学的医学における生と死	第10回から第13回までの課題の内容をふまえ、そのテーマに関してグループディスカッションと全体発表を行います。
15	〃	まとめ	まとめ

到達目標	①ここからからだを一体とみなす「心身医学」の哲学的基礎を学ぶことができる。②有機体の生命活動を説明するゲシュタルトクライスを通して、医療の対人関係のあり方を学ぶことができる。③人間の生と死についての哲学的洞察（生の相互性と死の連帯性）を学ぶことができる。			
成績評価の方法と基準	試験方法：筆記試験 実施時期：試験期間内 定期試験 50%、課題 50%の総合評価。課題は、授業内容を正しく理解しているかどうか、そして、筋道を立てて自分の考えを表現しているかどうか、という基準で評価されます。また、ディスカッションへの積極的な参加は、その内容に応じて加点対象とします。			
学生へのメッセージ（その他注意等）	病気などやむを得ぬ理由で欠席した場合、北里大学 Moodle にアップロードしてある教材（講義原稿や授業資料など）で欠席した授業の内容を自習しておいてください。また、Moodle を通じて、欠席した授業の課題を提出すれば、その課題は加点対象とします。受講生の積極的な授業参加を望みます。			
実務経験の授業への活用方法	NPO 法人、学会研修、文部省 SSH 事業などの経験を踏まえ、現代の医療・介護問題の本質を明らかにし、哲学的・倫理的な解決策を考える。とくに、生と死に関する哲学的考察が、医療現場にどのように応用できるかを説明する。			
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価(円)
教科書	からだ・こころ・生命	木村敏	講談社学術文庫	¥600
参考書	あいだ	木村敏	ちくま学芸文庫	¥950
参考書	ゲシュタルトクライス 知覚と運動の人間学	ヴァイツゼッカー（著）、木村敏・浜中淑彦（訳）	みすず書房	¥7,150
参考書	哲学の変換と知の越境	牧野、小野原、斎藤、山本編	法政大学出版局	¥3,000

授業期間	2023年度 後期 授業対象 指定なし 火2or木1			
科目名	哲学の楽しみB (環境を哲学する) (Philosophy B)			
科目責任者	大石 敏広		単位数	2単位
担当者	大石 敏広			
授業の目的	環境哲学と呼ばれる学問があります。環境哲学では、環境問題の具体的なケースを扱うのではなく、環境問題の基礎を考察の対象としています。本講義では、環境哲学の基本的で重要なトピックを取り上げ、それについて理解を深めることによって、環境についての具体的な問題を解決していくための道筋・方法について皆さんと考えていきたいと思えます。			
教育内容	まず、環境哲学のトピックを一つ一つ取り上げ、それについて説明していきます。次に、取り上げられたトピックに関連した課題を与えますので、それについて各自考えをめぐらせて、それを文章で表現してもらいます。最後に、討論の場を設けて、自己表現に挑戦してもらいます。			
教育方法	講義では、教科書は使用せず、必要に応じてプリントを配布します。パワーポイントを用い、AV機器を利用します。課題ワークを行う場合もあります。ディスカッションの機会を設けます。一方的な講義ではなく、双方向的な講義を行います。 【フィードバックの方法】 ワークについて講義内で皆で議論をし、次の講義の最初で解説します。			
準備学習(予習・復習)	【講義時間外に必要な学習の時間：60時間】 予習：下記に挙げた参考書を読んでおく。また、その他の哲学の本を読んで、講義に関連する箇所を参照する。 復習：講義資料やプリントを整理し、講義内容を理解して、自分の意見をまとめる。			
回	担当者	項目	授業内容	
1	大石【対面】	ガイダンス	講義目標、講義内容、講義方法、評価方法などについて説明します。	
2	〃	環境哲学とは何か	どうして環境について哲学するのでしょうか。なぜ環境哲学が生まれてきたのか、環境哲学の主張内容を解説します。	
3	〃	〈自然〉をめぐる哲学の歴史	自然に目を向けましょう。人間の視点から自然を見る立場と、自然そのものの視点に立つ立場との対立について考えます。自然についての様々な考え方に触れます。	
4	〃	非・人間中心主義の諸見解	人間を中心とする考え方(人間中心主義)に対して、人間を中心としない考え方(非・人間中心主義)が生まれてきました。非・人間中心主義の様々な見解に触れます。	
5	〃	自然には〈内在的価値〉があるか	自然の価値？自然には、それ自体の価値があるのか、人間にとっての価値しかないのかについて考えます。	
6	〃	土地倫理とは何か	「土地倫理」の「土地」とは、単なる「地面、つち」ではありません。レオポルドが提示した土地倫理という考え方を取り上げ、その土地倫理とはどういう考え方なのかを理解します。	
7	〃	土地倫理を批判的に考察する	前回の講義の続き。土地倫理を批判的視点から考察し、土地倫理が内包する問題点、土地倫理から学ぶべき点について考えます。	
8	〃	ディープ・エコロジーとは何か	ディープ・エコロジーという考え方が一頃注目されました。その主張内容について理解します。	
9	〃	ディープ・エコロジーを批判的に考察する	前回の講義の続き。ディープ・エコロジーを批判的視点から考察し、ディープ・エコロジーが内包する問題点、ディープ・エコロジーから学ぶべき点について考えます。	
10	〃	環境プラグマティズムとは何か	環境プラグマティズムは現在最も有力な考え方です。その主張内容を理解し、その問題点、そこから学ぶべき点について考えます。	
11	〃	哲学特殊講義Ⅰ	哲学の文献を読解しながら、その内容について皆で議論をします。	
12	〃	哲学特殊講義Ⅱ	哲学の文献を読解しながら、その内容について皆で議論をします。	
13	〃	哲学特殊講義Ⅲ	哲学の文献を読解しながら、その内容について皆で議論をします。	
14	〃	理論から実践へ	理論・論争から、現実問題への転回。私たちの社会において実際に生じている具体的な問題をいくつか取り上げ、これまでの講義を基に、それらの問題にどう対処していったらいいかを考えます。	
15	〃	まとめ	これまでの講義の総括をします。	
到達目標	環境問題に関する基礎的な議論において生じている対立を理解することができる。 多角的な思考ができる。 環境問題を解決する方法について考えるための補助線を得ることができる。 自分の意見をまとめ、他者と議論ができる。			
成績評価の方法と基準	試験方法：レポート 実施時期：試験期間外 講義において提出してもらう課題ワーク(50%)、期末レポート(50%)、討論参加状況によって評価します。なお、欠席は減点となります。			
学生へのメッセージ(その他注意等)	どのような意見でもよいので、積極的に自分の意見を表現してください。連続した講義内容になることもあるので、できるだけ休まないようにしてください。疑問点などあれば、遠慮せずに質問してください。			
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価(円)
参考書	新・環境倫理学のすすめ	加藤尚武	丸善	¥842
参考書	環境と倫理(新版)	加藤尚武編	有斐閣	¥1,944
参考書	沈黙の春	レイチェル・カーソン	新潮社	¥679
参考書	苦海浄土	石牟礼道子	講談社	¥720
参考書	哲学は環境問題に使えるのか——環境プラグマティズムの挑戦	アンドリュー・ライト、エリック・カツツ	慶應義塾大学出版会	¥5,400

授業期間	2023年度 前期		授業対象	指定なし 火2or木1		
科目名	科学を考えるA (科学技術と社会・倫理のつながり) (Philosophy of Science A)					
科目責任者	大石 敏広			単位数	2単位	
担当者	大石 敏広					
授業の目的	現代社会は高度技術社会です。科学技術が社会の中に浸透しており、科学技術なしでは現代社会は成り立ちません。現代社会において私たちは、科学技術による恩恵のもとに生活しているのです。しかし、技術者が作ったものか時には、私たちに被害をもたらすこともあります。そこで、技術者が科学技術をどのように取り扱うべきかという問題について論じる工学倫理という学問が成立しました。私たちが現代社会の一員である以上、科学技術をどのように取り扱っていくべきかという問題に無関心であってはなりません。本講義では、工学倫理の問題を通して、現代社会において科学技術をどのように取り扱うべきかについて皆さんと考えていきたいと思います。					
教育内容	まず、工学倫理の重要な論点を取り上げ、それぞれの論点について理解を深めていきます。次に、そうした理解を踏まえて、それぞれの論点について各自で思考をめぐらせてもらいます。最後に、議論の場を設け、自己表現に挑戦してもらいます。キーワード：倫理的責任、倫理的問題、道徳的ジレンマ、リスク、安全、科学と環境、グローバルな視野、内部告発					
教育方法	講義は、教科書を中心に行いますが、それ以外の内容も取り扱います。パワーポイントを利用して、パワーポイントの資料やプリントを配布します。課題ワークを行う場合もあります。必要に応じてビデオを見ます。一方方向的な講義ではなく、双方向的な講義を行います。 【フィードバックの方法】 ワークについて講義内で皆で議論をし、次の講義の最初で解説します。					
準備学習 (予習・復習)	【講義時間外に必要な学習の時間：60時間】 予習：講義前に、教科書（できたら参考書も）の該当箇所を読んでおく。 復習：講義資料やプリントを参考に、再度教科書の該当箇所を読み、科学技術についての問題点をまとめる。					
回	担当者	項目	授業内容			
1	大石 【対面】	ガイダンス	講義目標、講義内容、講義方法、評価方法などについて説明します。科学技術の問題について誰が考えるべきかについて考えます。			
2	〃	科学技術と工学倫理	工学倫理とは何か、なぜ工学倫理が必要とされたのか、私たちは工学倫理とどのようにつながっているのかについて説明します。			
3	〃	科学技術と倫理的責任	科学技術は倫理とつながっています。科学技術を取り扱ううえで、どのような倫理的責任が必要とされるのかについて考えます。			
4	〃	道徳的ジレンマ	道徳的なジレンマが、重大な問題を引き起こす原因です。道徳的ジレンマとは何か、道徳的ジレンマと価値の問題がどのように関わっているのかについて考えます。			
5	〃	倫理的問題の解決	科学技術が存在することによって、倫理的問題が生れてきます。科学技術に関連して生じる倫理的問題をどのように解決していったらいいのかについて考えます。			
6	〃	設計的思考	工学における設計という行為は興味深いものを含んでいます。工学の設計問題を解決する方法論が、倫理問題解決にどのように利用できるかについて考えます。			
7	〃	科学技術のリスク・安全性	私たちの生活と科学技術のリスクは切っても切れない関係にあります。科学技術のリスク・安全性の問題において何が重要かについて考えます。			
8	〃	科学技術と環境	科学技術について考えることは、環境について考えることです。科学技術は、環境破壊の主要原因だからです。科学技術が環境とどのように関わっているのかについて解説します。			
9	〃	科学技術とグローバル化	科学技術とグローバル化がどのように関わっているかを理解し、どのようなグローバル的視野を持つべきかについて考えます。			
10	〃	内部告発の問題	会社がひどい不正をしているとき、あなたは内部告発できますか。内部告発とは何か、どのような時に内部告発をすべきかについて考えます。			
11	〃	内部告発の事例研究	内部告発についてのビデオを見て、どこに問題があるのか、自分は内部告発できるかなどについて考えます。			
12	〃	科学哲学特殊講義Ⅰ	科学哲学の文献を読解しながら、その内容について皆で議論をします。			
13	〃	科学哲学特殊講義Ⅱ	科学哲学の文献を読解しながら、その内容について皆で議論をします。			
14	〃	科学哲学特殊講義Ⅲ	科学哲学の文献を読解しながら、その内容について皆で議論をします。			
15	〃	まとめ	これまでの講義の総括をします。			
到達目標	科学技術と社会・倫理のつながりについて理解できるようにする。 科学技術の問題点について実感できる。 自分の意見をまとめることができる。 自分の意見を発展させることができる。 多角的な思考ができる。 自己表現ができる。					
成績評価の方法と基準	試験方法：レポート 実施時期：試験期間外 講義において提出してもらった課題ワーク（50%）、期末レポート（50%）、討論参加状況によって評価します。なお、欠席は減点となります。					
学生へのメッセージ (その他注意等)	この講義では、知識を得ることよりもむしろ、知識をもとに自ら考え、まとめ、表現することが求められます。積極的に講義に参加してもらいたいと思います。講義中にワークをするので、できるだけ休まないようにしてください。					
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価 (円)		
教科書	技術者倫理の現在	大石敏広	勁草書房	¥2,700		
参考書	技術者倫理の世界〈第3版〉	藤本温他	森北出版	¥2,052		
参考書	はじめての工学倫理〈第3版〉	齊藤了文・坂下浩司編	昭和堂	¥1,512		
参考書	理系のための科学技術者倫理	直江清隆、盛永審一郎、大石敏広、他	丸善	¥2,592		

授業期間	2023年度 後期		授業対象	指定なし 火1	
科目名	科学を考えるB (科学の限界について考える) (Philosophy of Science B)				
科目責任者	大石 敏広			単位数	2単位
担当者	大石 敏広				
授業の目的	現代社会においては、遺伝子組み換え作物、原子力発電所、再生医療などをめぐる科学(技術)の問題が重大なものとして生じてきています。現在、こうした問題に私たちはどのように向き合っているのかが問われています。この問いに答えるためには、問題を専門家に任せにすることはできません。本講義では、現代社会において生じている科学(技術)に関連した問題をどのように解決していったらいいのかについて考えたいと考えています。				
教育内容	まず、現代社会と科学(技術)の関わりをめぐるトピックを取り上げ、できるだけ具体的な事例を挙げながら説明していきます。次に、そのトピックに関する課題を提示しますので、それについて各自考えて、それを文章に表現してもらいます。最後に、討論の場を設けて、自己表現に挑戦してもらいます。				
教育方法	教科書は使用せず、必要に応じてプリントを配布します。パワーポイントとAV機器を使用します。ディスカッションの場を設けます。必要に応じてビデオを見ます。課題ワークを行う場合もあります。一方的な講義ではなく、双方向的な講義を行います。 【フィードバックの方法】 課題ワークについて講義内で皆で議論をし、次の講義の最初で解説します。				
準備学習(予習・復習)	【講義時間外に必要な学習の時間: 60時間】 予習: 下記に挙げた参考書やその他の文献における講義に関連する部分を読んでおく。 復習: 講義資料やプリントを参考に、講義で取り上げたテーマに関する問題点を明確にして、それについての自分の考えをまとめておく。				
回	担当者	項目	授業内容		
1	大石【対面】	ガイダンス	講義の目標・内容、講義方法、評価方法について説明をします。		
2	〃	科学(技術)の問題とは何か	科学(技術)というものに注目してみましょう。どのように科学(技術)についての問題が生じてきたのかを考えます。		
3	〃	科学の客観性とは何か	科学は客観的? 科学の客観性とはどういうものか、科学は本当に客観的なのかについて考えます。		
4	〃	科学の確実性とは何か	科学は本当に確実? 科学の確実性とはどういうものか、科学がどの程度の確実性を有しているのかについて考えます。		
5	〃	トランス・サイエンスの問題	現代社会には、トランス・サイエンスの問題がゴロゴロしています。科学(技術)は必要だが、科学(技術)だけでは解決できない問題について考えます。		
6	〃	科学と公共性について	科学(技術)は、社会から独立していません。現代社会において、科学(技術)を公共性の観点から見直すことの重要性について考えます。		
7	〃	科学的合理性と社会的合理性について	二つの合理性があります。科学的な妥当性によって保障される科学的合理性と、公共での妥当性によって保障される社会的合理性の違いについて考えます。		
8	〃	科学コミュニケーションについて	科学(技術)とコミュニケーションのつながりに着目します。科学(技術)に関わる問題を解決していくうえでコミュニケーションの重要性について考えます。		
9	〃	コンセンサス会議とは何か	私たちは、科学(技術)の問題について合意できるでしょうか。社会的意思決定に市民が積極的に参加していく可能性について考えます。		
10	〃	サイエンス・ショップとは何か	科学(技術)の問題を解決するためには協力が必要です。専門家と非専門家が協働して問題を解決していく可能性について考えます。		
11	〃	科学哲学特殊講義Ⅰ	科学哲学の文献を読解しながら、その内容について皆で議論をします。		
12	〃	科学哲学特殊講義Ⅱ	科学哲学の文献を読解しながら、その内容について皆で議論をします。		
13	〃	科学哲学特殊講義Ⅲ	科学哲学の文献を読解しながら、その内容について皆で議論をします。		
14	〃	サイエンス・カフェ	一つのテーマについて自由に考察します。テーマに関して私が提示した議論と、事前に宿題として用意したレポートを比較しながら、これまでの講義を参考にして、テーマについて多角的な思考を巡らしましょう。		
15	〃	まとめ	これまでの講義の総括をします。		
到達目標	社会と科学(技術)の関わりについて考えることができるようになる。 現代社会において生じている科学(技術)の問題について理解できるようになる。 問題の解決法について理解できるようになる。 自分の意見をまとめることができるようになる。 自分の意見を発展させることができるようになる。 多角的な思考ができる。 自己表現ができる。				
成績評価の方法と基準	試験方法: 試験期間外 実施時期: 講義において提出してもらう課題ワーク(50%)、期末レポート(50%)、討論参加状況によって評価します。なお、欠席は減点となります。				
学生へのメッセージ(その他注意等)	積極的な講義参加を希望します。講義のつながりがありますので、できるだけ休まないでください。				
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価(円)	
参考書	テクノロジーとは何か	齊藤了文	講談社	¥1,728	
参考書	市民科学者として生きる	高木仁三郎	岩波書店	¥886	
参考書	原発事故はなぜくりかえすのか	高木仁三郎	岩波書店	¥756	
参考書	誰が科学技術について考えるのかーコンセンサス会議という実験	小林傳司	名古屋大学出版会	¥3,888	
参考書	技術者倫理の現在	大石敏広	勁草書房	¥2,700	

授業期間	2023年度 前期		授業対象	指定なし 水1or水2or木1or木2	
科目名	芸術の楽しみA (西洋音楽の歴史と分析) (Fine Arts and Music A)				
科目責任者	安川 智子			単位数	2単位
担当者	安川 智子				
授業の目的	この授業では、今日でもっとも普遍的に受け継がれ、体系化されている西洋芸術音楽（クラシック音楽）について学びながら、作品の背景や歴史、作曲家について、また音楽の構造や原理、聴き方、分析法などについて考えます。同時に、社会人としてのコミュニケーションに有用な、教養としての音楽の知識を身につけることが目標です。				
教育内容	現代までに蓄積されたクラシック音楽（古典となった音楽作品）は数えきれないほどあります。そこでこの授業では、典型的な名曲をとりあげ、その曲が生まれた時代背景と楽曲構造を解説します。また受講生のレベルに応じて、楽典の基礎知識の確認、和声（コード）や形式分析の基本にも踏み込んで、より専門的な楽しみ方を学びます。				
教育方法	取り上げる楽曲の一部分を聴き、作曲家や歴史、音楽の構造や聴き方について解説します。履修者の経験度に応じて、簡単な回答の仕方学びます。毎回コメントを書く時間を取り、質問やよいコメントについては次の時間の冒頭や Moodle で回答または紹介します。これらのコメント記入と講師からのフィードバックは、全3回の音源クイズや期末テストのための対策・準備となります。ほとんど毎回音楽を視聴する時間があります。教材はプリントを配布します。 【フィードバックの方法】授業内でのコメント紹介、質問への回答				
準備学習 (予習・復習)	【講義時間外に必要な学習の時間：60時間】 本学は、ナクソス・ミュージック・ライブラリーと契約しているため、授業内、および予習・復習に積極的に利用します。そのため、履修者は各自図書館にて、ナクソス利用（学外からのアクセス）のためのID・パスワードを取得してください。予習：各回でとりあげる楽曲について、ナクソス・ミュージック・ライブラリー等で聴いておくとよい。予習時間として毎回1時間程度が期待される。 復習：授業内で分らなかった専門用語は、必ず図書館の辞書等で調べ、それでも分からない点については次の授業で質問する。授業内で紹介した音楽を積極的にCD・ナクソス等で鑑賞し、紹介した参考文献や小説を少しでも手に取って読んでみる。復習時間として毎回2時間程度が期待される。 その他テストのための準備学習を含めて、計60時間の授業時間外学習が期待される。				
回	担当者	項目	授業内容		
1	安川 【対面】	授業ガイダンス	授業内容や進め方についてのガイダンス。音楽史の基本的な知識について。		
2	〃	ベートーヴェンの交響曲	交響曲とは何か、その歴史と楽曲構造、聴き方について。オーケストラと楽器の配置。		
3	〃	交響曲とピアノ・ソナタ/ソナタ形式とは何か	調性と楽典的な知識の確認。ソナタとソナタ形式について。		
4	〃	ピアノ音楽/ピアノの誕生～近代まで	ピアノはなぜ、いつ生まれたのか、ピアノの黎明期から、モーツァルト、ベートーヴェン、ショパン、そしてドビュッシー《月の光》まで。各時代を代表するピアノ曲の特徴と分析。		
5	〃	ロマン派の器楽曲	ドイツ・ロマン派の真髄を味わう。ベートーヴェンからブラームスまでのヴァイオリン・ソナタほか、室内楽作品の魅力を知る。ブラームスの時代の交響曲の名曲を解説する。		
6	〃	第1回まとめとテスト (音源クイズ、模擬テスト)	古典派～ロマン派の交響曲と室内楽、ピアノ音楽についてまとめ、音源クイズと模擬テストを行います。		
7	〃	宗教的合唱曲	ルネサンス～バロック時代までの宗教合唱曲について。パレストリーナのミサ曲、カトリックの宗教合唱曲		
8	〃	イタリア・バロックの音楽	バロック時代の音楽の聴き方、バリオル楽器（古楽器）について、コンチェルト（協奏曲）とは何か。ヴィヴァルディのヴァイオリン協奏曲		
9	〃	J.S. バッハの音楽	J.S. バッハとその作品について。器楽と声楽の名曲。音楽の形態の変化。		
10	〃	第2回まとめと小テスト	ルネサンス～バロック時代の器楽曲と声楽曲についてまとめ、音源クイズと模擬テストを行います。		
11	〃	ロマン派以降の管弦楽曲、協奏曲	19世紀以降に登場した楽器とオーケストラの変化。チャイコフスキー以降のロシアの音楽について。また19世紀以降の協奏曲（ピアノ協奏曲、ヴァイオリン協奏曲ほか）も紹介します。		
12	〃	標題音楽（交響詩、バレエ音楽など）	リムスキー＝コルサコフ《シェエラザード》など、ストーリーやタイトルの付いた管弦楽曲を解説します。		
13	〃	楽曲分析入門	和声や音楽形式など、専門的な音楽理論の知識を用いて楽曲を一步深く分析してみます。		
14	〃	20世紀以降の音楽	ポピュラーとクラシックの垣根を壊した20世紀フランス・アメリカの音楽のほか、皆さんが考える「現代の音楽」を素材に、自分自身で音楽を分析してみましょう。また最後の音源クイズを行います。		
15	〃	まとめと解説	課題・テストの解説		
到達目標	今日のコンサートで頻繁に演奏される作曲家については、その時代と国について大まかに説明することができる。授業で得た知識をもとに、新たな音楽芸術を聴き、受け入れることができる。音楽を聴いてその時代背景や歴史を想像することができる。				
成績評価の方法と基準	試験方法 ：筆記試験 実施時期 ：試験期間内 授業内で3度、音源クイズと模擬テストを行います（30%）。模擬テストには配点はありません。期末テストは模擬テストと類似した筆記試験です（60%）。また授業内での発言・コメント（用紙記入）や積極性も加味します（10%）。				
学生へのメッセージ (その他注意等)	名曲がなぜ名曲なのか、秘密を知ると、その音楽は最良の友人のような存在になります。また音楽を分析するという行為は、独自の思考法や新たな創造性ともつながります。授業内で関心をもった音楽や作曲家を大切に、普段の生活の中でその関心をぜひ広げていきましょう。 なおこの授業は教室の取容人数に応じた抽選を行う予定です。真剣に音楽を学びたい意欲のある人が授業を受けることができるよう、確実に授業に参加する意志をもつ人のみ抽選に申し込むようにしてください。				
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価 (円)	
参考書	ハーモニー探究の歴史—思想としての和声理論	西田敏子・安川智子編著	音楽之友社	¥2,700	
参考書	調性で読み解くクラシック	吉松隆	ヤマハミュージックメディア	¥950	
参考書	名曲に何を聴くか	田村和紀夫	音楽之友社	¥2,200	
参考書	ピリオド楽器から迫るオーケストラ読本	佐伯茂樹監修	音楽之友社	¥1,600	
参考書	文化のなかの西洋音楽史	ポール・グリフィス	音楽之友社	¥3,300	

授業期間	2023年度 前期			授業対象	指定なし 火1 or 火2		
科目名	芸術の楽しみA (西洋美術史) (Fine Arts and Music A)						
科目責任者	星 聖子				単位数	2単位	
担当者	星 聖子※						
授業の目的	本講義では、絵画、彫刻、建築といった美術作品を通じ、先史時代から近代に至るまでの西洋文化の展開を概観する。これにより学生は、現代社会の重要な一翼を担う西洋文化圏の思想背景を理解し、国際社会で活動するための基本的教養を身につける。						
教育内容	先史時代から20世紀初頭に至るまでの西洋美術の展開を、各時代に隆盛した様式(形の特徴)とともに概観する。						
教育方法	多数のスライドを用い、実際に作品分析を行いつつ、その文化、思想、社会背景について解説する。 【フィードバックの方法】 各回ごとに、Moodle上にアンケートを設け、授業内、復習時に生じた質問、所感を受け付け、必要に応じて全体へのコメントフィードバックを行う。 また作品情報を記したスライドリストをMoodleのコース(下記リンクよりアクセス可)に置くので、必要に応じてプリントアウトし、授業に利用すること。						
準備学習(予習・復習)	【講義時間外に必要な学習の時間:60時間】 予習:前回の授業内容をノートにより確認しておくこと。 復習:授業内容をノートにまとめ、必要であれば、参考文献を用い、復習をすること。 準備学習の目安時間:4時間/回						
回	担当者	項目	授業内容				
1	星 【対面】	西洋美術史1	先史美術～エジプト美術				
2	〃	西洋美術史2	古代エーゲ海美術～ギリシャ・アルカイック美術				
3	〃	西洋美術史3	ギリシャ・クラシック美術～ギリシャ・ヘレニズム美術				
4	〃	西洋美術史4	ローマ美術～初期キリスト教美術				
5	〃	西洋美術史5	ビザンティン美術				
6	〃	西洋美術史6	ロマネスク				
7	〃	西洋美術史7	ゴシック				
8	〃	西洋美術史8	ルネサンス1				
9	〃	西洋美術史9	ルネサンス2				
10	〃	西洋美術史10	ルネサンス3～マニエリスム				
11	〃	西洋美術史11	バロック				
12	〃	西洋美術史12	ロココ～革命期				
13	〃	西洋美術史13	新古典主義、ロマン主義				
14	〃	西洋美術史14	写実主義～印象主義～象徴主義、世紀末美術				
15	〃	解説	授業全体を通じての疑問点、さらなる関心事項について個別に解説する。				
到達目標	西洋美術における様式概念を理解し、その特徴を自分なりにイメージできるようになる。						
成績評価の方法と基準	試験方法:レポート 実施時期:試験期間外 期末レポート評価100% 授業内にて、レポート課題を発表し、取り組みについての解説を行う。その際、大学生以上のレポートに必要な項目(考察、引用の作法など)、評価基準について説明する。						
学生へのメッセージ(その他注意等)	様式の特徴は、多くの作例を見て、その共通点を自ら見いだすことにより初めて把握できるものです。授業では、スライドで多数の作例を提示します。授業に出席し、「自分なりの」様式を見いだすよう努めて下さい。様式を理解することにより、身近な建築や展覧会で見る美術作品などを、豊かな視野で楽しめるようになります。						
実務経験の授業への活用方法	担当教員は、民間企業において、宇宙利用開発の要素技術開発エンジニアとしての勤務経験を有します。美術史と専門分野は異なりますが、論理的に対象を分析する手法については共通点があります。この授業では、美術作品を対象に、歴史状況を材料とした論理的な作品分析手法を用いて、様式の解説を進めています。						
教科書・参考書		書名	著者名	出版社名	定価(円)		
参考書	西洋美術史ハンドブック		高階 秀爾、三浦 篤(編)	新書館	¥1,995		
参考書	カラー版 西洋美術史		高階 秀爾	美術出版社	¥1,995		
参考書	美術の物語		E.H. ゴンブリッチ	ファイドン	¥7,329		

授業期間	2023年度 後期	授業対象	指定なし	水1or水2or木1or木2
科目名	芸術の楽しみB (音楽の構造と分析) (Fine Arts and Music B)			
科目責任者	安川 智子	単位数	2単位	
担当者	安川 智子			
授業の目的	「音楽」はどのような仕組みで音楽として成り立っているのでしょうか、雑音や騒音、生活音とはどこが違うのでしょうか。この授業では、西洋音楽を中心に様々な「音楽」を取り上げて、その成り立ちや構造を多角的に検証し、音楽を分析する様々な方法を学んでいきます。また音楽を分析することによって、新しい考え方、思考法を養うことを目的とします。			
教育内容	毎回一つ以上の音楽作品を素材として、主に「音楽(録音)」と「楽譜」をもとに分析していきます。基礎的な楽譜(五線譜)の読み方が分かっていることが望ましいですが、授業を通じて、楽譜の読み方を身につけることもできます。			
教育方法	教材はプリント(pdf)を配布し、参考書を活用します。講義、鑑賞を経て、毎回受講生自ら音楽作品について能動的に考えを書く時間をとります。質問やよいコメントについては、次の授業やMoodle上で回答または紹介します。講義形式ですが、限られた人数ですので、積極的な参加と発言を期待します。 【フィードバックの方法】授業内でのコメント紹介、質問への回答。授業最終日に期末課題(途中経過)を持ってきてもらい、提出前の最後のアドバイスをを行う。			
準備学習(予習・復習)	【講義時間外に必要な学習の時間：60時間】 予習：各回でとりあげる楽曲について、ナクソス・ミュージック・ライブラリー等で聴いておくとよい。予習時間として毎回1時間程度が期待される。 復習：授業内で分からなかった専門用語は、必ず図書館の辞書等で調べ、それでも分からない点については次の授業で質問する。授業内で紹介した音楽を積極的にCD・ナクソス等で鑑賞し、紹介した参考文献を少しでも手に取って読んでみる。復習時間として毎回2時間程度が期待される。 その他レポート作成に要する時間も含めて、計60時間の授業時間外学習が期待される。			
回	担当者	項目	授業内容	
1	安川【対面】	授業ガイダンス	授業内容や進め方についてのガイダンス。音楽のジャンルについて	
2	〃	音楽作品とは 音楽の構造とは	音楽作品に向き合うにあたっての前提や視点について解説します。	
3	〃	J-POPから始めよう	ポピュラー音楽の構造についていくつかの名曲をもとに基本的な分析のポイントを解説します	
4	〃	バロック音楽	ポピュラー音楽との親和性が高いバロック時代の西洋音楽を、バッハ、ヘンデル、Vivaldi、モーツァルト、ベートーヴェンまで、構造から分析します。	
5	〃	モーツァルトの音楽	モーツァルトの器楽作品を中心に、西洋の古典派音楽の仕組みを解説します。	
6	〃	ベートーヴェンと長調・短調	ベートーヴェンの音楽を例に、長調と短調がどのように使って音楽を構成しているのか、解説します。	
7	〃	管弦楽作品	多数の楽器で一つの音楽を奏でる管弦楽作品の魅力はどこにあるのか、いくつかの楽曲を取り上げて見ていきます。	
8	〃	オペラ・音楽劇	オペラや音楽劇といった舞台芸術作品は、どのように分析することができるのでしょうか。	
9	〃	20世紀の音楽(1. ミニマルミュージック)	20世紀になると、これまでの慣習を覆すような、実験的な作品が数多く登場します。そのなかからミニマルミュージックに焦点を当てて、その魅力の理由を探ります。	
10	〃	20世紀の音楽(2. その他)	20世紀の音楽から幅広く例を取り上げて、その成り立ちや構造を見ていきます。	
11	〃	ジャズ、洋楽	ジャズやビートルズなどの洋楽の魅力を探ります。	
12	〃	西洋以外の音楽	日本も含めた、西洋以外の国々の音楽について、これまでは異なる構造と分析法を探ります。	
13	〃	映像や映画の音楽	現代もつとめ多いと思われる映像や映画に付随する音楽について、その特徴を分析します。	
14	〃	自由課題	各自で気になる音楽を持ち寄り、これまでの授業で取り組んだ音楽例と照らし合わせながら、分析してみます。期末レポートの途中経過として、講師が適宜アドバイスを行います。	
15	〃	レポート提出とフィードバック	レポートとそれについてのまとめ	
到達目標	1) 西洋音楽や演劇の基礎知識を身につける。2) 音楽の聴き方や音楽の分析についての様々な方法を知る。3) 自分自身で実践的に音楽を分析することができる。 4) 現在の音楽文化に関心をもち、その進む方向性について考え、評価することができる。			
成績評価の方法と基準	試験方法：レポート 実施時期：試験期間内 期末レポート(70%)、その他授業内課題、参加度など(30%)			
学生へのメッセージ(その他注意等)	音楽を鑑賞して楽しむだけでなく、なぜ名曲なのか、なぜ多くの人に受け入れられるのか、音楽がどのように人の心を動かすのか、など様々な観点から分析し、音楽について考える方法を知ること、より深い音楽との付き合い方ができるようになります。また時代を超えて残る名作品から、現代を生き抜く知恵を学びましょう。なお楽譜や音楽史の基礎的な知識がない場合は、前期に芸術の楽しみA(音楽)もしくは教養演習B(安川)のいずれかを履修することを強く推奨します。			
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価(円)
参考書	楽譜をまるごと読み解く本	西村理/沼口隆/ 沼野雄司/松村洋一郎/ 安田和信	ヤマハミュージック メディア	¥1,045
参考書	ハーモニー探究の歴史 思想としての和声理論	西田絢子・安川智子編	音楽之友社	¥2,700
参考書	神曲のツボ! 「カッコいい」の構造分析	坪口昌恭	アルテスパブリッシング	¥2,000
参考書	オペラ 愛の壊れるとき 名作がしかける涙のレトリック	長木誠司	音楽之友社	¥2,750
参考書	音楽分析の歴史 ムシカ・ポエティカからシェンカー分析へ	久保田慶一	春秋社	¥3,600

授業期間	2023年度 後期			授業対象	指定なし 火1 or 火2		
科目名	芸術の楽しみB (西洋美術の図像学) (Fine Arts and Music B)						
科目責任者	星 聖子				単位数	2単位	
担当者	星 聖子※						
授業の目的	美術鑑賞において、作品に表されている意味内容を理解することは、新たな鑑賞の観点を開くものであり、芸術を楽しむひとつの要素となろう。本講義では、西洋美術に登場する物語、説話また様々な象徴物について解説する。これにより学生は、芸術作品に親しむと同時に、西洋文化を構成する基本的な枠組みであるキリスト教と古典古代についての基礎教養を身につける。						
教育内容	西洋美術に表される主題は様々であるが、その中でもキリスト教説話とギリシア神話は重要な部分を占める。これらの主題の基本的な物語内容を作品を見ながら解説し、同時に西洋文化の約定に基づく様々な象徴についても明らかにしていく。						
教育方法	スライドを用い、多数の作品を参照しながら、物語、説話についての解説を行う。 【フィードバックの方法】 各回ごとに、Moodleのコース上にアンケートを設け、授業内、復習時に生じた質問、所感を受け付け、必要に応じて全体へのコメントフィードバックを行う。 また作品情報を記したスライドリストをMoodleのコース(下記リンクよりアクセス可)に置くので、必要に応じてプリントアウトし、授業に利用すること。						
準備学習(予習・復習)	【講義時間外に必要な学習の時間：60時間】 予習：前回のノートを見直し、内容を把握しておくこと。 復習：授業内容をノートにまとめ、必要であれば、参考文献に目を通し、復習しておくこと。 準備学習の目安時間：4時間/回						
回	担当者	項目	授業内容				
1	星 【対面】	図像学とは何か？	作品の意味内容を理解する上で必要となる図像学という学問について説明する。				
2	〃	ギリシア神話1	太古の神々についての物語解説				
3	〃	ギリシア神話2	オリュンポスの神々についての物語解説1				
4	〃	ギリシア神話3	オリュンポスの神々についての物語解説2				
5	〃	ギリシア神話4	英雄とトロイア戦争についての物語解説1				
6	〃	ギリシア神話5	英雄とトロイア戦争についての物語解説2				
7	〃	ギリシア神話6	英雄とトロイア戦争についての物語解説3				
8	〃	キリスト教説話1	キリスト教の基礎知識についての解説				
9	〃	キリスト教説話2	キリスト伝1:キリストの幼年時代についての解説1				
10	〃	キリスト教説話3	キリスト伝2:キリストの幼年時代についての解説2				
11	〃	キリスト教説話4	キリスト伝3:キリストの公生涯についての解説				
12	〃	キリスト教説話5	キリスト伝4:キリストの受難伝についての解説1				
13	〃	キリスト教説話6	キリスト伝5:キリストの受難伝についての解説2				
14	〃	キリスト教説話7	キリスト伝6:復活後のキリストおよび最後の審判についての解説				
15	〃	解説	授業全体を通じての疑問点、さらなる関心事項について個別に解説する。				
到達目標	西洋美術に表されるキリスト教説話およびギリシア神話について、おおよその流れを理解できるようになる。同時に、西洋文化の根幹をなすキリスト教および古典古代のギリシア・ローマに関する基礎知識を身につける。						
成績評価の方法と基準	試験方法 ：レポート 実施時期 ：試験期間外 期末レポート評価100% 授業内にて、レポート課題を発表し、取り組みについての解説を行う。その際、大学生以上のレポートに必要な項目(考察、引用の作法など)、評価基準について説明する。						
学生へのメッセージ(その他注意等)	毎回スライドでたくさんの作品を見ていく授業です。授業に出席し、物語の流れをつかむよう、努めて下さい。美術作品に表される物語を理解することにより、豊かな作品鑑賞の世界を広げていきましょう。						
実務経験の授業への活用方法	担当教員は、民間企業において、宇宙利用開発の要素技術開発エンジニアとしての勤務経験を有します。美術史と専門分野は異なりますが、論理的に対象を分析する手法については共通点があります。この授業では、美術作品を対象に、歴史状況を材料とした論理的な作品分析手法を用いて、作品内容の解説を進めていきます。						
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価(円)			
参考書	西洋美術解説事典	J・ホール	河出書房新社	¥5,040			
参考書	図説 ギリシア神話「神々の世界」篇	松島 道也	河出書房新社	¥1,890			
参考書	図説 ギリシア神話「英雄たちの世界」篇	松島 道也・岡部敏三	河出書房新社	¥1,890			
参考書	西洋絵画の主題物語〈1〉聖書編	諸川 春樹	美術出版社	¥2,940			
参考書	西洋絵画の主題物語〈2〉神話編	諸川 春樹	美術出版社	¥2,940			

授業期間	2023年度 前期 授業対象 指定なし 月2or月3or木1or木2			
科目名	倫理学A (授業はすべてオンラインで行います。) (Ethics A)			
科目責任者	小林 亜津子	単位数	2単位	
担当者	小林 亜津子			
授業の目的	科学技術の「進歩」は、人類に多くの恩恵を与えています。しかし、同時に、環境破壊を始めとした、人類の生存をも脅かすかねない数多くの問題をももたらしています。ヒトゲノム・プロジェクトによる遺伝子解読技術、体外受精や代理母等の生殖医療技術にみられる生命操作など、現代の最先端技術は今も驚異的な展開を示し、これまで考えられしなかった様々な倫理問題を引き起こしています。授業では、科学技術が、人間の生命・環境・日常生活に大きく介入することによって生じてきた現代の倫理問題を検討していきます。			
教育内容	生命倫理・環境倫理の代表的なトピックを毎回一つずつ取り上げ、具体的なケースを検討しながら、議論を整理していきます。技術の急速な進歩が気づきづに投げかける新しい問題に、倫理学が追いつかないという状況が生じていることを知ってもらいます。その上で、それぞれの技術に対するガイドラインを、皆さん自身で作成してもらいたいと思います。			
教育方法	教科書を2冊使用し、オンラインで行います。授業プリント等は、授業開始前に Moodle 上で配布します。それぞれのテーマについて、教科書と講義映像を使いながら、具体的な事例に即して、授業を展開していきます。講義の終わりに、随時、その時々テーマに応じたリアクションペーパーを書いて、Moodle 上に提出してもらいます。 【フィードバックの方法】印象的な意見などがあれば、適宜、Moodle 上で紹介します。			
準備学習(予習・復習)	【講義時間外に必要な学習の時間：60時間】 課題図書：小林亜津子著『はじめて学ぶ生命倫理』ちくまプリマー新書、2011年、小林亜津子著『看護のための生命倫理<改訂三版>』ナカニシヤ出版、2019年 予習：テーマに関連した記事をインターネットで検索したり、参考書内の該当するテーマの章に目を通しておく(120分程度)。 復習：授業ノートにもう一度目を通し、授業内で触れた事件等について自分で調べてみる(120分程度)。			
回	担当者	項目	授業内容	
1	小林 【オンライン】	授業ガイダンス	講義内容や授業の進め方、評価方法について説明する。	
2	〃	ドーピングとスマートドラッグ	ドーピングやスマートドラッグはなぜいけないのか？エンハンスメント(治療を超えた医療的介入)の倫理問題を考える。	
3	〃	DIと家族	DI(非配偶者間人工授精)によって子どもをもうけた夫婦やシングルマザーと、生まれた子どもとの関係をめぐる問題を検討していく。	
4	〃	DIチルドレンの出自を知る権利	生物学上の父親を知りたい！願うDIチルドレン(人工授精児たち)の心情と、ドナーや精子バンク側の対応について、現状を紹介しながら考えていく。	
5	〃	脳死と臓器移植	脳死とはどのような状態か？それは人の「死」なのか？さらに子どもの臓器提供や親族優先提供など、移植医療のめぐる倫理問題を考える。	
6	〃	いのちの始まりは誰が決めるのか	受精卵はいつから人になるのか？胎児は人間？ヒト胚や胎児の道德地位と中絶をめぐる議論を紹介し、中絶胎児の組織利用やヒト胚の研究利用について考えていく。	
7	〃	子どもの自己決定権	子どもが安楽死を希望したらどうするか？「親に言わないで」と言われたら？未成年者の医療同意や守秘義務について考える。	
8	〃	安楽死	安楽死をめぐる現状と議論を紹介し、その倫理問題を検討していく。	
9	〃	減胎(減数)手術	体外受精や人工授精による多胎妊娠と減胎手術。生殖医療技術の「裏側」に置き去りにされてきた問題を考える。	
10	〃	真実を伝えること(病名告知)	患者に不治の病を告知することについて考える。	
11	〃	代理母出産は許されるか	代理母出産によって生じてきたさまざまな倫理的トラブルを、アメリカのある家族のケースを中心に考えていく。	
12	〃	アニマルライツ(動物の権利)	保健所にもち込まれた動物たちのゆくえとは？保健所の犬や猫の殺処分について、アニマルライツの観点から検討する。	
13	〃	出生前診断	出生前診断と選択的人工妊娠中絶をめぐる倫理問題を検討していく。	
14	〃	病院の不正を知ったらどうするか	ビジネスエシックス(企業倫理)内で提唱されているホイッスルブローイング(内部告発)を医療機関に適用できるかを考える。	
15	〃	解説と確認	期末レポートについての確認および個別指導	
到達目標	生命倫理・環境倫理に託されている諸課題がいかにか解決しがたく、また身近な問題であるかということについて、みずから考えることによって実感できる。			
成績評価の方法と基準	試験方法：なし 実施時期：試験期間外 授業中に提出してもらったアクションペーパー(70%)、14回目の授業で出してもらった総合課題(30%)の内容で評価します。但し、総合課題の提出は、単位付与の条件とします。 ※詳細については、初回のガイダンス時に周知します			
学生へのメッセージ(その他注意等)	この授業では、何かを「知る」というよりは、みずから問題意識をもって「考える」ことが求められます。安易に答えを出さず、ねばりよく自分のスタンスの確立に努めてもらいたいと思います。文章を書いたり、考えることが好きな人、歓迎します。尚、受講者が教室の定員を超えた場合には、抽選を行いません。			
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価(円)
教科書	はじめて学ぶ生命倫理ーいのちの始まりは誰が決めるのかー	小林亜津子	ちくまプリマー新書	¥858
教科書	看護のための生命倫理<改訂三版>	小林亜津子	ナカニシヤ出版	¥2,640
参考書	生殖医療はヒトを幸せにするのかー生命倫理から考えるー	小林亜津子	光文社新書	¥836
参考書	QOLって何だろうー医療とケアの生命倫理ー	小林亜津子	ちくまプリマー新書	¥858
参考書	生命倫理のレッスンー人体改造はどこまで許されるのか？ー	小林亜津子	筑摩書房	¥1,210

授業期間	2023年度 後期			授業対象	P学部指定, A学部優先 水5 / 指定なし 木1 or 木2		
科目名	倫理学B (授業はすべてオンラインで行います) (Ethics B)						
科目責任者	小林 亜津子				単位数	2単位	
担当者	小林 亜津子						
授業の目的	生命科学や医療技術の進展にともなう、私たちは人間の「生命」を、ある程度人為的に操作することができるようになってきました。人間の生と死が、自然の運命にまかされるのではなく、私たちの道徳的選択による問題となっています。安楽死や中絶、臓器移植など、生命倫理に託されたさまざまな課題を検討していくことによって、生と死という人間にかんする限りなく深い問題を、みなさんと一緒に考えていきたいと思います。						
教育内容	生命倫理は、医療技術と人間性と新しい接点を探る倫理的な試みであると共に、インフォームド・コンセントや患者の自己決定権など、医学の倫理問題をも包括した学問領域です。授業では、生命倫理の代表的なトピックを毎回一つずつ取り上げ、具体的なケースを検討していきます。日本やアメリカで実際に起こった事件等を紹介しながら、議論を整理していきます。						
教育方法	授業はすべてオンラインで行います。教科書を2冊使用します。それぞれのテーマについて、講義動画等を用いながら、授業を展開していきます。講義後に、毎回その時々のテーマについてのリアクションペーパーを書いて、moodle上に提出してもらいます。 【フィードバックの方法】印象的な意見などがあれば、適宜、moodle上で紹介します。						
準備学習(予習・復習)	【講義時間外に必要な学習の時間：60時間】 課題図書：教科書2冊を使用します。 予習：テーマに関連した記事をインターネットで検索したり、教科書内の該当するテーマの章に目を通しておく(120分程度)。 復習：授業ノートにもう一度目を通し、授業内で触れた事件等について自分で調べてみる(120分程度)。						
回	担当者	項目	授業内容				
1	小林 【オンライン】	授業ガイダンス	講義内容や授業の進め方、評価方法について説明する。				
2	〃	臓器売買は許されるか	海外の臓器売買の現状とその倫理問題について考える。				
3	〃	患者の秘密を守るべきか	守秘義務はなぜ必要なのか？守秘義務が解除される場合は？医療者の守秘義務について考える。				
4	〃	新生児の治療停止	重度の障害をもって生まれてきた新生児の治療を停止してよいか。				
5	〃	遺伝子スクリーニングとプライバシー	ヒトゲノム・プロジェクトによる遺伝子診断技術のもたらしたELSIを考える。				
6	〃	宗教上の理由による輸血拒否	宗教上の理由から、生命をかけて輸血を拒否する患者に、どう対処したらよいかを考える。				
7	〃	動物を食べてもよいか	われわれは肉食主義者になるべきか？倫理的肉食主義者とは？普段の食生活を、アニマルライツの観点から見直していく。				
8	〃	デザイナー・ベビーは許されるか	男女生み分けや救世主きょうだい(ドナーとしての子ども)など、着床前診断による生命の選択は許されるのかを考える。				
9	〃	医師による自殺帮助	アメリカの死神医師・ケボークアの裁判をめぐるドキュメントを紹介しながら、医療者による自殺帮助の是非を考える。				
10	〃	医療資源の配分	限られた医療資源を、どの患者に与えればよいのかという究極の選択について考える。				
11	〃	臨床試験の倫理問題	ヒトを対象とした臨床試験の倫理問題を検討する。				
12	〃	動物実験は許されるか	動物実験の是非を、人間と動物との違いは成り立つのか？という問題にさかのぼって考える。				
13	〃	認知症高齢者のコンピテンス	認知症高齢者の判断能力の「判断」、医療に対する同意について考える。				
14	〃	結合双生児の分離手術	シャム双生児の分離手術について検討する。				
15	〃	解説と確認	期末レポートについての確認および個別指導				
到達目標	生命倫理の諸課題をしっかりと体で感じ取ることができる。例えば「インフォームド・コンセント」という言葉についても、単に「知識」として知るだけでなく、それがどのような具体的状況のなかで問題となり、実際の臨床の現場でいかなる事態において求められてくるのかを体感することができる。						
成績評価の方法と基準	試験方法：なし 実施時期： 毎回提出してもらったリアクションペーパー(70%)、および14回目の総合課題の内容(30%)で評価します。但し、総合課題の提出は、単位付与の条件とします。 ※詳細については、初回のガイダンス時に周知する。						
学生へのメッセージ(その他注意等)	この授業では、何かを「知る」というよりは、みずから問題意識をもって「考える」ことが求められます。授業の目標は、必ずしも「正解」を見つけることではありません。安易に答えを出さず、ねばりづよく自分のスタンスの確立に努めてもらいたいと思います。文章を書いたり、考えることが好きな人、歓迎します。尚、受講者が定員を超えた場合には、抽選を行います。						
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価(円)			
教科書	はじめて学ぶ生命倫理	小林亜津子	ちくまプリマー新書	¥858			
教科書	看護のための生命倫理<改訂三版>	小林亜津子	ナカニシヤ出版	¥2,640			
参考書	QOLって何だろうー医療とケアの生命倫理ー	小林亜津子	ちくまプリマー新書	¥858			
参考書	生殖医療はヒトを幸せにするのかー生命倫理から考えるー	小林亜津子	光文社新書	¥836			
参考書	生命倫理のレッスンー人体改造はどこまで許されるのか？ー	小林亜津子	筑摩書房	¥1,210			

授業期間	2023年度 前期 授業対象 指定なし 月1or水2		
科目名	倫理学A (生命・医療倫理学系統講義 1) (Ethics A)		
科目責任者	鶴澤 和彦	単位数	2単位
担当者	鶴澤 和彦※		
授業の目的	よき医療とはどのようなことでしょうか。わたしたちは、内親やペットの死を悼むことで「いのち」の尊厳や神聖さ(SOL)に気づきます。他方で、医療技術の進歩にともない、医療を自分で選択する機会も増えつつあります。たとえば、終末期患者が「生活の質」(QOL)を維持するために、延命治療の中止や安楽死を求めているケースもあります。この場合、医療従事者は、SOLとQOLとのモラル・ジレンマをどのように考えたらよいのでしょうか。本授業は、こうした問題を考えながら、生命・医療倫理に関する基礎的知識を習得し、医療従事者としての表現力、思考力、判断力を養うことを目的とします。		
教育内容	医療現場におけるモラル・ジレンマの分析を通じて、その背景にある価値観の対立を理解します。さらに、医療従事者として相応しい行動・態度とされるよう医療・看護倫理の諸原則も学びます。なお、各回のテーマをより具体的に捉えるために、視聴覚教材(VTRや映画の一部)を活用します。【キーワード】インフォームド・コンセント、緩和治療、医療パターナリズム、セデーション(鎮静)、安楽死、ヒポクラテスの誓い、インフォームド・アセント、未成年後見人、代理同意、コンピテンスの臨床基準、生命倫理の原則(自律尊重、仁恵、無危害、正義)。		
教育方法	本授業は、授業支援システム(北里大学 Moodle)を使いながら講義形式で行います。各授業の終了時に、北里大学 Moodleを通じて、その授業に関する課題を出します。受講生は、次回の授業までに課題を送信してください。課題は、Moodleを通して、評価をつけて返却されます。課題のフィードバックについては、テーマごとに行われるディスカッションの際、模範解答(参考資料)の配布という仕方で行われます。さらに、各テーマの終了時にグループディスカッション(任意参加)と全体発表を行い、様々な観点から内容理解の深化を図ります。なお、授業の出席・感想・質問は、出席票を兼ねたリアクションペーパーに記載してください。質問に対する返答(フィードバック)は、次回授業時に行います。		
準備学習(予習・復習)	【講義時間外に必要な学習の時間：60時間】 予習：受講生は授業前に教科書の該当箇所を読み、あらかじめ概要を把握しておいて下さい。また、参考書を使って、専門用語の意味等を調べたり、よく分からない表現や箇所を見つかりたりしてください(約2時間)。 復習：授業時に配布された資料(講義原稿と参考資料)を読み直してください。また、全体ディスカッションでの他の受講生の意見を参考にしながら、そのテーマに関する自分の考えをノートにまとめてください(約2時間)。		
回	担当者	項目	授業内容
1	鶴澤【対面】	授業ガイダンス	教員の自己紹介、授業目標、到達目標、授業内容、授業の進め方、受講上の注意、成績評価の方法と基準、教科書と参考書、生命・医療倫理学の必要性、北里大学 Moodleの使い方について説明します。
2	〃	倫理学とは何か	倫理学の基本概念、具体的には、道徳と倫理学の相違、倫理学の問題領域と方法論、事実命題と規範命題、記述倫理と規範倫理、生命・医療倫理学の成立史(ニュルンベルク綱領、ヘルシンキ宣言など)について解説します。
3	〃	終末期医療(1)：第1章 いのちの終わりは誰が決めるのか	死の概念、患者の自己決定権、インフォームド・コンセント(IC)、パターナリズム、いのちの「終わり」の選択(I)セデーション、②自然死、③安楽死、④延命治療)を解説し、それぞれの問題点とそれに関するモラル・ジレンマを明らかにします。
4	〃	終末期医療(2)：第1章 いのちの終わりは誰が決めるのか	がん告知に関する法整備、がん告知についての統計、がん告知の問題、終末期患者への対応、死の受容に関する5段階説(エリザベス・キューブラーロス)、医療資源の配分などの問題を考えていきます。
5	〃	終末期医療(3)：第1章 いのちの終わりは誰が決めるのか	医療資源の配分における正義の原則、医学思想史及び医師の職業倫理の観点から「ヒポクラテスの誓い」を説明し、さらに「生命の神聖さ」(SOL)と「生活の質」(QOL)の概念について解説します。
6	〃	終末期医療(4)：第1章 いのちの終わりは誰が決めるのか	第1回から第4回の課題の内容をふまえ、そのテーマに関してグループディスカッションと全体発表を行います。
7	〃	小児医療(1)：第2章 子供の医療は誰が決めるのか	ホスピタリズムと幼児の能力(ヤヌシュ・コルチャック、内藤寿七郎)、幼児の精神的な病気(スピッツ)、インフォームド・アセント(IA)の概念、親の許諾、患児の賛同、IAの適用例、日本におけるIAの実施率について考察します。
8	〃	小児医療(2)：第2章 子供の医療は誰が決めるのか	拒食症の概念ならびに事例分析1：拒食症の少女の事例を取り上げ、子供・医師、両親・裁判官の間でどのように価値観が対立するかを明らかにします。また、パターナリズムと治療の拒否権に関する問題を考察します。
9	〃	小児医療(3)：第2章 子供の医療は誰が決めるのか	事例分析2：宗教的理由から輸血を拒否した少年の事例を取り上げ、子供・医師、両親・裁判官の間でどのように価値観が対立するかを明らかにします。さらに、仁恵原理とパターナリズムの概念、医療パターナリズムの正当化基準について考察します。
10	〃	小児医療(4)：第2章 子供の医療は誰が決めるのか	第5回から第8回の課題の内容をふまえ、そのテーマに関してグループディスカッションと全体発表を行います。
11	〃	コンピテンス(1)：第3章 判断能力は誰が決めるのか	判断能力のない患者(生まれながらに判断能力を持ちえない患者と事故や病気で判断能力を失った患者)、リビング・ウィル、成年後見、代理同意(P、C)の基準(最高利益と代理判断)及び問題点、臓器移植法改正、家族の範囲について考察します。
12	〃	コンピテンス(2)：第3章 判断能力は誰が決めるのか	自律原理とコンピテンス(自律概念、判断能力の概念、コンピテンスの概念)、生命倫理の基本原則(自律尊重原則、仁恵原則、無危害原則、正義原則)とその衝突、コンピテンス判定の問題について説明します。
13	〃	コンピテンス(3)：第3章 判断能力は誰が決めるのか	精神機能検査、コンピテンスの臨床基準(①選択及びコミュニケーション能力、②理解力、③本人の意思決定と価値観の整合性、④妄想や幻影の排除、⑤選択の合理性)、スライディング・スケールを説明します。
14	〃	コンピテンス(4)：第3章 判断能力は誰が決めるのか	第9回から第12回の課題の内容をふまえ、そのテーマに関してグループディスカッションと全体発表を行います。
15	〃	まとめ	まとめ

到達目標	①人の誕生と死に関する倫理的問題を列挙し、それに関する自分の考えや立場を理由づけることができるようになる。②自分で問題を考え、それを文章にまとめることができるようになる。③生命・医療倫理の歴史や現状を踏まえ、国際的な視野から日本の医療制度の課題や問題点について自分の考えが持てるようになる。④医療の担い手が守るべき倫理規範とその思想的背景を説明できるようになる。			
成績評価の方法と基準	試験方法：筆記試験 実施時期：試験期間内 定期試験 50%、課題 50%の総合評価。課題は、授業内容を正しく理解しているかどうか、そして、自分の考えを筋道を立てて表現しているかどうか、という基準で評価されます。また、北里大学 Moodle のフォーラムや全体ディスカッションへの積極的な参加は、その内容に応じて加点対象とします。			
学生へのメッセージ(その他注意等)	病気などやむを得ぬ理由で欠席した場合、北里大学 Moodle にアップロードしてある教材（講義原稿など）で欠席した授業の内容を学習しておいてください。また、欠席した授業の課題を Moodle を通じて提出すれば、その課題は加点対象とします。受講生の積極的な授業参加を望みます。			
実務経験の授業への活用方法	NPO 法人、学会研修、文部省 SSH 事業などの経験を踏まえ、現代の医療・介護問題の本質を明らかにし、倫理的な解決策を考える。とくに、医療現場におけるモラル・ジレンマの理解と解決の道筋を付ける際に、医療者がどのように考え、対応すべきかを説明する。			
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価(円)
教科書	はじめて学ぶ生命倫理	小林亜津子	ちくまプリマー新書	¥780
参考書	生命医学倫理	トム・L・ビーチャム他	成文堂	¥7,350
参考書	ケアの向こう側 看護職が直面する道徳的・倫理的矛盾	ダニエル F. チャンプリス著、浅野 祐子 訳	日本看護協会出版会	¥3,000
参考書	哲学の変換と知の越境	牧野、小野原、斎藤、山本編	法政大学出版局	¥3,000

授業期間	2023年度 前期 授業対象 指定なし 水 1 or 水 2				
科目名	倫理学A (人間的自由はどこまで拡大できるか) (Ethics A)				
科目責任者	黒崎 剛	単位数	2単位		
担当者	黒崎 剛				
授業の目的	人間的な自由の拡大とその結果としての最近半世紀の科学知識と技術の爆発的な発展、特に生命と医療の分野におけるその展開に伴って、これまでの人間の生活には有り得なかったような事態が現実のものとなっており、そこから従来の我々の常識や倫理観では処理しきれず、対策や適応をせまられるような問題が次々に起こってきている。それらの問題は人間の生命に関わるだけに、すべての人の利害に関わり、また人間存在そのものの根本に触れる問題であり、たとえ暫定的なものであっても、早急な解決を必要としている。この講義ではそれらの問題のなから現状と論点を提示し、考えてもらうことにする。				
教育内容	現在の倫理学の重大問題は、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のもののみなしていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしているところにある。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にともなって提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。「A」ではそのうち、「自己決定権」にまつわる問題を考察する。「B」ではそのうち「生命操作」にまつわる問題を考察する。				
教育方法	指定の教科書を用いた講義形式。言葉、概念だけの話で理解しにくいものについては、視聴覚教材で補う。 【フィードバックの方法】 質問の時間をとり、答える。その他に特に決まった形式はない。				
準備学習 (予習・復習)	【講義時間外に必要な学習の時間：30分程度】 事前に教科書に目を通しておき、当日の話の要点がどこにあるのか、見直しをつけておくこと。興味をもった対象については、授業の後に関連する図書や新聞記事、判例などを探し、読んでみることを勧める。				
回	担当者	項目	授業内容		
1	黒崎剛 【対面】	第1回：オリエンテーション	受講するか決定するための全体のガイダンス		
2	黒崎剛 【対面】	生命倫理で何が問題となっているのか	なぜいま倫理学において「生命」というテーマが論じられるのか、その理由を開設する。		
3	黒崎剛 【対面】	インフォームド・コンセントと自己決定権の思想 (1) ーその歴史的由来	「インフォームド・コンセント」という概念の歴史的由来		
4	黒崎剛 【対面】	インフォームド・コンセントと自己決定権の思想 (2)	医療倫理の新旧について		
5	黒崎剛 【対面】	インフォームド・コンセントと自己決定権の思想 (3)	インフォームド・コンセントとはいかなる「思想」であるか		
6	黒崎剛 【対面】	インフォームド・コンセントと自己決定権の思想 (4)	インフォームド・コンセント型医療の利点と問題点		
7	黒崎剛 【対面】	安楽死・尊厳死 (1)	安楽死の定義		
8	黒崎剛 【対面】	安楽死・尊厳死 (2)	海外の安楽死事情		
9	黒崎剛 【対面】	安楽死・尊厳死 (3)	日本における安楽死をめぐる判例 (日本の場合)		
10	黒崎剛 【対面】	安楽死・尊厳死 (4)	尊厳死の思想		
11	黒崎剛 【多面】	人工妊娠中絶の議論 (1)	女性の自己決定論との関わりで		
12	黒崎剛 【対面】	人工妊娠中絶の議論 (2)	生命の尊厳との関係		
13	黒崎剛 【対面】	人工妊娠中絶の議論 (3)	人工妊娠中絶の賛否両論		
14	黒崎剛 【対面】	人工妊娠中絶の議論 (4)	中絶をめぐる対立の可能な解決法		
15	黒崎剛 【対面】	まとめ	生命倫理における自己決定権と自由の概念		
到達目標	課題とされているそれぞれの問題について、基礎レベルの科学知識に基づいて、自分なりの主張が持てるようにする。				
成績評価の方法と基準	試験方法：筆記試験 実施時期：試験期間内 期末試験 (60%)、平常点 (40%) と配分する。出席については、講義数の3分の2以上を受験資格者とする。				
学生へのメッセージ (その他注意等)	生命倫理ではあるが、特に医療者の倫理を意識せず、患者になり得る人たちの目線で考えてみて下さい。				
教科書・参考書	書名		著者名	出版社名	定価 (円)
教科書	『生命倫理の教科書』[第2版] 2022年		黒崎剛・吉川栄省編著 /小島優子・竹村香織・ 金澤秀嗣著	ミネルヴァ書房	¥3,000

授業期間	2023年度 前期 授業対象 指定なし 木1or木2			
科目名	文学の楽しみA (宮澤賢治入門) (Literature A)			
科目責任者	野村 廣之	単位数	2単位	
担当者	野村 廣之			
授業の目的	<p><キーワード: 作品解釈/教養/思考力>宮澤賢治の短編童話を題材にして、文学作品の読み方・解釈の仕方・鑑賞の仕方等を修得してもらいます。本来、文学作品の楽しみ方は個々の読者に委ねられていて、読者は作品を自由に解釈することができます。しかし、作品解釈の技法と呼ぶべきものがあり、これを知っていることによって、個々人の解釈も、より豊かなものとなり得るし、また文学作品を、よりよく楽しむことができるようになります。この授業の最終的な目的は、作品解釈の技法を学ぶことによって、より豊かな教養を身につけるための有力な手段の一つを履修者が修得することにあります。さらに、「解釈する」とは「論理的に考える」ことに他なりません。私は宮澤賢治の童話作品を解釈するこの授業において、履修者にできるだけ「論理的に考えさせる」こと、さらには考える過程で「自分自身の内面を見つめなおさせる」こと、を意図しています。この授業は「論理的な思考力」「内省に至る思考力」を身につけるための訓練であり、「遊び」ではありません。</p>			
教育内容	<p><キーワード: 宮澤賢治/短編童話>この授業では、宮澤賢治の童話集『ポラノの広場』(新潮文庫)に収録されている短編童話を取り上げます(したがって、指定した教科書『ポラノの広場』は必ず購入し、授業時には毎回持つてくこと)。全部で9編の童話を取り上げる予定ですが、それらの作品をできるだけ細かく分析し解釈してみようと思います。単に私が自分の解釈を説明するだけでなく、受講者である君たち自身の解釈もできるだけ披露してもらい、そうした双方向的な授業によって多様な解釈を生み出していきたいと思います。</p>			
教育方法	<p><対面授業を行います> * この授業は毎回教室で行う対面授業(講義型授業)です。しかし、履修者は、以下で説明する授業課題(予習課題)を提出するために、Moodleのこの授業のコースに必ず登録しなければなりません。 * 毎週木曜日の授業の終わりに、次回授業のための授業課題を出題します。さらに、その日の午後、この授業のMoodleコース内にその日提出された授業課題の回答受付窓口を開設します。各自、授業課題の回答を4日後の月曜日の17:00までにMoodleに直接書き込むやうで、提出しないで、これが毎回の授業を受講するための予習となります。最初の授業課題は、第2回授業の終わりに出題する第3回授業のための授業課題となります。(第1回目の授業の終わりには授業課題を出題されません。) 【フィードバックの方法】 * 各履修者の授業課題の回答に対して、簡単なコメントを付けます。また、授業課題の模範回答例を授業内で提示します。さらに、履修者の回答例を、書いた人の氏名等を伏せた上で、授業内でいくつか紹介し、どこが良いのか、どこが良くないのか、何に注意しなければならないのか、どこをどう直せばよいのか、等々を説明します。</p>			
準備学習(予習・復習)	<p>【講義時間外に必要な学習の時間: 60時間】 予習: その回の授業で取り上げる作品をあらかじめ必ず読んで、授業課題に期限を守ってMoodle上で回答する。(毎回、2時間程度) 復習: 授業内での解釈と自分自身の解釈の違いを確認し、自分の解釈の妥当性を検証する。授業の内容に関して、別の意見や疑問があれば、Moodle上の質問フォーラム等で質問する。(毎回、2時間程度)</p>			
回	担当者	項目	授業内容	
1	野村 【対面】	ガイダンス1 この授業のやり方/成績評価の方法/宮澤賢治とはどのような作家であるのか	この授業について詳しく説明します。履修希望者は必ず第1回目の授業に参加すること。	
2	〃	ガイダンス2 物語の構造/作品解釈とは何か/シミリとメタファーとは何か	物語とはどのようなものなのか、作品を解釈するとはどのようなことなのか、を説明します。	
3	〃	「まなづとダリア」	「まなづとダリア」の作品分析と解釈を行う。	
4	〃	「鳥箱先生とフウねずみ」	「鳥箱先生とフウねずみ」の作品分析と解釈を行う。	
5	〃	「林の底」	「林の底」の作品分析と解釈を行う。	
6	〃	「十力の金剛石」	「十力の金剛石」の作品分析と解釈を行う。	
7	〃	「とっこべとら子」	「とっこべとら子」の作品分析と解釈を行う。	
8	〃	「ガドルフの百合」	「ガドルフの百合」の作品分析と解釈を行う。	
9	〃	「種山ヶ原」	「種山ヶ原」の作品分析と解釈を行う。	
10	〃	「氷河鼠の毛皮」	「氷河鼠の毛皮」の作品分析と解釈を行う。	
11	〃	「ポラノの広場」(1)	「ポラノの広場」の作品分析と解釈を行う。	
12	〃	「ポラノの広場」(2)	引き続き「ポラノの広場」の作品分析を行う。	
13	〃	「ポラノの広場」(3)	引き続き「ポラノの広場」の作品分析を行う。	
14	〃	「ポラノの広場」(4)	引き続き「ポラノの広場」の作品分析と解釈を行う。	
15	〃	個別指導	個々の履修者の質問等に答える。	
到達目標	<p>* 宮澤賢治の童話作品がどのような特徴を持つ作品であるのかを説明できる。 * この授業で学んだことを応用して、文学作品を自分なりに解釈することができる。 * 文学作品を読み、解釈することを通して、自分自身の教養を深め、自分自身の内面を見つめなおすことができる。</p>			
成績評価の方法と基準	<p>試験方法: 筆記試験 実施時期: 試験期間内 平常点と期末試験をもとにして、成績評価を行います(平常点: 50%、期末試験: 50%)。 平常点とは、毎回事前に出題する授業課題に対する回答提出状況に基づく点数です。授業課題の回答に対しては、基本的に、評価(点数付け)はしません。きちんと提出したかどうか、を問題とします。ただし、課題にきちんと答えていない場合は本提出扱いとします。また、どのような理由があろうとも、提出期限後の後出しは決して認めません。授業課題の回答は、オンラインで提出するので、たとえ新型コロナに感染した場合でも、配慮はしません。 期末試験は、この授業の到達目標である「この授業で学んだことを応用して、文学作品を自分なりに解釈することができる」が、どの程度達成されているかを確かめるための試験です。試験答案に対する基本的な評価基準は、①誤字脱字や文法の誤りのない、きちんとした日本語で、丁寧に書かれているかどうか②自分自身の考えが他者にも分かるように論理的に書かれているかどうか、です。欠席について: 第3回以降に第14回授業までの12回分の授業において、4回以上欠席した場合は、不可とします。第1回第2回授業は試期間として、不可となる要件には含めません。また、新型コロナ等の感染症のために欠席した場合は、事務室からの連絡に基づいて、出席扱いとします。</p>			
学生へのメッセージ(その他注意等)	<p>教科書(テキスト)について。この授業では、宮澤賢治『ポラノの広場』(新潮文庫版)を教科書(テキスト)として使用し、この本に収録されている作品の分析と解釈を行います。ですので、教科書(テキスト)がないと受講できません。宮澤賢治『ポラノの広場』(新潮文庫版)は、特殊な本ではなく、教科書販売所でもなく、市中の一般書店で普通に販売されている本です。履修を決めた場合には、できるだけ早く教科書(テキスト)を手に入れなさい。</p>			
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価(円)
教科書	『ポラノの広場』	宮澤賢治	新潮文庫	
参考書	(初回授業時に説明します)			

授業期間	2023年度 後期 授業対象 指定なし 木1or木2			
科目名	文学の楽しみB (宮澤賢治精読) (Literature B)			
科目責任者	野村 廣之	単位数	2単位	
担当者	野村 廣之			
授業の目的	<p><キーワード: 作品解釈/教養/思考力>宮澤賢治の短編童話を題材にして、文学作品の読み方・解釈の仕方・鑑賞の仕方等を修得してもらいます。本来、文学作品の楽しみ方は個々の読者に委ねられていて、読者は作品を自由に解釈することができます。しかし、作品解釈の技法と呼ぶべきものがあり、これを知っていることによって、個々人の解釈も、より豊かなものとなり得るし、また文学作品を、よりよく楽しむことができます。この授業の最終的な目的は、作品解釈の技法を学ぶことによって、より豊かな教養を身につけるための有力な手段の一つを履修者が修得することにあります。さらに「解釈する」とは「論理的に考える」ことに他なりません。私は宮澤賢治の童話作品を解釈するこの授業において、履修者にできるだけ「論理的に考えさせる」こと、さらには考える過程で「自分自身の内面を見つめなおさせる」ことを、意図しています。この授業は「論理的な思考力」「内省に至る思考力」を身につけるための訓練であり、「遊び」ではありません。</p>			
教育内容	<p><キーワード: 宮澤賢治/短編童話>この授業では、宮澤賢治の童話集『新編 銀河鉄道の夜』(新潮文庫)に収録されている短編童話を取り上げます(したがって、指定した教科書『新編 銀河鉄道の夜』は必ず購入し、授業時には毎回持ってくる)。全部で9編の童話を取り上げる予定ですが、それらの作品をできるだけ細かく分析し解釈してみようと思います。単に私が自分の解釈を説明するだけでなく、受講者である君たち自身の解釈もできるだけ披露してもらい、そうした双方向的な授業によって多様な解釈を生み出していきたいと思ひます。</p>			
教育方法	<p><対面授業を行います> * この授業は毎回教室で行う対面授業(講義型授業)です。しかし、履修者は、以下で説明する授業課題(予習課題)を提出するために、Moodleのこの授業のコースに必ず登録しなければなりません。 * 毎週木曜日の授業の終わりに、次回授業のための授業課題を出します。さらに、その日の午後、この授業のMoodleコース内にその日提出された授業課題の回答受付窓口を開設します。各自、授業課題の回答を4日後の月曜日の17:00までにMoodleに直接書き込むやり方で、提出しなさい。これが毎回の授業を受講するための予習となります。最初の授業課題は、第2回授業の終わりに出題する第3回授業のための授業課題となります。(第1回目の授業の終わりには授業課題は出題されません。) 【フィードバックの方法】 * 各履修者の授業課題の回答に対して、簡単なコメントを付けます。また、授業課題の模範回答例を授業内で提示します。さらに、履修者の回答例を、書いた人の氏名等を伏せた上で、授業内でいくつか紹介し、どこが良いか、どこが良くないのか、何に注意しなければならないのか、どこをどう直せばよいのか、等々を説明します。</p>			
準備学習(予習・復習)	<p>【講義時間外に必要な学習の時間: 60時間】 予習: その回の授業で取り上げる作品をあらかじめ必ず読んで、授業課題に期限を守ってMoodle上で回答する。(毎回、2時間程度) 復習: 授業内での解釈と自分自身の解釈の違いを確認し、自分の解釈の妥当性を検証する。授業の内容に関して、別の意見や疑問があれば、Moodle上の質問フォーラム等で質問する。(毎回、2時間程度)</p>			
回	担当者	項目	授業内容	
1	野村 【対面】	ガイダンス1 この授業のやり方/成績評価の方法/宮澤賢治とはどのような作家であるのか	この授業について詳しく説明します。履修希望者は必ず第1回目の授業に参加すること。	
2	〃	ガイダンス2 物語の構造/作品解釈とは何か/シミリとメタファーとは何か	物語とはどのようなものなのか、作品を解釈するとはどのようなことなのか、を説明します。	
3	〃	「よだかの星」	「よだかの星」の作品分析と解釈を行う。	
4	〃	「カイロ団長」	「カイロ団長」の作品分析と解釈を行う。	
5	〃	「黄いろのトマト」	「黄いろのトマト」の作品分析と解釈を行う。	
6	〃	「ひのきとひなげし」	「ひのきとひなげし」の作品分析と解釈を行う。	
7	〃	「シグナルとシグナレス」	「シグナルとシグナレス」の作品分析と解釈を行う。	
8	〃	「マリヴロンと少女」	「マリヴロンと少女」の作品分析と解釈を行う。	
9	〃	「猫の事務所」	「猫の事務所」の作品分析と解釈を行う。	
10	〃	「セロ弾きのゴーシュ」	「セロ弾きのゴーシュ」の作品分析と解釈を行う。	
11	〃	「銀河鉄道の夜」(1)	「銀河鉄道の夜」の作品分析と解釈を行う。	
12	〃	「銀河鉄道の夜」(2)	引き続き「銀河鉄道の夜」の作品分析を行う。	
13	〃	「銀河鉄道の夜」(3)	引き続き「銀河鉄道の夜」の作品分析を行う。	
14	〃	「銀河鉄道の夜」(4)	引き続き「銀河鉄道の夜」の作品分析と解釈を行う。	
15	〃	個別指導	個々の履修者の質問等に答える。	
到達目標	<p>* 宮澤賢治の童話作品がどのような特徴を持つ作品であるのかを説明できる。 * この授業で学んだことを応用して、文学作品を自分なりに解釈することができる。 * 文学作品を読み、解釈することを通して、自分自身の教養を深め、自分自身の内面を見つめなおすることができる。</p>			
成績評価の方法と基準	<p>試験方法: 筆記試験 実施時期: 試験期間内 平常点と期末試験をもとにして、成績評価を行います(平常点: 50%、期末試験: 50%)。 平常点とは、毎回事前に出題する授業課題に対する回答提出状況に基づく点数です。授業課題の回答に対しては、基本的に、評価(点数付け)はしません。きちんと提出したかどうか、を問題とします。ただし、課題にきちんと答えていない場合は本提出扱いとします。また、どのような理由があろうとも、提出期限後の後出しは決して認めません。授業課題の回答は、オンラインで提出するので、たとえ新型コロナウイルスに感染した場合でも、配慮はしません。 期末試験は、この授業の到達目標である「この授業で学んだことを応用して、文学作品を自分なりに解釈することができる」が、どの程度達成されているかを確かめるための試験です。試験答案に対する基本的な評価基準は、①誤字脱字や文法の誤りのない、きちんとした日本語で、丁寧に書かれているかどうか②自分自身の考えが他者にも分かるように論理的に書かれているかどうか、です。欠席について: 第3回授業から第14回授業までの12回分の授業において、4回以上欠席した場合は、不可とします。第1回第2回授業は試期間として、不可となる要件には含めません。また、新型コロナウイルス等の感染症のために欠席した場合は、事務室からの連絡に基づいて、出席扱いとします。</p>			
学生へのメッセージ(その他注意等)	<p>教科書(テキスト)について。この授業では、宮澤賢治『新編 銀河鉄道の夜』(新潮文庫版)を教科書(テキスト)として使用し、この本に収録されている作品の分析と解釈を行います。ですので、教科書(テキスト)がないと受講できません。宮澤賢治『新編 銀河鉄道の夜』(新潮文庫版)は、特殊な本ではなく、教科書販売所でもなく、市中の一般書店で普通に販売されている本です。履修を決めた場合には、できるだけ早く教科書(テキスト)を手に入れなさい。</p>			
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価(円)
教科書	『新編 銀河鉄道の夜』	宮澤賢治	新潮文庫	
参考書	参考図書については、授業時に説明します。			

授業期間	2023年度 前期	授業対象	指定なし 火1 or 火2		
科目名	信仰と救いA (世界のいろいろな宗教について知る) (Religious Studies A)				
科目責任者	下田 和宣	単位数	2単位		
担当者	下田 和宣				
授業の目的	科学の時代だとされる今日の世界においてなお、宗教は無視できない影響力を持ち続けています。国際政治の場において大きなニュースとなることも多いですが、わたしたちの身の回りにおいても宗教の姿を目にするのは少なくありません。この授業では、様々な宗教の成り立ちと展開を確認することで、現代に生きるわたしたちにとって宗教とは何かという問題に取り組みます。				
教育内容	宗教は定義があいまいで考えることの難しい言葉のひとつです。前期ではまず、宗教とは何か、という問題に踏みこむ前に、宗教的とされる世界のさまざまな文化現象を取り上げたいと思います。わたしたち(相模原キャンパス)付近に見られる日本の宗教文化スポットを出発点に、中国、インド、中近東、エジプトといった古代の諸文明の信仰から、ユダヤ教、キリスト教、イスラームといった代表的な一神教へと考察を進めます。ところどころで日本におけるそれぞれの宗教の展開を確認します。				
教育方法	Moodle (以下のリンクを参照) を使い、動画と課題を配信するかたちで講義を行います。動画閲覧と課題提出をもって出席とします。質問は随時受け付けます(課題に記入欄を用意)。 【フィードバックの方法】 講師は課題を添削・採点し、みなさんからの質問に答えるかたちでフィードバックを行います。				
準備学習(予習・復習)	【講義時間外に必要な学習の時間: 60 時間】 予習: 前回の授業で提示された参考文献・資料などに事前に目を通す(2 時間ほど) 復習: 授業で紹介する映画・書籍などに触れる(2 時間ほど)				
回	担当者	項目	授業内容		
1	下田 【オンライン】	ガイダンス	授業の進め方について説明。なぜ宗教について学ぶのか、という疑問について考えます。		
2	〃	相模原キャンパス周辺の宗教施設をめぐる	横浜や鎌倉といった近辺にある宗教文化にスポットをあて、日本特有の宗教のあり方を実際に目に見てみましょう。		
3	〃	日本の宗教	山岳信仰や自然崇拜といった古来の信仰に目を向けながら、神道や神仏習合といった日本の宗教現象について確認します。		
4	〃	中国の宗教	儒教や道教を中心に、日本の文化形成にも大きな影響を与えた古代中国の考え方を確認します。		
5	〃	インドの宗教	ヴェーダやパニシャッド哲学などの古代インドの宗教思想から、現代インドのヒンドゥー教についてまとめます。		
6	〃	仏教の発生と展開	釈迦の生涯と教えと確認し、大乘仏教への展開を追跡します。		
7	〃	日本の仏教	日本への仏教伝来の経緯、およびオリジナル性の高い平安・鎌倉時代の仏教を取り扱います。		
8	〃	中東・地中海の多神教	古代バビロニア、エジプト、ギリシアといった古代文明においてみられる多神教世界について確認します。		
9	〃	ゾロアスター教	善悪二元論を中心に、ゾロアスター教の特徴と歴史的な意義を捉えましょう。		
10	〃	ユダヤ教	ユダヤ民族に固有の歴史的経験を踏まえながら、旧約聖書を紐解き、この「苦難と試練の宗教」について考えます。		
11	〃	キリスト教の発生	キリスト教発生の時代背景を確認し、イエス・キリストとはどのような人物なのかを知りましょう。		
12	〃	キリスト教の展開	キリスト教の歴史的な分派・展開を整理し、日本への伝道と弾圧の経緯を見ます。		
13	〃	イスラーム	ムハンマドの生涯と教え、およびイスラームの聖典クルアーンについて確認します。		
14	〃	現代社会と宗教	政教分離、テロリズム、無宗教の自覚をキーワードに、現代社会における宗教の位置づけを考えます。		
15	〃	フィードバック	受講者のみなさんからの質問に答えます。		
到達目標	宗教学の基本姿勢を身につけることで、宗教の本質と現象を学問的に把握することができる 世界の諸々の宗教に関する基礎的な知識を得ることで、柔軟な考え方を身に付ける 他者と自己の文化について知見を深め、現代社会の問題を的確に考察することができる				
成績評価の方法と基準	試験方法: レポート 実施時期: 試験期間外 毎回の課題提出(授業を自分の言葉でまとめる・講師の用意した問いに答える)により、授業内容がきちんと理解されているか、主体的に考察がなされているかを判定します。課題提出には1週間の期限を設けます。学期末にはそれまでの授業の総復習となるようなレポート課題を提示します。最終的に毎回の課題提出(ガイダンスとフィードバックを除く計13回×5点)+期末レポート(35点)で成績を付けます。積極的な質問など、参加態度も成績に加味します。				
学生へのメッセージ(その他注意等)	宗教学は人間についての学問です。信仰や儀礼の多様性を理解することは難しいかもしれませんが、しかし人々がそれらの背後で何を求めてきたのか、何を今も求めているのか考えることは、他者を(あるいは自分自身を)理解し受け入れることの第一歩となるでしょう。				
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価(円)	
参考書	エッセンシャル版 図解世界5大宗教全史	中村圭志	ディスカヴァー・トゥエンティワン	¥1,320	
参考書	100のインフォグラフィックで世界を知る(世にも美しい教義講義) 超図解・宗教	マチュー・グランプレ他	ディスカヴァー・トゥエンティワン	¥2,200	
参考書	こども世界の宗教 世界の宗教と人々のくらしがわかる本	島瀬進監修	カンゼン	¥1,430	

授業期間	2023年度 後期		授業対象	指定なし 火1 or 火2	
科目名	信仰と救いB (宗教の問題について深く考える) (Religious Studies B)				
科目責任者	下田 和宣			単位数	2単位
担当者	下田 和宣				
授業の目的	日本人は無宗教だと言われたり、自身でもそのような考えている人が多いようです。けれどもよくよく目を凝らしてこの社会を見てみると、宗教が意外なところで重要な役割を果たしていたり、通常は宗教と無関係だと思われている事柄にも宗教的な背景や要素が潜んでいたりに気づくでしょう。とはいえそもそも「宗教」とは何でしょうか？この授業では「宗教」についての基礎と立ち返り、それをとりまきさまざまな事情を解きほぐすことで、現代日本社会に生きるわたしたちを「宗教」という視点から多角的に理解することを試みます。				
教育内容	後期授業では教科書に沿いながら、宗教をめぐる諸問題についてひとつひとつ考察していきます。たとえば倫理道徳、神話、儀礼などとの関係、あるいは政治や科学との対立や融和といった観点から、「宗教」という事柄そのものに対する体系的な理解を目指します。				
教育方法	Moodle (以下のリンクを参照) を使い、動画と課題を配信するかたちで講義を行います。動画閲覧と課題提出をもって出席とします。質問は随時受け付けます (課題に記入欄を用意)。 【フィードバックの方法】 講師は課題を添削・採点し、みなさんからの質問に答えるかたちでフィードバックを行います。				
準備学習 (予習・復習)	【講義時間外に必要な学習の時間：60時間】 予習：前回授業の最後に提示する参考文献・資料などに事前に目を通す (2時間ほど) 復習：授業で紹介する映画・書籍などに触れる (2時間ほど)				
回	担当者	項目	授業内容		
1	下田 【オンライン】	ガイダンス 第1章 生と死の意味	日本人は無宗教なんでしょうか？ 文化と宗教の関係を整理して講義への準備を行います。		
2	〃	第2章 悪の問題	倫理道徳と重なる問題として、「悪」が持つ宗教的な意味合いについて考えます。キーワード：愛/執着、被る悪/犯す悪、赦し/正義		
3	〃	第3章 宗教と倫理	倫理と宗教はどのような関係にあるのでしょうか。キーワード：エートス、死生観、人権論、理神論、人間の苦悩、宗教哲学		
4	〃	第4章 宗教と各種データ	宗教について意味のあるかたちで考えるための調査法を紹介します。キーワード：量的調査、質的調査、宗教概念批判、世俗、無宗教		
5	〃	第5章 宗教と呪術	キリスト教や仏教など現代に見られる宗教の起源として「呪術」が考えられます。それがわたしたちの生活の意外なところにも見られる、という話をします。キーワード：異端、未開、文化、感情、マナ		
6	〃	第6章 祈りと宗教体験	宗教の核心的な要素である信仰、祈りなど、個人々の体験に関わる問題を扱います。キーワード：祈り、宗教体験		
7	〃	第7章 神話の問題	神話は映画や小説などの物語原型として身近なものが多いですが、どこにその魅力があるのでしょうか。キーワード：歴史と神話、スケープゴート、神話の英雄、『スター・ウォーズ』		
8	〃	第8章 儀礼と祭り	祭りなどはわたしたちにとっても身近な行事ですが、宗教という視点から見た場合それはどのようなものだと考えるのでしょうか。キーワード：儀礼、通過儀礼、祭り、聖と俗		
9	〃	第9章 宗教と世俗	近代以降、宗教は世俗的社会の領域と切り分けて考えられてきましたが、いまではその切り分けの是非が問題となっています。キーワード：世俗化、世俗主義、ポスト世俗、脱魔術化		
10	〃	第10章 宗教とツーリズム	『聖地巡礼』という言葉は最近よく耳にしますが、もともとこのころ宗教に本質的な要素のひとつです。キーワード：宗教的個人主義、スピリチュアル文化、サンディアゴ巡礼、パワースポット		
11	〃	第11章 宗教とスピリチュアリティ	伝統的な教団宗教ではなく、個人で宗教的なものを追究する・楽しむという現代の傾向について考えます。キーワード：意識の変容、癒し、マーケット、エコロジー、ニューエイジ		
12	〃	第12章 宗教とジェンダー	ジェンダーに対して伝統的な宗教は対立的・否定的な態度を取ってきましたが、社会的な価値観と宗教との関係について考えます。キーワード：家父長制、ケア、関係性、親密圏/公共圏、アイデンティティ		
13	〃	第13章 宗教と政治	政府が特定の宗派に肩入れしないという政教分離の原則について考えます。キーワード：世俗主義、政教分離、ライシテ、ポスト世俗		
14	〃	第14章 宗教と科学、まとめ	科学は宗教の真理に対してどこまで迫れるのでしょうか。キーワード：科学史、進化論、科学と宗教の対話、生命倫理、トランスヒューマニズム		
15	〃	フィードバック	受講者のみなさんからの質問に答えます。		
到達目標	宗教学の基本姿勢を身につけることで、宗教の本質と現象を学問的に説明できる 宗教の本質や機能に関する基礎的な知識を体系的に得ることで、現代社会の問題を立体的に考察できる				
成績評価の方法と基準	試験方法：レポート 実施時期：試験期間外 毎回の課題提出 (授業で自分の言葉でまとめる・講師の用意した問いに答える) により、授業内容がきちんと理解されているか、主体的に考察がなされているかを判定します。課題提出には1週間の期限を設けます。学期末にはそれまでの授業の総復習となるようなレポート課題を提示します。最終的に毎回の課題提出 (ガイダンスとフィードバックを除く計13回×5点) + 期末レポート (35点) で成績を付けます。積極的な質問など、参加態度も成績に加味します。				
学生へのメッセージ (その他注意等)	日々の生活に目を凝らせば、様々な場面で宗教的な現象が見つけられるはず。その不思議についてじっくり考えてみるなら、現代日本の社会において生きるわたしたち自身について深く理解するためのヒントが得られるでしょう。				
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価 (円)	
教科書	3STEP 宗教学	伊原木大祐・竹内綱文・古荘匡義編	昭和堂	¥2,530	
参考書	みんなの宗教2世間題	横道誠他	晶文社	¥1,980	
参考書	日本人はなぜ無宗教なのか	阿満利磨	ちくま新書	¥858	
参考書	文庫 説得 エホバの証人と輸血拒否事件	大泉実成	草思社文庫	¥2,016	

人間形成の基礎科目

社会の領域

人間形成の基礎科目「社会の領域」は、一般教育部が提供する1群科目において中核を成す科目群の1つです。1群科目は、大きく分けると、教養教育科目と基礎教育科目に分けることができます。基礎教育科目（英語、数理・情報、自然科学系各科目等）は、2年次以降に配当されている2群・3群科目（各専門分野に関わる科目）を履修する上での基礎的な知識を身につけてもらうための科目群ですが、教養教育科目（人間形成の基礎科目、総合領域科目、教養演習系科目等）は、一言で言えば社会人としての教養を身につけてもらうための科目群です。北里大学の学生である皆さんの多くは、4年または6年間の在学期間中にそれぞれの分野の専門的な知識と技術を身につけ、卒業後は各分野の専門職に就くことを目指していると思います。しかし、有能な専門職業人であるためには、単に専門的な知識・技術を身につけているだけでは、十分とは言えません。専門的な知識・技術だけでなく、社会人としての教養を身につけている必要があります。教養のある専門職業人であればこそ、他者に重んじられ、他者の信頼を得ることができ、専門職業人としての自らの職務をよりよく果たすことができるでしょう。豊かな教養は各人の人間的な魅力をより高め、社会生活・職業生活を円滑に送るための手助けをしてくれるのです。さらにまた、豊かな教養はこの先の長い人生を送っていく上での重要な拠り所の1つともなるでしょう。そのような教養をしっかりと身につけるつもりで、皆さんには人間形成の基礎科目「社会の領域」を履修してもらいたいと思います。

「社会の領域」に含まれる科目には、日本国憲法・法律の役割・経済のしくみ・個人と社会・政治のしくみ・文化人類学・日本と国際社会・環境を考える・歴史と人間・心理学があります。これらの科目群は、人間の社会生活に関わる学問（法学・経済学・社会学・政治学・文化人類学・国際関係論・環境論・歴史学・心理学）を基盤としています。こうした科目群を履修することによって、まずは人間社会における様々なしくみやルールを学び、卒業後には社会人としての自覚をしっかりと持てるようになってもらいたいと思います。その上でさらに、自分自身の頭で物事を考えることを学び、責任をもって判断を下し、自分自身の判断によって適切な行動が取れるような、他者から信頼される教養のある人間になってもらいたいと思います。

2023年度社会の領域 開講情報・受入人数

前期

科目名	担当者	授業形態	開講曜日・時限	受入人数
日本国憲法A	猪瀬 貴道	オンライン	火1・2	200
日本国憲法A	永山 茂樹	対面	金1・2	142
法律の役割A	猪瀬 貴道	オンライン	木1・2	200
経済のしくみA	赤澤 とし子	対面	水1・2	64
			木1・2	142
個人と社会A	前田 崇	オンライン	月1・2/金1・2	200
政治のしくみA	杉山 亮	対面	金1・2	50
文化人類学A	宮下 克也	対面	水1・2	93
日本と国際社会A	藤巻 裕之	対面	金1・2	142
環境を考えるA	鈴木 孝弘	対面	月1・2	224
歴史と人間A	畠山 禎	対面	火4	96
			金3・4	142
心理学A/心理学A (心理学概論)	猪原 敬介	オンライン	水1・2/木1・2	200
心理学A/心理学A (心理学概論)	中山 友則	対面	火1・2	93
			水1・2	142

後期 ※2023年度は個人と社会Bは開講しません。

科目名	担当者	授業形態	開講曜日・時限	受入人数
日本国憲法B	猪瀬 貴道	オンライン	火1・2	200
日本国憲法B	永山 茂樹	対面	木1・2	93
法律の役割B	猪瀬 貴道	オンライン	木1・2	200
経済のしくみB	赤澤 とし子	対面	水1・2	64
			木1・2	142
政治のしくみB	小林 悠太	オンライン	木1・2	200
文化人類学B	宮下 克也	対面	水1・2	93
日本と国際社会B	藤巻 裕之	対面	金1・2	142
環境を考えるB	鈴木 孝弘	対面	月1・2	224
歴史と人間B	畠山 禎	対面	火4	96
			金1・4	142
心理学B/心理学B (知覚・認知心理学)	猪原 敬介	オンライン	水1・2/木1・2	200
心理学B	中山 友則	対面	火1・2	93
心理学B	梶井 直親	対面	水4・5	142

授業期間	2023 年度 前期		授業対象	指定なし 火 1 or 火 2
科目名	日本国憲法 A (The Constitution of Japan A)			
科目責任者	猪瀬 貴道	単位数	2 単位	
担当者	猪瀬 貴道			
授業の目的	日本国憲法における人権保障について基礎知識を修得するとともに、社会のさまざまな問題を人権の観点から考える。			
教育内容	<p>国家の基本法である「憲法」について学ぶ。「日本国憲法 A」では、日本の現行憲法である日本国憲法の「人権」に関する規定を中心に取り上げる。日本国憲法の条文に沿って人権保障について基礎知識を修得するとともに、関連する重要事例を素材に憲法において人権が保障される意義を考える。具体的には下記の授業計画に沿って進めるが、進捗状況によって多少の調整を行う。</p>			
教育方法	<p>本科目は、インターネットを用いた学習管理システム（LMS（Moodle/Google Classroom））を用いた授業を行う。LMS へのリンクは北里大学一般教育部 Web シラバス（最下部）に記載する。最新のブラウザが利用可能なパソコン（タブレット等を含む）および通信容量無制限（または大容量）のインターネット回線を準備することが望ましい。 【オンデマンド学修（自己学習）】 まず、授業日（火曜）から次の授業日までの間に LMS 上の学修指示（各回の教科書のページの読み方のポイントなど）にしたがって、教科書を用いた自己学習として調べた用語やポイントを整理した授業ノートを作成する。つぎに LMS 上の教科書の内容の理解度チェック（小テスト）を指定された日時までに解答する。 【教員による解説（フィードバックを含む）】 授業時間帯に、教科書に基づいたスライドによる音声解説の公開録音を行う（一部の授業回はオンデマンド動画ファイルのみ）。授業時間帯のオンタイムでの参加が可能であるほか、LMS 上に音声解説の動画ファイルをアップロードするので完全オンデマンド学修も可能である。疑問を持った点や関心を持った点について LMS 上のコメントペーパーに力入る。 【フィードバックの方法】 上記の教員による解説時などに学生からのコメントペーパーや課題について履修者全体に対してフィードバックする。</p>			
準備学習（予習・復習）	<p>【授業時間外に必要な学習の時間：60 時間（授業期間全体）】 ※各授業回あたり予習・復習合わせて約 4 時間の自己学習を想定しているが、レポート作成または試験前復習等も含めて自由に配分して良い。また、以下の内容は参考例として記載するが履修者が自分で考えて下記の「到達目標」の達成に必要なと思われる内容で自由に実施する。 予習：日本国憲法の関連条文や教科書の該当ページに目を通しておき、わからない部分を把握しておく 復習：教科書や LMS に示された資料などを読み直して授業ノートを補足して整理する</p>			
回	担当者	項目	授業内容	
1	猪瀬「遠隔」	科目説明と導入	科目の位置づけ、授業の進め方（LMS の利用方法を含む）、成績評価の方法などの詳細、この科目で学ぶ内容の概要を説明する。2 回目の授業回まででこの科目の LMS を必ず確認すること。	
2	〃	日本国憲法の成立	日本国憲法の制定過程、受容と定着、大日本帝国憲法との比較	
3	〃	基本的人権とは何か	人権宣言の理念と歴史、人権保障の国際化、憲法上の権利の分類、人権の主体	
4	〃	包括的基本権	幸福追求権、新しい人権、自己決定権など（日本国憲法第 13 条）※以下（第〇条）は日本国憲法の条文番号を示す	
5	〃	法の下の平等	平等権と平等原則（第 10 条・第 14 条）	
6	〃	精神的自由（1）	思想・良心の自由、信教の自由、政教分離原則（第 19 条・第 20 条）	
7	〃	精神的自由（2）	表現の自由、報道の自由、知る権利（第 21 条）	
8	〃	精神的自由（3）	表現の自由の限界、集会の自由、学問の自由（第 21 条・第 23 条）	
9	〃	人身の自由	奴隷的拘束からの自由、刑事手続（第 18 条・第 31 条～第 39 条）	
10	〃	経済的自由	経済的自由の内容、経済的自由に対する規制、財産権の保障（第 22 条・第 29 条）	
11	〃	社会権的基本権（1）	社会権の基本的考え方、生存権、教育を受ける権利（第 25 条～第 26 条）	
12	〃	社会権的基本権（2）	労働基本権（第 27 条～第 28 条）	
13	〃	国務請求権と参政権	国家賠償請求権、刑事補償請求権、参政権、請願権（第 17 条・第 40 条・第 32 条・第 15 条・第 16 条）	
14	〃	人権の実現と統治のしくみ	日本国憲法による人権保障の全体像、人権と憲法上の権利、平等と自由の関係、統治のしくみの概要	
15	〃	まとめ	まとめ	
到達目標	日本国憲法における人権保障について基本的知識を修得する。さまざまな人権の意味や内容について理解する。それらの基本的知識に基づいて憲法による人権保障の意義や課題について考えて、歴史や先例などを正確に踏まえたうえで、論理的・説得的な文章によって説明できる。			
成績評価の方法と基準	<p>試験方法：その他 実施時期： LMS 上で実施する各授業回の理解度チェック（30%）および学期末テスト（70%）により評価する。学期末テストについては、憲法による人権保障の意義と課題についてこの科目（授業および自己学修）を通して得られた内容に基づく問題、および/または、日本国憲法の人権規定について、条文を一つ選び、その内容や意義、関連する裁判事例とその判決内容についての問題を出題する。以上を基本的な評価方法とした上で、LMS 上の各授業回コメントペーパーによる加点をとする。</p>			
学生へのメッセージ（その他注意等）	憲法改正の議論が報道などで取り上げられることも増えています。憲法について知識をもう一度整理して自分の考えを持てるようになってください。授業をきっかけにして教員から教えるももちろんだけでなく自ら積極的に学んでいきましょう。関連科目として後期に開講する「日本国憲法 B」のほか、「法律の役割 A・B」「政治のしくみ A・B」「経済のしくみ A・B」などがあります。			
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価（円）
教科書	『論点 日本国憲法—憲法を学ぶための基礎知識』（第 2 版）	安念潤司・小山剛・青井未帆・穴戸常寿・山本龍彦	東京法令出版	¥2,860
参考書	『憲法への招待』（新版）	渋谷秀樹	岩波新書（岩波書店）	¥924
参考書	高校教科書の「政治経済」「現代社会」も参考書として活用できる。その他の参考書については授業や LMS で紹介する。			

授業期間	2023 年度 後期		授業対象	指定なし 火 1 or 火 2		
科目名	日本国憲法 B (The Constitution of Japan B)					
科目責任者	猪瀬 貴道			単位数	2 単位	
担当者	猪瀬 貴道					
授業の目的	日本国憲法の「統治」に関する規定の基礎知識を修得するとともに国家の統治に関する基本原則を理解する。					
教育内容	日本国憲法を中心に国家の基本法である「憲法」について学ぶ。「日本国憲法 B」では、日本国憲法のうち国の「統治」に関する規定を中心に取り上げる。「立憲主義」「三権分立」「法の支配」など憲法における国家の統治に関する基本原則について日本国憲法の条文を参照しながら理解するとともに、具体的な問題を素材にして、憲法において国のあり方が規定されていることの意義を考える。具体的には下記の授業計画に沿って進めるが、進捗状況によって多少の調整を行う。					
教育方法	<p>本科目は、インターネットを用いた学習管理システム（LMS (Moodle/Google Classroom)）を用いた授業を行う。LMS へのリンクは北里大学一般教育部 Web シラバス（最下部）に記載する。最新のブラウザが利用できるパソコン（タブレット等を含む）および通信容量無制限（または大容量）のインターネット回線を準備することが望ましい。</p> <p>【オンデマンド学修（自己学習）】</p> <p>まず、授業日（火曜）から次の授業日までの間に LMS 上の学修指示（各回の教科書のページの読み方のポイントなど）にしたがって、教科書を用いた自己学習として調べた用語やポイントを整理した授業ノートを作成する。つぎに LMS 上の教科書の内容の理解度チェック（小テスト）に指定された日時までに回答する。</p> <p>【教員による解説（フィードバックを含む）】</p> <p>授業時間帯に、教科書に基づいたスライドによる音声解説の公開録音を行う（一部の授業回はオンデマンド動画ファイルのみ）。授業時間帯のオンタイムでの参加が可能であるほか、LMS 上に音声解説の動画ファイルをアップロードするので完全オンデマンド学修も可能である。疑問を持った点や関心を持った点について LMS 上のコメントペーパーに力入る。</p> <p>【フィードバックの方法】</p> <p>上記の教員による解説時などに学生からのコメントペーパーや課題について履修者全体に対してフィードバックする。</p>					
準備学習（予習・復習）	<p>【授業時間外に必要な学習の時間：60 時間（授業期間全体）】</p> <p>※各授業回あたり予習・復習合わせて約 4 時間の自己学習を想定しているが、レポート作成または試験前復習等も含めて自由に配分して良い。また、以下の内容は参考例として記載するが履修者が自分で考えて下記の「到達目標」の達成に必要なと思われる内容で自由に実施する。</p> <p>予習：日本国憲法の関連条文や教科書の該当ページに目を通しておき、わからない部分を把握しておく</p> <p>復習：教科書や LMS に示された資料などを読み直して授業ノートを補正して整理する</p>					
回	担当者	項目	授業内容			
1	猪瀬【遠隔】	科目説明と導入	科目の位置づけ、授業の進め方（LMS の利用方法を含む）、成績評価の方法などの詳細、この科目で学ぶ内容の概要を説明する。2 回目の授業回までにこの科目の LMS を必ず確認すること。			
2	〃	日本国憲法の成立	日本国憲法の制定過程、受容と定着、大日本帝国憲法との比較			
3	〃	国民主権と象徴天皇制	国民主権、代表民主制、天皇の地位および役割（日本国憲法前文、第 1 条～第 8 条）※以下（第〇条）は日本国憲法の条文番号			
4	〃	平和主義	平和主義の考え方、戦争放棄と戦力不保持（前文、第 9 条）			
5	〃	基本的人権の保障	人権宣言の理念と歴史、人権保障の国際化、憲法上の権利の分類、人権の主体			
6	〃	立法権（国会）(1)	立法権を担う国会の機能や役割、二院制の意義（第 41 条～第 64 条）			
7	〃	立法権（国会）(2)	立法権を担う国会の機能や役割、二院制の意義（第 41 条～第 64 条）			
8	〃	行政権（内閣）(1)	行政権を担う内閣の機能や役割、議院内閣制（第 65 条～第 75 条）			
9	〃	行政権（内閣）(2)	行政権を担う内閣の機能や役割、議院内閣制（第 65 条～第 75 条）			
10	〃	司法権（裁判所）(1)	司法権を担う裁判所の機能や役割（第 76 条～第 82 条）			
11	〃	司法権（裁判所）(2)	司法権を担う裁判所の機能や役割（第 76 条～第 82 条）			
12	〃	財政/地方自治	財政、地方自治（第 83 条～第 95 条）			
13	〃	最高法規性と憲法改正	日本国憲法の最高法規性と改正手続、違憲審査制（第 96 条～第 99 条）			
14	〃	憲法による統治	国民の自由・権利の保障、民主主義、権力分立（三権分立）、立憲主義			
15	〃	まとめ	まとめ			
到達目標	憲法に基づく統治のしくみの基本的知識を修得する。それらの基本的知識に基づいて、日本国憲法における統治のしくみの意義や課題について考えて、歴史や先例などを正確に踏まえたうえで、論理的・説得的な文章によって説明できる。					
成績評価の方法と基準	<p>試験方法：その他 実施時期：</p> <p>LMS 上で実施する各授業回の理解度チェック（小テスト）(30%) および学期末テスト (70%) により評価する。学期末テストについては、憲法による統治の意義と課題についてのこの科目（授業および自己学修）を通して得られた内容に基づく問題、および/または、日本国憲法の統治規定について、課題となっているテーマの一つを選び、その内容や意義、解決案についての問題を出題する。以上を基本的な評価方法とした上で、LMS 上の各授業回コメントペーパーによる加点をする。</p>					
学生へのメッセージ（その他注意等）	憲法改正の議論が報道などで取り上げられることも増えています。憲法について知識をもう一度整理して自分の考えを持てるようになりましょう。授業をきっかけにして教員から教えてもらうだけでなく自ら積極的に学んでいきましょう。関連科目として前期に開講する「日本国憲法 A」のほか、「法律の役割 A・B」「政治のしくみ A・B」などがあります。					
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価 (円)		
教科書	『論点 日本国憲法—憲法を学ぶための基礎知識』（第 2 版）	安念潤司・小山剛・青井未帆・穴戸常寿・山本龍彦	東京法令出版	¥2,860		
参考書	『憲法への招待』（新版）	渋谷秀樹	岩波新書（岩波書店）	¥924		
参考書	高校教科書の『政治経済』『現代社会』も参考書として活用できる。その他の参考書については授業や LMS で紹介する。					

授業期間	2023年度 後期	授業対象	指定なし 木1 or 木2		
科目名	日本国憲法B (The Constitution of Japan B)				
科目責任者	永山 茂樹	単位数	2単位		
担当者	永山 茂樹				
授業の目的	1、法の支配と権力分立の基礎を理解する 2、国民主権の基礎を理解する 3、地方自治の基礎を理解する 4、平和主義の基礎を理解する				
教育内容	法の支配、権力分立など憲法の統治機構にかかわる諸原理を学ぶことによって、人権保障のために、公権力をどう動かすべきか/動かすべきではないかを理解させる				
教育方法	対面式の講義で行う。資料は Moodle に掲載するので、それをダウンロード・印刷して講義に持参する。 【フィードバック】提出されたレポートについては全体的な講評を掲載する。				
準備学習 (予習・復習)	【講義時間外に必要な学習の時間：60時間】 予習：各回講義で指定する予習課題に取り組む 各回2時間 復習：講義で紹介した資料を材料にしながら、関心のある問題について考えてみる 各回2時間				
回	担当者	項目	授業内容		
1	永山 【対面】	立憲主義と権力分立	立憲主義という概念の意味/国家権力を疑うことの大切さ/権力分立の原理/権力分立の変容と課題		
2	〃	国民主権	国民主権の原理/わたしたちが政治の主人公であること/国民主権を具体化する制度/みせかけだけの国民主権には要注意		
3	〃	国民代表（1）	国民代表とはだれのことか/国民代表をどう動かせるか/国民代表の合格例と失格例/劇場政治 vs 熟慮と討議重視の議会制民主主義		
4	〃	国民代表（2）	国民代表の選び方/選挙制度の比較・特徴/ゆがんでしまった選挙制度をたどすこと		
5	〃	国会	国会の位置づけ/国会がもつ立法権の意味/権利を守る法律・権利を制限する法律/内閣を統制する権限		
6	〃	内閣	内閣が行使する行政権の意味/議院内閣制の意味/内閣が衆議院を解散すること/内閣総理大臣の独裁政治		
7	〃	裁判所（1）	裁判所がもつ司法権の意味/裁判という制度の特徴/「人の支配」と「法の支配」（選挙で勝つとなにをしても許される?）/民事裁判と刑事裁判		
8	〃	裁判所（2）	裁判所・裁判官の独立を保障することの意義/裁判官の身分を保障する/国民が司法に参加することの意義と危険性（「民意にあった処罰」でいいのか）		
9	〃	違憲審査制	違憲審査制度の概要/違憲判決の効力/人権保障としての違憲審査制/憲法秩序を保障する制度としての違憲審査制/日本におけるおこなった違憲判決/		
10	〃	地方自治	地方自治の歴史/団体自治と住民自治/自治体の条例制定権/地域からはじまる人権保障と民主主義		
11	〃	平和主義（1）	戦争違法化の歴史/差別的戦争観と無差別戦争観/国連憲章と日本国憲法9条の歴史的位置づけ		
12	〃	平和主義（2）	消極的平和と積極的平和/構造的暴力を取り除くことの重要性/核兵器廃絶と武器生産の制限/平和的生存権の保障/「平和のための権利」の実現にむけた運動		
13	〃	憲法改正	公務員が負う「憲法を尊重し擁護する義務」/憲法改正手続と国民投票/軟性憲法・硬性憲法/変えやすい憲法は良い憲法か/立憲主義の意義		
14	〃	日本国憲法史	日本国憲法の歴史（憲法原理の定着前～憲法の定着～定着後）/基本的人権と民主主義と平和を追求する運動としての憲法擁護/		
15	〃	まとめ	まとめ		
到達目標	統治機構に関する基礎を身につけ、主権者として政治に携わる能力が発揮できる				
成績評価の方法と基準	試験方法：レポート 実施時期：試験期間外 提出されたレポートの内容に基づいて成績を評価する。				
学生へのメッセージ (その他注意等)	憲法理念にもとづいた政治（憲法政治）がまっとうに行われなくては、人権保障はありえないとおもいます。21世紀、人権保障のために国の統治制度はどうあるべきか、考えましょう。				
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価 (円)	
参考書	国会を取り戻そう	石川裕一郎ほか	現代人文社	¥1,944	

授業期間	2023年度 前期		授業対象	指定なし 木1 or 木2	
科目名	法律の役割A (法学入門) (Jurisprudence A)				
科目責任者	猪瀬 貴道			単位数	2単位
担当者	猪瀬 貴道				
授業の目的	法(法学)全体の基本的な考え方や代表的な法分野の基礎知識を修得して、社会においてどのような法がどのような役割を果たしているのかを理解する。				
教育内容	授業期間の前半(～第7回)では、法(法学)全体の考え方の基礎となる概念、手続、体系と分類などの概要について学ぶ。後半(第8回～)では社会生活を送る中で関係する法律について基本構造や基本的考え方を取り上げる。それによって社会生活をおくるなかで遭遇するさまざまな場面においてどのような法がどのように機能しているのかを考える。具体的には下記の授業計画に沿って進めるが、進捗状況によって多少の調整を行う。				
教育方法	<p>本科目は、インターネットを用いた学習管理システム(LMS(Moodle/Google Classroom))を用いた授業を行う。LMSへのリンクは北里大学一般教育部Webシラバス(最下部)に記載する。最新のブラウザが利用可能なパソコン(タブレット等を含む)および通信容量無制限(または大容量)のインターネット回線を準備することが望ましい。</p> <p>【オンデマンド学修(自己学習)】</p> <p>まず、授業日(木曜)から次の授業日までの間にLMS上の学修指示(各回の授業回のページの読み方のポイントなど)にしたがって、教科書を用いた自己学習として調べた用語やポイントを整理した授業ノートを作成する。つぎにLMS上の教科書の内容の理解度チェック(小テスト)に指定された日時までに回答する。</p> <p>【教員による解説(フィードバックを含む)】</p> <p>授業時間帯に、教科書に基づいたスライドによる音声解説の公開録画を行う(一部の授業回はオンデマンド動画ファイルのみ)。授業時間帯のオンタイムでの参加が可能であるほか、LMS上に音声解説の動画ファイルをアップロードするので完全オンデマンド学修も可能である。疑問を持った点や関心を持った点についてLMS上のコメントペーパーに記入する。</p> <p>【フィードバックの方法】</p> <p>上記の教員による解説時などに学生からのコメントペーパーや課題について履修者全体に対してフィードバックする。</p>				
準備学習(予習・復習)	<p>【授業時間外に必要な学習の時間：60時間(授業期間全体)】</p> <p>※各授業回あたり予習・復習合わせて約4時間の自己学習を想定しているが、レポート作成または試験前復習等も含めて自由に配分して良い。また、以下の内容は参考例として記載するが履修者が自分で考えて下記の「到達目標」の達成に必要なと思われる内容で自由に実施する。</p> <p>予習：教科書の該当ページや関連する法令に目を通しておき、わからない部分を把握しておく</p> <p>復習：教科書やLMSに示された資料などを読み直して授業ノートを補足して整理する</p>				
回	担当者	項目	授業内容		
1	猪瀬 【遠隔】	科目説明と導入	科目の位置づけ、授業の進め方(LMSの利用方法を含む)、成績評価の方法などの詳細、この科目で学ぶ内容の概要を説明する。2回目の授業回まででこの科目のLMS)を必ず確認すること。		
2	〃	法と契約	『法』とは何か、『契約』とは何か(『ブレップ法と法学』(以下『ブレップ』)1～28ページ)		
3	〃	法と国家と法律	法の機能、法と国家の関係、法と法律(『ブレップ』30～59ページ)		
4	〃	法の本質と人間	法の妥当性、法の本質の思想、法における人間(『ブレップ』62～95ページ)		
5	〃	法の機能と私法の基本原則	公法・私法、所有権、契約自由、法的責任(『ブレップ』98～120ページ)		
6	〃	法の現代化と法文化	社会権、社会法、法継受、日本人の法意識(『ブレップ』122～153ページ)		
7	〃	法の分類	六法、法源、一般法と特別法(『ブレップ』156～185ページ)		
8	〃	大学生と法	大学生の法的立場、契約と消費者、学生生活(『大学生が知りたい生活の中の法律』(以下『生活の中の法律』)1～20ページ)		
9	〃	仕事と法	働くこと、就職活動、労働者の保護(『生活の中の法律』21～40ページ)		
10	〃	家族と法	婚姻(成立・解消)、子ども(『生活の中の法律』41～54ページ)		
11	〃	生活と法	税、社会保険、犯罪と刑罰、交通事故(『生活の中の法律』55～74ページ)		
12	〃	高齢社会と法	社会保障制度、相続(『生活の中の法律』75～88ページ)		
13	〃	将来社会と法	民主主義、憲法の理念、市民社会、国際平和(『生活の中の法律』89～102ページ)		
14	〃	法を学ぶ意義	全体の振り返りと法学の意義(『ブレップ』188～194ページ)		
15	〃	まとめ			
到達目標	法学の基本的な考え方や授業で取り上げた法的概念や法令について基本的知識を修得する。それらの基本的知識に基づいて、社会のなかで法律や法が果たしている役割やその意義や課題について考えて、歴史や先例などを正確に踏まえたうえで、論理的・説得的な文章によって説明できる。				
成績評価の方法と基準	<p>試験方法：その他 実施時期：</p> <p>LMS上で実施する各授業回の理解度チェック(30%)および学期末テスト(70%)により評価する。学期末テストについては、事例問題としてさまざまな法律に関わる状況について、法に基づく説明を求める問題、および、この科目(授業および自己学修)を通して得られた内容に基づき社会生活における「法律の役割」に関する問題を出題する。以上を基本的な評価方法とした上で、LMS上の各授業回コメントペーパーによる加点とする。</p>				
学生へのメッセージ(その他注意等)	法律については自分にはあまり関係ないと思っていませんが、2022年4月からは成年年齢も18歳に引き下げられ、法的に保護される立場から独立した立場になります。法律は専門家に任せる部分も大きいです。市民として社会生活を送るうえで法律の基礎知識を身につけることが求められます。授業をきっかけにして教員から教えてもらうだけではなく自ら積極的に学んでいきましょう。関連科目として後期に開講する「法律の役割B」のほか、「日本国憲法A+B」「政治のしくみA・B」などがあります。				
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価(円)	
教科書	『ブレップ法と法学』	倉沢康一郎	弘文堂	¥1,100	
教科書	『大学生が知りたい生活の中の法律』	細川幸一	慶應義塾大学出版会	¥1,980	
参考書	『法学六法'22』	池田真朗ほか(編集代表)	信山社	¥1,100	
参考書	その他の参考書については授業およびLMSで紹介する。				

授業期間	2023年度 後期				授業対象	指定なし 木1 or 木2		
科目名	法律の役割B (国際社会の法) (Jurisprudence B)							
科目責任者	猪瀬 貴道					単位数	2単位	
担当者	猪瀬 貴道							
授業の目的	法分野のひとつである国際法について基礎知識を修得して、現代社会のさまざまな課題について国際社会の構成員の一人として問題解決を考えられるようになる。							
教育内容	国際法の歴史、性質、主体、規律対象、紛争解決などの基礎知識を修得して、国際社会において機能しているルールである国際法について全体像を学ぶ。現行の国際法制度について学ぶとともに現在や将来の課題について法による問題解決を考える。具体的には下記の授業計画に沿って進めるが、進捗状況によって多少の調整を行う。							
教育方法	<p>本科目は、インターネットを用いた学習管理システム (LMS (Moodle/Google Classroom)) を用いた授業を行う。LMS へのリンクは北里大学一般教育部 Web シラバス (最下部) に記載する。最新のプラウザが利用可能なパソコン (タブレット等を含む) および通信容量無制限 (または大容量) のインターネット回線を準備することが望ましい。</p> <p>【オンデマンド学修 (自己学習)】</p> <p>まず、授業日 (木曜) から次の授業日までの間に LMS 上の学修指示 (各回の教科書のページ、読み方のヒントやポイントなどを示す) にしたがって、教科書を用いた自己学習として調べた用語やポイントを整理した授業ノートを作成する。つぎに LMS 上の教科書の内容の理解度チェック (小テスト) に指定された日時までに回答する。</p> <p>【教員による解説 (フィードバックを含む)】</p> <p>授業時間帯に、教科書に基づいたスライドによる音声解説の公開録音を行う (一部の授業回はオンデマンド動画ファイルのみ)。授業時間帯のオンタイムでの参加が可能であるほか、LMS 上に音声解説の動画ファイルをアップロードするので完全オンデマンド学修も可能である。疑問を持った点や関心を持った点について LMS 上のコメントページに入力する。</p> <p>【フィードバックの方法】</p> <p>上記の教員による解説時などに学生からのコメントページや課題について履修者全体に対してフィードバックする。</p>							
準備学習 (予習・復習)	<p>【授業時間外に必要な学習の時間：60 時間 (授業期間全体)】</p> <p>※各授業回あたり予習・復習合わせて約 4 時間の自己学習を想定しているが、レポート作成または試験前復習等も含めて自由に配分して良い。また、以下の内容は参考例として記載するが履修者が自分で考えて下記の「到達目標」の達成に必要なと思われる内容で自由に実施する。</p> <p>予習：教科書の該当ページや関連する条約に目を通しておき、わからない部分を把握しておく</p> <p>復習：教科書や LMS に示された資料などを読み直して授業ノートを補足して整理する</p>							
回	担当者	項目	授業内容					
1	猪瀬 【対面】	科目説明と導入	科目の位置づけ、授業の進め方 (LMS の利用方法を含む)、成績評価の方法などの詳細、この科目で学ぶ内容の概要を説明する。2 回目の授業回までにこの科目の LMS を必ず確認すること。					
2	〃	国際法の成立	近代国際法、ヨーロッパ国際法、普遍的国際法 (教科書 Chapter 1) ※以下 (Chapter 〇) は教科書の該当箇所					
3	〃	国際法総論と国家	国際法の法的拘束力、存立形式、効力、責任、国際社会の構成単位としての国家 (Chapter 2・3)					
4	〃	国家間関係	条約法、外交関係、領事関係 (Chapter 4)					
5	〃	領域	国家領域、特殊地域、宇宙 (Chapter 5)					
6	〃	海洋法	海洋法の歴史、海域の区分、海域の境界画定 (Chapter 6)					
7	〃	国際組織	国際組織の概要、国連、専門分野の国際組織、地域的国際組織 (Chapter 7)					
8	〃	個人	国籍、難民、人権 (Chapter 8)					
9	〃	国際犯罪	国際犯罪の概念、国による処罰、国際刑事裁判所、犯罪人引渡し (Chapter 9)					
10	〃	国際経済	GATT/WTO、貿易、知的財産権、地域統合 (Chapter 10)					
11	〃	環境問題	国際環境法、環境条約 (Chapter 11)					
12	〃	紛争の平和的解決	国際紛争解決手段、国際裁判、国際司法裁判所、国際海洋法裁判所 (Chapter 12)					
13	〃	安全保障	国際社会における戦争、武力不行使原則、集団安全保障、国連平和維持活動 (Chapter 13)					
14	〃	武力紛争	武力紛争法の概要、敵対行為の規律、中立法、軍縮法 (Chapter 14)					
15	〃	まとめ	まとめ					
到達目標	授業で取り上げた法的概念や条約などについて基本的知識を修得する。それらの基本的知識に基づいて現代社会のさまざまな課題について現行の国際法制度の適用や変更による問題解決を考えて、歴史や先例などを正確に踏まえたうえで、論理的・説得的な文章によって説明できる。							
成績評価の方法と基準	<p>試験方法：その他 実施時期： LMS 上で実施する各授業回の理解度チェック (30%) および学期末テスト (70%) により評価する。学期末テストについては、この科目 (授業および自己学修) を通して得られた内容に基づき国際法の特徴、意義、課題に関する問題、および「または、国際法の分野からひとつ選択してその歴史的な展開、特徴、意義、課題などについて出題する。以上を基本的な評価方法とした上で、LMS 上の各授業回コメントページによる加点とする。</p>							
学生へのメッセージ (その他注意等)	現代社会のさまざまな課題について法に基づいて考えてみませんか。現代社会においては国際社会の一員として国際法の基礎知識を身につけて自分の意見を持つことが重要になっています。授業をきっかけにして教員から教えてもらうだけでなく自ら積極的に学んでいきましょう。関連科目として前期に開講する「法律の役割A」のほか、「日本国憲法 A・B」「日本と国際社会 A・B」などがあります。							
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価 (円)				
教科書	『ビジュアルテキスト国際法』(第3版)	加藤信行・植木俊哉・森川幸一・真山全・酒井啓吾・立松美也子	有斐閣	¥2,640				
参考書	『コンパクト学習条約集』(第3版)	芹田 健太郎 (編)	信山社	¥1,100				
参考書	その他の参考書については授業および LMS で紹介する。							

授業期間	2023年度 前期			授業対象	指定なし 水1or水2or木1or木2		
科目名	経済のしくみA (Economics A)						
科目責任者	赤澤 とし子					単位数	2単位
担当者	赤澤 とし子						
授業の目的	現代社会のさまざまな出来事、私たちが直面するさまざまな問題を経済との関係から捉え考える—経済学的な視点からものごとを見る眼を養う—ことを目的とする。具体的には、本講義では社会保障の問題を取り上げる。社会保障制度は私たちの暮らしに直接大きく関わってくるものであり、その改革はわが国の重要政策課題である。病気がなっとなき、介護が必要になったときに安心して適切な医療や介護サービスを受けられることができるのだろうか。老後の生活費となる年金は大丈夫なのだろうか。仕事と子育て、仕事の介護の両立はできるのだろうか。もし、生活が困窮してしまつたら……。こうした人々の不安要因に対処するための社会保障制度について、そのしくみを理解するとともに、制度のあり方を経済学的な視点からも考察し、自分なりの意見を述べられるようになることを目指す。						
教育内容	人口減少、少子高齢化の進展、厳しい財政状況、格差問題などが生じている中で、今、社会保障制度のあり方が問われている。本講義では、社会保障制度が私たちのライフサイクルとどう関わっているのかを概観し、わが国の社会保障制度の体系と財政状況、セーフティネットとしての社会保障の機能を説明する。医療保険、介護保険、年金保険といった社会保障を中心に、社会保障制度を構成する各制度の基本的しくみを解説するとともに、各制度の課題や改革の方向性を考える。						
教育方法	授業は対面の講義形式で行う。テキストは使用せず、毎回、講義資料を配付する (Moodle 上に掲載する場合もある)。また、各テーマに関連するビデオを適宜活用し、理解や議論を深める一助としたい。ここで取り上げる社会保障制度に関し、「今、何が問題で、その問題にどう向き合い、どのような解決策が考えられるか」を常に問うていきたい。質疑応答は授業内やメールにて行う。【フィードバックの方法】提出されたリアクション・ペーパーや課題に対しては、主要な意見や特徴的な興味深い見解を紹介したり、誤解のある点にコメントするなど講評を行う。						
準備学習 (予習・復習)	【予習・復習や課題提出のための学習時間を含め授業時間以外に必要な学習の総時間は60時間】予習：講義で取り上げるテーマに関連するニュース等に目を配り、問題意識を持って自ら調べてみる。復習：講義内容をノートにまとめ、問題点や課題、対策などについて、自ら検討してみる。						
回	担当者	項目	授業内容				
1	赤澤 【対面】	ガイダンス・イントロダクション	講義の概要説明—社会保障とは何か。講義の進め方や受講上の注意事項を説明する。				
2	”	少子・高齢、人口減少社会と社会保障	少子高齢・人口減少社会と向き合う。人口減少のメカニズム、少子化の人口学的要因、少子高齢化が社会保障制度に及ぼす影響などについて考える。				
3	”	社会保障制度の全体像	社会保障制度の体系と機能、社会保障制度を構成する各制度の概要を説明する。				
4	”	社会保障と財政	国の一般会計歳出の最大費目となっているのが社会保障関係費。今や社会保障制度を抜きに国の財政は語れないと言える。増大する社会保障給付費とその財源問題、消費増税と社会保障などについて考える。				
5	”	社会保障と経済	国民負担率と経済をめぐる議論、大きな政府か小さな政府か、社会保障と経済成長の関係などについて考える。				
6	”	「格差・貧困」と社会保障	格差拡大と貧困率上昇がもたらすものは、「貧困の連鎖」、「深刻化する子どもの貧困」、「格差・貧困」問題に対してどのような社会保障政策やその他の施策が必要かを考える。				
7	”	医療保険制度①	保険診療のしくみと医療保険制度の体系について説明する。				
8	”	医療保険制度②	医療保険制度の近年の改革と今後の課題：国保改革、被用者保険の財政運営の健全化、高齢者医療制度のあり方、「負担能力に応じた負担」などについて検討する。				
9	”	介護保険制度①	介護保険制度創設の背景と介護保険制度の概要を説明する。				
10	”	介護保険制度②	介護保険制度の近年の改革と今後の課題：費用負担のあり方、介護人材の確保、外国人材の受け入れ、介護離職問題、ヤングケアラー問題、家族介護者の働き方や家族介護者に対する必要な支援などについて考える。				
11	”	年金制度①	公的年金制度の意義と制度のしくみを説明する。				
12	”	年金制度②	公的年金制度の近年の改革と今後の課題：マクロ経済スライド、短時間労働者に対する被用者保険適用の更なる拡大、高齢期の年金受給のあり方、国民年金保険料納付期間の延長、世代間格差問題などについて考える。				
13	”	「全世代型」社会保障制度の構築	高齢者も若者も安心できる全世代型社会保障制度とは、深刻化する少子化問題を中心に、少子化対策とそれに必要な財源問題について考える。				
14	”	ディスカッション	講義で扱ったテーマについて、テーマ別に議論する。				
15	”	まとめ	講義全体のまとめ				
到達目標	社会保障制度の体系と機能、社会保険の基本的しくみを説明できるようにする。取り上げた社会保障制度の諸問題やその対応策について、自分なりの意見を述べることができるようになる。さまざまな社会問題、身近な社会の出来事を経済の側面（経済学的視点）からも捉え考えることができるようになる。						
成績評価の方法と基準	試験方法：筆記試験 実施時期：試験期間内 各回の課題やリアクション・ペーパー（25%）と期末試験（75%）に基づき、総合的に評価する。						
学生へのメッセージ (その他注意等)	社会保障制度は私たちの暮らしと密接に関わるものです。団塊の世代が後期高齢者（75歳以上）になる2025年。そして2040年には団塊ジュニア世代がみな高齢者となり、高齢者人口がピークを迎え、現役世代が急速に減少する社会となります。こうした2040年代を見据えた社会保障制度改革が求められています。私たちに直接影響している問題です。日頃から、社会保障に関する話題に敏感になってみてください。そして自分自身で考えてみてください。自分自身の暮らしのことを、社会のことを……。受講にあたってより詳細な注意事項等は初回のガイダンスの際にお伝えします。						
教科書・参考書	書名		著者名		出版社名		定価 (円)
教科書	教科書は使用せず、講義資料を配付する。						
参考書	参考書は講義の中で適宜紹介する。						

授業期間	2023年度 後期 授業対象 指定なし 水1or水2or木1or木2			
科目名	経済のしくみB (Economics B)			
科目責任者	赤澤 とし子		単位数	2単位
担当者	赤澤 とし子			
授業の目的	現代社会のさまざまな出来事、私たちが直面するさまざまな問題を経済との関係から捉え考える—経済学的な視点からもものごとを見る眼を養う—ことを目的とする。本講義では、健康・医療の問題を取り上げる。私たちにとって自分の健康、家族の健康、「健康」は大きな関心事であり、その健康や生命に直結するのが「保健・医療」である。しかし、健康の問題は「保健・医療」だけで解決するものではなく、働き方や職場環境、居住環境、地域などさまざまな私たちを取り巻く社会的要因が関係してくる。健康寿命を伸ばし、誰もが必要ときに適切な医療が受けられるようにするにはどうすればよいのだろうか。日本の健康・医療の分野の問題点はどこにあって、それをどう解決していけばよいのか、超高齢社会のわが国における保健・医療のあり方を経済学の視点からも考察し、自分なりの意見を述べられるようになることを目指す。			
教育内容	医療（ヘルスケア）サービスは、通常の財・サービスとは違った特性をもっており、市場メカニズムだけに任せておいたのでは問題が生じるため、そこには政府の様々な規制が存在している。医療サービスの持つ特性を踏まえ、医療制度のあり方を効率性と公平性の観点から考えていく。需要サイドと供給サイド、両者を結びつける医療サービスの供給体制や医療保険の基礎理論について学び、現代日本の医療が抱える問題点を明らかにし、その解決策を探る。これからの日本の望ましい医療のあり方を考える。			
教育方法	授業は対面の講義形式で行う。 テキストは使用せず、毎回、講義資料を配付する（Moodle上に掲載する場合もある）。また、各テーマに関連するビデオを適宜活用し、理解と議論を深める一助としたい。 ここで取り上げる健康・医療問題に関し、「今、何が問題で、その問題にどう向き合い、どのような解決策が考えられるか」を常に問うていきたい。 質疑応答は授業内、メールにて行う。 【フィードバックの方法】 提出されたリアクション・ペーパーや課題に対しては、主要な意見や特徴的な興味深い見解を紹介したり、誤解のある点にコメントするなど講評を行う。			
準備学習 (予習・復習)	【予習・復習や試験に備えた学習時間を含め授業時間以外に必要な学習の総時間は60時間】 予習：医療や健康問題、講義で取り上げるテーマに関連するニュース等に目を配り、問題意識を持って自ら調べてみる。 復習：講義内容をノートにまとめ、問題点や課題、対策などについて、自ら検討してみる。			
回	担当者	項目	授業内容	
1	赤澤 【対面】	ガイダンス・イントロダクション	講義の概要説明：医療（健康）経済の全体像 講義の進め方や受講上の注意事項を説明する。	
2	〃	医療サービスの特性①	サービス一般の持つ特性から医療サービスの問題を考える。	
3	〃	医療サービスの特性②	不確実性、情報の非対称性など、医療サービスの持つ経済的特性から医療問題を考える。	
4	〃	医療サービスの特性③	外部性など医療サービスの持つ経済的特性から医療問題を考える。	
5	〃	医療サービスの提供体制①	医療サービス提供体制の課題（外来医療の機能分化と連携：大病院外来の患者集中問題への対応）	
6	〃	医療サービスの提供体制②	医療・介護提供体制の改革の2本柱である「地域包括ケアシステム」と「地域医療構想」について解説するとともに、その課題を考える。	
7	〃	医療サービスの提供体制③	医師の偏在対策、医師の働き方改革を中心に、医師・看護師等医療従事者の働き方、人材確保問題について考える。	
8	〃	医療保険①	診療報酬とは？保険がきくとは？ 保険診療のしくみについて解説する。	
9	〃	医療保険②	医療保険の基礎理論：「公的医療保険はなぜ必要なのか」、「医療保険とモラル・ハザード」について説明する。	
10	〃	医療保険③	公的医療保険の給付の範囲、混合診療問題をめぐる議論を概観する。	
11	〃	医療サービスの経済評価（費用対効果評価）	医療サービスの経済評価とは。日本でも医薬品や医療機器の経済評価（費用対効果評価）が導入された。経済学におけるナッジ理論がどのように健康活動に利用されているか事例をみながら、医療現場への応用、課題を考える。	
12	〃	医薬品に関する話題・諸問題	高額医薬品の登場、ポリファーマシー、かかりつけ薬局・薬剤師などについて	
13	〃	行動経済学の保健・医療分野への活用	行動経済学とは。ナッジとは。行動経済学の基本的な考え方、枠組みを解説するとともに、行動経済学におけるナッジ理論がどのように健康活動に利用されているか事例をみながら、医療現場への応用、課題を考える。	
14	〃	ディスカッション	講義で扱ったテーマについて、テーマ別に議論する。	
15	〃	まとめ	講義全体のまとめ	
到達目標	保健・医療サービスの特性を理解し、公的介入の意義や課題を説明できるようになる。取り上げた健康・医療の諸問題や対応策について自分なりの意見を述べることができるようになる。さまざまな社会問題、身近な社会の出来事を経済の側面（経済学的視点）からも捉え考えることができるようになる。			
成績評価の方法と基準	試験方法：筆記試験 実施時期：試験期間内 各回の課題やリアクション・ペーパー（25%）と期末試験（75%）に基づき、総合的に評価する。			
学生へのメッセージ (その他注意等)	新型コロナウイルス感染症のパンデミックなど、必要ときに適切な医療サービスが受けられるかなど、医療の問題がこれまで以上に切実な問題であることを痛感する今日この頃です。経済学の視点からのアプローチは、健康・医療問題の把握や制度のあり方を検討するのに役立つはず。『経済学の眼』で見つめると、これまで気づかなかった保健・医療の一面が見えてくるかもしれません。 受講にあたってのより詳細な注意事項等は初回のガイダンスの際にお伝えします。			
教科書・参考書	書名	著者名	出版社	定価 (円)
教科書	教科書は使用せず、講義資料を配付する。			
参考書	参考書は講義の中で適宜紹介する。			

授業期間	2023年度 後期	授業対象	指定なし 木1 or 木2
科目名	政治のしくみB (現代日本政治論) (Political Science B)		
科目責任者	小林 悠太	単位数	2単位
担当者	小林 悠太		
授業の目的	「政治のしくみB」では、現代日本政治の動きについて説明します。国民の声は選挙でどのように反映されているんだろう？「首相の権力」って強いのか？などの「問い」に対して、政治学ではどのような議論がなされているかを説明し、皆さんとともによりよい政治の在り方を考えていきます。		
教育内容	政治制度の特徴を説明したうえで、日本政治の展開を解説していきます。		
教育方法	本講義は Moodle にアップロードする動画教材を用います。当日中尺切のリアクション・ペーパーを課すので、皆さんはぜひそちらに回答してください。 【フィードバックの方法】 Moodle を用いて、皆さんからの疑問・質問などにお答えしていきます。		
準備学習 (予習・復習)	【講義時間外に必要な学習の時間：60 時間】 予習：各回の内容に関係のある新聞記事などを読み、政治現象への興味を深める (各回 1 時間) 復習：講義動画を見直ししながら、身の回りの政治現象に政治学的知見の応用を考える (各回 1 時間)		
回	担当者	項目	授業内容
1	小林 【オンデマンド】	イントロダクション	本科目の狙い、授業の進め方、成績評価の方法などの説明
2	〃	日本政治の歴史	戦後から現在までの日本政治の歴史について説明する。
3	〃	政治制度 1：議院内閣制	議院内閣制をとる日本の政策過程について説明する。
4	〃	政治制度 2：政党間競争	選挙制度改革と政党システムの関係について説明する。
5	〃	政治のアクター 1：自公勢力	現在の与党である自民党と公明党について説明する。
6	〃	政治のアクター 2：非自民勢力	民主党の後継政党や維新、共産党などの「野党」勢力を説明する。
7	〃	政治のアクター 3：有権者	私たち市民が、投票でどのように意思決定しているかを説明する。
8	〃	政治のアクター 4：行政官僚制	政権をとった与党が、官僚制といかなる政官関係を築いているかを説明する。
9	〃	市民社会 1：財界と利益団体	利益団体の動向について説明する。
10	〃	市民社会 2：市民社会組織	NPO やボランティアなど、市民社会組織の成長について説明する。
11	〃	市民社会 3：マスメディア	マスメディアと市民の関係について説明する。
12	〃	政治の帰結 1：公共サービス	「小さな政府」として知られる公共サービスの規模について説明する。
13	〃	政治の帰結 2：福祉国家	日本の福祉政策がどのように形成されてきたかを説明する。
14	〃	政治の帰結 3 経済成長	政治的決定と経済政策の関係について説明する。
15	〃	講義のまとめ	全体の総括
到達目標	・政治学の基礎概念や基礎知識について理解する。 ・現在進行形の問題について、政治学の用語を使いながら自分で推論できるようになる。		
成績評価の方法と基準	試験方法：レポート 実施時期：試験期間外 期末レポートの内容を通じて評価します。講義中に紹介した政治学の知見が適切に参照されているかだけでなく、誤字脱字などの形式面についてもチェックします。		
学生へのメッセージ (その他注意等)	現代政治は生みもので、参加者のなかにもいろいろな意見を持った人がいるかと思います。相互に意見を尊重することの大切さを、政治学を通じて学んでください。		
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名
参考書	『ポリティカル・サイエンス入門』	坂本治也、石橋章市朗(編)	法律文化社
			定価 (円)
			¥2,640

授業期間	2023年度 前期	授業対象	指定なし 水1or水2		
科目名	文化人類学A（「当たり前」のこの相対化、そして再認識へ。） (Cultural Anthropology A)				
科目責任者	宮下 克也			単位数	2単位
担当者	宮下 克也				
授業の目的	<p>「人類学は人間に向かって大きな鏡を差し出し、無限の変化を示す己の姿をそこに見てとらせる」～クライド・クラックホーンへ</p> <p>これは、半世紀前にある文化人類学者が著書『Mirror For Man（人間のための鏡）』で述べた言葉である。本講義では、グローバル化が進む21世紀社会のなかで、他者と共生していくために必要な下記の視点を身につけることを目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自文化を最高のものとみなし、それを基準として異文化を捉えようとする自文化中心主義的態度を否定する視点 2. すべての文化には独自の意味体系があることを認めた上で、異文化を理解しようとする文化相対主義的視点 3. “Mirror For Man”としての文化人類学的視点を身につけることを目指す。 				
教育内容	<p>私たちは、自分の育った社会の文化的価値観を自然と身につけ、それを基準に異文化をみてしまう。本講義では、こうした人間に潜む自文化中心的思考を自覚することから始まり、それを批判しつつ異文化の多様な価値観を考察することを目指す。また、異文化を知ること、自文化において「常識＝当たり前」とされていることを相対化し再検討してみたい。</p>				
教育方法	<p>・講義形式 ・映像や音楽を必要に応じて用いる。 ・リアクションペーパーを課し、授業の理解度を確認する場合もある。 ・特定のテキストは使用しない。テーマ毎に参考文献を紹介する。 【フィードバックの方法】 フィードバックに関しては、リアクションペーパーにて行う。</p>				
準備学習 (予習・復習)	<p>【講義時間外に必要な学習の時間：60時間】 予習：シラバスを読み、気になるキーワードなどをインターネットや図書館などで調べること（1時間）。 復習：レジュメを見直し、講義の内容に関して、インターネットや図書館などを利用して深い理解を目指し自分の考えをレジュメの余白部分にまとめておくこと（3時間）。</p>				
回	担当者	項目	授業内容		
1	宮下 【対面】	「私」と「あなた」の違い―他者理解への第一歩―	「差異」をキーワードに他者の存在を考える。		
2	〃	文化とは？	学説史を通して文化人類学者の「文化」に対する考えを紹介する。		
3	〃	ジェンダー	「僕たち」/「私たち」は、生まれながらにして「男である」/「女である」のか？それとも後天的に「男になる」/「女になる」のか？		
4	〃	通過儀礼―社会的に「大人」になる方法―	年齢を重ねる身体が成長すれば自然に「大人」になれるのだろうか？ 社会のなかで「大人になる」ということは、いかなることなのか？		
5	〃	ケガレ論	「秩序」・「境界」・「認識」をキーワードに社会におけるケガレを考える。		
6	〃	交換論―社会・人間関係をみる方法―	お歳暮やクリスマスプレゼントが果たす社会的機能とは？ 多様な交換形態を紹介し、交換論から社会関係や人間関係の分析を試みる。		
7	〃	宗教と世界観	宗教や世界観から社会を分析する。		
8	〃	前半のまとめ	これまでの流れの総復習		
9	〃	身体と知識―身体がおぼえている知識/言語化されない知識―	「われわれは語れる以上のことができる」(M. ボランニー)。このボランニーのことばを手がかりに身体に埋め込まれる知識について考えたい。		
10	〃	共同性と暴力―「お笑い」と「狂気」は紙一重？―	冗談を言ったはずが「笑えないよ！」と怒りをかう。なぜ怒りをかうのか？―G. ペイトソンのコミュニケーション理論から共同性とその逸脱について考える。		
11	〃	親族・家族・民俗生殖理論	父子あるいは母子の関係は、文化によって多様である。各文化の民俗生殖理論を通して、親子・家族・親族といった「当たり前」の概念・関係を相対化し、さらには近年の生殖医療についての検討も試みる。		
12	〃	死	死、他界、そして死者になること考える。		
13	〃	生命の比較文化	胎児は「人」なのか？キリスト教的世界観と日本における「胎児」に対する認識の相違を検討する。		
14	〃	質的研究法としての人類学	人類学の調査・研究法について。		
15	〃	まとめ	講義の総まとめ		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・文化相対主義的視点の理解。 ・論理的思考ができるようになること。 				
成績評価の方法と基準	<p>試験方法：筆記試験 実施時期：試験期間内 リアクションペーパーも評価の対象とする。評価の内訳はレポート試験80%、リアクションペーパーが20%。</p>				
学生へのメッセージ (その他注意等)	<p>知的好奇心が旺盛で学習意欲のある学生の受講を望みます。受講者には、〔授業中の私語厳禁〕と〔授業開始後、30分以降の入室厳禁〕を厳守してもらいます。</p>				
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価(円)	
なし					

授業期間	2023年度 前期	授業対象	指定なし（HS 学科を除く、OT 専攻〔必修〕水1or水2or木1or木2／HS 学科臨床心理学コース〔必修〕、環境保健学コース〔選択〕水1or水2or木1or木2		
科目名	心理学A／心理学A（心理学概論） (Psychology A/ Psychology A(Introduction to Psychology))				
科目責任者	猪原 敬介			単位数	2単位
担当者	猪原 敬介				
授業の目的	人間の心について、実験や調査を用いて科学的に検討するのが心理学である。これらの方法によって示される人間の「心」は、日常生活から感じ取れる「心」とは異なることがある。心理学が示す「心」を知ることによって、受講生それぞれの人間観を作る材料を提供する。				
教育内容	現代心理学を幅広く概説する（「心理学B」とは別内容である）。私たちの心には意識できる部分とできない部分があり、意識できない心の働きは、日常生活の感覚よりもはるかに大きいことなどについて講義し、受講生に考える機会を持ってもらう。				
教育方法	すべてオンデマンド型（動画を moodle にアップロードしておくので、受講生の都合の良いタイミングで視聴する）のオンライン講義である。 スライド、動画等の視聴覚資料を中心に講義形式で行う。講義は配布するプリント資料に沿って進める。 【フィードバックの方法】 毎回の授業では、課題への回答や、何らかの意見を求める。それらの回答や意見に対して、次の授業で教員から回答をフィードバックする。				
準備学習 (予習・復習)	【授業時間外に必要な学習の時間：60 時間】 予習：次の授業のキーワードについて、書籍や Web で調べ、概要を把握しておくこと。 復習：配布資料を再読し、学んだ概念の具体例を自分自身の中に探す。授業で紹介する文献や資料を読む。				
回	担当者	項目	授業内容		
1	猪原 【オンライン】	オリエンテーション：心理学とは、心理学の歴史	心理学とは何か、古くから現在までにどのような発展があったか、近接領域と融合する学際領域としての心理学、について講義する。授業の進め方と評価方法についても説明する。		
2	〃	認知心理学 1：意識できない認知の働き	私たちは自らの理解や行動が、自らの意識によって決定されていると思いがちである。実際には意識下において膨大な認知処理が働いている。様々な例で意識下の認知処理を紹介する。		
3	〃	認知心理学 2：長期記憶の構造・虚記憶	記憶力の良し悪しは私たちの大きな関心事だが、実は記憶には様々な種類があり、単純に記憶の良し悪しを比較することはできない。記憶の分類と変容について講義する。		
4	〃	社会心理学 1：社会的認知	私たちは自らの成功と失敗の原因をどのように考えていて、そのことが次の行動にどのように影響するか、解説する。		
5	〃	社会心理学 2：偏見	偏見とは何か。どのように生じ、なぜ消し去りたいのか、解説する。		
6	〃	社会心理学 3：同調・傍観者効果	人間はその社会性ゆえに、周囲の人間からの影響を受けやすい。同調現象はその最たる例である。集団心理の事例と理論について解説する。		
7	〃	性格心理学 1：性格の理論	穏やかな人、怒りっぽい人。几帳面な人、大雑把な人。私たちは様々な方法で人の「性格」を把握しようとする。心理学において「性格」はどのように捉えられているだろうか。代表的な理論について説明し、自他の性格について考える。		
8	〃	性格心理学 2：バーナム効果・血液型性格占の誤解について	人から良い印象を持たれるためには、どうすれば良いのか。また、他者に誤った印象を抱かないためには、どうすれば良いのか、解説する。また、「バーナム効果」と言われる現象についても説明する。		
9	〃	臨床心理学 1：臨床心理学とは・ストレス	臨床心理学とはどのような領域か、ストレスとそれによる心身症について解説する。		
10	〃	臨床心理学 2：精神疾患	特に患者数の多い精神疾患として、うつ、不安症、統合失調症について述べる。		
11	〃	臨床心理学 3：心理療法	精神疾患を治療するための心理療法について、その種類や特徴について解説する。		
12	〃	発達心理学 1：愛着	愛着の理論と、愛着の欠乏がもたらす悲劇的な結果について解説する。		
13	〃	発達心理学 2：生得的能力	人間は生まれながらにして社会に適応し、生きていくための様々な能力を備えている。それら生得的能力について解説する。		
14	〃	発達心理学 3：社会性の発達・心の理論	心の理論を中心に、人間の社会性の発達について解説する。		
15	〃	総括	これまでの授業を振り返る。		
到達目標	認知心理学、社会心理学、性格心理学、神経心理学、臨床心理学、発達心理学のこれまでの研究成果を知り、他者に概要を説明できる。				
成績評価の方法と基準	試験方法：なし 実施時期：試験期間外 毎回の提出物（moodle 上での回答・レポートが主です）にもとづく評価（100%）。				
学生へのメッセージ (その他注意等)	下記で紹介している本は「参考書」であり、購入必須ではありません。心理学をもっと知りたい人のために紹介しています。図書館にも入れてありますので、興味のある人はそちらでまず読んでみると良いと思います。				
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価 (円)	
参考書	心理学 新版 (New Liberal Arts Selection)	無藤・森・遠藤・玉瀬著	有斐閣	¥4,620	

授業期間	2023年度 前期	授業対象	指定なし (HS 学科を除く、OT 専攻 [必修]) 火1 or 火2 or 水1 or 水2 / HS 学科臨床心理学コース [必修]、環境保健学コース (選択) 火1 or 火2 or 水1 or 水2
科目名	心理学A / 心理学A (心理学概論) (Psychology A / Psychology A(Introduction to Psychology))		
科目責任者	中山 友則	単位数	2単位
担当者	中山 友則		
授業の目的	人間の心について、実験や調査を行い、科学的に検討するのが心理学である。その研究対象は人間の広い意味での行動であり、その行動がなぜ生じたのか、背後にある心の動きを考えていく。では、実際にそうした人間行動に対して現代の心理学はどう説明するのか。心理学の考え方や研究成果の解説し、それを通して、人間理解に必要な知識、考え方を習得する。また、心理学研究で示される心の話題は、日常経験と異なることもある。それらを知ることによって、各自の心に対する理解をさらに深めることを目的とする。		
教育内容	現代心理学のうちパーソナリティ (個性と関わる) や動機づけ (やる気を起こさせるなど)、人間関係、発達 (人はどのように成長するのか) といったテーマを中心に概説する (心理学Bとは異なる内容である)。こうした内容は、日常においても比較的身近に、具体的な経験があることも多い。解説することで、目的に述べた人間理解、日常と心理学との違いについて考えていくことになる。また、性格や発達では障害、症例に関係する内容も解説する機会がある。知識を得、各自がそうした問題を考える機会を持ってもらう。また、内容に関連した心理テスト (調査や実験) を体験してもらい実際の心理学研究に触れる機会を設ける予定である。		
教育方法	スライドと配付資料を活用しながら講義形式で進める。事前の資料配布等も行うため受講者は、ムードルまたは外部ドライブにアップロードされた資料等があるかどうか、しっかりと確認すること。事前配布の資料はダウンロード可の設定にする (著作物を除く) ため、目を通し、自身の興味・関心などを明確化しておくように。授業後には、授業参加の有無と授業理解度を確認し、平常点の資料とするため、リアクション・ペーパーを提出してもらおう。それらの回答や意見に対して、次の授業で教員から回答をフィードバックする。 【フィードバックの方法】 リアクションで記述された内容から質問を中心にピックアップし、教員の回答を含めて文書化し配布する。また、次回授業時に口頭での補足も行う。リアクションの内容によってはその後の授業回で体系的に取り扱うこともある		
準備学習 (予習・復習)	【授業時間外に必要な学習の時間：60時間】 予習：今回の授業のキーワードについて、配布資料、書籍やWeb等で調べ、概要を把握しておくように。 復習：配布資料に再度目を通し、学んだ概念の具体例を自分自身の中に探す。授業で紹介する文献や資料を読む。		
回	担当者	項目	授業内容
1	中山 【対面】	心理学とは何か	人に心があるということを心理学ではどう考え、どのようにアプローチするのか、そして、心理学が目指すところは何か、心理学で何がわかるかについて解説する。授業の進め方と評価方法についても説明する。
2	〃	パーソナリティ心理学1：類型論的な考え方	人間の広い意味での性格についての考え方の一つである類型論について、その代表的な理論を解説する。また、この類型論に分類される心理テストも行う予定である。
3	〃	パーソナリティ心理学2：特性論的な考え方	人間の広い意味での性格についての考え方の一つであり、現在の主流的な考え方にもつながっている特性論について、その代表的な理論を解説する。また、この特性論に分類される心理テストも行う予定である。
4	〃	動機づけ1：内発的動機づけ、外発的動機づけ	人はなぜ行動するのか。行動を引き起こす原因としての動機の機能と種類について、さまざまな観点 (内発的動機づけと外発的動機づけ、欲求階層説など) から解説する。また、動機づけの傾向などを測定する心理テストも行う予定である。
5	〃	動機づけ2：欲求不満、適応など	欲求が満たされなるとき人はどのように振る舞うのか、欲求不満の原因、欲求不満耐性、適応と不適応の問題を考える。
6	〃	社会心理学1：対人認知 (バイアス等)	私たちが他者と出会ったとき、どのような情報に基づいてその人物を評価、判断するのか、そうした評価がさまざまな情報に左右されるといった対人認知の際の歪みについて解説する。
7	〃	社会心理学2：態度 (態度、説得)	他者に対する評価がなされれば、その人物に対する態度が形成される。態度とは何か、また、そうした態度を変容させるにはどうすれば良いのかについて解説する。
8	〃	社会心理学3：態度 (援助や魅力)	他者に対する態度の一つとして、実際に援助を行う、魅力を感じるといったものがある。他者を助ける行為はどういった理由から起きるのか。また、他者が助けを必要とする状況でありながら助けられないという行動はどうして起きるのか、どういった人が魅力的な人として捉えられるかについても解説する。
9	〃	感情心理学	他者に対する態度には感情も含まれる。人の感情にはどういったものがあるのか、また、感情はどのように生じるのかについて解説する。また、感情を理解できない障害についても解説する。
10	〃	集団心理	心理学における集団は広く言えば他者がいる状況である。他者がいる状況で個人の行動がどのように変わるのか、また、集団で物事を実行するとういことが起こるのかについて解説する。
11	〃	発達心理学1：遺伝と環境	人が発達するとはどういうことか、また、発達はどのように規定されるのかについて、発達研究の歴史を踏まえながら解説する。
12	〃	発達心理学2：子供の発達	青年期以前の子供がどのように発達していくのかについて、ピアジェの認知発達理論や愛着の発達について解説する。また、そうした年齢期にみられる発達の障害についても解説する。
13	〃	発達心理学3：青年以降の発達	エリクソンの生涯発達理論の概要を解説するとともに、青年期以降のこのころの発達過程を辿る。
14	〃	教育心理学	これまでの内容を踏まえつつ、主に乳児期から青年期にかけての人間の精神および知能の発達や人格形成などと教育の関係を取り上げる教育心理学について解説する。
15	〃	総括	これまでの授業を振り返る。

到達目標	パーソナリティ心理学, 社会心理学, 発達心理学を中心にこれまでの研究成果, 理論などを知り, 他者に概要を説明できる。また, 心理テストも含めて心理学の心に対する考え方を理解することで, 自身の心についても改めて見つめ理解をより深める。 また, これらを通して, 他者理解に対する姿勢を深める。			
成績評価の方法と基準	試験方法: レポート 実施時期: 試験期間外 毎回提出してもらうリアクション・ペーパーにもとづく平常点 (50%) および学期末のレポート (50%) により総合評価する。			
学生へのメッセージ (その他注意等)	リアクション・ペーパーには, その回の授業でどのようなことが理解できたか, 自分のこれまでの体験とつなげてどのようなことを考えたか, あるいは疑問に思ったことなどを中心に, 積極的に書き込んでもらいたいと思います。なお, 直接的に授業に関係がないものでも, 心理学 (もっと言えば人) に関わることであれば書き込んでもらって構いません。上に描いたように, 質問を中心にフィードバックで返答するか, 授業に取り入れるかをしたいと思っています。			
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価 (円)
教科書	毎回教員が作成した資料を用意する			
参考書	はじめて出会う心理学 (第3版)	長谷川・東条・大島・丹野・廣中	有斐閣アルマ	¥2,200
参考書	よくわかる心理学	無藤・森・池上・福丸	ミネルヴァ書房	¥3,300
参考書	心理学 新版 (New Liberal Arts Selection)	無藤・森・遠藤・玉瀬著	有斐閣	¥4,620

授業期間	2023年度 後期	授業対象	指定なし（HS 学科臨床心理学コースを除く、OT専攻〔必修〕水1or水2or木1or木2 / HS 学科臨床心理学コース〔必修〕水1or水2or木1or木2		
科目名	心理学B / 心理学B（知覚・認知心理学） (Psychology B / Psychology B(Psychology of Perception and Cognition))				
科目責任者	猪原 敬介			単位数	2単位
担当者	猪原 敬介				
授業の目的	人間の心について、実験や調査を用いて科学的に検討するのが心理学である。これらの方法によって示される人間の「心」は、日常生活から感じ取れる「心」とは異なることがある。心理学が示す「心」を知ることによって、受講生それぞれの人間観を作る材料を提供する。				
教育内容	現代心理学を幅広く概説する（「心理学A」とは別内容である）。私たちの「知」はどのように獲得・形成されたのか、などのテーマについて講義し、受講生に考える機会を持ってもらう。				
教育方法	すべてオンデマンド型（動画を moodle にアップロードしておくので、受講生の都合の良いタイミングで視聴する）のオンライン講義である。 スライド、動画等の視聴覚資料を中心に講義形式で行う。講義は配布するプリント資料に沿って進める。 【フィードバックの方法】 毎回の授業では、課題への回答や、何らかの意見を求める。それらの回答や意見に対して、次の授業で教員から回答をフィードバックする。				
準備学習 (予習・復習)	【授業時間外に必要な学習の時間：60 時間】 予習：次の授業のキーワードについて、書籍や Web で調べ、概要を把握しておくこと。 復習：配布資料を再読し、学んだ概念の具体例を自分自身の中に探す。授業で紹介する文献や資料を読む。				
回	担当者	項目	授業内容		
1	猪原 [オンライン]	オリエンテーション：心理学とは	心理学とは何か、授業の進め方、心理学の歴史について、古くはどんなアプローチが取られ、現在までにどのような発展があったかを説明する。最新の心理学は、近接領域と融合する学際領域である。心理学の広がりについて説明し、これ以降の講義内容の見通しを与える。		
2	〃	知覚・認知1：視覚	私たちの視覚は外界をそのまま映すカメラではない。脳による多彩な処理を受けて私たちの視覚を生み出しているのである。視覚の仕組みを中心に、私たちの感覚に存在する錯覚について解説し、こうした脳の処理を実感してもらう。		
3	〃	知覚・認知2：短期記憶	記憶の分類方法には様々なものがあるが、短期的な記憶と長期的な記憶の違いは日常生活でも意識されるところだろう。短期的な記憶が私たちの心理の様々なところに影響することが近年分かっている。これらの知見について紹介する。		
4	〃	知覚・認知3：ワーキングメモリ	短期記憶の概念は近年発展しており、私たちの日常生活における短期的な記憶機能をよく良く反映する概念としてワーキングメモリが提案されている。ワーキングメモリの概念とその重要性について解説する。		
5	〃	知覚・認知4：意識と脳	脳と心は同一ではないが、心がその大部分を脳を基盤としていることは確かだろう。脳への外科手術を行った事例などから、脳と心の関係を考える。		
6	〃	学習1：学習の基礎的メカニズム	人間は高度な学習能力を持つが、その基礎となるメカニズムはどういったものだろうか。単純でありながら応用範囲の広い「条件づけ」を中心に解説する。		
7	〃	学習2：動機づけ	やる気（動機づけ）を出す、あるいは、出させるには、どうすれば良いだろうか。心理学で提唱されている理論について説明する。		
8	〃	学習3：臨界期と第二言語習得	母語、そして外国語あるいは第2言語と、私たちは言葉を学習する高い能力を持っている。言語学習について知られている知見を紹介する。		
9	〃	発達障害1：自閉スペクトラム症・ADHD	人口の数パーセントの割合で存在すると言われる発達障害について、最新知見を述べる。		
10	〃	発達障害2：学習症・ディスレクシア	その人の知的水準に対して、著しく読み書きを苦手とする発達障害として、ディスレクシアがある。その事例や理論について解説する。		
11	〃	知能1：知能検査とIQ	知能検査・知能指数とは何か、どのように測定するのか、解説する。		
12	〃	知能2：知能の理論	知能とは一体何か。これまでの議論の変遷と現状について解説する。		
13	〃	遺伝と環境1：行動遺伝学とフリン効果	私たちの知能や性格、あるいは精神疾患になるからなのかは、遺伝や環境からどのような影響を受けるのだろうか。行動遺伝学の知見を踏まえつつ、解説する。		
14	〃	遺伝と環境2：遺伝と環境の相互作用	行動遺伝学的方法論に基づく推定によれば、遺伝は心の個人差に比較強く影響している。一方で、前回説明したフリン効果からは、環境の強い影響が示唆される。遺伝と環境の相互作用について解説する		
15	〃	総括	これまでの授業を振り返る。		
到達目標	知覚・認知心理学を中心に心理学の研究成果を知り、他者に概要を説明できる				
成績評価の方法と基準	試験方法：なし 実施時期： 毎回の提出物（moodle 上での回答・レポートが主です）にもとづく評価（100%）。				
学生へのメッセージ (その他注意等)	下記で紹介している本は「参考書」であり、購入必須ではありません。心理学をもっと知りたい人のために紹介しています。図書館にも入れてありますので、興味のある人はそちらでまず読んでみると良いと思います。				
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価 (円)	
参考書	心理学 新版 (New Liberal Arts Selection)	無藤・森・遠藤・玉瀬 著	有斐閣	¥4,620	

授業期間	2023年度 後期		授業対象	指定なし（HS学科臨床心理学コースを除く、OT専攻【必修】） 火1 or 火2		
科目名	心理学B (Psychology B)					
科目責任者	中山 友則				単位数	2単位
担当者	中山 友則					
授業の目的	人間の心について、実験や調査を行い、科学的に検討するのが心理学である。その研究対象は人間の広い意味での行動であり、その行動がなぜ生じたのか、その背後にある心の動きを考えていく。では、実際にそうした人間行動に対して現代の心理学はどうか説明するののか。心理学の考え方や研究成果の解説し、それを通して、人間理解に必要な知識、考え方を習得する。また、心理学研究で示される心の話題は、日常経験と異なることもある。それらを知ることによって、各自の心に対する理解をさらに深めることを目的とする。					
教育内容	現代心理学のうち学習心理学や認知心理学といった内容を扱う（心理学Aとは異なる内容である）。これらは主に人間の知がどのように獲得・形成されるのかといった問題と関連する。こうした内容を、心理学で行われていた実験の体験なども含めながら解説していく。					
教育方法	スライドと配布資料を活用しながら講義形式で進める。事前の資料配布等も行うため受講者は、ムードまたは外部ドライブにアップロードされた資料等があるかどうか、しっかりと確認すること。事前配布の資料はダウンロード可の設定による（著作料を除く）ため、目を通し、自身の興味・関心などを明確化しておくように。授業後には、授業参加の有無と授業理解を確認し、平常点の資料とするため、リアクション・ペーパーを提出してもらう。それらの回答や意見に対して、次の授業で教員から回答をフィードバックする。【フィードバックの方法】 リアクションで記述された内容から質問を中心にピックアップし、教員の回答を含めて文書化し配布する。また、次回授業時に口頭での補足も行う。リアクションの内容によってはその後の授業内で体系的に取り扱うこともある					
準備学習 (予習・復習)	【授業時間外に必要な学習の時間：60時間】 予習：次の授業のキーワードについて、配布資料、書籍やWeb等で調べ、概要を把握しておくように。 復習：配布資料を再読し、学んだ概念の具体例を自分自身の中に探す。授業で紹介している文献や資料を読む。					
回	担当者	項目	授業内容			
1	中山 【対面】	心理学とは何か	特に今後の内容と関わることから心理学の歴史について触れながら、心理学とは何かについて解説する。授業の進め方と評価方法についても説明する。			
2	〃	学習心理学1：条件づけ	人間は生まれてからさまざまな事を学習するが、そうした学習の基礎的なメカニズムはどうなっているのか。日常で利用されることも多い条件づけについて解説する。			
3	〃	学習心理学2：条件づけ以外の学習	前回に引き続き、人間の学習について条件づけ以外の学習、特に社会的学習について解説する。また、学習心理学の手法を応用している心理療法についても触れる。			
4	〃	知覚心理学1：視覚	人間のものを見る仕組みがどうなっているのか、我々が最終的に感じているのは物理世界のものではなく、脳によって処理された世界である。この好みが錯視である。錯視を実際に提示しながら、物理世界と知覚世界の違いについて解説する。			
5	〃	知覚心理学2：視覚以外	人間の情報の大部分は視覚からであるが、それ以外の感覚の仕組みはどうなっているのか。視覚以外の感覚の特徴について、関連する現象も取り上げながら解説する。			
6	〃	認知心理学1：短期記憶（作動記憶）	記憶の分類方法はさまざまなものがあるが、短期的な記憶と長期的な記憶があるというところは日常でも経験される機会があるだろう。短期記憶は現在、私が行っているさまざまな活動と関連する記憶である。実験の体験を通して、短期記憶について解説するとともに、それが障害された場合にどのような困難が考えられるのかも解説する。			
7	〃	認知心理学2：長期記憶	より良く覚えたい、ということは多くの人が思ったことがあるだろう。それには長期記憶が深くかかわってくる。長期記憶について解説し、よりよく覚えるためのさまざまな記憶方法について紹介する。			
8	〃	認知心理学3：日常認知	認知は人間の日々のさまざまな活動と密接な関係にある。現在ではそうした日常の中での認知の役割について活発に研究がなされている。どういった日常認知研究があるのか、そこから得られた知見が本当に日常に還元されているのかについて解説・考察する。			
9	〃	認知心理学4：目撃証言	目撃証言とは、事件や事故の目撃者が経験した出来事や記憶に基づいて報告することであり、記憶が関わってくる。では、その記憶に基づく目撃証言は正確なものだろうか。目撃証言を歪める要因や、正確な情報を得る方法について解説する。			
10	〃	意識と脳、高次脳機能障害	人間の心の大部分はおそらく脳に基盤があると考えられる。では脳を損傷してしまった場合にはどのような問題が生じるのか、脳損傷における事例を紹介し、脳と心の問題について考察する。			
11	〃	思考・推論・意思決定・問題解決1：問題解決、意思決定	問題解決のプロセスと種々の問題解決の手法として、試行錯誤学習、類推、洞察、アルゴリズムとヒューリスティックスについて解説する			
12	〃	思考・推論・意思決定・問題解決2：思考・推論	帰納的推論と演えきの推論をめぐる人間の論理的思考の特徴について解説するとともに、創造的思考とは何かについて考察する。			
13	〃	言語心理学	人間はコミュニケーションの主な手段として言語を利用する。では我々どのように言語を獲得していくのだろうか。言語の発達について解説するとともに、言語が果たす役割について考える。			
14	〃	知能	知能とは何か、知能を測定するにはどうすれば良いのか、年齢による衰えはあるのかなど人間の知能について歴史も踏まえながら解説する。			
15	〃	総括	これまでの授業を振り返る。			
到達目標	知覚・認知心理学を中心にこれまでの研究成果、理論などを知り、他者に概要を説明できる。 心理学研究の方法について知り、科学的な方法によって意見を述べるといった点の重要性を理解し、自身の物事への考え方を深める。					
成績評価の方法と基準	試験方法：レポート 実施時期：試験期間外					
学生へのメッセージ (その他注意等)	リアクション・ペーパーには、その回の授業でどのようなことが理解できたか、自分のこれまでの体験とつなげてどのようなことを考えたか、あるいは疑問に思ったことなどを中心に、積極的書き込んでもらいたいと思います。なお、直接的に授業に関係のないものでも、心理学（もつと言えば人）に関わることであれば書き込んでもらって構いません。上に書いたように、質問を中心にフィードバックで返答するか、授業に取り入れるかをしたいと思います。					
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価(円)		
教科書	毎回プリント資料を配付する。					
参考書	はじめて出会う心理学（第3版）	長谷川・東条・大島・丹野・廣中	有斐閣アルマ	¥2,200		
参考書	よくわかる心理学	無藤・森・池上・福丸	ミネルヴァ書房	¥3,300		
参考書	心理学 新版 (New Liberal Arts Selection)	無藤・森・遠藤・玉瀬	有斐閣	¥4,620		

授業期間	2023年度 後期		授業対象	指定なし (H5 学科臨床心理学コースを除く、O T専攻 [必修])		水4 or 水5
科目名	心理学B (Psychology B)					
科目責任者	梶井 直親				単位数	2単位
担当者	梶井 直親					
授業の目的	心理学とは人間の心について実験や調査を行い、科学的に検討する学問である。これまで心理学では、人間は自分や他者の気持ちなどをどのように探り、言葉やイメージをどのように使用しているかを様々な方法を用いて研究してきた。本授業では、人間はどのように学び、どのように言葉やイメージを伝え、どのように受け止めるかを解説し、受講生各自の心理解を深める材料を提供する。					
教育内容	現代心理学のうち、主に学習心理学や認知心理学の内容について幅広く概説する。ここでは主に人間の知がどのように獲得・形成されてきたか、などのテーマについて解説をしていく。					
教育方法	スライドと配布資料を活用しながら対面での講義形式で進める。事前の資料配布等も行うため、受講者はムードルまたは外部ドライブにアップロードされた資料等があるかどうかをしっかりと確認してほしい。事前配布の資料はダウンロード可の設定にする予定(著作物を除く)なので、それらを事前に用意して授業に臨んでほしい。それらを視聴や講読したうえで、授業後には、授業参加の有無と授業理解度を確認し、平常点の資料とするため、リアクションペーパーを提出してもらおう。それらの回答や意見に対して、次の授業で教員から回答をフィードバックする。					
準備学習(予習・復習)	【授業時間外に必要な学習の時間：60時間】 予習：次の授業のキーワードについて、書籍やWebで調べ、概要を把握しておくこと。 復習：配布資料を再読し、学んだ概念の具体例を自分自身の中を探す。授業で紹介する文献や資料を読む。					
回	担当者	項目	授業内容			
1	梶井【対面】	オリエンテーション・心理学とは	本講義の進め方や評価方法について説明する。その後、心理学とは何か、心理学の歴史などについて触れ、心理学がどのように発展してきたかについて現在についているかを説明し、今後の講義の見通しを与える。			
2	〃	心理学の研究法	心理学における実験・調査はどのような手法を用いて行われているかを解説し、本講義や心理学の研究を理解する際のベースとなる部分を概説する。			
3	〃	感覚・知覚1：視覚	私たちは目から入ってくるものをそのまま感じているのではなく、脳による処理が行われた結果で得られた情報を感じている。視覚の仕組みを中心に、どのような処理が行われているのかを概説する。			
4	〃	感覚・知覚2：知覚	私たちは物の位置関係だけでなく運動の方向や興行なども知覚することができる。今回は知覚に関する様々な現象やイメージについて解説する。			
5	〃	学習1：条件付け	心理学における「学習」とは勉強のことだけでなく、新しく獲得する様々な内容を含んでいる。今回は「学習」について条件付けを中心に概説する。			
6	〃	学習2：条件付け以外の学習	前回に引き続き、今回は「学習」における条件付け以外の行動の側面の強い学習について概説する。			
7	〃	記憶1：短期記憶	私たちの日常生活を送るうえで記憶は重要な支えとなっている。記憶の分類方法には様々なものがあるが、短期記憶と長期記憶の違いについては日常生活でも感じる部分があるだろう。今回は短期記憶について概説する。			
8	〃	記憶2：長期記憶	前回に引き続き、記憶のなかでも長期記憶を中心に概説する。			
9	〃	言語・思考1：文章の理解	私たちはコミュニケーションの主な手段として言語を使用し、その言語で書かれた文章から学習することが多い。では、どうやって文を読み、その内容を理解しているのか。そのメカニズムについて、今回は読むことを中心に解説する。			
10	〃	言語・思考2：読み書きからの学習	前回に引き続き、言語の理解について、今回は文章を読んで理解して得られることや文章産出などの視点から解説する。			
11	〃	言語・思考3：思考・推論	私たちは日常生活の中でさまざまな目的を作り、達成しようとしている。今回はその目標づけられた思考についてや、様々な推論をめぐる論理的思考について解説する。			
12	〃	動機付け	私たちの行動はなんらかの目的をもって行われている。その目的達成のための行動は何を原動力にして行われているだろうか。行動の動機付けについての心理学の理論を概説する。			
13	〃	学習方略	私たちは日常生活において「何かを学ぶこと」は避けては通れないものといえる。今回は上手に学ぶことについての様々な理論・考え方について、これまでの講義内容を踏まえて概説する。			
14	〃	知能・性格	今回は、知能とは何か、性格とは何か、心理学ではそれらをどのように測定してきたかについて概説する。			
15	〃	総括	これまでの講義を振り返る。			
到達目標	学習・知覚・認知心理学を中心にこれまでの研究成果、理論などを知り、他者に概要を説明できる。					
成績評価の方法と基準	試験方法：レポート 実施時期：試験期間外 毎回提出してもらうリアクション・ペーパーにもとづく平常点(50%)および学期末のレポート(50%)により総合評価する。欠席回数に応じて、左の総合点から減点処置をおこなう。					
学生へのメッセージ(その他注意等)	①講義は配布資料形式を予定しています。参考書欄の本は「参考書」ですので購入必須ではありません。興味のある方や講義をもっと深く理解したい方は読んでみてください。 ②リアクション・ペーパーには、その回の授業でどのようなことが理解できたか、自分のこれまでの体験とつなげてどのようなことを考えたか、あるいは疑問に思ったこと(この辺をもっと説明してほしいなどでも可)などを中心に、積極的に書き込んでください。リアクションペーパーに書かれた内容について授業の最初のフィードバックタイムで返答するか、授業に取り入れるかをしたいと思います。					
教科書・参考書	書名			著者名	出版社名	定価(円)
参考書	心理学要論 ころの世界を探る [改訂版]			福田由紀	培風館	¥2,640
参考書	基礎基本シリーズ⑥ 教育心理学			原田・福田・森山	大学教育出版	¥2,200
参考書	心理学 新版 (New Liberal Arts Selection)			無藤・森 逸藤・玉瀬 著	有斐閣	¥4,620

人間形成の基礎科目

健康の領域

人類史上からみて、本来動くことがあたりまえであるはずのヒトが、極めて短期間に極度の運動不足状態に陥っていることは、明らかに不自然なことと言えよう。今や生活習慣病のほとんどが、運動不足と深く関わっていることが指摘されている。青少年期は子供から大人への成長期にあたり最も重要な時期である。これからの学生生活を健やかに過ごす為にも、身体運動技能や健康学の知識を修得してもらいたいと願い、「健康の領域」では下記のように講義、及び演習形態に大別した授業を展開する。

<健康の科学>

健康は、総合的観点から追求すべき緊急の課題であることを理解し、生涯にわたって健康の保持増進に関する実践者、推進者としての意識を高めてほしい。「健康の科学」では、科学的事実に基づいた知見を身近な話題を例に、わかりやすく伝え、その知識を諸君自身の問題として活かしてもらえるよう授業を行う。各担当教員の専門性に基づき、スポーツ科学、トレーニング科学、発育・発達などの内容を取り入れている。これらの知識は諸君が毎日の生活を送る上でも重要であり、その影響は卒業後にまで及ぶと考えられる。

「健康の科学A」(前期)と「健康の科学B」(後期)は、単独の教員による講義で、それぞれ複数開講される。「健康の科学C」(前期)・(後期)は複数の教員によるオムニバス形式の講義で、前後期ともに1コマのみ開講される。2科目を履修することは可能であるが、同一記号の科目重複履修(異なる曜日のAを2つ、Bを2つ、前期と後期のCを2つ)や同一教員のAとBを重複履修はできないことに注意すること。

なお、講義は全てオンライン形式で行い、履修者定員を上限160名とする。

<健康とスポーツ演習・ライフスポーツ演習>

生命科学を目指す本学に入学生は、学生生活はもとより、生涯にわたって健康に関わる素養を実践する技法、手法を習慣づけることが望ましい。

そのことを踏まえ自ら学ぶ「健康とスポーツ演習」「ライフスポーツ演習A(トレッキング)・ライフスポーツ演習B(キャンプ)・ライフスポーツ演習C(スキー・スノーボード)」の授業を展開する。

医学部以外の学部では、これらの演習科目を履修する場合、いずれか一つの科目しか履修できない。

医学部(M)では、「健康とスポーツ演習」のみの履修となる。

※新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないため、宿泊を伴うライフスポーツ演習A・B・Cは今年度開講しない。

また、健康とスポーツ演習は、同一コマ(時限)の履修希望者数に応じて「対面とオンラインの併用」または「全て対面」の形式で行われる。「対面授業とオンラインの併用」では、実技に加えてルール解説、ストレッチやトレーニング方法の紹介、健康の維持増進に関する講義、課題の実施等を行う。

授業期間	2023年度 前期			授業対象	指定なし 水1		
科目名	健康の科学A (健やかなる育ちと長寿への祈り) (Health Science A)						
科目責任者	安倍 希美				単位数	2単位	
担当者	安倍 希美※						
授業の目的	まず①身体の構造とその仕組み・発育②運動のメカニズム・発達③運動スキルと伝授法・動きの美④古典芸能・芸術⑤老化と介護を学びます。そして身体と運動の成長・老化、文化理解に関する知識、それらの適切な表記法を修得し、幅広い教養と豊かな人間性・問題を解決しより健康で良い将来を展望する多面的思考能力と実行力の養成が目的です。						
教育内容	本科目は皆さんが、身体の構造とその仕組みや人々が文化を理解しながら健康に生きる事について、必要な基礎知識とその実際、適切な表現法を能動的に修得し、今後もそれらを多面的・継続的に学習する意味を講義します。						
教育方法	全て学習支援ソフト「Moodle(ムードル)」利用のオンライン授業です。Moodleには回数毎に授業用動画のURLと文字資料が示されます。授業の振り返りとして Moodle での「アンケート」への回答、授業参加記録簿「JSK」での授業内容の要約・感想記述、6-11回は特設「交流フォーラム」で動作の文字化を主とし能動的に他者と交流。前期末には修得知識の実際とし「レポート」作成しオンライン提出。～授業・アンケート・交流フォーラムへの参加は週末迄に、全体連絡は「アナウンスメント」、質問は「フォーラム」で情報共有、個別相談は「メッセージ」等で大丈夫！～【フィードバックの方法】回答や提出物への特徴的な見解・解説を Moodle に適宜提示、交流フォーラムへ教員も参加						
準備学習(予習・復習)	【講義時間外に必要な学習の時間：60時間】 予習：講義1回につき30分。前回の講義で示される次回の予習ポイントを参考に行う(7時間30分)。 復習：同1時間30分。復習1：アンケート回答・復習2：JSK(ワードファイル)への記述、による知識の整理と定着、復習が重要(22時間30分)！交流フォーラムへの参加とレポート(ワードファイル)の準備と作成(30時間)。						
回	担当者	項目	授業内容				
1	安倍 【オンライン】	ガイダンス、JSK前半用配布	授業内容や進め方の説明、Moodle・フォーラム・Moodle学生マニュアル、JSK(ワードファイル)・図書館の使用方法、諸注意等について				
2	〃	発育発達	発育発達の概観、体型・姿勢変化、性差、研究法 参：からだの発達(教、看)				
3	〃	身体計測、身体発育	身体計測点、身体各部位の長育・脳育、乳幼児の身体計測・身体発育値、参：乳幼児発育評価マニュアル(看護)、日本人のからだ(教養、医学、理学)				
4	〃	姿勢と反射、身体の構造と運動	姿勢・仰臥位・側臥位等、反射：足踏み反射・把握反射等、身体構造と運動：骨・筋肉・関節可動域等 参：写真で見える乳幼児検診の神経学的チェック法(教)				
5	〃	運動制御、発達スクリーニング法	運動制御：近位制御と遠位制御、粗大運動と微細運動 参：基礎運動学(教、医、看、理)、発達スクリーニング法：DENVER II 参：デンパー発達判定法(教)				
6	〃	運動発達 交流フォーラム1	乳幼児の新たな動作様式の獲得過程：寝返り～這う～歩行～走行、投、動物との比較等 参：写真で見える乳児の運動発達(教、医、看護)				
7	〃	歩行のメカニズム、JSK前半提出 交流フォーラム2	歩行と走行、歩行の正常と異常等 参：歩行 筋骨格系の診断ビデオシリーズ10、歩行と足 正常・異常歩行の解析(医)、臨床歩行分析マニュアル(医、看)				
8	〃	スキルとその伝授、JSK後半配布 交流フォーラム3	身体を操る、スキル、スキルの伝達様式：手取り足取り、模倣演技、模倣演技、言語、基本動作の習熟過程：投げると打つ動作等 参：武道学事始め(教)				
9	〃	スポーツにおけるスキルと動きの美 交流フォーラム4	スポーツにおけるスキルと美的認識可能性・ダイナミズム(流動性、躍動感)の記録手法：動画、連写、1コマ写真、絵 参：動作学事始め(教、医、理)				
10	〃	芸術におけるスキルと情動表現 交流フォーラム5	芸術における高度な情動表現とスキルの分析：能楽・歌舞伎・バレエ等の鑑賞、仕草、所作、動作 参：動作学事始め、マルチメディア歌舞伎(教)				
11	〃	民俗芸能、三番叟(さんばそう) 交流フォーラム6	神楽・獅子舞・風流・屋台歌舞伎等の民俗芸能の紹介、三番叟・悪疫退散・邪気払い、自然と生活に結びついた健康への祈り、身体動作のアナログ・デジタル表記の適切性				
12	〃	芸術・芸能資料のデジタル化	美術館・図書館・研究所等の公開する芸術・芸能のデジタル化資料の紹介と利用上の留意点、レポート用ファイル配布				
13	〃	老化	老化の概念とそのプロセス、老いを生きるとは、将来のために今すべき事、参：老化はなぜ進むのか―遺伝子レベルで解明された巧妙なメカニズム(教)				
14	〃	介護とその予防	介護とは、介護保険制度、介護予防等、参：これならわかる スッキリ図解介護保険(教)、老人の介護図解早わかり(看)				
15	〃	提出物の確認、個別指導	JSK後半とレポートを Moodle 上にて12月中に提出				
到達目標	①「アンケート」の回答、「JSK」の記述・オンライン提出、等に必要な基本的知識を定着させ継続的学習ができる ②「交流フォーラム」に参加して、動作の文字化・他者との交流に積極的に取り組むことができる ③ 授業で得られた知識の実際として授業関連範囲で、自らテーマを決め素材を用意し「レポート」を作成・提出できる レポートの素材例：1) 出生から現在までの身長・体重等の成長過程、各種行事、2) 歩行の実際とその発達と老化、3) スポーツや芸術・民俗芸能の場面や日常生活における動き、及びその意義、習熟過程を示す写真・適切な表記法等						
成績評価の方法と基準	試験方法：その他 実施期間外 ①「アンケート」への回答と「JSK」の作成・オンライン提出に、誠実に正確に取り組む継続的学習意欲(30%) ②「交流フォーラム」での動作の文字化・他者交流への積極的な学習態度(加算対象)(30～40%) ③ インターネット上等の情報の丸写りでなく、独自の視点で「レポート」を作成できる多面的問題解決能力(30～40%) 遠隔授業への対応不良・体調不良等で授業に参加が遅れても、悩まないで都合つき次第参加すれば大丈夫！						
学生へのメッセージ(その他注意等)	人間の気負わない仕草や動き、地域に残る文化・民俗芸能等に関心を持って下さい。今まで気付かなかった人間の能力や身体動作の意味・表記法の工夫等が解るかもしれません。参考書は教科書ではないので購入義務はありません。都合により若干干渉の内容変更があるかもしれません。オンライン学習で大変ですが一緒にゆくりと勉強しましょう！						
実務経験の授業への活用方法	企業の技術室でのアナログ資料をデジタル資料化する実務経験より、大生への人間の周辺に生じるアナログ資質のデジタル化の可能性・適切性・再現性・限界等について、適時実例を示しながら説明し、その概念を学生が期末レポート、更には今後の人生において反映させ物事を捉える視野を拡大できるよう活用する。						
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価(円)			
参考書	からだの発達 身体発達学のアプローチ	高石昌弘	大修館書店	¥2,500			
参考書	写真で見える乳幼児検診の神経学的チェック法	前川喜平・小枝達也	南山堂	¥5,800			
参考書	動作学事始め 増補第2版	大道等	杏林書院	¥4,120			
参考書	よこそ伝統芸能の世界 伝承者に聞く技と心	森田ゆい	薫風社	¥2,000			
参考書	観世文庫所蔵能楽資料解題目録	観世清和監修	楡書店	¥13,000			

授業期間	2023年度 後期		授業対象	指定なし 火1		
科目名	健康の科学B (Health Science B)					
科目責任者	池村 司				単位数	2単位
担当者	池村 司					
授業の目的	健康を決定する因子は様々あり、単に疾病が存在しないことを健康と定義しない。健康は人々の生活の質に関わる重要なテーマであるが、複雑な一面を持ち、疾病の有無以外の因子を含めて総合的に判断する必要がある。本授業では科学的根拠に基づいた健康に関連する知識を学び、健康について深い理解を促すことを目的とする。その中で運動や栄養、休養といった生活習慣が健康に及ぼす影響や、健康の維持増進を図るための適切な生活習慣についてを学び、得た知識を自身または他者の健康の維持増進のために応用できるようになることも本授業の目的とする。					
教育内容	授業初期は、健康の概念や健康問題といった健康に関する理解を深めるための知識を扱う。中期は休養・運動・栄養といった生活習慣と健康との関わりを理解するための基礎知識を扱う。後期は生活習慣と健康の関係や、健康の維持増進を目的とした生活習慣についての内容を扱う。					
教育方法	すべての授業をオンライン形式で行う。googleclassroomを通して資料の配布や課題の提示・提出を行う。資料内容を基に学習し、学習後、リアクションペーパーやミニテスト等の課題に取り組む。不明な点はgoogleclassroomのコメント機能やメールを利用して担当教員へ質問をする。ミニテストについては、採点后に解説を付けてフィードバックする。コメントシートについては、全体の理解を促すような質問や疑問をピックアップし、回答集を作成する。回答集はクラスルームの授業資料に格納することで、全体に向けてフィードバックする。 【フィードバックの方法】 クラスルームの授業資料に格納。					
準備学習 (予習・復習)	【授業時間外に必要な学習の時間：60時間】 予習：シラバスにて授業内容を事前に確認し、インターネットや書籍を利用して学習内容に沿った知識を調べる。 復習：授業で得た知識をノート等に整理し、実生活に応用する。					
回	担当者	項目	授業内容			
1	池村 【オンライン】	オリエンテーション	本講義の目的と概要や諸注意事項、成績評価方法等の説明を行う。			
2	〃 【オンライン】	健康の概念	過去から現在までの健康の概念の変容の過程を把握する。現代が抱える健康問題について解説する。			
3	〃 【オンライン】	健康問題への対策	健康問題を解決するための政策を解説する。地域社会が抱える健康問題とその取り組みについての説明を加える。			
4	〃 【オンライン】	人体の構造と機能（筋系）	健康科学分野に関連の深い器官系として、筋系の構造と機能について解説する。			
5	〃 【オンライン】	人体の構造と機能（心臓血管系）	健康科学分野に関連の深い器官系として、心臓血管系の構造と機能について解説する。			
6	〃 【オンライン】	発育発達と老化	今後生じるであろうライフイベント（出産、子育て、介護等）に対応できるよう、人体が如何にして成長し、老化するかを解説する。			
7	〃 【オンライン】	自身の健康状態の評価法	自身の健康状態を評価する方法について学ぶ。			
8	〃 【オンライン】	生活習慣病	日本人の死因上位を占める生活習慣病に関する理解を深める。			
9	〃 【オンライン】	運動と健康①	運動と健康の関係について解説する。			
10	〃 【オンライン】	運動と健康②	健康維持・増進のための運動とはどのようなものかを理解する。また、ライフスタイルや健康状態を基に、個々に適した運動内容の選択方法について学ぶ。			
11	〃 【オンライン】	栄養と健康①	栄養と健康の関係について解説する。			
12	〃 【オンライン】	栄養と健康②	健康維持・増進のための栄養摂取について解説する。自身の食習慣を評価する方法を学ぶ。			
13	〃 【オンライン】	休養と健康	ストレスとストレス反応についての知識と、休養を含むストレスに対する対処法について理解を深める。			
14	〃 【オンライン】	飲酒・喫煙・薬物と健康	飲酒・喫煙・薬物が心身へ及ぼす影響についての理解を深める。			
15	〃 【オンライン】	まとめ	前回までの授業内容を復習し、疑問や質問について個別に対応する。			
到達目標	1) 現代における健康の捉え方や、健康問題の現状と改善への取り組みを説明できる。 2) 生活習慣と健康との関わりについて理解し、適切な生活習慣について説明できる。 3) 自己の健康状態や生活習慣を振り返り、改善することができる。					
成績評価の方法と基準	試験方法：その他 実施時期： ミニテスト等の毎回の課題を定期試験の代わりとして評価する。成績は、課題（70%）、授業態度（30%）を含めて総合的に判断する。また、課題提出の有無で出欠を確認する。					
学生へのメッセージ (その他注意等)	健康に関する幅広い知識を得ること以外にも、ここで学んだ知識を実生活に応用することを意識して授業に臨んで下さい。					
教科書・参考書	書名		著者名		出版社名	定価 (円)
参考書	健康・運動・スポーツの科学		九州大学健康科学センター		大修館書店	¥1,980
参考書	人体の構造と機能		エレイン N. マリープ		医学書院	¥5,500
参考書	新しい栄養学		坂本清・堀口美恵子		三共出版	¥2,200
参考書	運動生理学		池上晴夫		朝倉書店	¥3,520

授業期間	2023年度 前期			授業対象	指定なし (P.T専攻 [必修]) 木1		
科目名	健康の科学C (Health Science C)						
科目責任者	北川 淳					単位数	2単位
担当者	北川 淳/山田 裕子※/今井 雅世※/森岡 優子※/梶山 和美※/吉永 龍起/渡邊 裕之※/池村 司						
授業の目的	心身ともに健康な学生生活を送るための知識を身につける。「心の健康」、「栄養」、「寿命」など健康に関する身近な内容や、「食資源」、「災害時の医療体制」など健康を取り巻く環境について理解する。さらに、運動(競技スポーツも含む)を継続する上で重要な「スポーツ外傷」や「スポーツ傷害」に関する知識についても身につける。これらを通して豊かな健康の維持・向上ができるように「運動・栄養・休養」に関する基礎的な知識を習得することをめざす。						
教育内容	人間の生体機構やストレス対応、運動の持つ様々な効果や食事の大切さ、トレーニング方法などについて医療系、健康科学、運動生理学などを専門とする教員がオムニバス形式で講義する。						
教育方法	各教員が1週または2週にわたり講義形式の動画配信 (Google Classroom による) を行う。1週の講義の場合は、動画視聴後にレポート提出や小テストに解答する。2週の講義の場合は、1週目にリアクションペーパーや課題を提出し、2週目にレポート提出や小テストに解答する。 【フィードバックの方法】 担当教員によって以下のいずれかの方法によって行う。 ① 1週目に課題を設定し、翌週に代表的な回答例について解説を行う。 ② 2週目に授業内テストを実施し、翌週に模範解答を提示する。 ③ 提出したリアクションペーパーに対しては、翌週に主なコメント (5～10件程度) に対応する。						
準備学習 (予習・復習)	【授業時間以外に必要な予習・復習時間: 60時間 (試験のための学習時間も含む)】 予習: ガイダンス時に各担当者の講義概要について説明する。各講義前には内容を把握するとともに用語の意味を理解しておくこと。 復習: 授業内容ノートを確認しておくこと。また繰り返しの視聴により理解を深める。						
回	担当者	項目	授業内容				
1	北川 【オンライン】	ガイダンス (日付: 4/13)	講義内容、展開の仕方、評価方法など授業全般について説明を行う。その後、健康の概念について解説する。				
2	山田 【オンライン】	ストレスと心の健康 (4/20)	適応と不適応の違いやストレス対処方略について。				
3	〃 【オンライン】	人間関係とコミュニケーション (4/27)	場面や立場の違いを考慮した望ましいコミュニケーションについて。				
4	今井 【オンライン】	栄養学概論: 日本人の食生活の現状と望ましい栄養のとり方 (5/11)	国民栄養調査の結果と日本人の食事摂取基準および一人暮らしの食事の工夫。				
5	森岡 【オンライン】	栄養学応用: 生涯にわたる食事の重要性 (5/18)	医療職として修得すべき内容の一つとして、生活習慣病予防の食事療法などについて解説する。				
6	梶山 【オンライン】	日本の災害医療体制について (5/25)	日本の災害医療体制および自助、共助、公助の必要性について。				
7	〃 【オンライン】	災害時のチーム医療について (6/1)	災害時のチーム医療と救護者のメンタルヘルスについて。				
8	吉永 【オンライン】	ストレスと寿命 (6/8)	老化と寿命決定の過程におけるストレスの多様な働きを学ぶ。				
9	〃 【オンライン】	食資源の持続的利用 (6/15)	ウナギを題材として、天然資源の持続的な利用について学ぶ。				
10	渡邊 【オンライン】	スポーツ外傷とは (6/22)	スポーツ外傷の分類とスポーツ外傷発生のメカニズムについて解説する。				
11	〃 【オンライン】	スポーツ外傷の予防 (6/29)	スポーツ外傷予防のための戦略と予防を実施した際の効果について解説する。				
12	池村 【オンライン】	運動と健康 (有酸素運動) (7/6)	有酸素運動が心身に及ぼす効果について解説する。				
13	〃 【オンライン】	運動と健康 (無酸素運動と身体活動) (7/13)	無酸素運動および、生活行動による身体活動が心身に及ぼす効果について解説する。				
14	北川 【オンライン】	骨粗鬆症 (7/20)	女性に多く発症する骨粗鬆症に関して、骨量の加齢変化、骨代謝、予防法などについて解説する。				
15	北川 【オンライン】	まとめ (7/27)	授業全体の総括的なまとめを行う。				
到達目標	①自分自身の健康やその管理方法について理解できる。 ②健康とスポーツの科学、スポーツ医学などの基礎知識を習得する。 ③長い人生を心身ともに健康で過ごすために実践的な知識を教養として身につける。						
成績評価の方法と基準	試験方法: その他 実施時期: 試験期間中 各教員からのレポート課題または授業内テスト (90%) とリアクションペーパー (10%) で総合的に評価する。なお、欠席は減点とする。						
学生へのメッセージ (その他注意等)	自己の健康について興味がある、また健康に関する幅広い知識を習得したい人は必見です。						
実務経験の授業への活用方法	山田裕子: 学生相談室における臨床心理士としての経験を踏まえ、大学入学後の新しい環境下でのストレス対処法や人間関係の築き方について概説する。 今井雅世・森岡優子: 病院での管理栄養士としての経験を踏まえ、一人暮らしの栄養に関する注意点や医療従事者として最低限必要な知識について概説する。 梶山和美: 病院での看護師としての経験を踏まえ、災害発生時の医療体制や初動対応などについて概説する。 渡邊裕之: 病院での理学療法士としての経験を踏まえ、スポーツ傷害について概説する。						
教科書・参考書	書名			著者名	出版社名	定価 (円)	
参考書	特になし						

授業期間	2023年度 後期 授業対象 指定なし (P.T専攻 [必修]) 木1			
科目名	健康の科学C (Health Science C)			
科目責任者	北川 淳		単位数	2単位
担当者	北川 淳/石塚 昌保※/今井 雅世※/森岡 優子※/梶山 和美※/吉永 龍起/渡邊 裕之※/永見 智行			
授業の目的	心身ともに健康な学生生活を送るための知識を身につける。「心の健康」、「栄養」、「寿命」など健康に関する身近な内容や、「食資源」、「災害時の医療体制」など健康を取り巻く環境について理解する。さらに、運動(競技スポーツも含む)を継続する上で重要な「スポーツ障害・スポーツ外傷」、「骨格筋の役割」、「トレーニング方法」に関する知識についても身につける。豊かな健康の維持・向上ができるように「運動・栄養・休養」に関する基礎的な知識を習得することを旨とする。			
教育内容	人間の生体機構やストレス対応、運動の持つ様々な効果や食事の大切さ、トレーニング方法など医療系、健康科学、運動生理学などを専門とする教員がオムニバス形式で講義する。			
教育方法	各教員が1週または2週にわたり講義形式の動画配信 (Google Classroom による) を行う。1週目の講義の場合は、動画視聴後にレポート提出や小テストに解答する。2週目の講義の場合は、1週目にリアクションペーパーや課題を提出し、2週目にレポート提出や小テストに解答する。 【フィードバックの方法】 担当教員によって以下のいずれかの方法によって行う。 ① 1週目に課題を設定し、翌週に代表的な回答例について解説を行う。 ② 2週目に授業内テストを実施し、翌週に模範解答を提示する。 ③ 提出したリアクションペーパーに対しては、翌週に主なコメント (5～10件程度) に対応する。			
準備学習 (予習・復習)	【授業時間以外に必要な予習・復習時間:60時間 (試験のための学習時間も含む)】 予習: ガイダンス時に各担当者の講義概要について説明する。各講義前には内容を把握するとともに用語の意味を理解しておくこと。 復習: 授業内容ノートを確認しておくこと。			
回	担当者	項目	授業内容	
1	北川 【オンライン】	ガイダンス (日付: 9/7)	講義内容、展開の仕方、評価方法など授業全般について。 健康の概念について。	
2	石塚 【オンライン】	ストレスと心の健康 (9/14)	適応と不適応の違いやストレス対処方略について。	
3	〃 【オンライン】	人間関係とコミュニケーション (9/21)	場面や立場の違いを考慮した望ましいコミュニケーションについて。	
4	今井 【オンライン】	栄養学概論: 日本人の食生活の現状と望ましい栄養のとり方 (9/28)	国民栄養調査の結果と日本人の食事摂取基準および一人暮らしの食事の工夫。	
5	森岡 【オンライン】	栄養学応用: 生涯にわたる食事の重要性 (10/5)	医療職として修得すべき内容の一つとして、生活習慣病予防の食事療法などについて解説する。	
6	梶山 【オンライン】	日本の災害医療体制について (10/12)	日本の災害医療体制および自助、共助、公助の必要性について。	
7	〃 【オンライン】	災害時のチーム医療について (10/19)	災害時のチーム医療と救護者のメンタルヘルスについて。	
8	吉永 【オンライン】	ストレスと寿命 (10/26)	老化と寿命決定の過程におけるストレスの多様な働きを学ぶ。	
9	〃 【オンライン】	食資源の持続的利用 (11/2)	ウナギを題材として、天然資源の持続的な利用について学ぶ。	
10	渡邊 【オンライン】	スポーツ傷害とは (11/9)	スポーツ外傷の分類とスポーツ外傷発生のメカニズムについて解説する。	
11	〃 【オンライン】	スポーツ傷害の予防 (11/16)	スポーツ傷害予防のための戦略と予防を実施した際の効果について解説する。	
12	永見 【オンライン】	スポーツと骨格筋 (11/30)	人の運動を司る骨格筋の構造・機能を知る。	
13	〃 【オンライン】	体カトレーニング (12/7)	トレーニングの原理原則、種類や効果を知る。	
14	北川 【オンライン】	骨粗鬆症 (12/14)	女性に多く発症する骨粗鬆症に関して、骨量の加齢変化、骨代謝、予防法などについて解説する。	
15	〃	まとめ (1/11)	授業全体の総括的なまとめを行う。	
到達目標	①自分自身の健康やその管理方法について理解できる。 ②健康とスポーツの科学、スポーツ医学などの基礎知識を習得する。 ③長い人生を心身ともに健康で過ごして行くために実践的な知識を教養として身につける。			
成績評価の方法と基準	試験方法: その他 実施時期: 試験期間外 各教員からのレポート課題または授業内テスト (90%) とリアクションペーパー (10%) で総合的に評価する。なお、欠席は減点とする。			
学生へのメッセージ (その他注意等)	自己の健康について興味がある、また健康に関する幅広い知識を習得したい人は必見です。			
実務経験の授業への活用方法	石塚昌保: 学生相談室における臨床心理士としての経験を踏まえ、大学入学後の新しい環境下でのストレス対処法や人間関係の築き方について概説する。 今井雅世・森岡優子: 病院での管理栄養士としての経験を踏まえ、一人暮らしの栄養に関する注意点や医療従事者として最低限必要な知識について概説する。 梶山和美: 病院での看護師としての経験を踏まえ、災害発生時の医療体制や初動対応などについて概説する。 渡邊裕之: 病院での理学療法士としての経験を踏まえ、スポーツ傷害について概説する。			
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価 (円)
参考書	特になし			

健康とスポーツ演習、ライフスポーツ演習A・B・C

【授業形態】スポーツ演習は、下記のように「健康とスポーツ演習」「ライフスポーツ演習」に大別される。

今年度はコロナ感染予防のため、例年とは授業形態が異なる。

- 健康とスポーツ演習は、「対面とオンラインの併用」または「全て対面」の形式で行われる。
- 宿泊を伴うライフスポーツ演習A（トレッキング）、B（キャンプ）およびC（スキー・スノーボード）は、今年度開講しない。

科目名	授業期間	授業内容
健康とスポーツ演習	通年	授業は学内の施設を使用し、講義、各種スポーツ（球技・軽スポーツなど）を展開する。単位は通年（前・後期）履修して2単位とする。
ライフスポーツ演習A （トレッキング）	前期と 集中授業	授業は学内の施設を使用し、講義、各種スポーツ（球技・軽スポーツなど）を展開する。集中授業は学内の施設（体育館）にて1日、学外（低山・宿泊施設）にて3日間、計4日間行う。単位は学内授業と集中授業を履修して2単位とする。
ライフスポーツ演習B （キャンプ）	前期と 集中授業	授業は学内の施設を使用し、講義、各種スポーツ（球技・軽スポーツなど）を展開する。集中授業は学外の施設（キャンプ場）を使用し、3泊4日の日程で行う。単位は学内授業と集中授業を履修して2単位とする。
ライフスポーツ演習C （スキー・スノーボード）	後期と 集中授業	授業は学内の施設を使用し、講義、各種スポーツ（球技・軽スポーツなど）を展開する。集中授業は学外の施設（スキー場）を使用し、2泊3日の日程で行う。単位は学内授業と集中授業を履修して2単位とする。

※「健康とスポーツ演習」を履修する場合、医学部以外の学部では指定枠はないので、表1の開講曜日時限の8から1つ、希望の曜日時限を選択すること。

※医学部（M）のみ水曜4限の学部指定枠になっている（表1太枠参照）。

【科目と担当者(定員)】

表1 〈健康とスポーツ演習〉

曜日	2限	3限	4限
月	永見智行 池村 司	永見智行 板橋マリオ	安倍希美 板橋マリオ
火	安倍希美 池村 司 板橋マリオ		安倍希美 池村 司
水	北川 淳 永見智行 池村 司		【医学部指定枠】 北川 淳 永見智行 池村 司
木	北川 淳 安倍希美 永見智行	北川 淳 朴ジョンヒョク	朴ジョンヒョク
金	北川 淳 板橋マリオ 西岡卓哉	板橋マリオ 阪田俊輔	阪田俊輔 西岡卓哉

各定員は42名程度（教職含む）。

※「健康とスポーツ演習」の履修希望者は、オリエンテーション期間中に抽選システムによる抽選への申込みが必要である。詳細は授業情報サイト掲出の動画による科目説明にて指示がある。

※医学部指定枠では抽選は行わず、授業クラスは人数や男女比等を考慮した上で決定する。

※初回授業は、「一般教育部 お知らせ情報サイト」に掲載される「初回授業実施場所一覧」を確認の上、指定された講義室に集合すること（更衣不要）。

表2 〈ライフスポーツ演習A・B・C〉

曜日	前期2限	定員	後期2限	定員
月				
火	B(キャンプ) 池村 司	男16名 女16名	C(スキー・スノーボード) 小野高志	30～40名 程度
水				
木	B(キャンプ) 永見智行	男16名 女16名	C(スキー・スノーボード) 永見智行	30～40名 程度
金	A(トレッキング) 北川 淳	男20名 女20名		

【総合的な留意事項】

1. 授業展開について

- ①天候や地面の状況等により、授業内容が変更になることがある。
- ②授業で使用する用具（各種ラケット・ソフトボール用具・ゴルフクラブなど全て）は、健康科学単位で準備している。但し、私物を持参して使用することもできる。
- ③各種目の実施場所は、室内種目（バレーボール・バスケットボール・バドミントン・卓球など）は総合体育館。屋外種目（テニス・ソフトボール・サッカー・ゴルフなど）は第一総合グラウンド。屋外種目履修者が雨天時は総合体育館又は講義室等を使用して行うので、その日の連絡事項（掲示）に従うこと。
- ④必ず健康診断を受診すること。

2. 運動着について

- ①授業には運動着（個人の常識ある判断を尊重する）で出席すること。
- ②寒暖等の気象変化による服装は、各担当教員の指示を受けること。その結果、多少の規制を受けることがある。
- ③施設管理上の面から、総合体育館使用の時は室内専用シューズとし、土足厳禁とする。
- ④屋外種目実施の場合は、テニス可能な底が平らなシューズを準備すること。

3. この科目の履修方法について

- ①4月1日に公開する動画で行われる各学部別の「科目説明」で、健康科学単位に関するガイダンスを受ける。
- ②この科目を履修したいが支障のある人は事前に健康科学単位に相談すること。
- ③「健康とスポーツ演習」の履修を希望する場合は、ガイダンスでの指示を念頭に、各自で時間割表と学修要項（シラバス）を熟読・理解し、履修可能な時限と授業内容を確認すること。そしてオリエンテーション期間中に抽選システムによる抽選に申し込むこと（第3希望まで入力可能）。希望者が多い場合には抽選で決定する。
- ④抽選を行った場合、履修可否の結果は初回の授業が開始するまでに学部・学科毎に抽選システム上に掲載されるので、よく確認すること。なお定員に余裕のある時限が生じた際には、第2回抽選が行われる場合があるので、希望者は募集状況を確認し迅速に行動すること。

【体育施設・運動用具など使用上の注意】

- (1) 全て、使用前よりも良好な状態にしておくように心掛ける。
(コート整備・用具整頓・掃除など)
- (2) 床・コート・グラウンド面の保全や安全性のため、運動靴を必ず履く。
また、コート・グラウンドの表面が軟弱な場合は使用しない。
- (3) 体育館・コート・グラウンド内では喫煙、飲食を禁止する。
- (4) 更衣室・シャワー・トイレ等は、汚さないように留意して使用する。
- (5) 盗難防止のために更衣室内には貴重品等は放置せず、授業実施場所へ持参するなど、自己管理を原則とする。

授業期間	2023年度 通年		授業対象	M学部 水4
科目名	健康とスポーツ演習 (Health Sports Seminar)			
科目責任者	北川 淳		単位数	2単位
担当者	北川 淳			
授業の目的	運動が不足した生活は、肥満・高血圧・糖尿病・ガンなど様々な疾患を引き起こす。したがって、学生時代に運動習慣を身につけ、生涯に亘り運動を継続してゆくことは、長い人生を健康に過ごす上で重要である。 本科目では、スポーツを通して健康と体力の増進・運動技能の向上・運動習慣の形成、自己の健康管理能力の向上を図り、生涯スポーツへの契機を修得する。また、同じ種目を選択したメンバーと円滑なコミュニケーションを持つことができる態度や能力を身につける。			
教育内容	同じ時間に3クラスが開講されており、更衣室等混雑による感染リスクを下げるため「対面による演習2回(体を動かす)とオンライン1回(基本動作の動画説明や健康・スポーツ科学に関する動画学習など)」をローテーションで行う。 対面による演習授業は体育館、グラウンド、テニスコートにて行う。集団スポーツであるソフトボール、バレーボールでは、基本技術の指導後、試合(ゲーム)の時間を多く取り入れ、その中で適切なプレーができるよう指導する。テニス、バドミントンの授業では、基本技術を活用して主にダブルスのゲームを楽しむ。 オンラインでは、生涯にわたって健康で過ごすための運動生理学的知識を体系的に解説する。			
教育方法	バレーボールやソフトボールでは男女別または混合チームでの練習やゲームを予定している。 硬式テニス、バドミントンではボールやシャトルの各種打ち方を動画による説明と演習で実践し、基本練習とゲームを行う。屋外種目の雨天時には、体育館(トレーニングルームや武道場)での運動を行う。 【フィードバックの方法】 各種目では基本練習中やゲーム中に、状況に応じて個別やチームに指導(アドバイスや見本を示す)を行う双方向型の授業を行う。 オンライン授業の時は、内容に関する課題(リアクションペーパー)を提出する。代表的な提出内容を数例(5件程度)まとめた形で全体に対してフィードバックする。			
準備学習(予習・復習)	【授業時間以外に必要な予習・復習時間:30時間】 授業以外の日常生活の中でも、トレーニングルームを利用するなど積極的に身体を動かし、体力向上を目指す時間等も含む。 予習:各種目のルール等(必要に応じてプリント配布)を確認する。オンライン講義の場合は「各授業内容記載の语句」について調べておく。 復習:演習内容をノートにまとめておくこと。オンライン授業では繰り返しの視聴により理解を深める。			
回	担当者	項目	授業内容	
1	北川 【対面】	ガイダンス(日付:4/12)	指定された講義室にて授業内容の説明を行う。その後は自己紹介の時間。更衣不要。	
2	〃 【対面】	バレーボール①(4/19)	ボールに慣れる(2人組でオーバーハンド・アンダーハンドレシーブ、6人組でのトス練習等)。練習ゲームを行う。	
3	〃 【オンライン】	運動に関する科学的知識①(4/26)	スポーツ種目の動作には「運動連鎖」という「複数の関節を連動させる動作」が重要である。この仕組みを知っておくと、演習で行う各種目や部活動を行う上で役立つ。そこで、オンライン授業1回目に、動画による動作分析をもとに解説する。	
4	〃 【対面】	トレーニングルーム利用説明(5/10)	総合体育館1階には設備が充実したトレーニングルームがある。トレーニング(有酸素トレーニングや筋力トレーニング)機器の利用方法について指導する。	
5	〃 【対面】	バレーボール②(5/17)	攻撃方法の基本練習(トス、アタックなど)後ゲームを行い、これらのプレーを実践してみる。	
6	〃 【オンライン】	健康に関する科学的知識(5/24)	健康の定義やダイエットの基礎知識(1ヶ月で1kg痩せるには)などについて解説する。	
7	〃 【対面】	バレーボール③(5/31)	基本練習(トス、スパイク、サーブ)後ゲームを行い、3段攻撃を目指す。	
8	〃 【対面】	バドミントン①(6/7)	各種ショット(ドライブ、ハイクリア、ドロップ、スマッシュ、ヘアピン)を指導する。これらのショットを用いて、コート半面でシングルス(1対1の試合)を行う。	
9	〃 【オンライン】	運動に関する科学的知識②(6/14)	運動時のエネルギー供給や筋線維組成(短距離タイプかマラソンタイプか)について説明する。	
10	〃 【対面】	バドミントン②(6/21)	各種ショットの基本練習、サーブ練習を行った後、ダブルスゲームのルールを説明する。ルールを理解した後にダブルスゲームを行う。	
11	〃 【対面】	バドミントン③(6/28)	基本練習後ダブルスゲームを行い、ゲーム中に各種ショットができることを目指す。	
12	〃 【オンライン】	運動に関する科学的知識③(7/5)	骨格筋の収縮様式について解説する。筋トレのコツ、筋肉痛や病気の予防に役立てる。	
13	〃 【対面】	ソフトボール①(7/12)	キャッチボール、トスバッティング、ノックなどをを行いボールに慣れる。	
14	〃 【対面】	ソフトボール②(7/19)	基本練習後、チーム編成を行いゲームを行う(男女別を予定)。	
15	〃 【対面】	個別指導(7/26)	必要に応じて個別指導や質問等の対応。	
16	〃 【オンライン】	後期の始まり 運動に関する科学的知識④(9/6)	筋肥大のメカニズム、筋トレと有酸素運動の順番が違うと? 病気の予防に対する運動の効果について解説する。	
17	〃 【対面】	ソフトボール③(9/13)	受講者全体のレベルや男女比を考慮した上で、男女別または男女混合でゲームを行う。	
18	〃 【対面】	グラウンド種目選択(9/20)	ソフトボール、サッカー、グラウンドゴルフなどから選択する。	
19	〃 【オンライン】	運動に関する科学的知識⑤(9/27)	心拍数を用いた運動強度の考え方や最大酸素摂取量と運動種目との関係について説明する。	
20	〃 【対面】	グラウンド種目選択(10/4)	ソフトボール、サッカー、グラウンドゴルフなどから選択する。	

21	〃 【対面】	硬式テニス① (10/11)	ラケットの持ち方、構え方、タイミングの取り方などを説明することから始める。硬式のテニスボールに慣れるため、ショートテニス（距離を短くしてペアで打つ）から始まり、次にボレーを行ってみる。	
22	〃 【オンライン】	運動に関する科学的知識⑥ (10/18)	肥満のタイプや体脂肪率の測定方法、「隠れ肥満、細マッチョ」などについて科学的に解説する。	
23	〃 【対面】	硬式テニス② (10/25)	基本技術のレベルアップ。ショートテニスとボレーが継続することを目指す。次にサーブを練習し、シングルス（1対1）ゲームを体験する。ダブルスゲームのルール、審判法、運営法の説明を行った後、ダブルスゲームを体験する。	
24	〃 【対面】	硬式テニス③ (11/1)	基本練習後、各コートに3～4ペア配置し、ダブルスゲームを行う。	
25	〃 【オンライン】	運動に関する科学的知識⑦ (11/8)	体力が「ある、ない」とは？「体力の正体（定義・種類）」や「健康と体力との関係」について解説する。	
26	〃 【対面】	硬式テニス④ (11/15)	男女でペアを組む、テニス経験者と初心者がペアを組むなどして、様々なレベルの人たちとテニスが楽しめることを体験する。	
27	〃 【対面】	屋外種目選択 (11/22)	硬式テニスまたはグラウンドゴルフ（木製のクラブとボールを用い、芝生グラウンドに設置したコースを廻る簡易ゴルフ）を行う。	
28	〃 【オンライン】	運動に関する科学的知識⑧ (11/29)	自宅で実施可能なトレーニングについて解説する。	
29	〃 【対面】	体育館アリーナ種目 (12/6)	バレーボール、バドミントン、卓球、バスケットボールなどから選択する。	
30	〃 【対面】	個別指導 (1/11)	必要に応じて個別指導や質問等の対応。	
到達目標	バレーボール：サーブに対するレシーブがコントロールできる。チームメートをカバーできる。 バドミントン：サーブと基本ショットが安定して打てる。スマッシュが決まる。 硬式テニス：ストロークやボレーが5往復程度連続してできる。 ソフトボール：三振をしない。フライをキャッチできる。ゴロの捕球やスローイングが安定してできる。 これら技術的な目標の他に、協調性やリーダーシップを発揮し、生涯にわたる運動の重要性を理解することができる。			
成績評価の方法と基準	試験方法：なし 実施時期： 各種目の進歩度（30%）、受講態度（40%）、チームやパートナーに対する貢献度（30%：実施種目を過去部活動で行ってきた者は到達目標に達しているのを）を総合して評価する。なお、欠席は減点とする。			
学生へのメッセージ（その他注意等）	受験勉強中は運動する機会が無かったと思いますので、スポーツの楽しさや爽快感を再確認し、生涯にわたって継続できる運動（種目）を見つけてください。			
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価 (円)
なし				

授業期間	2023年度 通年		授業対象	M学部 水4
科目名	健康とスポーツ演習 (Health Sports Seminar)			
科目責任者	永見 智行		単位数	2単位
担当者	永見 智行※			
授業の目的	生活習慣病を始めとする様々な疾病は運動不足に起因すると言われる。生涯に渡って健康な生活を送るためには、できるだけ早期に運動習慣を身につけ、大学卒業後も運動を継続していくことが重要であろう。これに向けて本授業では、様々な種目を通してスポーツそのものの楽しさ、運動技術の奥深さを改めて理解し、生涯スポーツに取り組む姿勢を身につけることを最大の目標とする。その一環としてニュースポーツ、アダプトドスポーツも取り入れ、誰もが参加出来るスポーツへの理解を深める。また特にチーム種目では、技術の向上、戦術・戦略の理解に向けて周囲と協力できるコミュニケーション能力を養うことも目標とする。			
教育内容	複数の個人スポーツ、チームスポーツに取り組む。いずれの種目でも、必要な知識、基礎技術を習得することのみならず、チームメートや相手を尊重し協力してスポーツに取り組む姿勢を身につける。特にチームスポーツでは、編成されたチーム内で互いに教え合い、技術の向上を図れるような環境を提供する。			
教育方法	対面授業では、体育館アリーナ、屋外グラウンドを使用し、種目ごとに編成されたチーム・グループ内での基礎練習、チーム対抗のゲームを中心に行う。適宜動作映像を撮影し、これを自身が客観的に観察することで動作改善を図る。前期中にはトレーニングルーム利用方法の講習も行う。オンライン授業では Google Classroom にて、映像資料及び課題を掲示する。 いずれにおいても授業の取り組みを振り返り、毎回のまとめを Google Classroom から提出する。その内容について、次回の授業でコメントする。 対面授業での感染症への対策として、更衣中や運動中の密集・密接・密閉を避けるとともに、授業前後での手洗い、手指および用具の消毒を、また熱中症等への対策として、休憩、水分補給時間の確保を徹底する。 【フィードバックの方法】 毎回の振り返りで提出された内容のうち、特徴的な見解や誤解について次回の授業でコメントする。また授業内で撮影する映像を用いて、身体動作やチームのフォーメーションの良し悪しなどを適宜解説する。			
準備学習 (予習・復習)	【授業時間外に必要な学習の時間：30時間】 予習：各種目のルールを把握し、未経験の種目はそのプレーの様子をインターネット上の映像等で確認し、理解しておく。 復習：授業の取り組みを振り返り、毎回のまとめを Google Classroom から提出する。次回への課題を把握する。			
回	担当者	項目	授業内容	
1	永見 【対面】	ガイダンス	授業内容や進め方、評価法、Google Classroom への登録法について把握する。	
2	〃 【オンライン】	トレーニングの基礎理論	持久的トレーニング、筋力トレーニングの効果、方法を学ぶ。	
3	〃 【対面】	トレーニングルームの利用説明、ウォーミングアップ法の実践。	トレーニングルームの使用方法を学ぶ。静的ストレッチングを実践し、効果を確認する。	
4	〃 【対面】	軽運動	クラスメイトとのアイスブレイク。	
5	〃 【オンライン】	スポーツ動作の基礎理論1	フライングディスクを「投げる」2つの方法について学ぶ。	
6	〃 【対面】	ディスクゴルフ	フライングディスクを「投げる」「捕る」技術の練習。ゲームの説明、実施。	
7	〃 【対面】	アルティメット1	フライングディスクを「狙ったところへ投げる」技術の練習。ゲームの説明、戦術の考案、実施。	
8	〃 【オンライン】	スポーツ動作の基礎理論2	運動スキルの発達について学ぶ。	
9	〃 【対面】	アルティメット2	フライングディスクを「遠くへ投げる」「曲げる」技術の練習。ゲームの説明、戦術の考案、実施。	
10	〃 【対面】	アルティメット	飛んでくるフライングディスクを「走りながらキャッチする」技術の練習。大きなコートでのゲーム実施。	
11	〃 【オンライン】	スポーツ動作の基礎理論3	手に持ったラケットやボールを強く速く動かすための運動連鎖を学ぶ。	
12	〃 【対面】	バドミントン1	シャトルを「速く打つ」技術の練習。ダブルスゲームの説明、実施。	
13	〃 【対面】	バドミントン2	シャトルを「鋭く打つ」技術の練習。ダブルスゲームの実施。	
14	〃 【オンライン】	スポーツと安全1	いざという時の心肺蘇生法、応急処置を学ぶ。	
15	〃 【対面】	個別指導	必要に応じて個別に指導を行う。	
16	〃 【対面】	キンボール	ニュースポーツゲームのルール説明、実施。	
17	〃 【対面】	ソフトバレーボール	柔らかいボールを使ったバレーボール派生ゲームの実践。	
18	〃 【オンライン】	スポーツと安全2	スポーツ傷害の機序と予防法を学ぶ。	
19	〃 【対面】	バレーボール1	両手での「レシーブ」「トス」の基本技術練習。ゲームのルール説明、実施。	
20	〃 【対面】	バレーボール2	3段攻撃など連携を活かした戦術の練習。ゲームの実施。	
21	〃 【オンライン】	スポーツ動作の基礎理論4	バットやゴルフクラブなど、道具を両手に持って「振る」技術について学ぶ。	
22	〃 【対面】	ティールール	バットで「打つ」技術の練習。ゲームのルール説明、戦術の考案、実施。	
23	〃 【対面】	ソフトボール1	ボールを「投げる」技術の練習。ゲームの説明、戦術の考案、実施。	

24	〃 【オンライン】	スポーツ動作の基礎理論 5	ボールを「遠くへ投げる」、飛んでくるボールを上手に「捕る」方法を学ぶ。	
25	〃 【対面】	ソフトボール 2	ボールを「遠くへ投げる」、グローブで「捕る」技術の応用練習、ゲームの実施。	
26	〃 【対面】	サッカー 1	ボールを「蹴る」基本技術、「パスをつなぐ」の練習、ゲームの説明、実施。	
27	〃 【オンライン】	スポーツ動作の基礎理論 6	スポーツにおける相対的年齢効果について学び、その対策を考える。	
28	〃 【対面】	サッカー 2	ボールを鋭く「蹴る」技術、敵味方を見定めて「良いポジションを取る」の練習、ゲームの実施。	
29	〃 【対面】	サッカー 3	大きなコートでのゲームの実施。	
30	〃 【対面】	個別指導	必要に応じて個別に指導を行う。	
到達目標	1. 未体験のスポーツに触れ、スポーツの何が楽しいのか、面白いのかを理解し、運動習慣形成の礎とする。 2. 各運動技術に必要な体の動かし方、ゲームでの戦術や戦略を理解し、説明できる。 3. ひとつの目標に向けて仲間と協力できるコミュニケーション能力を身につける。			
成績評価の方法と基準	試験方法：なし 実施時期： 授業参加への意欲、主体的で積極的な態度、得られた学びの定着具合を、実技、課題提出をもって評価する（60%）、また技術（上手さ）そのものだけでなく、自分及び仲間の技術向上に向けた協力、コミュニケーション、取り組みを評価する（40%）、欠席は減点とする。			
学生へのメッセージ（その他注意等）	感染症、スポーツ傷害等への対策を徹底しながら、運動・スポーツの楽しさ、生活の中での意義を改めて感じ取れる授業にしたいと思います。これまで学校での体育にあまり良い思い出が無い、という学生も大歓迎です。運動に適した服装、シューズ（グラウンド用、体育館用それぞれ）が必要です。			
実務経験の授業への活用方法	プロ野球球団にてデータ・映像分析に従事した経験を活かし、授業で撮影する動作映像を用いて効率的な運動学習やチーム戦術の理解を促す。			
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価(円)
参考書	なし			

授業期間	2023年度 通年		授業対象	M学部 水4
科目名	健康とスポーツ演習 (Health Sports Seminar)			
科目責任者	池村 司		単位数	2単位
担当者	池村 司			
授業の目的	<p>身体不活動は死亡に対するリスク因子のトップ5に入り、そのリスクは肥満や喫煙に匹敵する。したがって、健康維持・増進を図るためには生活の中に運動・スポーツを取り入れ、継続することも重要である。また、スポーツの実践を通して自身の身体状態の確認ができるため、習慣的にスポーツを行う者は健康管理能力が高くなる。近年では労働現場において健康管理と生産性の関係が注目され、積極的に健康投資に取り組む「健康経営」が推奨されている。自己の健康管理能力は、社会で活躍するために併せ持つべき能力の1つといえよう。</p> <p>本授業では、スポーツを介して生涯にわたって健康を維持するために必要な①スポーツの楽しさへの理解を促し、②幅広いスポーツ種目で基本的なルールの習得と技能の向上を目的とする。また、③チームスポーツ種目の実践を通してコミュニケーション能力を養うことも目的とする。</p>			
教育内容	<p>様々なスポーツ種目に取り組む。各スポーツ種目の基本的な技能とルールを教授し、ゲームを通してスポーツの楽しさを体験する。個々の技能向上を図るために、個人目標の設定と反省を行う。チーム戦を実施し、また、チームの課題について議論する機会を設ける等して、コミュニケーションを図れるような環境を提供する。</p>			
教育方法	<p>授業はオンライン形式と対面形式を織り交ぜて実施する。</p> <p>対面形式では各スポーツ種目の①ルール説明と基本的な動作の練習、②ゲームの実践、および③チーム戦を実施する。チーム戦の前に個人の技能に関する目標を設定する。チーム戦後に自己評価と技能向上のための具体的な解決策をまとめ、課題として提出する。</p> <p>オンライン形式では、各スポーツ種目のルール説明と基本的な動作の練習や、健康づくりのための運動・スポーツに関する知識を学び、実践する。googleclassroomを通して資料の配布や課題の配布・提出を行う。資料内容を基に学習し、学習後に課題に取り組む。googleclassroomのコメント機能を利用して履修生間でのディスカッションや、担当教員へ質問を行う。</p> <p>課題へのフィードバックとして、回目の回答内容の質向上に生かせるよう、評価の高い回答や全体の理解を促すような疑問質問を、担当教員のコメント・回答を交えて全体に向けて紹介する。教員への質問等はメール、googleclassroomのコメント、および対面にて直接受け付ける。</p> <p>【フィードバックの方法】 クラスルームの授業資料やストリーム、ならびに対面授業時に口頭にて行う。</p>			
準備学習 (予習・復習)	<p>【授業時間外に必要な学習の時間：30時間】</p> <p>予習：実施するスポーツ種目の試合映像を確認する。基本的動作とルールといった該当種目に関わる知識を収集する。</p> <p>復習：実施したスポーツ種目の基本的動作とルールを復習する。自身のパフォーマンスと、自身よりパフォーマンスが優れた者の差異について考察する。</p>			
回	担当者	項目	授業内容	
1	池村 【対面】	ガイダンス	本講義の目的と概要や諸注意事項、成績評価方法等の説明を行う。	
2	〃 【対面】	トレーニングルームの利用説明	トレーニングルームにて各種機器の使用手法やトレーニングの方法について学ぶ。	
3	〃 【対面】	ティーボール	バッティング動作を中心とした基本的動作（バッティング・キャッチング・スローイング）の練習を行う。ティーボールのゲームを行う。	
4	〃 【オンライン】	バッティング動作	バッティング動作を洗練させるために必要な知識を学び、練習を行う。	
5	〃 【対面】	ソフトボール①	ルールを説明する。チーム練習と、試合形式でのゲームを行う。回目の試合に備え、個人目標を決める。	
6	〃 【対面】	ソフトボール②	練習後、試合を行う。個人目標と照らし合わせ、自身のプレーの反省を行う。	
7	〃 【オンライン】	運動神経とは	運動神経が良い人・悪い人の違いについて、およびスポーツ動作を獲得し定着する過程について解説する。	
8	〃 【対面】	サッカー①	ルールの説明と、シュート・パス・ドリブル等の基本動作の練習を行う。試合形式のゲームを行う。回目の試合に備え、個人目標を決める。	
9	〃 【対面】	サッカー②	練習後、試合を行う。個人目標に照らし合わせて自身のプレーの反省を行う。	
10	〃 【オンライン】	運動・スポーツ実施の現状と課題	運動・スポーツの定義と、我が国における運動・スポーツ実施の現状と課題について解説する。	
11	〃 【対面】	テニス①	ルールの説明と基本的動作（サーブ・ストローク・ボレー）の練習を行う。試合形式のゲームを行う。回目の試合に備えて個人目標を設定する。	
12	〃 【対面】	テニス②	練習後、試合を行う。個人目標と照らし合わせ、自身のプレーの反省を行う。	
13	〃 【オンライン】	健康づくり運動①	健康維持・増進のための運動について解説する。自身の生活に合った運動を計画する。	
14	〃 【対面】	種目選択	これまで行ってきた種目の中から選択して行う。	
15	〃 【対面】	個別指導	必要に応じて個別に実技指導を行う。	
16	〃 【対面】	ディスクゴルフ	基本動作（バックスロー）の練習後、ゲームを行う。	
17	〃 【オンライン】	フライングディスク（フォアスロー）	フライングディスク系の競技種目の紹介と、フォアスロー動作の解説と練習を行う。	
18	〃 【対面】	アルティメット①	ルールを説明する。基本動作（スローイング、キャッチング）の練習と、チーム練習を行う。回目の試合に備え、個人目標を決める。	
19	〃 【対面】	アルティメット②	練習後、試合を行う。個人目標と照らし合わせ、自身のプレーの反省を行う。	
20	〃 【オンライン】	健康づくり運動②	健康維持・増進のための運動の、具体的な実施方法について解説する。	
21	〃 【対面】	バドミントン①	ルールの説明と基本動作（サーブ・クリア・ドライブ・ヘアピン）の練習を行う。試合形式のゲームを行う。回目の試合に備え、個人目標を決める。	

22	〃 【対面】	バドミントン②	練習後、試合を行う。個人目標と照らし合わせ、自身のプレーの反省を行う。		
23	〃 【オンライン】	持久力トレーニング	健康関連体力の1つである持久力の向上を目的としたトレーニングについて解説する。		
24	〃 【対面】	アダプテッドスポーツ	アダプテッドスポーツ（ポッチャ、シッティングバレー、タスポニー等）のゲームを行う。		
25	〃 【対面】	卓球①	ルールを説明し、基本動作（サーブ、フォアハンド、バックハンド）の練習を行う。試合形式のゲームを行う。次回の試合に備えて個人目標を設定する。		
26	〃 【オンライン】	筋力トレーニング	健康関連体力の1つである筋力の向上を目的としたトレーニングについて解説する。		
27	〃 【対面】	卓球②	練習後、試合を行う。個人目標と照らし合わせ、自身のプレーの反省を行う。		
28	〃 【対面】	種目選択	これまで行ってきた室内種目の中から選択して行う。		
29	〃 【オンライン】	ストレッチ	健康関連体力の1つである柔軟性を維持・向上させるための、ストレッチの実践方法を解説する。		
30	〃 【対面】	個別指導	必要に応じて個別に実技指導を行う。		
到達目標		1) 各スポーツ種目の基本的な技能とルールを実践・説明できる。 2) 種目に対する理解と技能の向上を図れる。 3) 他者とコミュニケーションを取りながら協力してスポーツを実施できる。			
成績評価の方法と基準		試験方法：なし 実施時期： ①積極的な授業態度（30%）、②技能のレベル（10%）、③個人の技能向上への取り組み（30%）、④チームワークや他者の技能向上への貢献度（30%）を総合して評価する。 ※オンライン形式の授業分の評価について：課題の提出状況と内容から上記①～④を評価する。			
学生へのメッセージ（その他注意等）		様々なスポーツ種目を扱います。生涯継続できるようなスポーツ種目を見つけることを意識して本授業に臨んで下さい。本演習の受講には、スポーツウエアやシューズ（屋内・屋外用の両方）が必要です。			
教科書・参考書		書名	著者名	出版社名	定価（円）
なし					

基礎教育科目

外国語系 〔英語〕

教科の勉強に対する総論

本学に入学者の皆さんにとって、各自が今後専攻するいずれの分野においても、国際コミュニケーションの手段として、英語の運用能力を養成することが必須でしょう。そのため、本学の英語のカリキュラムは、社会生活および職業生活において実際に使える英語を身につけることを目指して組まれています。具体的には、四技能において英語を学び、自分の意志や考えを英語で伝達する能力の育成が重要視されています。このような目的を達成するため、一年次のカリキュラムは英語AⅠ、AⅡ、BⅠ、BⅡの各科目（それぞれ90分の授業で半期制）をできるだけ少人数で行えるようにクラスを編成してあります。

英語AⅠ（前期）、AⅡ（後期）は、学部・学科の特色を配慮した総合的英語運用能力の向上を目的とします。ここでは、各自の専攻分野での知識や大学生・社会人としての教養が身につくような教材やトピックを選んで学びます。BⅠ（前期）、BⅡ（後期）は、実際に役立つ英語によるコミュニケーション能力の向上に重点をおいており、プレゼンテーションやアカデミック・ライティングの基礎が学べる授業を一部で導入します。また、特定の場面で必要とされる会話表現が学べる授業も展開されます。英語A、英語Bともに、皆さんには予習・復習を十分に行い、積極的な態度で授業に参加していただきたいと思います。

もちろん、コミュニケーションのための英語教育と言っても、“how to speak”と同時に“what to speak”の裏づけがともなわなければ、グローバル社会で役立つ英語とはいえないでしょう。特に、日進月歩の自然科学系の学問分野を専攻する皆さんは、やがて最新の論文を英語で読み、かつ、書いたりしなければならず、また、英語を使って国際的活動に参加する機会もますます増えています。従って、幅の広い教養と共に専門の知識に裏打ちされた英語力が一層必要なことは明らかです。専門分野との関連性を配慮し、総合的な英語力の養成を目指す英語AⅠ、AⅡ、海外での研究や活動を見据えた実用英語運用能力の養成を目的とするBⅠ、BⅡコースは、そうした要請に応えるものです。また、学部によっては、各科目に基礎コースを設け、英語は不得意だけれど、基礎から習得しようとする学生の皆さんの便宜を図っています。

以上のように創意工夫されたカリキュラムをいかに活用するかは、ひとえに皆さんの旺盛な学習意欲にかかっています。さらに、コンピュータを利用した外国語学習施設<CALL Room>*が3部屋設置されているので、正規の授業と並行してこれらの施設を自学自習用としても十分に活用し、自ら主体的に英語を習得しようとする姿勢も同時に身につけて下さい。

*キャンパスガイドおよび北里大学一般教育部ホームページ参照。

2023年度医学部英語履修ガイド 英語AⅠ・AⅡ、BⅠ・BⅡ授業一覧表

医学部	英語AⅠ・Ⅱ		英語BⅠ・Ⅱ	
クラス	日時	担当者	日時	担当者
A	月 1	和治元義博	前期：水 1	James A. Goddard
B		平井清子	後期：月 2	Hugh Kirkwood
C	月 2	和治元義博	前期：水 2	James A. Goddard
D		平井清子	後期：月 1	Hugh Kirkwood

英語AⅠ・AⅡ、BⅠ・BⅡの履修ガイドライン

1. 英語AⅠ・AⅡは、日本人教員による文法、講読を中心とした総合的な英語能力の養成を目標とした授業であり、専攻分野での知識や大学生・社会人としての教養が身につくような教材やトピックを選んで学ぶ。英語AⅠ（前期）とAⅡ（後期）とは、別個に成績評価を出し、合格した学生に1単位ずつ与えるが、同一教員が同一学生を通年にわたって担当する。

 2. 英語BⅠ・BⅡは、実用的な英語のコミュニケーション能力の養成を目的としており、ネイティブ・スピーカーによる授業であり、プレゼンテーションやアカデミック・ライティングの基礎が学べる授業を一部で導入する。英語BⅠ（前期）とBⅡ（後期）とは、別個に成績評価を出し、合格した学生に1単位ずつ与えるが、同一教員が同一学生を通年にわたって担当する。
- ▽ コンピュータを利用した外国語学習施設<CALL Room>が3部屋設置されているので、正規の授業と並んで自学自習用としても、最大限に活用して、英語力の向上を図ってもらいたい。
(キャンパスガイドおよび北里大学一般教育部ホームページ参照)

授業期間	2023年度 前期		授業対象	M学部Aクラス 月1 / M学部Cクラス 月2		
科目名	英語A I (English A I)					
科目責任者	和治元 義博				単位数	1単位
担当者	和治元 義博					
授業の目的	医療や薬剤に関連するトピックを扱った教科書を用いて、専門課程に入る前段階として必要な「読む」「書く」「聴く」「話す」の四技能にわたる総合的な英語力を養成することを目的とする。医療関係の英単語・フレーズをまとめた用語・用例集により、医療英語の語彙、医療現場での会話等を学習する。					
教育内容	専門課程に進む前の段階として必要な英語力を身につけるため、学部の特性に沿った医学的な内容を扱ったテキストを読み、本文に関連した練習問題に答えることで基礎的な英語の運用能力・理解力を高めていく。自学自習用の課題として ALC NetAcademy Next から範囲を指定するので、期日までに終わらせておくこと。(詳細は授業で説明する。)					
教育方法	授業は基本的なグループワークを中心として行う。テキストの本文に関しては、主にパラグラフを中心に各グループに担当箇所を割り当て、単語・熟語・文法・構文(和訳含む)などをグループ内で確認し話し合ったのち、結果は Google Classroom のファイルに書き込んでもらい、クラス全体でその内容の内容を見ながら担当者が適宜解説・修正を行う。その後、音声聞き取りを含む各種問題の答え合わせを行う。 【フィードバックの方法】 Google Classroom にアップロードされた文書の内容について担当者が適宜解説・修正を行う。パラグラフ・ライティングについては、担当者が添削し、コメントをつけて返却する。					
準備学習(予習・復習)	【授業時間外に必要な学習の時間：15時間】 予習：教科書のリーディング部分は辞書を丹念に引いて本文の内容を把握し、わかることとわからないところが区別できるようにしておくこと。練習問題は本文が理解できていれば辞書を引いて答えるので、授業前に必ず答えておくこと。(1時間以上) 復習：英文解釈や書き取り、練習問題で間違えたところは、どうして間違えたのか、答えを見ながら自分でよく確認しておくこと。本文に関しては、意味を考えながら音読し言い回しや文法事項等を定着させること。また、Google Classroom の文書や返却された課題にコメントがある場合は、そのコメントを熟読してその後の学習に活かすこと。(30分以上)					
回	担当者	項目	授業内容			
1	和治元【対面】	イントロダクション	英語で自己紹介を書いてもらったあと、授業の進め方、成績評価の仕方、自学自習用のソフトである ALC NetAcademy Next などについて説明する。その後、Google Classroom の登録、グループ分けを行い、医学部の学生として学ぶ英語がどういふものかについて、医師国家試験の英語の問題を見ながら目標を定め、確認する。			
2	〃	Unit 2 Routes of Drug Administration ①	Unit 2 本文の内容把握			
3	〃	Unit 2 Routes of Drug Administration ②	本文の内容把握(続き)と練習問題の答え合わせ			
4	〃	『医療・看護・歯科・福祉 英語基本用語用例集』単語の小テスト Unit 3 ADME-Absorption, Distribution, Metabolism, & Excretion of a Drug ①	『医療・看護・歯科・福祉 英語基本用語用例集』の10～21ページを範囲とした小テストを行う。その後小テストの答えの解説を行う。小テストの詳細は授業時に指示する。 Unit 3 本文の内容把握			
5	〃	Unit 3 ADME-Absorption, Distribution, Metabolism, & Excretion of a Drug ②	Unit 3 本文の内容把握(続き)と練習問題の答え合わせ			
6	〃	Unit 4 Adverse Drug Reactions (ADRs) ①	Unit 4 本文の内容把握			
7	〃	Unit 4 Adverse Drug Reactions (ADRs) ②	Unit 4 本文の内容把握(続き)と練習問題の答え合わせ			
8	〃	『医療・看護・歯科・福祉 英語基本用語用例集』単語の小テスト Unit 5 Drug Development and Approval in the U.S. ①	『医療・看護・歯科・福祉 英語基本用語用例集』の22～34ページを範囲とした小テストを行う。その後小テストの答えの解説を行う。小テストの詳細は授業時に指示する。 Unit 5 本文の内容把握			
9	〃	Unit 5 Drug Development and Approval in the U.S. ②	Unit 5 本文の内容把握(続き)と練習問題の答え合わせ本文の内容把握			
10	〃	Unit 6 What Is Kampoz? ①	Unit 6 本文の内容把握			
11	〃	Unit 6 What Is Kampoz? ②	Unit 6 本文の内容把握(続き)と練習問題の答え合わせ			
12	〃	『医療・看護・歯科・福祉 英語基本用語用例集』単語の小テスト パラグラフ・ライティング ①	『医療・看護・歯科・福祉 英語基本用語用例集』の35～46ページを範囲とした小テストを行う。その後小テストの答えの解説を行う。小テストの詳細は授業時に指示する。 パラグラフ・ライティングの形式・内容などについて基礎的なことを学習し、自分の選んだトピックについてパラグラフ・ライティングの形式・内容になるように構成を考えて英語で下書きを行う。			
13	〃	パラグラフ・ライティング ②	推敲して完成した英文のパラグラフを学生同士で交換し、文法的な間違いがないか、テーマに沿った一貫した内容になっているか、論旨の流れはスムーズで破綻はないか、などのチェックをし、お互いにコメントを書いて、必要があれば修正ののち、提出する。			
14	〃	まとめ	前期に学習した内容の総まとめを行う。			
15	〃	解説と確認	前期に学習した内容を確認する。			
到達目標	専門課程に進んだときに円滑に学習が続けられるように、この授業を受けることで医学的な話題に関する語彙や表現に慣れ親しみ、医学的なトピックを扱った英文の内容が正しい日本語に訳せるようになるだけでなく、その内容が自分の言葉で説明できるようにする。上記を学ぶ過程で、クラス内の他の学生と討議・相談・協力しながらお互いに英語の読解力を伸ばしていくようになる。グループワークを通して、自分のわかっているところを認識し、自分かわかっている他の人がわからないところがあればその人がわかるように説明できるようにする。医療に関連した単語を日本語に訳せるようになる。自分の考えを正しい英語で論理的に表現できるようにする。(パラグラフ・ライティングの実践)					
成績評価の方法と基準	試験方法：筆記試験 実施時期：試験期間外 予習の度合いおよび授業への積極的な参加の度合い(15%)、オンライン学習ソフトの課題の学習状況(5%)、小テストの結果(20%)、パラグラフ・ライティングの課題(10%)、まとめの結果(50%)などを総合して評価するが、そのうち一つでも0%の項目がある場合は単位を認定しない。遅刻は2回で1回の欠席とし、欠席は全体の評価から1回につき5点ずつ減点していく。また、授業中に授業とは関係ない作業・行動をした場合も減点の対象とする。					
学生へのメッセージ(その他注意等)	辞書は毎時間持つてくること。					
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価(円)		
教科書	The Wonders of Medicine < Third Edition >	瀬谷幸男・高津昌広・西村月満・平井清子・和治元義博・ジェイムズ・A・ガーダ・ヒュー・カークウッド	南雲堂	¥1,900		
教科書	『医療・看護・歯科・福祉 英語基本用語用例集』	瀬谷幸男・西村月満・高津昌広・平井清子・和治元義博・中村文紀	南雲堂	¥2,000		

授業期間	2023年度 後期		授業対象	M学部Aクラス 月1 / M学部Cクラス 月2		
科目名	英語AⅡ (English AⅡ)					
科目責任者	和治元 義博				単位数	1単位
担当者	和治元 義博					
授業の目的	医療や薬剤に関連するトピックを扱った教科書を用いて、専門課程に入る前段階として必要な「読む」「書く」「聴く」「話す」の四技能にわたる総合的な英語力を養成することを目的とする。医療関係の英単語・フレーズをまとめた用語・用例集により、医療英語の語彙、接頭辞、語根、接尾辞、および医療現場での会話等を学習する。					
教育内容	専門課程に進む前の段階として必要な英語力を身につけるため、学部の特性に沿った学制的な内容を扱ったテキストを読み、本文に関連した練習問題に答えることで基礎的な英語の運用能力・理解力を高めていく。自学自習用の課題として ALC NetAcademy Next から範囲を指定するので、期日までに終わらせておくこと。(詳細は授業で説明する。)					
教育方法	授業は基本的なグループワークを中心として行う。テキストの本文に関しては、主にパラグラフを中心に各グループに担当箇所を割り当て、単語・熟語・文法・構文(和訳含む)などをグループ内で確認し話し合ったのち、結果は Google Classroom のファイルに書き込んでもらい、クラス全体でのそのファイルの内容を見ながら担当者が適宜解説・修正を行う。その後、音声聞き取りを含む各種問題の答え合わせを行う。 【フィードバックの方法】 Google Classroom にアップロードされた文書の内容について担当者が適宜解説・修正を行う。プレゼンテーションの原稿は事前に担当者がチェックしてフィードバックを行い、必要があれば発表までに修正してもらう。					
準備学習(予習・復習)	【授業時間外に必要な学習の時間：15時間】 予習：教科書のリーディング部分は辞書を丹念に引いて本文の内容を把握し、わかるところとわからないところが区別できるようにしておくこと。練習問題は本文が理解できなければ辞書を引いて答えられるので、授業前に必ず答えておくこと。(1時間以上)復習：英文解釈や書き取り、練習問題で間違ったところは、どうして間違ったのか、答えを見ながら自分でよく確認しておくこと。本文に関しては、意味を考えながら音読して言い回しや文法事項等を定着させること。また、Google Classroom の文書や返却された課題にコメントがある場合は、そのコメントを熟読してその後の学習に活かすこと。(30分以上)					
回	担当者	項目	授業内容			
1	和治元【対面】	Unit 7 Helicobacter pylori and the New Drugs for Peptic Ulcers ①	Unit 10 本文の内容把握			
2	〃	Unit 7 Helicobacter pylori and the New Drugs for Peptic Ulcers ②	本文の内容把握(続き)と練習問題の答え合わせ			
3	〃	Unit 9 Respiratory Disease: Asthma from Past to Present ①	本文の内容把握			
4	〃	Unit 9 Respiratory Disease: Asthma from Past to Present ②	本文の内容把握(続き)と練習問題の答え合わせ			
5	〃	『医療・看護・歯科・福祉 英語基本用語用例集』単語の小テスト Unit 13 Identifying the Origins of Infectious Diseases ①	医療・看護・歯科・福祉 英語基本用語用例集』の48～61ページを範囲とした小テストを行う。その後小テストの答えの解説を行う。小テストの詳細は授業時に指示する。 本文の内容把握			
6	〃	Unit 13 Identifying the Origins of Infectious Diseases ②	本文の内容把握(続き)と練習問題の答え合わせ			
7	〃	Unit 14 Drugs that Are Applied on Your Skin ①	本文の内容把握			
8	〃	Unit 14 Drugs that Are Applied on Your Skin ②	本文の内容把握(続き)と練習問題の答え合わせ			
9	〃	医療・看護・歯科・福祉 英語基本用語用例集』単語の小テスト プレゼンテーションの準備 ①	『医療・看護・歯科・福祉 英語基本用語用例集』の160～166ページを範囲とした小テストを行う。その後小テストの答えの解説を行う。任意のグループを作り、グループごとに、医療に関連したトピックに関する口頭発表を行うための準備をする。(詳細は授業で説明する。)			
10	〃	プレゼンテーションの準備 ②	前回作ったグループごとに、学科に関連したトピックに関する口頭発表を行うための準備をする。(続き)			
11	〃	プレゼンテーション ①	グループごとにこれまで準備したプレゼンテーション原稿・スライドをもとに口頭発表を行う。			
12	〃	『医療・看護・歯科・福祉 英語基本用語用例集』単語の小テスト プレゼンテーション ② 後期の復習①	『医療・看護・歯科・福祉 英語基本用語用例集』の167～173ページを範囲とした小テストを行う。その後小テストの答えの解説を行う。前回発表していないグループがこれまで準備したプレゼンテーション原稿・スライドをもとに口頭発表を行う。そのあと、後期に学習した内容を復習する。			
13	〃	後期の復習②	前回に引き続き後期に学習した内容を復習する。			
14	〃	まとめ	後期に学習した内容の総まとめを行う。			
15	〃	解説と確認	後期に学習した内容を確認する。			
到達目標	専門課程に進んだときに円滑に学習が続けられるように、この授業を受けることで医学的な話題に関する語彙や表現に慣れ親しみ、医学的なトピックを扱った英文の内容が正しい日本語に訳せるようになるだけでなく、その内容が自分の言葉で説明できるようになる。上記を学ぶ過程で、クラス内の他の学生と討議・相談・協力しながらお互いに英語の読解力を伸ばしていくようにする。グループワークを通して、自分のわかっていないところを認識し、自分がわかっていて他の人がわからないところがあればその人がわかるように説明できるようになる。医療に関連した単語を日本語に訳せるようになり、接頭辞、語根、接尾辞についての理解を深めることができる。また、医療に関するトピックについて自分たちで調べた内容をまとめて英語で発表できるようになる。					
成績評価の方法と基準	試験方法：筆記試験 実施時期：試験期間外 予習の度合いおよび授業への積極的な参加の度合い(15%)、オンライン学習ソフトの課題の学習状況(5%)、小テストの結果(20%)、プレゼンテーションの内容(10%)、まとめの結果(50%)などを総合して評価するが、そのうち一つでも0%の項目がある場合は単位を認定しない。遅刻は2回で1回の欠席とし、欠席は全体の評価から1回につき5点ずつ減点していく。また、授業中に授業とは関係ない作業・行動をした場合も減点の対象とする。					
学生へのメッセージ(その他注意等)	辞書は毎時間持ってくること。					
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価(円)		
教科書	The Wonders of Medicine < Third Edition >	瀬谷幸男・高津昌広・西村月満・平井清子・和治元義博・ジェイムズ・A・ガダード・ヒュー・カークウッド	南雲堂	¥1,900		
教科書	『医療・看護・歯科・福祉 英語基本用語用例集』	瀬谷幸男・西村月満・高津昌広・平井清子・和治元義博・中村文紀	南雲堂	¥2,000		

授業期間	2023年度 前期		授業対象	M学部Bクラス 月1 / M学部Dクラス 月2		
科目名	英語AⅠ (大学生のための医学・医療英語入門) (English A 1)					
科目責任者	平井 清子				単位数	1単位
担当者	平井 清子					
授業の目的	専門に進む前段階として必要な英語力を医療系の英語を中心に、医療・社会問題を考察しながら「読む」、「書く」、「聴く」、「話す」の四技能にわたって総合的な英語力を養成することを目的とする。医療にかかわる映画やDVD教材を適宜使い、聴解力をはじめ、医療系の語彙力や表現力を習得すると総合的な英語力を養成する。自ら英語で新しい事柄を学ぶ力を養成する。					
教育内容	医療に関するトピックを扱ったテキストにより、内容を深め、語彙力・読解力(分析力やまとめる力)を習得する。また、親しみやすい会話のテキスト(ハンドアウト使用)により、医療の現場で役に立つ基本的な会話力を身につける。医学・医療に関する英語で書かれた複数の文献から必要な情報を収集し、それをまとめる。さらに、医療英語の基本的な用語、用例をCALL教材とテキストにより学習する。					
教育方法	双方向、ペアワークを取り入れた授業を行う。随時CD、DVD、CALL教材、ICTを使用する。 学生が授業以外にやるべき課題は以下のものがある(準備学習の欄を参照)。 【フィードバックの方法】 小テスト、課題レポートなどについては添削・評価して返却する。					
準備学習(予習・復習)	【授業時間外に必要な学習の時間：15時間】 課題図書：課題図書：『The Wonders of Medicine』他。 予習：CALL教材で指定された課題についての自学自習。授業前に教科書(課題図書)、プリントに目を通し、単語や用語を調べ、課題のプリントを予習する。 復習：授業後はノート、プリントをまとめる。レポート作成など。 予習・復習・課題については一コマに対して1時間以上かけることとする。					
回	担当者	項目	授業内容			
1	平井 【対面】	前期ガイダンス 医療英語、国家試験(英語問題)等 (ハンドアウト1)	前期ガイダンス 国家試験(英語問題)に挑戦する			
2	〃	医療英語用語用例集Ⅰ The wonders of Medicine Unit 2①	医療英語 Unit 2 Routes of Drug Administration (薬の投与経路とその選択に関する語彙・表現・知識を得る。要点を読み取る訓練をする。)			
3	〃	医療英語用語用例集Ⅰ The wonders of Medicine Unit 2② CALL教材	医療英語 Unit 2 Routes of Drug Administration (薬の投与経路とその選択に関する語彙・表現・知識を得る。重要語句・表現の習得、要点を読み取る訓練をする。)CALL導入			
4	〃	The wonders of Medicine Unit 4① 医療英語用語用例集Ⅰ	Unit 4 Adverse Drug Reactions (薬物有害反応に関する基礎的語彙・表現・知識を得る。要点を読み取る訓練をする。) 医療英語			
5	〃	The wonders of Medicine Unit 4② 医療英語用語用例集Ⅰ	Unit 4 Adverse Drug Reactions (薬物有害反応に関する基礎的語彙・表現・知識を得る。要点を読み取る訓練をする。) 医療英語			
6	〃	医療の英会話(ハンドアウト2)	医療の英会話(1) "I Have a Headache" (英語での医療面接に必要な表現の習得と会話練習)			
7	〃	ハンドアウト3 映像と英語字幕を使って① Before the Flood	内容理解・聞き取り、重要語句・表現、英語文献からの情報収集など① 地球温暖化問題について英語で情報収集してクリティカルに考える			
8	〃	ハンドアウト3 映像と英語字幕を使って② Before the Flood	内容理解・聞き取り、重要語句・表現、英語文献からの情報収集など② 地球温暖化問題について英語で情報収集してクリティカルに考える			
9	〃	医療の英会話(ハンドアウト4)	医療の英会話 "Do You Smoke?" (英語での医療面接に必要な表現の習得と会話練習)			
10	〃	The wonders of Medicine Unit 3① 医療英語用語用例集Ⅰ	The wonders of Medicine Unit 3 ADME Unit 3 ADME(薬の体内での作用に関する基礎的語彙・表現・知識を得る。要点を読み取る訓練をする。) 医療英語用語用例集Ⅰ			
11	〃	The wonders of Medicine Unit 3② 医療英語用語用例集Ⅰ	The wonders of Medicine Unit 3 ADME Unit 3 ADME(薬の体内での作用に関する基礎的語彙・表現・知識を得る。要点を読み取る訓練をする。) 医療英語用語用例集Ⅰ			
12	〃	The wonders of Medicine Unit 5① 医療英語用語用例集Ⅰ	Unit 5 Drug Development and Approval (薬の開発と承認に関する語彙・表現・知識を得る。要点を読み取る訓練をする。)			
13	〃	The wonders of Medicine Unit 5②	Unit 5 Drug Development and Approval (薬の開発と承認に関する語彙・表現・知識を得る。要点を読み取る訓練をする。)			
14	〃	まとめ	まとめ			
15	〃	解説と個別指導	解説と個別指導			
到達目標	1. 医療系英語の用語・用例を習得し、これに関しての英文を、正確に速く読解することができ、要点をまとめることができる。 2. 医療に関しての基本的な会話ができ、英語で表現することができる。 3. 医療関係の映画を見て、その内容を正確に聞き取ることができ、その要点をつかむことができる。 4. 医学・医療について書かれた英語の文献から必要な情報を収集し、それを理解し要約することができる。					
成績評価の方法と基準	試験方法：筆記試験 実施時期：試験期間外 学習参加態度および授業(予習)プリント(10%)、小テスト(10%)、課題レポート(15%)、ALCネットアカデミー課題(10%)、前期試験(55%)を総合して評価する。					
学生へのメッセージ(その他注意等)	皆さんが大学を卒業し社会に出るとき、専門分野で英語を使いこなせる能力は、未来の可能性を大きく広げることになるでしょう。英語を学びながら医療問題を考え、将来に結び付く英語力の基礎を習得して頂きたいと思っています。					
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価(円)		
教科書	The Wonders of Medicine	瀬谷幸男他	南雲堂	¥1,800		
教科書	医療・看護・歯科・福祉 英語基本用語用例集	瀬谷幸男他	南雲堂	¥1,900		
参考書	ALC NetAcademy (e-learning教材)		ALC			

授業期間	2023年度 後期		授業対象	M学部Bクラス 月1 / M学部Dクラス 月2		
科目名	英語AⅡ (大学生のための医学・医療英語入門) (English AⅡ)					
科目責任者	平井 清子				単位数	1単位
担当者	平井 清子					
授業の目的	専門に進む前段階として必要な英語力を医療系の英語を中心に、医療・社会・環境問題を考察しながら「読む」、「書く」、「聴く」、「話す」の四技能にわたって総合的な英語力を養成することを目的とする。医療に関する映画やDVDなどを扱い、「聴解力」、語彙・表現を習得する。自ら英語で新しい事柄を学ぶ力を養成する。					
教育内容	医療に関するトピックを扱ったテキストにより、内容を深め、語彙力・読解力(分析力やまとめる力)を習得する。また、医療会話のテキスト(ハンドアウト使用)により、医療の現場で役に立つ基本的な会話力を身につける。医学・医療に関する英語で書かれた複数の文献から必要な情報を収集し、それをまとめる。さらに、医療英語の基本的な用語、用例をCALL教材とテキストにより学習する。医療問題についてショートリサーチをして、裏付けをしながら英語で自分の意見を書き「書く」パラグラフ(エッセイ)・ライティングの指導をする。					
教育方法	双方向、ペアワークを取り入れた授業を行う。随時、CDやDVD、CALL教材、ICTを使用する。学生が授業以外にやるべき課題は以下のものがある(準備学習の欄を参照のこと)。 【フィードバックの方法】 小テスト、課題レポートなどについては添削・評価して返却する。					
準備学習(予習・復習)	【授業時間外に必要な学習の時間:15時間】 課題図書:『The Wonders of Medicine』他。 予習:CALL教材で指定された課題についての自学自習。授業前に教科書(課題図書)、プリントに目を通し、単語や用語を調べ、課題のプリントを予習する。 復習:授業後はノート、プリントをまとめる。医療問題についての英語エッセイ作成など。 予習・復習・課題については一コマに対して1時間以上かけることとする。					
回	担当者	項目	授業内容			
1	平井【対面】	後期ガイダンス ハンドアウト(1)	Ebola Fighters (Ebola の治療にあった国境なき医師団の看護師について学ぶ)			
2	〃	The Wonders of Medicine Unit8 ① 医療英語用語例集 III	Unit 8 Heart Disease-Nitroglycerin as a Cardiovascular Drug (狭心症や心疾患の治療に関する語彙・表現力・知識を得る。要点を読み取る訓練をする。) 接頭辞、接尾辞を習得する			
3	〃	The Wonders of Medicine Unit8 ② 医療英語用語例集 III CALL 教材	Unit 8 Heart Disease: Nitroglycerin as a Cardiovascular Drug (心臓病についての語彙・表現・知識を得る。要点を読み取る訓練をする。) 接頭辞、接尾辞を習得する CALL 導入			
4	〃	The Wonders of Medicine Unit 7 ①	Unit 7 Helicobacter pylori and the New Drugs for Peptic Ulcers (消化器系疾患の治療に関する語彙・表現を学ぶ。要点を読み取る訓練をする。) 接頭辞、接尾辞を習得する			
5	〃	The Wonders of Medicine Unit 7 ②	Unit 7 Helicobacter pylori and the New Drugs for Peptic Ulcers (消化器系疾患の治療に関する語彙・表現を学ぶ。要点を読み取る訓練をする。) 接頭辞、接尾辞を習得する			
6	〃	医療英会話(3)	"You Should Go on a Diet" (英語での医療面接に必要な基礎的表現を習得する)			
7	〃	The Wonders of Medicine Unit 12	Unit 12 Infectious Disease (感染症に関する語彙・表現を学ぶ。要点を読み取る訓練をする)			
8	〃	New Strains of Pandemic Influenza (映像と英語字幕を使って・ハンドアウト) ①	New Strains of Pandemic Influenza (新型インフルエンザについての語彙・表現・知識を得る。要点を読み取る訓練をする。) 他の感染症についてのショート・リサーチ(複数の文献をクリティカルに読む)			
9	〃	New Strains of Pandemic Influenza (映像と英語字幕を使って・ハンドアウト) ②	New Strains of Pandemic Influenza (新型インフルエンザについての語彙・表現・知識を得る。要点を読み取る訓練をする。) 他の感染症についてのショート・リサーチ(複数の文献をクリティカルに読む)			
10	〃	医療の課題に関するエッセイ・ライティング①	パラグラフ(エッセイ)・ライティングの導入(自分の意見を英語で書く)			
11	〃	医療の課題に関するエッセイ・ライティング②	パラグラフ(エッセイ)・ライティングの導入(自分の意見を英語で書く)			
12	〃	医療英会話(ハンドアウト4)	医療の英会話 "Take One Tablet Three Times a Day" (英語での医療面接に必要な基礎的表現を習得する)			
13	〃	The Wonders of Medicine Unit 10	Unit 10 Pharmacotherapy and Psychiatry: Antidepressants (精神疾患の治療薬と治療法をその歴史とともに考える)			
14	〃	まとめ	まとめ			
15	〃	解説と個別指導	解説と個別指導			
到達目標	1. 必要な医療英語の語彙力・聴解力をつけ、それに関わる事柄を英語で表現できる。 2. 英語を通してグローバルな考え方ができるようになる。 3. 医学・医療に関して英語で書かれた文献から情報収集をし、それを理解しまとめることができる。 4. パラグラフ(エッセイ)・ライティングを学び、それを使って自分の意見を英語で書くことができる。					
成績評価の方法と基準	試験方法:筆記試験 実施時期:試験期間外 学習参加態度および授業(予習)プリント(10%)、小テスト(10%)、課題レポート(10%)、ALC ネットアカデミー課題(10%)、音声提出(5%)、学期末試験(55%)を総合して評価する。*評価の割合については変更の可能性もあります。					
学生へのメッセージ(その他注意等)	皆さんが大学を卒業し社会に出るとき、専門分野で英語を使いこなせる能力は、未来の可能性を大きく広げることになるでしょう。英語を学びながら医療問題を考え、将来に結び付く英語力の基礎を習得して頂きたいと思っています。					
教科書・参考書	書名		著者名	出版社名	定価(円)	
教科書	The Wonders of Medicine		瀬谷幸男他	南雲堂	¥1,800	
教科書	医療・看護・歯科・福祉 英語基本用語例集		瀬谷幸雄 他	南雲堂	¥1,900	
参考書	ALC NetAcademy (e-learning 教材)			ALC		

授業期間	2023年度 前期	授業対象	P学部A・B、S1・2(上級)①クラス木4/P学部C・D、S3・4(上級)①クラス木3/V学科(上級)①クラス水3/M学部Aクラス水1/M学部Cクラス水2/RE学科(上級)クラス月3		
科目名	英語B I (English Discussion and Projects) (English B I)				
科目責任者	J. A. ガダード			単位数	1単位
担当者	J. A. ガダード				
授業の目的	The goals of this course goals are to: 1. Increase students'willingness to communicate in English (by increasing confidence and ability) 2. Increase students' English speaking (accuracy, fluency, pronunciation) 3. Increase student listening comprehension 4. Increase students 'written English (accuracy, vocabulary, length, complexity, creativity) 5.Create independent language study skills, good general academic skills encourage students to be creative thinkers.				
教育内容	Students will follow a discussion textbook that includes listening texts and short speaking projects that may include research.Some units will include supplemental videos and readings in and out of class.Every unit will take about 3 classes.Some activities are online.				
教育方法	The instructor will have students form groups in which they will do all course projects.The instructor will assign listening, videos, presentations, debates, discussions.Students will have to prepare some research for their speaking projects.Every unit will also have a written assignment. .Every unit test will be online, to be taken on students' phones or computers. Feedback from the instructor will generally be sent by email using a learning management system (LMS).				
準備学習(予習・復習)	【授業時間外に必要な学習の時間：15時間】 After each class, students should review the vocabulary and contents of the last lesson and prepare for the upcoming lesson (look at the discussion questions) .Student may also have to do online listening activities. For each koma (class), students should expect to spend an average of at least one hour on vocabulary review, speaking project preparation, or discussion preparation for the next class.				
回	担当者	項目	授業内容		
1	ガダード 【対面】	Orientation and class administration	Review course goals / instructions. Check into grade system and online system. Some communication activities will be done in this first class as well. Students will have a chance to choose the textbook units to be covered.		
2	〃	Unit 1 --Technology, Tasks 1, 2 & 3	Students will register and log into the online textbook, and students will perform tasks 1, 2 & 3 in class. This will include warm up questions / discussions, vocabulary activity, and listening / note taking activities.		
3	〃	Unit 1 --Student Choice, Tasks 4, 5, 6 & 7	Students will perform tasks 4, 5, 6 & 7 in class. This will include warm up questions / discussions, pair work, reading, speaking practice and discussions.		
4	〃	Unit 1 --Student Choice, Tasks 9, 10 & 11	Students will perform tasks 9, 10 & 11 in class. This will include warm up questions / discussions, a presentation, a writing task and other activities.		
5	〃	Unit 2--Student Choice, Tasks 1, 2 & 3	Students will perform tasks 1, 2 & 3 in class. This will include warm up questions / discussions, vocabulary activity, and listening / note taking activities.		
6	〃	Unit 2-Student Choice, Tasks 4, 5, 6 & 7	Students will perform tasks 4, 5, 6 & 7 in class. This will include warm up questions / discussions, pair work, reading, speaking practice and discussions.		
7	〃	Unit 2 --Student Choice, Tasks 9, 10 & 11	Students will perform tasks 9, 10 & 11 in class. This will include warm up questions / discussions, a presentation, a writing task and other activities.		
8	〃	Unit 3 --Student Choice, Tasks 1, 2 & 3	Students will perform tasks 1, 2 & 3 in class. This will include warm up questions / discussions, vocabulary activity, and listening / note taking activities.		
9	〃	Unit 3 --Student Choice, Tasks 4, 5, 6 & 7	Students will perform tasks 4, 5, 6 & 7 in class. This will include warm up questions / discussions, pair work, reading, speaking practice and discussions.		
10	〃	Unit 3 --Student Choice, Tasks 9, 10 & 11	Students will perform tasks 9, 10 & 11 in class. This will include warm up questions / discussions, a presentation, a writing task and other activities.		
11	〃	Unit 4-Student Choice, Tasks 1, 2 & 3	Students will perform tasks 1, 2 & 3 in class. This will include warm up questions / discussions, vocabulary activity, and listening / note taking activities.		
12	〃	Unit 4-Student Choice, Tasks 4, 5, 6 & 7	Students will perform tasks 4, 5, 6 & 7 in class. This will include warm up questions / discussions, pair work, reading, speaking practice and discussions.		
13	〃	Unit 4-Student Choice, Tasks 9, 10 & 11	Students will perform tasks 9, 10 & 11 in class. This will include warm up questions / discussions, a presentation, a writing task and other activities.		
14	〃	Evaluation	Students will participate in an in-class evaluation for the course relating to the units that were covered. This evaluation maybe include multiple choice questions and short essays.		
15	〃	Course summary and wrap up	Final summary, review and conclusion of the course.		
到達目標	Upon completion of the course, students should be more willing and able to use English in a variety of tasks. They will also aim to have improved self-study skills.				
成績評価の方法と基準	試験方法：筆記試験 実施時期：試験期間外 Unit quizzes including unit vocabulary, listening and content -25%, Speaking activities (accuracy, fluency, pronunciation, and creativity) -25% Written activities (creativity, vocabulary, complexity, and length) -25% Final exam based on unit vocabulary and content -25%				
学生へのメッセージ(その他注意等)	A student's initial English ability does not matter to me. A student who has low ability but always tries hard and participates in the class will always receive a high grade.With effort, results will come. Let's work hard and Fun Have!				
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価(円)	
教科書	The English Course Discussion Book 2 - ISBN 978-4-9902962-6-1	G. Ireland & M. Woollerton	The English Company	¥2,500	

授業期間	2023年度 後期	授業対象	P学部A・B, S1・2 (上級) ①クラス 木4/P学部C・D, S3・4 (上級) ①クラス 木3/V学部 (上級) ①クラス 水3/M学部Aクラス 月2/M学部Cクラス 月1/RE学部 (上級) クラス 月3		
科目名	英語BⅡ (English Presentations) (English B II)				
科目責任者	J. A. ガダード			単位数	1単位
担当者	J. A. ガダード				
授業の目的	The goals of this course are to: 1. Increase students' willingness and ability to communicate in English in front of large groups 2. Improve students' organization of ideas to be presented 3. Improve students' presentation speaking and body language 4. Increase students' knowledge of visual aids and multimedia use for presentation purposes. 5. Develop the ability to critique and give input on other students' presentations				
教育内容	The instructor will teach the basics of presentation for several weeks using PowerPoint, videos, handout and practice activities. After this instruction phase, student presentations will begin. There will be group and individual presentations.				
教育方法	The basis for the presentation learning phase of the class will be an instructor-lead PowerPoint presentation series that will last about 4 classes. During these 4 weeks, students will watch video clips of good and bad presentation techniques and be given printed materials to work with. During the first several weeks of class. The instructor will assign small practice activities in these 4 weeks which will be scored. From the 5th week, students will create their own group and individual presentations and perform them in front of the class. Others, students will provide written feedback to the performers. Some students may be chosen to do the four instructional classes in distance mode. If there is time, there will be two holiday activities using foreign videos. Students will submit a contrast and comparison activity afterwards. Feedback from the instructor will generally be sent by email using a learning management system (LMS). [Feedback method]				
準備学習 (予習・復習)	[Required study time outside class hours: 15 hours] After each class, students will be expected to study notes and prepare short speaking tasks or presentation material. Before class, students should practice their assigned speaking tasks or presentations. For each class (class), students should expect to spend an average of at least one hour on review, homework, and preparation for the next class.				
回	担当者	項目	授業内容		
1	ガダード 【対面】	Orientation and class administration, Video Viewing	Introduction as to how the class will work. Some communication activities will be done in class, we may also begin viewing the video of presentation techniques. (Some students may be selected to do this class session in distance mode)		
2	〃	Powerpoint and Video viewing 1	Students will view Powerpoint and video of presentation techniques and do related activities.		
3	〃	Powerpoint and Video viewing 2	Students will view Powerpoint and video of presentation techniques and do related activities.		
4	〃	Powerpoint and Video viewing 3	Students will view Powerpoint and video of presentation techniques and do related activities.		
5	〃	Student group presentations 1	Students will perform the group presentations they have created.		
6	〃	Student group presentations 2	Students will perform the group presentations they have created.		
7	〃	Student group presentations 3	Students will perform the group presentations they have created.		
8	〃	Halloween Activity and makeup group presentations	Students will view one or more Halloween movies for a contrast and comparison activity. This time will also be used for any makeup group presentations.		
9	〃	Student individual presentations 1	Students will perform the individual presentations they have created.		
10	〃	Student individual presentations 2	Students will perform the individual presentations they have created.		
11	〃	Student individual presentations 3	Students will perform the individual presentations they have created.		
12	〃	Student individual presentations 4	Students will perform the individual presentations they have created.		
13	〃	Student individual presentations 5	Students will perform the individual presentations they have created.		
14	〃	Christmas Activity and makeup individual presentations	Students will view one or more Christmas movies for a contrast and comparison activity. This time will also be used for any makeup individual presentations.		
15	〃	Makeup presentations and feedback	Any missed presentations will be done. Class summary and wrap-up.		
到達目標	Upon completion of the course, students should be more willing to use English in groups, perform good presentations, have improved organizational skills and be able to communicate complicated ideas more easily using visual aids.				
成績評価の方法と基準	試験方法：その他 実施時期： Presentation preparation activities (organization, speaking fluency, and body language) -20% Group / individual presentations and videos (organization, speaking, content, multimedia use, and body language) -80%				
学生へのメッセージ (その他注意等)	A student's initial English ability does not matter to me. A student who has little ability but always tries hard and participates in the class will always receive a high grade. With effort, results will come eventually. Let's work hard and have fun.				
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価 (円)	
教科書	No textbook				

授業期間	2023年度 前期	授業対象	P学部A・B、S1・2（上級）②クラス 木4/P学部C・D、S3・4（上級）②クラス 木3/Z学科（上級）クラス 火3/M学部Bクラス 水1/M学部Dクラス 水2/MB学部A・B・C（上級）クラス 月3			
科目名	英語B I (English B I)					
科目責任者	H. カークウッド			単位数	1単位	
担当者	H. カークウッド					
授業の目的	The purpose of the class is to: 1) Increase students' ability to listen to spoken arguments in English 2) Increase students' ability to make spoken English arguments about academic content in English 3) Increase students' ability to take part in group discussions about academic content in English					
教育内容	Students will listen to spoken arguments in English and complete activities based on these arguments. The students will then create recordings of their own arguments. The students will also study about how to make presentations in English before creating their own presentations.					
教育方法	【フィードバックの方法】The teacher will make audio recordings, quizzes, and assignments available in class and on a learning management system (LMS) website called Google Classroom.					
準備学習 (予習・復習)	【授業時間外に必要な学習の時間：15時間】 Students should use their class code to access Google Classroom. To complete assignments, students will research the class topics before practicing speeches and presentations about these topics. Students should then record these speeches using smartphones or similar devices and upload them to Google Classroom. Students should also complete listening quizzes and check their scores and the transcripts of the recordings after they have completed the quizzes. Students will need to complete the recording activities before the deadlines on the class schedule. Some tasks will require students to use Google Docs or Google Slides. To learn about how to use Google Classroom, Google Docs, and Google Slides please see https://sites.google.com/st.kitasato-u.ac.jp/gapps-howto/					
回	担当者	項目	授業内容			
1	H. カークウッド 【対面】	Introduction	The teacher will explain the class and students will practice using Google Classroom. Students will complete practice quizzes and practice making recordings. These practice activities will not affect the final grade.			
2	〃	Health and Well-being (1)	Students will listen to a speech about health and well-being. Students will complete a (practice) quiz based on the speech. Students will practice saying ideas about the speech in English.			
3	〃	Health and Well-being (2)	Students will listen to a speech about health and well-being. Students will complete a (graded) quiz based on the speech. Students will learn about presentations skills and start to prepare ideas for a speech about health and well-being in groups.			
4	〃	Health and Well-being (3)	Students will research information about, write, and record their own (graded) speeches about health and well-being.			
5	〃	Education (1)	Students will listen to a speech about education. Students will complete a (practice) quiz based on the speech. Students will practice saying ideas about the speech in English.			
6	〃	Education (2)	Students will listen to a speech about education. Students will complete a (graded) quiz based on the speech. Students will learn about presentations skills and start to prepare ideas for a speech about education in groups.			
7	〃	Education (3)	Students will research information about, write, and record their own arguments about education.			
8	〃	Science and Ethics (1)	Students will listen to a speech about science and ethics. Students will complete a (practice) quiz based on the speech. Students will practice saying ideas about the speech in English.			
9	〃	Science and Ethics (2)	Students will listen to a speech about science and ethics. Students will complete a (graded) quiz based on the speech. Students will learn about presentations skills and start to prepare ideas for a speech about science and ethics in groups.			
10	〃	Science and Ethics (3)	Students will research information about, write, and record their own arguments about science and ethics.			
11	〃	Urbanization and the Environment (1)	Students will listen to a speech about urbanization and the environment. Students will complete a (practice) quiz based on the speech. Students will practice saying ideas about the speech in English.			
12	〃	Urbanization and the Environment (2)	Students will listen to a speech about urbanization and the environment. Students will complete a (graded) quiz based on the speech. Students will learn about presentations skills and start to prepare ideas for a speech about urbanization and the environment in groups.			
13	〃	Urbanization and the Environment (3)	Students will research information about, write, and record their own arguments about urbanization and the environment.			
14	〃	Preparation for a Final Presentation	Students will study materials about how to make a presentations in English. They will also see examples of English language presentation slides. They will complete the assignment for homework.			
15	〃	Lesson 15 Feedback and Final Questions	In the final week, students upload their recordings. They will be able to send questions to the teacher if they need help. They will also be able to send questions to the teacher about English B and get advice about how to improve their English in future.			
到達目標	This course aims to help students make presentations about topics in English in a way that is suitable for academic contexts. The focus will be mostly on practicing using vocabulary and grammar the students have learned before, but the teacher will also introduce new content.					
成績評価の方法と基準	試験方法：その他 実施時期：試験期間外 1) Listening activities in class (x 4): 30% 2) Recorded speeches (x4): 40% 3) Final Recorded Presentation (x 1): 30%					
学生へのメッセージ (その他注意等)	You will attend classes each week, but you will also need to use Google Classroom to complete class activities. Please read the information at https://sites.google.com/st.kitasato-u.ac.jp/gapps-howto/ to understand how to use the Google Tools. Please check the class schedule carefully so you understand the deadlines for each assignment. If you have any problems, please contact me at kirkwood@st.kitasato-u.ac.jp .					
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価 (円)		
なし	All materials will be supplied by the teacher.					

授業期間	2023年度 後期	授業対象	P学部A・B, S1・2 (上級) ②クラス 木4 / P学部C・D, S3・4 (上級) ②クラス 木3 / Z学科 (上級) クラス 火3 / M学部Bクラス 月2 / M学部Dクラス 月1 / MB学部A・B・C (上級) クラス 月3
科目名	英語BⅡ (English B II)		
科目責任者	H. カークウッド	単位数	1単位
担当者	H. カークウッド		
授業の目的	The purpose of the class is to improve students' abilities to discuss academic topics in English. The themes are the same as BI; however, this time students will need to cooperate to share their ideas about these themes.		
教育内容	Students will attend face-to-face classes and continue to use the LMS (Google Classroom) from English BI to complete tasks. However, whereas in BI the tasks were completed individually, BII will require students to work in assigned groups to participate in, record, and upload discussions.		
教育方法	【フィードバックの方法】 In class, the teacher will give the students guidance and feedback about discussion skills. The teacher will assign groups to students for each unit (3 or 4 classes). In class the teacher will give feedback to help students complete a discussion that will contribute to their final grade.		
準備学習 (予習・復習)	【授業時間外に必要な学習の時間：15時間】 Outside of classes, students need to review the lesson materials and prepare for the discussions. They can use the LMS (Google Classroom) to do this. If students need more practice time or are unable to finish the recordings in the classroom they can also use tools such as Zoom to prepare for or finish tasks.		
回	担当者	項目	授業内容
1	H. カークウッド 【対面】	Lesson 1 Course Introduction	The teacher will explain the differences between English BI and BII. Students will practice English speaking and discussion skills in pairs and groups.
2	〃	Lesson 2 Unit 1 Introduction (Opinions, Reasons, and Examples; Health and Well-being)	The teacher will introduce giving opinions, reasons, and examples in English. Students will be assigned to groups and make introductions. They will do practice activities and brainstorm ideas about health and well-being.
3	〃	Lesson 3 Unit 1 Practice Discussion (Opinions, Reasons, and Examples; Health and Well-being)	In groups, students will record the audio of their practice discussions about health and well-being using their smartphones. Two people will upload this to Google Classroom (one recording is a backup). If a student is absent in the following lesson, this discussion will be used to determine their score.
4	〃	Lesson 4 Unit 1 Graded Discussion (Opinions, Reasons, and Examples; Health and Well-being)	Students will try to record an improved discussion about health and well-being. This discussion will contribute to the students' final grade.
5	〃	Lesson 5 Unit 2 Introduction (Agreeing and Disagreeing; Science and Ethics)	The teacher will introduce agreeing and disagreeing in English. Students will be assigned to new groups and make introductions. They will do practice activities and brainstorm ideas about science and ethics.
6	〃	Lesson 6 Unit 2 Practice Discussion (Agreeing and Disagreeing; Science and Ethics)	In groups, students will record the audio of their practice discussions about science and ethics using their smartphones. Two people will upload this to Google Classroom (one recording is a backup). If a student is absent in the following lesson, this discussion will be used to determine their score.
7	〃	Lesson 7 Unit 2 Graded Discussion (Agreeing and Disagreeing; Science and Ethics)	Students will try to record an improved discussion about science and ethics. This discussion will contribute to the students' final grade.
8	〃	Lesson 8 Unit 3 Introduction (Giving Sources of Information; Urbanization and the Environment)	The teacher will introduce giving sources of information in English. Students will be assigned to new groups and make introductions. They will do practice activities and brainstorm ideas about Urbanization and the Environment.
9	〃	Lesson 9 Unit 3 Practice Discussion (Giving Sources of Information; Urbanization and the Environment)	In groups, students will record the audio of their practice discussions about urbanization and the environment using their smartphones. Two people will upload this to Google Classroom (one recording is a backup). If a student is absent in the following lesson, this discussion will be used to determine their score.
10	〃	Lesson 10 Unit 3 Graded Discussion (Giving Sources of Information; Urbanization and the Environment)	Students will react to the teacher's feedback to record an improved discussion about urbanization and the environment. Because students will need to wait for the teacher's feedback they will have two weeks to complete Lesson 10.
11	〃	Lesson 11 Unit 4 Introduction (Organizing a Discussion; Making Original Discussion Topics)	The teacher will introduce organizing discussions in English. Students will be assigned to groups and make introductions. They will do practice activities and start to think about original discussion topics.
12	〃	Lesson 12 Unit 4 Choosing a Topic	For the final unit each group will choose a topic to discuss. This can be one suggested by the teacher or a topic created by the members of the group. However, since the topic should be an academic one, the group will need to ask the teacher to check the topics before they start practicing.
13	〃	Lesson 13 Unit 4 Practice Discussion (Organizing a Discussion; Students' Chosen Topics)	In groups, students will record the audio of their practice discussions about their chosen topics using their smartphones. Two people will upload this to Google Classroom (one recording is a backup). If a student is absent in the following lesson, this discussion will be used to determine their score.
14	〃	Lesson 14 Unit 4 Final Graded Discussion (Organizing a Discussion; Students' Chosen Topics)	Students will record an improved discussion about their chosen topic. They can change or modify their questions before making this recording.
15	〃	Lesson 15 Feedback and Final Questions	In the final week, students will check their feedback for their final task. They will also be able to send questions to the teacher about English B and get advice about how to improve their English in future.

到達目標	This course aims to help students discuss topics in English in a way that is suitable for academic contexts. The focus will be mostly on practicing using vocabulary and grammar the students have learned before, but the teacher will also introduce new content.			
成績評価の方法と基準	試験方法：その他 実施時期：試験期間外 Unit 1 (Lesson 4) 1st Graded Discussion (15%) Unit 2 (Lesson 7) 2nd Graded Discussion (25%) Unit 3 (Lesson 10) 3rd Graded Discussion (25%) Unit 4 (Lesson 14) Final Graded Discussion (35%)			
学生へのメッセージ (その他注意等)	In this semester most tasks will involve group work, therefore you need to communicate carefully with other group members. If you have an illness or problem that means you are unable to participate in group work for an extended period, please contact me as soon as possible so I can make the required adjustments. If you have any issues or questions please email me at kirkwood@st.kitasato-u.ac.jp			
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価 (円)
なし	All materials will be supplied by the teacher.			

基礎教育科目

数理・情報系 〔数学、統計学A〕(M学部)

◆数学の勉学に対する総論

数学の授業には当然のことながら実験がありません。実験を行わずに理論の力によって問題の解答を得ようとするところに数学の授業の特徴があります。従って、計算を含めて論理を正確に、しかもスマートに使えることが大切です。

この社会が数量の概念を欠いては成立し得ないことから、数学は実に多方面に活用されています。物事を根本から考え、論理的に推論するという数学的な思考法および抽象化された表現法を体得することは専門科目のいろいろな場面で役に立つと思われます。数学は、サイエンスを学ぶ上で世界共通言語であるとも言えますので、生命科学を学ぶ当大学においては必須の科目と考えてよいでしょう。数学の勉強を通じて物事をじっくり考えるという習慣を身につけて下さい。

授業では、特に応用面の広い微分・積分を中心に基本から応用まで内容をしばって(受験勉強とは違った立場で)学びます。授業時間の中に演習の時間も含まれていますから、演習を通じて学んだ知識を確実なものにし、それらを自在に組み合わせるようになって欲しいと思います。毎回回の講義を土台にして、内容を積み上げるので、気を抜かずに行ければ楽しむくらいの余裕をもって出席するよう希望します。

なお、「数学」の授業は前期週2コマとなっています。欠席が続いてしまうとあつという間に授業に追いついていけなくなる恐れがありますので、十分注意して下さい。

▼数学

〔月曜2限、木曜4限開講〕 A、Bクラス

〔月曜1限、木曜3限開講〕 C、Dクラス

◆統計学の勉学に対する総論

統計学は実用的な学問です。研究対象とするある集団(母集団と呼ぶ:一般に非常に大きな集団)から、データを取り、それらを整理・グラフ化しおおよその傾向を把握して(ここまでが、記述統計学と呼ばれる)、母集団に対してある種の結論を導き出します。ある種の結論というのは、母集団の1つの変数の平均がある区間に落ちる(確率付で示す)とか、対象とする2つの母集団はほぼ同じである(仮説を設定して、それが受け入れられるか否かをデータから判定する)とかの結論を出すことです。ある種の結論を出すという部分は推測統計学と呼ばれていて、そこでは確率分布を用いて、結論は確率付で示されます。

統計学は自然科学や社会科学の多くの分野で利用されます。1年間の勉強では全ての統計的方法を学ぶことはできませんが、統計学Aでは基礎的な部分的をしぼり、統計学で何ができるかを1年間学びます。特に、各種統計量(標準偏差、相関係数など)がもつ意味、また1つ1つの統計的方法が何を目的として、どんな意味をもっているかなどを理解して欲しいと思います。卒業研究や、大学院では統計学は頻繁に使われます。また、卒業後仕事についてからも統計資料を見ることは多いと思いますので、この際基礎をしっかりと固めて下さい。

▼統計学

〔木曜3限開講〕 A、Bクラス

〔木曜4限開講〕 C、Dクラス

※後期において、一部イレギュラーな時限になることがあるので、時間割表で確認すること。

授業期間	2023年度 前期	授業対象	M学部A・Bクラス [必修] 月2・木4/ M学部C・Dクラス [必修] 月1・木3
科目名	数学 (Mathematics)		
科目責任者	宮崎 直/酒井 祐貴子	単位数	4単位
担当者	宮崎 直/酒井 祐貴子		
授業の目的	自然科学を学ぶ上で必要な微分積分学と線形代数数学についての基本事項を一通り理解し、その上で計算力および応用力を身につける。また、数理的・理論的なものの考え方の習得と養成を目指す。		
教育内容	月曜日の授業では多変数関数を中心とした微分積分学について、高度な計算方法と、それを応用して得られる定理を解説する。木曜日の授業では線形代数数学、特に行列について、その様々な性質と応用例を中心に丁寧に解説する。なお、下記にある各回の授業項目・授業内容については、第1回から第15回までが月曜日の授業、第16回から第30回までが木曜日の授業に対応するものである。		
教育方法	講義形式で授業を行う。要点を絞り、具体例を多く扱うことで説明はできるだけわかりやすくなるよう心がける。また、知識の定着と応用力養成のために、ほぼ毎回の授業で演習または小テストを実施する。 【フィードバックの方法】 演習や小テストは添削して返却する。		
準備学習 (予習・復習)	【授業時間外に必要な学習の時間：1コマあたり4時間(総時間数：120時間)】 予習：次回授業内容について、教科書の該当部分(毎回4,5ページ程度)に目を通し概要を把握しておく。 復習：授業で扱った問題の間違った箇所を中心に復習を行う。また、課題や教科書の例題、章末問題に取り組む。		
回	担当者	項目	授業内容
1	宮崎/酒井 【対面】	1変数関数の微分法(1)	ガイダンスを行う。また、初等関数の微分や微分公式の復習を行う。
2	〃	1変数関数の微分法(2)	高階導関数の定義を理解し、ライプニッツの公式などを用いて色々な関数の高階導関数を計算できるようになる。
3	〃	1変数関数の微分法(3)	1変数のテイラーの定理・マクローリンの定理について学び、それらを色々な関数に適用できるようになる。
4	〃	1変数関数の微分法(4)	1変数のテイラー展開・マクローリン展開について学び、それらの応用例を学ぶ。
5	〃	2変数関数の微分法(1)	2変数関数の極限、極座標、2変数関数の連続性について学ぶ。
6	〃	2変数関数の微分法(2)	偏導関数の定義、全微分可能性、接平面の方程式について学ぶ。
7	〃	2変数関数の微分法(3)	2変数関数の合成関数を理解し、その微分の計算方法について学ぶ。
8	〃	2変数関数の微分法(4)	2変数関数の高階偏導関数およびテイラーの定理について学ぶ。
9	〃	2変数関数の微分法(5)	簡単な2変数関数について、極値を求める方法を学ぶ。
10	〃	2変数関数の微分法(6)	2変数関数の微分法について、総合的な演習問題を行う。
11	〃	1変数関数の積分法	1変数関数の置換積分法と部分積分法を復習する。
12	〃	2変数関数の積分法(1)	重積分の定義を理解し、その基本的な計算ができるようになる。
13	〃	2変数関数の積分法(2)	累次積分の順序変換を理解し、その計算ができるようになる。
14	〃	2変数関数の積分法(3)	ヤコビアンを用いて重積分の変数変換ができるようになる。
15	〃	総括	微積分に関する授業内容の総括を行う。
16	〃	行列(1)	行列の定義を理解し、行列の基本的な演算が行えるようになる。
17	〃	行列(2)	正・正方行列について、特に単位行列や逆行列、対称行列に関する性質を理解する。
18	〃	連立1次方程式(1)	行列の基本変形を行えるようになる。
19	〃	連立1次方程式(2)	行列の階数を求められるようになる。また、基本変形を用いた逆行列の計算方法について理解する。
20	〃	連立1次方程式(3)	基本変形を用いて連立1次方程式を解くことができるようになる。
21	〃	連立1次方程式(4)	行列式と連立1次方程式について、総合的な演習問題を行う。
22	〃	行列式(1)	行列式の定義を理解し、実際に計算を行うことができるようになる。
23	〃	行列式(2)	行列式の性質について理解し、行列式を工夫して計算できるようになる。
24	〃	行列式(3)	余因子展開について理解し、計算できるようになる。また、行列式に関する応用について理解する。
25	〃	線形空間	ベクトルの1次独立・1次従属について理解し、それを判断することができるようになる。
26	〃	固有値とその応用(1)	固有値と固有ベクトルの定義を理解し、それらを計算できるようになる。
27	〃	固有値とその応用(2)	固有値を用いて行列の対角化を行うことができるようになる。
28	〃	固有値とその応用(3)	グラムシュミットの直交化法を理解し、対称行列の対角化を行うことができるようになる。
29	〃	固有値とその応用(4)	2次形式と行列の関係について理解する。
30	〃	まとめ	線形代数に関する授業内容のまとめを行う。
到達目標	1. 偏微分の基本的な計算をすることができる。 2. 偏微分の基本事項を理解し、多変数関数の極値を求めることができる。 3. 重積分の基本的な計算をすることができる。 4. 重積分の基本事項を理解し、立体の体積を求めることができる。 5. 行列と行列式の基本事項を理解し、連立1次方程式を解くことができる。 6. 固有値と固有ベクトルの概念を理解し、対称行列を対角化できる。 7. 論理的思考に基づいて、物事を説明できる。		
成績評価の方法と基準	試験方法：筆記試験 実施時期：試験期間内 A・Bクラスでは、定期試験の結果(80%)に、授業態度・演習(20%)を加味して評価する。 C・Dクラスでは、定期試験の結果(90%)に、小テストの結果(10%)を加味して評価する。 なお欠席は減点する。		
学生へのメッセージ (その他注意等)	数学は講義を聞いて理解したと思っても、実際に問題を解いてみると多くの落とし穴が見つかります。理解を確かなものにするために、必ず手を動かして演習問題を行って下さい。また、分からないところについては積極的に質問し、解決するようにして下さい。この授業を通して、論理的な考え方ができるようになることを期待しています。		

教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価 (円)
教科書	微分積分学	加藤未広, 勝野恵子, 谷口哲也	コロナ社	¥2,730
教科書	初めて学ぶ線形代数	宮崎直, 勝野恵子, 酒井祐貴子	培風館	¥2,000

授業期間	2023年度 通年		授業対象	M学部A・Bクラス [必修] 木3 / M学部C・Dクラス [必修] 木4		
科目名	統計学A (Statistics A)					
科目責任者	米山 泰祐			単位数	4単位	
担当者	米山 泰祐					
授業の目的	医学に関するデータを処理する上で必要となる統計的な見方、考え方や基本的な統計的方法を修得することを目的とする。なお、実際に活用できる必要があるため、できるだけ具体的な問題を取り上げ、数値を扱いながら学習する。また、確率を用いた統計・推計学の有用性と限界や確率変数とその分布、統計的推測（推定と検定）の原理と方法を理解し、医学、生物学で遭遇する標本に統計手法を適用するとき生じる問題点や具体的な扱い方を修得することも目的とする。また、演習を通じ様々な実社会に表れるデータを扱えるようになることも目的とする。					
教育内容	まず、調査、実験によって得られたデータから集団の性質や傾向を把握するための方法である「記述統計」を解説し、その後、確率変数の概念と代表的な確率分布を解説する。後半では、確率分布をもとに対象となる集団について推測する「推測統計」を扱い、様々なシチュエーションにおいて、統計学に基づいた推定や検定の方法を解説する。					
教育方法	講義を中心とする一斉授業であるが毎回20～30分程度演習を行う。また、適宜電卓やExcelによる演習も行う。【フィードバックの方法】授業中に課題を回収し、採点したものを次回もしくは次次回授業時に返却し、簡単な解説を行う。					
準備学習 (予習・復習)	【授業時間外に必要な学習の時間：総時間数：120時間】 予習：授業前には教科書の予定されている箇所を1時間以上勉強しておく。 復習：授業後に内容をノートにまとめて、講義中に行った内容の問題をしっかりと解いておく（教科書や参考書の問題や講義中に出された問題など）。それを3時間以上行う。					
回	担当者	項目	授業内容			
1	米山 【対面】	資料の整理 (1)	オリエンテーション、度数分布とヒストグラム			
2	〃	資料の整理 (2)	平均と標準偏差（関数電卓の使い方とSDモード）			
3	〃	資料の整理 (3)	その他の代表値、演習			
4	〃	確率	ベイズの定理、ベルヌイ試行、演習			
5	〃	確率分布 (1)	確率変数と確率分布、平均			
6	〃	確率分布 (2)	分散、演習			
7	〃	確率分布 (3)	チェビシェフの不等式及び小テスト			
8	〃	代表的な確率分布 (1)	2項分布、正規分布			
9	〃	代表的な確率分布 (2)	2項分布の正規近似（中心極限定理）			
10	〃	代表的な確率分布 (3)	ポアソン分布、演習			
11	〃	社会におけるデータ・AI利活用、データリテラシー	社会で用いられているデータ・AIの活用事例の紹介、読み取り方の説明			
12	〃	相関 (1)	量的データの相関、共分散、相関係数、散布図（関数電卓の使い方とLRモード）			
13	〃	相関 (2)	回帰の考え方と回帰直線の求め方（最小2乗法）、回帰と相関の違い			
14	〃	相関 (3)	回帰の強さ、決定係数、質的データの相関、関連、演習			
15	〃	まとめ	前期のまとめ			
16	〃	標本抽出と標本分布	母集団と標本抽出（標本平均）、 χ^2 分布、t分布、F分布			
17	〃	データ・AI利活用における留意事項、統計および数理基礎	データ・AIを扱う上での留意事項の説明と統計との関係			
18	〃	推定 (1)	点推定・区間推定（推定の考え方、不偏推定量）			
19	〃	推定 (2)	母平均、母比率の区間推定			
20	〃	推定 (3)	その他の区間推定と小テスト			
21	〃	仮説検定 (1)	仮説検定の考え方と手順（2種類の過誤）			
22	〃	仮説検定 (2)	平均値の検定（t検定、2群間に対応のある場合の平均値の差の検定）			
23	〃	仮説検定 (3)	比率の検定、比率の差の検定			
24	〃	仮説検定 (4)	χ^2 検定（適合性の検定）			
25	〃	仮説検定 (5)	χ^2 検定（分割表の独立性の検定）			
26	〃	仮説検定 (6)	対応がない場合の2群間の平均の差の検定（等分散の場合のt検定）			
27	〃	仮説検定 (7)	Welchの検定、2×2の分割表のイェーツの補正			
28	〃	仮説検定 (8)	分散の検定、等分散の検定と演習			
29	〃	仮説検定 (9)	一元配置分散分析			
30	〃	まとめ	後期のまとめ			
到達目標	(1) データの記述と要約（記述統計を含む）ができる。 (2) 主要な確率分布を説明できる。 (3) 2変量の散布図を描き、回帰と相関の違いを説明できる。 (4) 正規分布の母平均の信頼区間を計算できる。 (5) 2群間の平均値の差を検定できる（群間の対応のあり、なしを含む）。 (6) パラメトリック検定とノンパラメトリック検定の違いを説明できる。 (7) カイ2乗検定法を実施できる。 (8) 一元配置分散分析を利用できる。 (9) データ・AIの利活用の現場を知り、最新動向、活用領域を理解できるようになる。 (10) データ・AI利活用における留意事項を説明できるようになる。					
成績評価の方法と基準	試験方法：筆記試験 実施時期：試験期間内 試験の成績（70%）が中心だが、授業時の小テスト、演習、レポートなど（30%）も加味して総合的に評価する。なお、欠席は減点する。					
学生へのメッセージ (その他注意等)	電卓（ルート機能付）と教科書（数表）は、毎回必ず持参すること。講義では、カシオの関数電卓 fx-JP500 を推奨機種とし、当機種に合わせた使い方の説明も行う。 また、電卓よりも Excel の方が高性能かつ操作が楽なのでノート PC やタブレットを持参し使用してもよい。					
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価 (円)		
教科書	医療系のための入門統計	勝野恵子・伊藤真吾・米山泰祐	共立出版	¥2,880		
参考書	医学統計学	宮原英夫・白鷺増男	朝倉書店	¥3,888		
参考書	Excelによるメディカル/コメディカル統計入門	勝野恵子・井川俊彦	共立出版	¥2,808		

基礎教育科目

自然科学系 〔物理学〕

(M学部)

教科の勉強に対する総論

物理学単位では、1群基礎教育科目として「物理学」、「物理学実験」を開講しています。「物理学実験」については、化学、生物学の実験と共に、自然科学系実験の紹介のページにまとめて記してあります。ここでは、「物理学」の講義について説明します。

【物理学を学ぶ目的】

身近な例を考えてみると、物理学の方法によっていかに正確に自然現象を記述できるかが分かります。例えば、太陽の周りを回る地球の運動は秒の単位で正確に計算されています。日食や月食が正確に予告通りに起きることは知っての通りです。もちろん、地球ばかりでなく、惑星の運動はすべて「物理学」の一分野である力学を用いて計算できます。この力学は、3つの簡単な法則が基礎となっています。このように、力学に限らず、数少ない基本的な法則に基づいて様々な自然現象を正確・精密に記述する方法が物理学によって学べます。

【物理学は様々な分野の発展の基礎になっている】

上述の惑星の運動の本質は、物理学者であったニュートンによって明らかにされましたが、現在では惑星の運動は地学や天文学の分野で扱われています。別の例として生命科学の分野を挙げると、DNAの2重らせん構造は、X線回折という物理学における実験方法を用いて、ワトソンとクリックにより解明され、メンデルによって統計的な現象として見いだされていた遺伝の法則に、核酸と呼ばれる分子における塩基の配列というミクロな理解が与えられました。このように、物理学は様々な分野の基礎になっています。

【勉強する内容】

ニュートンによって確立された、数少ない基本的な法則に基づいて様々な力学的現象を説明するという手法は、その後、弾性体や流体のつり合いや運動、物質の温度と熱、振動と波動、音と光、電気と磁気、原子や分子の構造解明などに適用され、基本法則の確立に成功を収めてきました。「物理学」の講義の内容は、医学部での必要性にも対応させながら、これらの分野から重要な項目を選択し、医学部向け講義のシラバスとして以下の頁に示してあります。

【高等学校での履修状況に対応した講義】

「物理学」の講義は、高等学校で物理基礎や物理を選択してこなかった受講生にも理解できる内容から始め、かつ、学部の要請に対応したレベルまで進めるように行います。必要に応じて補講も行いますので、高校での履修経験にこだわることなく履修して下さい。

授業期間	2023年度 前期	授業対象	M学部 [必修] 火3・水3
科目名	物理学 (Physics)		
科目責任者	崔 東学	単位数	3単位
担当者	崔 東学		
授業の目的	この授業では、自然現象の背後にある物理学の基本的な法則を理解することによって、普遍的な自然観、価値観を形成し、科学技術の利用とその方向性についてよりの確に判断する力が養われることを目的とする。		
教育内容	自然を支配する基本的法則のうち、力学、流体、波動、電磁気学について、身近な現象や生命科学分野での例にふれながら解説する。		
教育方法	簡単な実験やコンピューター・シミュレーション等をまじえ、物理学の基本的法則の意味と内容が確実に理解されるよう講義を進める。 【フィードバックの方法】 毎回 Power Point によるスライドを使った解説の後に、理解度の確認のための問題演習とその解説を行う。		
準備学習 (予習・復習)	予習：授業前に教科書などで概要を把握しておくこと。 復習：配布するプリントの問題をよく復習し内容を理解すること。 授業時間外に必要な学習の時間：92時間		
回	担当者	項目	授業内容
1	崔 【対面】	はじめに	授業目標、授業方法、成績評価、自然科学および物理学学習の目的と意味について説明する。物理量の単位と次元、有効数字について学ぶ。
2	〃	運動の表し方	運動する物体の位置、速度、加速度を座標によってベクトル量として表す。加速度と速度、速度と位置の関係を学び、運動の軌跡から速度、加速度が分かることを理解する。
3	〃	力	力のはたらきと単位、力の概念とはどんなものかを学ぶ。力がベクトル量であり、いくつかの力を加えたり、1つの力を成分に分解できることを学ぶ。万有引力、重力、重さと質量、摩擦などについて学ぶ。
4	〃	運動の法則	運動の3法則が運動の基本的な法則であり、あらゆる運動について成り立っていることを理解する。一定速度で運動する物体、加速する物体、減速する物体にはたらく力について考察する。
5	〃	いろいろな運動	運動の法則から、物体にはたらく力によって運動の仕方が決定されることを学ぶ。放物運動、円運動、単振動について学ぶ。
6	〃	相対運動と慣性力	相対運動と慣性力、遠心力、コリオリの力について学ぶ。
7	〃	運動量	運動の法則は運動量を使っても表されること、衝突において運動量保存則が成り立っていることを学ぶ。
8	〃	力のモーメント	力のモーメントとはどんな量かを学び、てこのつり合い、関節と筋内による体の動き、重心などが力のモーメントで説明できることを学ぶ。
9	〃	角運動量	回転運動における角運動量と力のモーメントの関係、力のモーメントがはたらかない回転運動においては角運動量の保存則が成り立つことを学ぶ。
10	〃	仕事とエネルギー	仕事、運動エネルギー、位置エネルギーからエネルギーの概念を理解する。
11	〃	エネルギー保存則	仕事、位置エネルギー、運動エネルギーを考えて、力学的エネルギー保存則を理解する。ジェットコースターの運動、ばねによる振動、衛星や惑星の運動等についてエネルギーの立場から考察する。
12	〃	弾性体	ひずみと応力、ヤング率、破断、ポアソン比、体積弾性率等を学ぶ。
13	〃	静止流体	気体や液体の圧力について学ぶ。浮力、パスカルの原理など流体の圧力とその応用について学ぶ。水銀気圧計や血圧計、サイフォン等について考察する。
14	〃	運動流体	気体や液体が運動するときのエネルギー保存則がベルヌーイの定理であること、ベルヌーイの定理により理解できる現象を学ぶ。ダムに貯めた水のエネルギー、霧吹き、血液の流れ等について考察する。
15	〃	振動と波動1	振動と波動の関係、波を表す量、波長、振動数、速度の関係について理解する。
16	〃	振動と波動2	波に特徴的な現象、反射、屈折、ホイヘンスの原理、干渉、回折を学ぶ。
17	〃	静電気力	電気現象の原因が電気量の偏りであること、また、静電気力が基本的な力であることを理解する。
18	〃	電場	電気量のまわりに電場ができ、電荷が電場から力を受けることを理解する。
19	〃	電位 (電圧)	静電気力によってなされる仕事と電位の関係、電場と電位の関係について理解する。
20	〃	コンデンサー	コンデンサーに蓄えられる電気量、極板間の電圧、電場について学び、電圧と静電エネルギーについて理解する。
21	〃	電流・電圧・抵抗	導体内の電流は自由電子の流れであること、また、電気抵抗のメカニズム、オームの法則とその使い方を学ぶ。
22	〃	磁石と磁気	磁石の性質と、磁場の発生のメカニズムを学ぶ。電流が磁場を作ることを学ぶ。電流が磁場から受ける力 (ローレンツ力)、磁場の変化による発電など磁場と電場の関係について理解する。
23	〃	まとめ	授業で学んだ項目のまとめをする。
到達目標	自然界の基本的法則の意味を理解し、それら法則に関係した現象を知り、数式や言葉で説明出来るようになること。		
成績評価の方法と基準	試験方法：筆記試験 実施時期：試験期間内 期末試験で評価する。定期試験100%。欠席は減点する。		
学生へのメッセージ (その他注意等)	Power Point によるスライドを使用して講義しますが、要点はノート等にメモしてください。		
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名
教科書	医療系の基礎としての物理	廣岡・崔・古川・吉村 山本	学術図書出版社
			定価 (円)
			¥2,420

基礎教育科目

自然科学系
〔化学〕

(M学部)

教科の勉強に対する総論

【講義】

本学のすべての学部・学科は、生命科学と深いかかわりを持っています。現代の生命科学の根底には、生命現象をできる限り分子レベルで説明しようとする意識が強く流れています。したがって、本学で1群科目として開講している「化学」は、一般教養的なものでなく、むしろ各学部の専門課程につながる基礎科目としての性格が強く、化学の基礎を順序だてて体系的に講義するよう意図されています。

入学試験の際に理科系科目が選択制であるために、新入生の化学の学力が不揃いになっています。この不揃いを前提にして、講義を組み立てています。

【実験】

化学実験の実習は学科単位で展開されており、ここでみなさんは化学の基本となる内容を6週間にわたって学びます。ほとんどの新入生が高校時代に実験を経験していないので、実験内容には基本的なものを多く取り入れています。また、実験操作、実験ノートの取り方、レポートの書き方などの習得を通して実験室活動の最低限の心得や、科学的な考え方を身につけられるように計画されています。

授業期間	2023年度 前期		授業対象	M学部〔必修〕月4・木2・金2	
科目名	化学 (Chemistry)				
科目責任者	江川 徹			単位数	3単位
担当者	江川 徹				
授業の目的	(1)「物質の科学」としての化学を学ぶ事で、宇宙の始まりから身の回りの物に至るまでを統一した物質観でとらえる力を身に付ける。 (2) 自然についての知識を積み上げてきた先人の営みを学ぶ。 (3) 2年次以降の専門課程に自信を持って進めるだけの基礎知識を得る。				
教育内容	以下の事項を中心に学習する。 物質の構造(原子と元素, 化学結合と分子, イオン) 物質の性質(電気陰性度と極性, 酸性と塩基性, 放射能) 物質の変化(相変化, 化学反応とエネルギー, 平衡, 溶解, 核変換)				
教育方法	各講義ごとにその日の内容に即したプリントを配付する。プリントは、原則として各講義前日までに Google Classroom にもアップロードする。教科書以外の内容も含めた講義を行う。主に板書を用い、必要などこだけパワーポイントも併用する。 【フィードバックの方法】小テストを行った際は、最後に正解を示す。各授業の最後に集めるリアクションペーパーに記された質問は、次回授業の最初に答える。Google Classroom を通しても、質問に答える。				
準備学習(予習・復習)	【授業時間外に必要な学習時間: 90 時間】 予習: 各回の講義の前に教科書に目を通しておくこと。 復習: 講義後にノートを整理し、配付資料を読み直すこと。式の計算は自分で再度やってみること。				
回	担当者	項目	授業内容		
1	江川 【対面】	序論	「化学を学ぶ」ということ、物質とは何か		
2	〃	単位と測定	物理量とは何か, SI 単位, 単位の換算		
3	〃	エネルギー	エネルギーとは何か, 様々なエネルギー, 熱力学第一法則(エネルギー保存の法則), 変化の方向を決めるもの, エントロピー		
4	〃	原子の構造(1)	ラザフォードの実験, 原子の内部構造, 原子番号と質量数, 同位体, 元素と原子, 元素の起源, 原子量		
5	〃	原子の構造(2)	原子の中の電子, 電子殻と原子軌道, 原子の電子配置		
6	〃	原子の構造(3)	原子のイオン化, 金属とは, 周期律と周期表		
7	〃	原子の結合(1)	イオン結合, マーデルングの定数, 金属結合		
8	〃	原子の結合(2)	共有結合(オクテット則での考え方), 共有結合(分子軌道での考え方)		
9	〃	原子の結合(3)	分子軌道(続き), 結合の次数, 電気陰性度と極性, 水素結合, ファン・デル・ワールス力		
10	〃	化学反応式とモル	化合物の命名法, 化学反応式, 物質量とモル, アボガドロ定数		
11	〃	物質の状態(1)	物質の三態, 三態以外の状態, 相平衡, 蒸気圧		
12	〃	物質の状態(2)	理想気体の状態方程式, 理想気体と実在気体, 圧縮率因子, 気体の分子運動		
13	〃	原子と放射能	放射線と放射能, 放射壊変, 崩壊系列, 半減期		
14	〃	反応速度と化学平衡(1)	反応速度を決めるもの, 遷移状態と活性化エネルギー, 発熱反応と吸熱反応, 触媒の影響		
15	〃	反応速度と化学平衡(2)	アレニウスの式, 化学平衡とは何か		
16	〃	反応速度と化学平衡(3)	平衡定数, 平衡の移動とルシャトリエの原理		
17	〃	コロイドと溶液	コロイドの分類, コロイドの特徴, 光の散乱, 溶解と溶液, 溶媒の極性		
18	〃	溶液の濃度(1)	濃度の表し方(モル濃度, パーセント濃度)		
19	〃	溶液の濃度(2)	溶解度, 東一的性質(浸透, 沸点上昇, 凝固点降下)		
20	〃	酸と塩基(1)	酸と塩基の定義, 共役な酸と塩基, 水のイオン化とイオン積, 酸・塩基の強さと pH		
21	〃	酸と塩基(2)	電離定数, 中和滴定, pH と電離の関係, 緩衝液		
22	〃	復習	演習問題		
23	〃	まとめ	まとめと解説		
到達目標	①化学に用いられる単位について理解し, 異なる単位の間での換算が出来る。 ②種々の物質の成り立ちとその性質について説明できる。 ③物質の種々の変化について説明できる。 ④化学反応に伴う化学量論的計算ができる。 ⑤濃度, pH, 化学平衡についての基本的な計算ができる。				
成績評価の方法と基準	試験方法: 筆記試験 実施時期: 試験期間内 定期試験を主に, レポートも加味して評価する。レポートは7月初めに課題を出し, 7月下旬を締切とするが, 提出は任意である。成績評価は「定期試験 80%, レポート 20%」または「定期試験 100%」のいずれか良い方で評価する。				
学生へのメッセージ(その他注意等)	自分の将来にとって, いま化学を学ぶ事の意味は何かを, それぞれの人が考えて下さい。 学習においては, 教科書を活用した自発的学習, 質問と議論, の2点を心がけて下さい。				
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価(円)	
教科書	Step-Up 基礎化学	梶本興亜 他	培風館	¥2,750	
参考書	生命科学のための基礎化学: 無機物理化学編	M.M.Bloomfield 著 伊藤俊洋他訳	MARUZEN-WILEY	¥3,520	
参考書	物理化学の基礎	Atkins and Clugston 著 千原・稲葉訳	東京化学同人	¥3,740	

基礎教育科目

自然科学系
〔生物学〕

(M学部)

教科の勉学に対する総論

1 群基礎科目として「生物学」と「生物学実験」を開講する。

「生物学」は、生物および生命の特性と生命現象についての基本的なことがらを科学的・体系的に理解し、さらに生物学的なものの考え方を身につけることを第一の目的としている。従って、個々の知識を獲得するだけでなく、講義全体を通じての内容の繋がりや生物学的意義、さらには、それぞれの知見が得られてきた過程や背景などを理解するように努めてほしい。講義内容は生物学の基本的事項を中心としており、今後、医学に関わる諸分野の勉学を行う際の基礎となるものであるので、偏りなく内容を理解し、知識を得て、その知識を応用できるように準備することが大切である。高校生物の履修の有無に関わらず、新たな勉強をするつもりで授業を受けてほしい。

「生物学実験」は、生命現象の観察・実験の基礎的方法を体験し、自らの力で生命現象を把握・解析する姿勢を作るための第一歩である。従って、実験マニュアルの予習により、実験の目的をよく把握し、その方法をあらかじめ理解しておくように努力してほしい。実験は、出席し、自自行い、まとめることが基本であり、履修の条件でもあることを常に念頭において受講してもらいたい。

授業期間	2023年度 前期	授業対象	M学部 [必修] 火4・木2
科目名	生物学 (Biology)		
科目責任者	浜崎 浩子	単位数	3単位
担当者	浜崎 浩子※		
授業の目的	医学の基盤となる生命の特質を理解するための第一歩として、本講義では、生物学・生命科学の基礎知識と考え方を身につけることを目的とする。		
教育内容	生物学がどのように発達してきたか、その概念はどのようなものかについて概説する。生命活動を担う物質、生命を次世代につないでいく仕組み、細胞・組織・個体レベルで生命現象が機能していくための仕組み、さらに生物と環境のつながりや多様性、進化について説明を行う。		
教育方法	教科書の内容に沿いながら、他の資料も交えて、図表等をスクリーンに映しながら講義を行い、PDFの資料を配布する。講義中にはノートをとることを勧める。ほぼ毎回、講義内容についての課題を出すので、解答の提出を求める。課題は、自分の理解度の確認や復習に役立てること。 【フィードバックの方法】 課題の正解は提出直後に確認できるほか、後の講義で解答の紹介や解説を行う。		
準備学習 (予習・復習)	【授業時間外に必要な学習の時間：90時間】 予習：講義の最後に、次の回の講義内容に関する予習項目・内容を指示する(教科書の指定範囲を読んでおく、あることかについて調べておく等)ので、それに従って予習しておくこと。なお、高校の「生物」が未履修の学生は、授業で紹介するテキスト等も使用して入念に予習しておくこと。予習してあることを事前に授業を進めます。 復習：毎回の講義後には、教科書、講義中に自分でとったノート、PDFの資料のすべてを活用して内容をノートにまとめるなどの復習を行い、内容の理解と確認をしておくこと。		
回	担当者	項目	授業内容
1	浜崎 【対面】	生物学への招待	生物の特徴(階層性、共通性と多様性)、種とは何か、自然科学・生物学の方法を学び、科学の理論と限界を理解する。
2	〃	生命の分子1	原子・分子の基本(特に電子、共有結合、水素結合)、生命活動の基盤となる物質(水、糖質、脂質、タンパク質、核酸)について構造と機能、特徴を学ぶ。第2回では前半を学ぶ。
3	〃	生命の分子2	原子・分子の基本(特に電子、共有結合、水素結合)、生命活動の基盤となる物質(水、糖質、脂質、タンパク質、核酸)について構造と機能、特徴を学ぶ。第3回では後半を学ぶ。
4	〃	細胞の構造	生命の基本単位である細胞について、原核細胞と真核細胞の違い、細胞膜の構造と機能、細胞小器官(核、小胞体、リゾソーム、ゴルジ体、リソソーム、ミトコンドリア、葉緑体)、3種類の細胞骨格(アクチン繊維、微小管、中間径フィラメント)とその機能について学ぶ。
5	〃	エネルギーと代謝	細胞がエネルギーを獲得、あるいは利用する活動(代謝)における酵素・補因子、電子伝達の役割、代謝の制御、および膜を介した物質の拡散、浸透圧、物質の輸送機構を学ぶ。
6	〃	エネルギーの獲得と放出	植物が光合成により葉緑体で炭水化物を作り出す仕組み、および生物が細胞呼吸(解糖系、クエン酸回路、電子伝達系)や発酵により、細胞内で生命活動に必要なエネルギーをATPとして産生する仕組みを学ぶ。
7	〃	DNAの構造と機能	クローム、染色体とは何か、さらに、DNAの構造、DNAが複製や修復される仕組みを学ぶ。
8	〃	遺伝子発現とその調節1	DNAの情報をもとに自己のタンパク質をどのようにつくるのか、遺伝子の転写と翻訳による自己のタンパク質合成、さらに真核生物における遺伝子発現調節(マスター遺伝子、エピジェネティクス)の仕組みを学ぶ。第8回では前半を学ぶ。
9	〃	遺伝子発現とその調節2	DNAの情報をもとに自己のタンパク質をどのようにつくるのか、遺伝子の転写と翻訳による自己のタンパク質合成、さらに真核生物における遺伝子発現調節(マスター遺伝子、エピジェネティクス)の仕組みを学ぶ。第9回では後半を学ぶ。
10	〃	細胞の増殖	体細胞分裂と減数分裂、無性生殖と有性生殖、細胞周期とチェックポイント、細胞分裂の異常とがん、減数分裂による配偶子形成について学ぶ。
11	〃	遺伝の様式	メンデルの遺伝の様式、複雑な遺伝の様式、ヒトの遺伝性疾患、染色体の変化による疾患、遺伝子検査について学ぶ。
12	〃	生物工学	1塩基多型(SNP)、DNAクローニングとその方法、DNAの研究(塩基配列決定、ゲノミクス、DNA鑑定)、遺伝子組換え動物とその利用、遺伝子治療や遺伝子検査の有用性と限界について学ぶ。
13	〃	動物の組織と器官	幹細胞とは何か、動物の個体を構成する組織(4種類)・器官・器官系とその機能、および個体が持つホメオスタシスについて学ぶ。
14	〃	免疫1	免疫に関わる組織(皮膚・粘膜・リンパ系)・白血球(好中球・マクロファージ・樹状細胞・B細胞・T細胞等)と免疫の仕組み(自然免疫、獲得免疫)、獲得免疫として細胞性免疫と液性免疫、さらにアレルギー、自己免疫疾患、免疫不全症やワクチンについて学ぶ。第14回では前半を学ぶ。
15	〃	免疫2	免疫に関わる組織(皮膚・粘膜・リンパ系)・白血球(好中球・マクロファージ・樹状細胞・B細胞・T細胞等)と免疫の仕組み(自然免疫、獲得免疫)、獲得免疫として細胞性免疫と液性免疫、さらにアレルギー、自己免疫疾患、免疫不全症やワクチンについて学ぶ。第15回では後半を学ぶ。
16	〃	神経系と感覚器官1	神経系を担う細胞(ニューロン、グリア細胞)、静止電位の形成機序、情報処理の基本的な仕組み(活動電位の発生、伝導、伝達)、さらに神経系の構成と機能(末梢神経系と中枢神経系、体性神経系と自律神経系)を学ぶ。感覚情報処理機構について、中枢神経系と感覚受容、感覚受容器と感覚について学ぶ。第16回では前半を学ぶ。
17	〃	神経系と感覚器官2	神経系を担う細胞(ニューロン、グリア細胞)、静止電位の形成機序、情報処理の基本的な仕組み(活動電位の発生、伝導、伝達)、さらに神経系の構成と機能(末梢神経系と中枢神経系、体性神経系と自律神経系)を学ぶ。感覚情報処理機構について、中枢神経系と感覚受容、感覚受容器と感覚について学ぶ。第17回では後半を学ぶ。

18	”	生殖と発生	無性生殖と有性生殖の違い、カエルやヒトの初期発生と器官形成（卵割の様式、3胚葉の形成と分化）、母性因子と誘導、ヒトのホルモン、視床下部と下垂体によるホルモンの分泌調節、精子形成と卵形成の概要について学ぶ。		
19	”	進化の証拠	ダーウィンの進化論（適応と自然選択）、進化の証拠（化石、相同構造と相似構造、ホメオティック遺伝子、遺伝子・アミノ酸配列の類似性）について学ぶ。		
20	”	進化の過程	突然変異と対立遺伝子、対立遺伝子頻度の変化と進化、自然選択の様式（方向性選択、安定化選択、分断性選択）、遺伝的浮動、および種分化の機構、適応放散、共進化、系統発生について学ぶ。		
21	”	地球の初期の生命 1	原始地球における生命物質の誕生、代謝・遺伝物質・細胞膜の起源、原核生物（真正細菌とアーキア）と真核生物からなる3ドメインの生物の起源、ウイルス、原核生物・原生生物・真菌類（菌類）の多様化について学ぶ。第21回では、前半を学ぶ。		
22	”	地球の初期の生命 2	原始地球における生命物質の誕生、代謝・遺伝物質・細胞膜の起源、原核生物（真正細菌とアーキア）と真核生物からなる3ドメインの生物の起源、ウイルス、原核生物・原生生物・真菌類（菌類）の多様化について学ぶ。第22回では、後半を学ぶ。		
23	”	群集と生態系	生物群集の成り立ち（非生物的・生物的要因、種間の共生、種間競争、捕食・被食）を学ぶ。さらに、生態系における食物連鎖と食物網、物質循環、エネルギーの流れについて知ることで、生物と環境との関わりを学ぶ。		
24	”	まとめ	講義内容の総まとめを行う。		
到達目標		授業内容に書かれていることからの内容を正しく理解する。それぞれが生物のどのような機能に関わるのか、どのような意味を持つのか、さらに、それらのつながりについて考えて論理的に説明することができる。グラフや表を読み取り、それをもとに考察することができる。			
成績評価の方法と基準		試験方法： 筆記試験 実施時期： 試験期間内 定期試験（90%）、課題（10%）			
学生へのメッセージ（その他注意等）		この講義を通して生物学の基礎知識や考え方を習得することは、医学を専門とする学生には必須です。同時に、自分自身が今どのようにして「存在し」、どのようにして「生きているか」、を知ることは本来楽しいことであり、それが医学への第一歩だと思います。ぜひ、興味を持って生物学を学んでください。なお、生物学・医学で使われる用語を覚えることは必須ですが、覚えることが目的ではありません。高校の「生物」が未履修の学生は、授業で紹介するテキストを使用する等により必ず学習すること。また、学習サポートセンター（ASC）を積極的に利用して下さい。			
実務経験の授業への活用方法		研究所における生命科学・医学系研究の経験を生かし、授業で取り扱う内容がどのように生命の深い理解を目指した研究や医療等につながっていくのかを折に触れて解説する。			
教科書・参考書		書名	著者名	出版社名	定価(円)
教科書	スター生物学		C. Starr, C. A. Evers, L. Starr 著；八杉貞雄 監訳	東京化学同人	¥3,190
参考書	生物学 第2版		石川統 編	東京化学同人	¥2,640
参考書	基礎から学ぶ生物学・細胞生物学 第3版		和田勝	羊土社	¥3,520
参考書	Essential 細胞生物学 第4版		Bruce Alberts 他 中村桂子ほか監訳	南江堂	¥9,680
参考書	レーヴン・ジョンソン生物学（上・下）第7版		レーヴン/ジョンソン他編	培風館	¥17,710

基礎教育科目

自然科学系実験

自然科学系の実験について

自然科学は、自然現象の的確な観察 (observation) とその正確な記述 (description) にその基礎をおいています。この観察と記述についての能力を高めることは、自然科学にかかわるものにとって、必須のことです。1年次に開講される、自然科学系の各実験はこの自然科学の基礎を身につける第一歩です。物理学、化学、生物学の様々な分野の実験に自主的に取り組むことが、将来、みなさんがそれぞれの専門分野で学ぶための自然科学的基礎力を育てます。積極的に履修してください。

実験場所

- ・物理学 物理学実習室 L 1号館 5階
- ・化学 化学実習室 L 1号館 5階
- ・生物学 生物学実習室 L 1号館 4階

※一部オンライン授業

実験の評価

- ・実験は全回出席しなければなりません。
やむを得ぬ事情で欠席した場合に限り、所定の欠席届を提出し、後日、1～2回の補充実験を受講することができます。
- ・レポートは必ず指定された期日までに提出しなければなりません。

注意事項

- ・実験は午後1時より開始されます。開始時には指定された席ですぐに実験が開始できるよう準備を整えておいてください。
- ・各実験の詳細は、L 1号館学生ロッカー前の掲示板および、実習室前の掲示版に掲示されますので注意しておいてください。
- ・実験が選択科目である学部・学科の学生が実験を履修する場合、対応する自然科学系の講義科目(物理学・化学・生物学)を必ず履修してください。

2023年度 自然科学教育センター実験日程表

学部 (学科)	学科 [専攻]	I 期 (前期前半)	II 期 (前期後半)	III 期 (後期前半)	IV 期 (後期後半)	実験曜日
薬学部 P	PP(ABｸﾗｽ), PL(S1, S2ｸﾗｽ)	生物学	物理学			水曜日
	PP(CDｸﾗｽ), PL(S3, S4ｸﾗｽ)	物理学	生物学			水曜日
獣医学部 V	獣医学科 V	物理学 (選択可) ¹⁾		化学	生物学	木曜日
	動物資源科学科 Z		物理学 (選択可) ¹⁾	化学	生物学	金曜日
	生物環境科学科 E	化学	物理学	生物学		木曜日
医学部 M		化学	生物学	物理学		金曜日
海洋生命科学部 MB			物理学 <small>(全ｸﾗｽ)</small> (選択可) ¹⁾	生物学 《MB23001～40》	化学 ^{※1)} 《全ｸﾗｽ》	金曜日
		生物学 《MB23041～》	化学 ^{※1)} 《全ｸﾗｽ》			金曜日
医療衛生学部 A	保健衛生学科 HS	化学		生物学 (1科目選択) ²⁾	物理学 (1科目選択) ²⁾	木曜日
医療衛生学部 A	医療検査学科 ML	生物学	化学 (1科目選択) ²⁾		物理学 (1科目選択) ²⁾	木曜日
医療衛生学部 (医療工学科) ET	[臨床工学] CE		生物学	物理学	化学	木曜日
	[診療放射線技術科学] RT		生物学 (2科目選択) ³⁾	物理学 (2科目選択) ³⁾	化学 (2科目選択) ³⁾	木曜日
医療衛生学部 (リハビリテーション/学科) RE	[理学療法] PT	物理学	生物学 ^{※1)} (1科目選択) ²⁾		化学 ^{※1)} (1科目選択) ²⁾	木曜日
	[作業療法] OT	物理学, 生物学 (1科目選択) ²⁾	化学 (1科目選択) ²⁾			木曜日
	[言語聴覚療法] ST		化学, 生物学 ^{※1)} (選択可) ¹⁾		物理学 (選択可) ¹⁾	木曜日
	[視覚機能療法] OV		化学, 生物学 ^{※1)} (選択可) ¹⁾		物理学	木曜日
未来工学部 FR	データサイエンス学科 FU			生物学	物理学	金曜日

1) (選択可) は任意選択。ただし、対応する講義科目も必ず履修すること。

2) (1科目選択) は1科目を講義と同じ組合せで選択。

3) (2科目選択) は2科目を講義と同じ組合せで選択。

は必修科目

※1) 履修者数により、化学実験の実施時期(II期またはIV期)を決定する。

※2) 履修者数により、化学実験・生物学実験の実施時期は後期(III期またはIV期)に変更になる場合がある。

授業期間	2023年度 集中	授業対象	P学部, E学部, M学部, CE・PT・OV専攻, FR学部〔必修〕, V学部, Z学部, MB学部, HS学部, ML学部, RT・OT・ST専攻〔選択〕		
科目名	物理学実験 (Laboratory Course in Physics)				
科目責任者	山本 洋	単位数	1単位		
担当者	山本 洋/廣岡 秀明/崔 東学/古川 裕之/吉村 玲子/川上 言美				
授業の目的	力学・波動・電磁気学・熱力学・光学にかかわる現象に触れることにより、自然現象の基礎的な理解と物理的な実験手法について学ぶ。				
教育内容	力学、波動、電磁気学、熱力学、光学の分野から典型的な現象を選び、それらの内容を理解するとともに、物理学の実験における測定法、データの記録法、理論式を用いたデータの処理法、関連した文献の利用法、結果の検討法について学ぶ。				
教育方法	用意された実験テーマの中から、毎週1回1テーマずつ、計6テーマを行う。各実験は、実験装置の設定法、観察法、測定法、データ処理、実験結果のまとめ、結果の検討などからなる。毎回の実験内容をノートに記録し、担当の先生に提出して指導(フィードバック)を受ける。追加の課題が課される場合もある。課題については、授業内やホームページでの解答掲出、もしくは提出物へのコメント付与によるフィードバックを行う。履修者数によって、対面とオンラインを併用する場合がある。(3回対面・3回オンライン)				
準備学習(予習・復習)	【授業時間外に必要な学習の時間:3時間】 予習:実験前にテキストに目を通し、次回の実験の要点をノートにまとめておくこと。 復習:実験後はノートに記録した実験結果等を整理しておくこと。				
回	担当者	項目	授業内容		
1	上記全員 【対面/ 対面併用】	重力加速度の測定	ボルダの振り子の周期と長さを測定し、重力加速度を求める。あわせて、周期運動や重力、万有引力について理解する。		
2	〃	熱の輸送の実験	ヒートポンプを用いて熱の輸送を測定し、熱と温度の概念、気体の膨張・収縮に伴う現象などについて理解する。		
3	〃	屈折率の測定	水銀ランプと分光計を用いてプリズムの屈折率を測定し、あわせて物質の光学的性質について理解する。		
4	〃	電気抵抗の測定	金属における電流電圧特性や、電気抵抗の温度変化を測定し、金属内での電気伝導のようすを理解する。		
5	〃	ヤング率の測定	サールの装置を用いて、荷重による針金の伸びからヤング率を測定し、物体の変形について理解する。		
6	〃	超音波による音速の測定	オシロスコープを使って、超音波の伝達速度(音速)と波長を測定する。同時に波の性質について理解する。		
7	〃	光の干渉の実験	ナトリウムランプの単色光の干渉を利用したニュートンリングの実験から、レンズの曲率半径を測定し、波の干渉について理解する。		
8	〃	電気回路の実験	現代エレクトロニクスの基礎として、基本的な電気素子の働きや、電気回路の応答の様子などについて理解する。		
到達目標	物理現象と物理法則についての基礎的な理解を持ち、物理学の様々な分野における測定機器の使用法、測定値の読み方、整理された形で測定データをノートに記録する方法、理論式に測定値を代入して間接的な物理量を計算する方法、そのときの有効数字の扱い方、文献の値と測定結果を比較した検討、などが行えるようになる。				
成績評価の方法と基準	試験方法:なし 実施時期: 予習の状況(20%)、実験への取り組み(30%)、実験ノートへの記入状況(30%)、提出課題の内容(20%)を総合的に評価する。6つの実験テーマ全ての受講と実験終了、および指定された課題の提出を単位認定条件とする。				
学生へのメッセージ(その他注意等)	高等学校で物理を学んだ学生には、その理解を更に深められる内容が用意されており、物理学を学んでこなかった学生でも、無理なく入っている内容になっています。各テーマに担当の先生がつくので、分からないことは積極的に質問して理解を深め、実験を通して物理学の基本を習得してください。				
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価(円)	
教科書	物理学実験テキスト(第8版)	物理学研究室編	愛智出版	¥1,320	

授業期間	2023年度 集中	授業対象	V学部、M学部、MB学部、HS学科、CE専攻【必修】、ML学科、RT専攻、RE学科【選択】
科目名	化学実験 (Laboratory Course in Chemistry)		
科目責任者	須貝 昭彦	単位数	1単位
担当者	須貝 昭彦/江川 徹/宇田 郁子/野島 高彦/山口 佳美/能登 香/大極 光大		
授業の目的	1) 化学の講義で学ぶ知識・考え方の理解を実験を通して確実なものにする。 2) 実験の基本的考え方および基本的操作・態度を習得する。 3) 実験により得られる結果のまとめ方を学ぶ。 4) 自然科学に対する関心を深めて探求心を養う。		
教育内容	ガラス器具、天秤、遠心分離器、測容器等の取り扱いを学ぶ。様々な溶液の調製法を学ぶ。無機陽イオンの化学的性質および定性分析法、酸と塩基の電離および反応、有機化合物の構成元素の定性分析および合成について学ぶ。 キーワード:無機陽イオン、溶解度、定性分析、容量分析、中和滴定、化学量論、平衡定数、pH、緩衝液、有機合成、再結晶、薄層クロマトグラフィー、元素分析、ガラス細工、分子模型		
教育方法	化学単位で編集した実験書「化学実験テキスト」に従って、教員の指導を受けながら実験を進める。クラスをグループに分け、1〜6の実験項目をローテーションして1回(1日)1項目ずつ実施する。個人実験を基本とするが、項目によっては2〜3人のグループ実験もある。 【フィードバックの方法】 実験レポートのうちの1通は、添削の上返却する。それ以外のレポートは、不備があった場合にのみ再提出を課す。		
準備学習(予習・復習)	【授業時間外に必要な学習の時間:3時間】 予習:「化学実験テキスト」を熟読し実験ノートに手順をまとめて実験に臨むこと。 復習:実施した実験内容を復習し、次週までに実験レポートを提出すること。		
回	担当者	項目	授業内容
1	上記全員【対面】	無機陽イオンの定性分析(陽イオンの各個反応)	第1属から第VI属までの無機陽イオンの化学的性質について学ぶ。
2	上記全員【対面】	無機陽イオンの定性分析(未知試料の系統分析)	第1属から第VI属までの無機陽イオン混合物である未知試料中に含まれる無機陽イオンの分離・同定を行う。
3	上記全員【対面】	酸と塩基の反応(中和滴定)	塩酸と水酸化ナトリウム水溶液を用いて中和滴定の練習を行う。また、シュウ酸標準液の調製と水酸化ナトリウム水溶液の標定、食酢中の酢酸の定量を行う。
4	上記全員【対面】	酸と塩基の反応(pHの測定と緩衝作用)	弱酸の希薄溶液の調製とそのpH測定を行う。緩衝液の調製と緩衝作用の確認を行う。酸・塩基滴定曲線を作成し、緩衝作用に関する理解を深める。
5	上記全員【オンライン】	有機化学実験(有機化合物の定性分析)	有機化合物の構成元素(炭素、水素、窒素、硫黄、ハロゲン)の検出を行う。
6	上記全員【オンライン】	有機化学実験(有機合成)	アセチルサリチル酸を合成し、再結晶法によって精製する。融点測定、塩化鉄(III)を用いる方法、薄層クロマトグラフィーによって生成物を確認する。
到達目標	1. モル濃度を基本とする試薬の調製ができる。2. 電子天秤などの実験機器、各種測定用ガラス器具などが取り扱える。3. 物質を定性的・定量的に分析できる。4. 実験を講義で学んだことと結びつけて理解できる。5. 実験の経過を記録できる。6. 実験結果をまとめられる。7. 実験に伴う様々な危険から自分および他の人の身を守ることができる。		
成績評価の方法と基準	試験方法:なし 実施時期: 成績評価は、レポートおよび実験記録ノートへの記入状況によって行う。未提出物あるいは3回以上の欠席があると、原則として評価の対象にならず、単位は認定されない。2回以内の欠席の場合は、「欠席届」を提出して後日行われる補充実験に出席することができる。6つの実験項目全てが終了しないと単位が認定されないのに注意すること。		
学生へのメッセージ(その他注意等)	実験には面白い要素が多く含まれているが、初めての者にとっては精神的・肉体的疲労が大きいため、身体のコンディションを整えておくことが大切である。実験書「化学実験テキスト」を熟読して実験の内容を理解する、実験ノートに操作の手順をまとめるなど、十分な予習が必要である。全6実験項目においてそれぞれレポート提出が必須である。レポート作成時に必要な情報をすべて実験ノートに記録することが必要である。		
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名 定価(円)
教科書	化学実験テキスト	北里大学一般教育部 自然科学教育センター 化学研究室編集	愛智出版 ¥1,320

授業期間	2023年度 集中	授業対象	P 学部, V 学部, M 学部, MB 学部, ML 学部, CE 専攻, FR 学部 [必修], HS 学部, RT 専攻, RE 学部 [選択]		
科目名	生物学実験 (Laboratory Course in Biology)				
科目責任者	和田 浩則	単位数	1単位		
担当者	和田 浩則※/浜崎 浩子※/坂田 剛/加藤 智美/増本 三香/西村 真由子※/中森 智啓/山本 貴之/ 秋田 佳恵/廣木 真達/岩崎 美樹※/笠原 麗美/古平 栄一/石川 寛				
授業の目的	顕微鏡観察と生化学実験を行い、スケッチやグラフの作成を通じて、客観的な記録の重要性を認識する。生命現象に実際に触れることにより、生物学が具体的現象の基盤の上に成り立っていることを実感する。実験レポートの形式・書き方について学び、実験レポートを作成する意義を理解する。				
教育内容	実験は6項目からなる。顕微鏡実験(3項目)では、細胞と組織の観察を行い、顕微鏡の取り扱い方・スケッチの仕方を習得する。生化学実験(3項目)では、酵素・核酸・糖の性質を調べ、データの取り方・グラフの作成法を習得する。実験結果をもとに、実験レポートの作成法を習得する。				
教育方法	クラスを、顕微鏡実験を先に行う組と生化学実験を先に行う組に分ける。はじめに実験の基本姿勢と実験レポートの書き方について説明し、各回ごとに実験の目的と背景を説明する。顕微鏡実験では、各自が決められた顕微鏡を用いて個別に行い、担当の教員が顕微鏡の取り扱い方・スケッチの仕方を指導する。生化学実験は4～5名の班で行い、担当の教員が実験器具の取り扱い方・データの取り方・グラフの描き方を指導する。実験終了後、教員が個別にスケッチやグラフを確認し、解説を行う。 【フィードバックの方法】 提出された実験レポートの内容を精査し、コメントを付けて返却する。				
準備学習(予習・復習)	【授業時間外に必要な学習の時間:3時間】 予習:あらかじめ「生物学実験マニュアル」を読んで実験の内容や手順を予習して、実験に臨むこと。 復習:実験終了後は結果をまとめ、レポートを作成すること。				
回	担当者	項目	授業内容		
1	上記全員 【対面】	顕微鏡の取り扱い方 実験レポートの指導1	顕微鏡の構造と基本操作を学ぶ。ミクロメーターの使用法を学ぶ。花粉のプレパラートを用いてスケッチの仕方を学ぶ。 実験レポートの概要(目的・形式・構成・作成方法など)について学ぶ。		
2	〃 【対面】	体細胞分裂	植物の根端分裂組織のプレパラートの作成法を学ぶ。体細胞分裂にともなう染色体の形態変化を観察し、スケッチを行う。		
3	〃 【対面】	原生生物	生きたゾウムシの細胞小器官の形態を観察し、スケッチを行う。コンゴレッド染色されたイーストを用いて、摂食行動の観察を行い、食胞形成過程を記録する。		
4	〃 【対面】	酵素活性	肝臓から抽出した酸性ホスファターゼを、p-ニトロフェニルリン酸を基質として反応させ、酵素活性を測定する。pHを変えて測定を行い、この酵素が働く最適pHを求める。		
5	〃 【対面】	核酸 実験レポートの指導2	精巢からDNAを抽出し、ジフェニルアミン法を用いて濃度を測定する。また、オストワルドの粘度計を用いて粘度の測定を行い、抽出したDNAのおおよその分子量を求める。 実験レポートの書き方について、具体例を参照しながら指導を受ける。		
6	〃 【対面】	発芽時における糖代謝	芽生え種子を材料にして、発芽にともなうマルトースの貯蔵量とアミラーゼの酵素活性の変動を調べ、その関係を考察する。		
到達目標	顕微鏡実験では正確な観察の仕方を習得し、細胞レベルでの生命現象への理解を深める。生化学実験では生体物質の特性を実感し、分子レベルでの生命現象への理解を深める。 実験レポートの作成目的を正しく理解し、基本的な実験レポートの作成ができる。				
成績評価の方法と基準	試験方法:なし 実施時期: 6項目すべての実験の履修(実験を終了してレポートを提出)が単位認定の必要条件である。その上で、提出されたレポートが形式に沿っていて、必要な内容を含んでいるかを評価する(100%)。 遅刻、不真面目な取り組み態度、後片付けの不備は減点とする。大幅な遅刻は欠席扱いとする。				
学生へのメッセージ(その他注意等)	同じ学部・学科・クラスであっても、班によって実験の開始日が異なったり、顕微鏡実験か生化学実験かが異なることがあるので注意すること。欠席をしないように体調を整えておくこと。 「生物学実験マニュアル」をあらかじめよく読んで予習しておくこと。実験中不明な点は担当教員に質問すること。 グループ実験では、学生どうしの積極的なコミュニケーションが大切である。分からないことを教えあったり、議論したりしながら、協力して実験をすすめること。				
実務経験の授業への活用方法	研究所における生命科学・医学系研究の経験を生かし、授業で取り扱う内容がどのように生命の深い理解を目指した研究や医療等につながっていくのかを折に触れて解説する。				
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価(円)	
教科書	生物学実験マニュアル	北里大学一般教育部生物学実験マニュアル編集委員会	裳華房	¥2,090	

教養演習系科目

教養演習系科目には、教養演習A、B、C、大学基礎演習、言語と文化A・Bがあります。これらは、みなさんの課題学習や議論あるいは実習活動等を主体とする、演習科目です。

履修に当たっての留意点

それぞれの科目には担当者によりいろいろな個性があります。また授業形態や授業の人数もいろいろです。履修希望者が担当者が予定している人数より多い場合には抽選等によって受講者を決める授業もあります。多くの授業は少人数でおこなわれますが、中教室での講義形式の授業になる場合もあります。

したがって、履修にあたっては、シラバスをよく読んで授業の内容や形式などを十分に検討するとともに抽選の有無などについても気をつけてください。また、教養演習系科目においては、授業に出席し、積極的に参加することがとても重視されていることも忘れないでください。

教養演習A、B、C

担当教員がそれぞれの専門分野または関心領域を背景に演習のテーマを設定し、それぞれの方法で授業を進めていきます。みなさんが自ら課題を見だし、それに取り組み、解決していく能力を育むことが、この科目の第一の目的です。さらに、みなさんに、普段なかなかふれる機会のない学問・研究を含む人間の活動の諸分野にふれる機会をもってもらい、人間としての幅を広げてもらうこともおおきな目的です。

通年2単位の科目には「教養演習A」、前期1単位の科目には「教養演習B」、後期1単位の科目には「教養演習C」と科目名が付けられています。また、担当教員ごとにそれぞれの授業のテーマに沿った副題が付けられています。

大学基礎演習

高校生から大学生への円滑な移行を目指し、みなさんの大学での学習を応援する内容の演習となっています。この演習は「大学での勉強の仕方がわからない人」「仲間と積極的に交わりながら勉強していきたい人」が、大学での学習方法を実践的に学び、身につけることを目的としています。この演習で大学での学び方の基礎を知り、他の授業で応用することで、みなさんの4年間（6年間）の学びがより確かなものになるでしょう。

この科目は半期1単位です。また、担当教員ごとにそれぞれの授業のテーマに沿った副題が付けられています。

言語と文化A・B

世界には多様な言語、文化、習慣、価値観があります。世界の人たちと協力しお互いに高めあっていける人となるには、英語以外の言語と英語圏以外の文化も学ぶとよいでしょう。この科目では、ドイツ語、フランス語、スペイン語、オランダ語、中国語、韓国語を学びつつ、言語を通じてその国の文化を学びます。内容は多岐にわたりますので、詳しい解説のページを別に設けました。詳しくはそちらを読んでください。

*医学部では、「教養演習A」「言語と文化B」は履修できません。

2023年度教養演習・大学基礎演習の履修受入予定一覧

授業の性質上、各授業の受入人数に制限を設ける。履修希望者が多い場合は、抽選を行うため、履修を考えている場合は必ず4月第1週目を実施される抽選に参加すること。抽選の手順については、抽選の手順については、本要項「3.履修登録」を参照すること。**当選した場合、原則履修放棄することはできないため、よく考えて抽選すること。**

教養演習A(通年)

担当者	開講曜日	副題	授業形態	受入人数
風岡 祐貴	木2	レトリック	対面	10

教養演習B(前期)

担当者	開講曜日	副題	授業形態	受入人数
三田 順	月4	映画でたどる現代史	対面	12
安川 智子	火2	音楽分析入門・コードを学ぼう	対面	25
大石 敏広	水2	論理的思考のトレーニングⅠ	対面	20
山田 裕子	水2	大学生のストレスマネジメント	対面	40
畠山 禎	金2	食べ物をつづじてみる世界史	対面	15

教養演習C(後期)

担当者	開講曜日	副題	授業形態	受入人数
安倍 希美	月2	人とつながりつなぐ命と文化	対面	30
高野 保真	月2or土5	データサイエンスとAI	オンライン	制限なし
江川 徹	火2	教養としての自然科学：量子化学入門	対面	48
赤澤とし子	火5	ライフスタイルの選択	対面	20
大石 敏広	水2	論理的思考のトレーニングⅡ	対面	20
石塚 昌保	水2	自分を知り人間関係を考える	対面	24
猪原 敬介	水3	自らの読書を問い直す	対面	15
大町 知久	木2	個人として生きながら 人間関係の中も生きる自分について考える	対面	20
畠山 禎	金2	食べ物をつづじてみる世界史	対面	15
福田 宏	金2	色彩情報処理入門	対面	16
三田 順	金4	スロヴェニアの歴史と文化	対面	15
中村 陽子	金4	教養としての心理学 ～心理学の知見を自己成長に活かす～	対面	48

大学基礎演習(前期)※OT必修クラスを除く

担当者	開講曜日	副題	授業形態	受入人数
前田 崇	火5	大学生としての学び方	対面	15
野島 高彦	火5	理系スタイルのスタディ・スキル #リケスタ	対面	24
大極 光太	水2	大学生としての学び方	対面	64
猪原 敬介	水5	大学生のための文章作成トレーニング	対面	15

大学基礎演習(後期)

担当者	開講曜日	副題	授業形態	受入人数
安川 智子	火2	大学生としての学び方	対面	20
畠山 禎	火5	大学生としての学び方	対面	15

授業期間	2023年度 前期		授業対象	指定なし 火2	
科目名	教養演習B (音楽分析入門/コードを学ぼう) (Liberal Arts and Sciences Seminar B)				
科目責任者	安川 智子			単位数	1単位
担当者	安川 智子				
授業の目的	クラシックの世界における「和声法」と、ジャズ・ポピュラーで用いられる「コード」。これらは全く別物ではなく、基本の考え方は共通しています。この演習授業では、音楽経験者を対象に、ギター音楽やポピュラー音楽でも有用なコード理論を、クラシックの基礎と比較しつつ学ぶ、自らの選んだ楽曲を分析したり、演奏したりできるようになることを目指します。また経験者でない人も、古今東西に存在する「歌」をテーマに、問題提起から資料調査、文献講読、分析、議論、発表、レポート作成といった音楽学の基礎的な方法と技術を学びます。				
教育内容	授業に実践的に参加する演習形式です。歌の伴奏としての「コード」(和声法)についての基礎知識や分析法を学び、実際の音楽を使って理解します。参加者は各自で一つのテーマを設定し、段階を追って音楽を用いたプレゼンテーションができるようにしていきます。ギターやピアノ経験者は、個人またはグループで、好きな楽曲のコード分析に挑戦してみよう。またコードや和声はちょっと難しいという人は、クラシック、ポピュラー、民族音楽、民謡、などジャンルを限定せず、それぞれがもっとも好きな「歌」をテーマに発表し、議論し合うことで、歌と伴奏という音楽のもっとも普遍的なあり方について理解を深めます。				
教育方法	演習形式。各人が調べ、発表し、議論をします。演奏のできる人は、演奏や歌を交えて、そうでなければCD等を用いた音楽付きのプレゼンテーションを行います。各人の発表に対して、講師及び受講生がお互いにフィードバックをしまい、全体としてよりよいプレゼンテーションを作っていきます。 【フィードバックの方法】各学生の発表に対して、他の受講生が感想や改善点をコメント用紙に記入し、発表者本人に手渡します。講師は随時口頭でコメントを伝えます。				
準備学習(予習・復習)	【授業時間外に必要な学習の時間：15時間】 予習：発表担当者は事前の準備を入念に行う。担当者以外も、予想されるテーマについて、考え、議論の準備をしておく。 復習：発表担当者は改善点や学生から得られた意見やアドバイスをじっくり吟味し、反省をして次回に生かす。また担当者以外も、良い点と改善点についてよく考え、自分の回に生かす。 1コマあたり最低1時間の授業時間外学習が期待される。				
回	担当者	項目	授業内容		
1	安川【対面】	ガイダンス	参加者の自己紹介や、授業の進め方、次回の授業のための課題について説明します。		
2	〃	情報収集の方法(楽譜と文献)	参加者それぞれの好きな「うた」について、楽譜や文献、音源などを持ち寄り、情報交換します。音楽にかかわる文献収集の実践が目的です。また参加者の音楽知識や経験値に合わせて、音楽理論の基礎、楽譜の読み方などについて解説します。		
3	〃	音楽の研究法 藤井風「死ぬのがいいわ」を例に	音楽を研究する、分析するとはどういうことかを、現在世界中でヒットしている藤井風「死ぬのがいいわ」を素材にみんなで考えてみます。また参考書を用いて、コード理論の基本的な仕組みを学びます。		
4	〃	プレゼンテーションの準備と方法について	引き続き文献を収集・講読しつつ、各自が発表したい歌のジャンルとテーマを決定します。プレゼンテーションの準備と方法について、講義します。		
5	〃	発表と討論(1)	担当学生による発表と討論。		
6	〃	発表と討論(2)	担当学生による発表と討論。		
7	〃	発表と討論(3)	担当学生による発表と討論。		
8	〃	発表と討論(4)	担当学生による発表と討論。		
9	〃	発表と討論(5)	担当学生による発表と討論。		
10	〃	発表と討論(6)	担当学生による発表と討論。		
11	〃	発表と討論(7)	担当学生による発表と討論。		
12	〃	プレゼンテーション方法について(振り返り)	これまでの発表を踏まえて、プレゼンテーションの方法や組み立て方について、改善していきます。また理解の及ばなかったコード理論について洗い出しを行います。		
13	〃	音楽についての文章表現について(レポート作成法)	各自の発表内容をもとに、文章化の方法を学びます。		
14	〃	歌のジャンルやコード分析についてのまとめと復習	各プレゼンテーションの内容と方法について、まとめと復習、フィードバックを行います。		
15	〃	まとめ	前期の授業全体の総括を行います。		
到達目標	音楽を用いて、問題提起、資料調査、文献講読、音楽の分析、議論、発表といった一通りの音楽学の方法を身につけることができる。世界各国の様々な歌について知識を深める。コード、和声の基本的な知識を身につける。				
成績評価の方法と基準	試験方法：なし 実施時期： 発表内容や提出物(70%)、議論への参加状況(30%)などをもとに総合的に判断する。発表日に無断で欠席した場合は単位を付与しない。				
学生へのメッセージ(その他注意等)	音楽を楽しみながら、社会人としても役立つ学問的スキルや、一生の趣味になる知識を身につけていきましょう。授業計画は、履修メンバーに応じて柔軟に変更します。うたの好きな方、ギターやピアノの弾ける方歓迎します。講義科目の「芸術の楽しみA(安川)」「芸術の楽しみB(安川)」を合わせて受講すると、音楽史の基礎知識から、実践的なプレゼンテーションまでを体系的に修得することができます(必須ではありません)。				
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価(円)	
参考書	コード理論大全	清水響	リットーミュージック	¥3,024	
参考書	ハーモニー探究の歴史—思想としての和声理論	西田紘子・安川智子編著	音楽之友社	¥2,700	
参考書	憂愁と官能を教えた学校(上・下)	菊池成礼・大谷能生	河出書房新社	¥1,026	
参考書	改訂新版 音楽の文章術 論文・レポートの執筆から文献表記法まで	リチャード・J・ウインジェル	春秋社	¥3,080	
参考書	大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法(改訂第二版)	松本茂・河野哲也	玉川大学出版部	¥1,500	

授業期間	2023年度 前期		授業対象	指定なし 水2	
科目名	教養演習B (論理的思考のトレーニングI) (Liberal Arts and Sciences Seminar B)				
科目責任者	大石 敏広			単位数	1単位
担当者	大石 敏広				
授業の目的	私たちの社会は科学(技術)と切っても切れない関係にあります。科学(技術)なくして現代社会は成立せず、科学(技術)は社会的要素を組み込んで成立しています。また、現代はグローバル化の時代だと言われ、一国での出来事は同時に世界全体に影響を及ぼす可能性があります。このような複雑な状況のなかで、この社会には様々な深刻な問題が生じてきています。例えば、AI (Artificial Intelligence:人工知能)は、人類の生活様式を根本的に変える可能性があります。これらの問題を解決するためには、私たちは、思考力を鍛え、自律の精神を養わなければなりません。本演習では、論理的な思考能力を鍛えることによって自律的精神の涵養を目指します。				
教育内容	まず、個人個人のワークとして、平易な文章を少しずつ着実に理解しながら読み進めて、課題について考えてもらいます。次に、課題の解答について検討し、何か問題点・疑問点がないかどうかについて考察してもらいます。				
教育方法	教科書は使用せず、パワーポイントの資料やプリントを配布します。平易な文章を取り上げ、特に論理に着目しながら読解をしていきます。そして、単に読解を進めていくだけではなく、できる限り読解力を高めていくために、文章について批判するという作業を行ってもらいます。 【フィードバックの方法】 問題について講義内で解答を提示し、それについて皆で議論をします。				
準備学習(予習・復習)	【講義時間外に必要な学習の時間：15時間】 予習：講義において紹介された文献の読解を進める。 復習：講義の内容を再度確認しておく。問題点・疑問点を書き出しておく。				
回	担当者	項目	授業内容		
1	大石【対面】	ガイダンス	演習の目標・内容、教育方法、評価方法などを説明します。自己紹介もします。		
2	〃	入門	簡単な文章を読みながら、論理的思考とは何かを理解する。		
3	〃	接続表現の役割	接続表現の働きを学び、その重要性を理解する。		
4	〃	基本的な接続表現	問題を解きながら、基本的な接続表現の働きを理解する。		
5	〃	付加・転換・補足	問題を解きながら、付加・転換・補足の表現の働きを理解する。		
6	〃	接続表現の復習	問題を解きながら、これまで学んだ接続表現の復習をする。		
7	〃	実践トレーニング	少し長めの問題を解きながら、論理的思考のトレーニングをする。		
8	〃	議論ユニット	議論を構成するユニットについて理解する。		
9	〃	実践トレーニング	少し長めの文章を読解しながら、これまで学んだことの復習をする。		
10	〃	論証の構造	問題を解きながら、論証のパターンについて学ぶ。		
11	〃	実践トレーニング	少し長めの文章を読解しながら、論証のパターンの復習をする。		
12	〃	演繹と推測	論証における演繹と推測の違いを理解し、使い分けができるようにする。		
13	〃	総復習I	問題を解きながら、これまで学んだことの総復習をする。		
14	〃	総復習II	少し長めの文章を使い、これまで学んだことの総復習をする。		
15	〃	まとめ	これまでの演習の総括を行い、問題点について皆で議論をする。		
到達目標	文章読解の力を高めることができる。 自分の意見をまとめることができる。 自分の考えを提示し、自分の考えを発展させることができる。				
成績評価の方法と基準	試験方法：なし 実施時期： 期末テスト(50%)、課題の取り組み(50%)によって評価します。なお、欠席は減点となります。				
学生へのメッセージ(その他注意等)	後期開講の「教養演習C：論理的思考のトレーニングII」も受講することが望ましい。両方の講義を受けることによって論理的思考がより鍛えられます。 積極的に演習に参加してくれる人を希望します。				
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価(円)	
教科書	使用しません。演習において読んでいく文献が私の都度用意します。				
参考書	講義中に紹介します。				

授業期間	2023年度 前期 授業対象 指定なし 水2			
科目名	教養演習B (大学生のストレスマネジメント) (Liberal Arts and Sciences Seminar B)			
科目責任者	山田 裕子	単位数	1単位	
担当者	山田 裕子※			
授業の目的	多くの人にとって、大学生の時期は子どもから大人への移行期とされる「青年期」にあたります。身体的・心理的・社会的な変化が大きき、様々なストレスを感じやすい時期です。ストレスに圧倒されると、集中力が低下したり、気持ちがイライラして疲れてしまったり等、うまくいかないように感じることがありません。一方、過度なストレスは人生を豊かにすると言われています。本授業の目的は、大学生生活で直面しやすいストレスについて学び、ストレスと上手に付き合う方法を習得することです。同じ出来事でも、そのストレスから受ける影響は一人一人異なりしますので、まず自分自身とストレスとの関係について理解を深めながら、ストレス対処の様々な方法について学ぶことを目指します。			
教育内容	はじめに、ストレスとは何か、ストレスの影響とはどういうものかについて学びます。次に、一般的に大学生活の中で出やすいストレスについて学びます。併せて、自分にとって何がストレスになるのか、また、自分が現在行っているストレスの対処法について、理解を深めます。最終的には、ストレスを減らす(適度にする)ための方法について、様々な観点から学びます。講義、ワークシート、体験を組み合わせて行います。小グループや全体で、思ったこと、感じたこと等をシェアリングする機会を設ける等して、できるだけ双方向的に行います。			
教育方法	自己理解を深めるには、他者との関わりを通して自分を振り返る作業が重要ですので、感染対策を行いながら、原則、対面で授業を行います。パワーポイントを用いて講義を行い、その中で指示するワークに適宜取り組んで頂き、学習を進めます。安全に配慮しながら、参加者間で思ったこと・感じたこととのシェアリングを取り入れます。小レポート等で示された質問や重要な内容については、次の授業のはじめに匿名で全体にフィードバックし、参加者の理解を確認しながら進めます。			
準備学習(予習・復習)	【授業時間外に必要な学習の総時間数：15時間】 ※授業時間外学習には、試験レポートへの取り組み時間も含む。 予習：前回の授業内容を見直しておくこと。授業のテーマについて、自分と照らし合わせて考えてみること。 復習：その授業で学んだこと、自分の考えや気づき、感じたこと等を振り返り、小レポートにまとめて提出すること。			
回	担当者	項目	授業内容	
1	山田【対面】	オリエンテーション・ガイダンス	授業の目的と内容、評価方法、授業の進め方、受講上の注意点等について説明する。今後の授業に向けてのウォーミングアップを行う。	
2	〃	ストレスとは何か?	ストレスについて正しく理解し、それがどのように心や身体に影響を及ぼすのかについて学習する。	
3	〃	大学生が出会うストレス① 新しい生活への適応について	大学生活の最初の頃に影響を受けやすい「新しい生活や環境に適応していく際に生じるストレス」について学ぶ。	
4	〃	大学生が出会うストレス② 学習・勉強、課外活動等について	学業と課外活動、アルバイト、趣味、また、それらのバランス等に関連するストレスについて学ぶ。	
5	〃	大学生が出会うストレス③ 友人関係、親との関係について	友人関係や親子関係にまつわるストレスについて学ぶ。	
6	〃	大学生が出会うストレス④ 恋愛と性について	恋愛におけるストレス、性を巡るストレスや性の多様性に纏わるストレスについて学ぶ。	
7	〃	自分のストレスとの関わり方について	自分にとってストレスになりやすい事柄について探索し、ストレス対処の際に生じる葛藤の仕組みを理解する。自分のストレス対処法について見直してみる。	
8	〃	ストレス対処法を身につける①：ライフスタイル	睡眠や食事、運動などのライフスタイルとストレスとの関係について学び、自分自身の日常生活について考える。	
9	〃	ストレス対処法を身につける②：問題解決技法	現実的な問題がある場合に有効なストレス対処法、問題を見極めて、解決策となる方法を捻出し、行動計画を立てて実施する方法を学ぶ。	
10	〃	ストレス対処法を身につける③：効果的なコミュニケーション	他者との交流におけるストレスを軽減させるために、コミュニケーションスタイルや適切な自己主張、聴き方、話し方について学ぶ。	
11	〃	ストレス対処法を身につける④：時間管理	優先順位付けや先延ばし癖への対処法について学ぶ。	
12	〃	ストレス対処法を身につける⑤：思考のクセを見直す	認知行動療法をベースに、自分の考え方のクセを見直してみる。物事の捉え方でストレスを増幅させている場合の対処法を学ぶ。	
13	〃	ストレス対処法を身につける⑥：マインドフルネス	「今、ここ」の自分の体や心の状態に気づき、評価せず受け止める力を育むマインドフルネスについて、体験的に学ぶ。	
14	〃	ストレス対処法を身につける⑦：リラクゼーション	呼吸法や段階的筋弛緩法など、身体をリラックスさせる方法を体験的に学ぶ。	
15	〃	解説と確認	授業に関する質問や期末レポートについての解説と確認を個別に行う。	
到達目標	①全般的なストレスと大学生活で出やすいストレスについての知識を得る。②自分にとって何がストレスになるのか、どのように影響を受けているのか、それに対してどのように対処しているのかについて、好奇心を持って探索できる。③自分にとっての新しいストレス対処法を1つ以上習得できる。④人が持つ多様性について理解し、自分の考えや意見を大切にしながら、自分とは異なる他者の価値や意見を認めることができる。			
成績評価の方法と基準	試験方法：レポート 実施時期：試験期間内 ワークシート等の課題の実行20% (取り組むべき課題に取り組んだ)、小レポート30% (講義内容をきちんと振り返り、小レポートを丁寧に記述し、自己探索に取り組んだ)、期末レポート50% (自分のストレスと対処法について本授業で得た自己理解に基づいた自己分析を示した)。以上の点を総合的に判断して評価します。			
学生へのメッセージ(その他注意等)	「大学生のストレスについて学びたい」「ストレスマネジメントに興味・関心がある」「自分を知り成長する機会にしたい」等、テーマに少しでも関心のある方を歓迎します。多少なりともストレスと向き合うこととなりますので、体調に留意してご参加ください。状況に応じて感染対策へのご協力をお願いします。			
実務経験の授業への活用方法	臨床心理士・公認心理師として、心理学の知識や手法を取り入れながら、皆さんが自分のストレスとその付き合い方について探索し、成長していくお手伝いできればと思っています。			
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価(円)
参考書	大学生のストレスマネジメント 自助の力と援助の力 (授業のために購入する必要はありません)	齋藤憲司・石垣琢磨・高野明	有斐閣	¥2,000

授業期間	2023年度 後期		授業対象	指定なし 火5		
科目名	教養演習C (ライフスタイルの選択) (Liberal Arts and Sciences Seminar C)					
科目責任者	赤澤 とし子			単位数	1単位	
担当者	赤澤 とし子					
授業の目的	少子高齢化・人口減少社会, 世界経済の変動, AI, IoT時代の到来など, 私たちを取り巻く社会構造の変化や科学技術革新, 変わりゆく社会経済情勢は, 私たちの暮らしのさまざまな側面に影響を及ぼす。本演習では, 私たちを取り巻く社会経済環境の変化を理解するとともに, 「人生100年時代」と言われる今日, 自らの20年後30年後40年後, …の未来を想像しながら, 人生におけるイベントや直面し得るさまざまな問題について考えていく。自分ならその問題にどう対処するだろうか, 自ら考え自分自らの対応策を見出すことを目標とする。また, 人前で自分の考え・意見を論理的にはっきりと述べられるようになることを目指す。					
教育内容	各回のテーマについての議論に入る前に, まず, その準備・予備知識として, 少子高齢化・人口減少社会, 近年の社会経済情勢を概観する。続く各回では, ライフイベント, 直面し得る問題のいくつかを取り上げ, 受講生間での議論を通して, その問題の背景を読み解きながら, 自分自身の選択行動, 多面的な視点からの解決策を探っていく。また, 人前で話す機会をなるべく作るため, 1分間あるいは3分間スピーチの時間を取る。					
教育方法	この演習は「対面」で行う。はじめに, 各回で取り上げるテーマに関する基本的情報を教員が提供する(データ・資料に基づき解説する)。適宜, 教材としてビデオも活用する。設定されたテーマについて, 受講生の間で議論する。各回の議論を通して得られた知見, 自らの意見等をまとめて, 演習時間内やMoodle上に提出する。そして最後に, 各人が特に興味を持ったテーマをひとつ選び, 新たな情報を入手したり, 再吟味し, より掘り下げた形での最終レポートを提出する。 【フィードバックの方法】 提出された意見や課題に対しては, 主要な意見や特徴的な興味深い見解の紹介, 誤解のある点にコメントするなど演習時間内に講評を行う。					
準備学習(予習・復習)	【予習】 その回で取り上げるテーマについて下調べをしておくこと。 【復習】 新たに得られた知見や自分の考え・意見をまとめておくこと。 【予習・復習】のほか, 最終レポートの作成に向けた資料収集や執筆の時間を含め授業時間以外に必要な学習の総時間は15時間					
回	担当者	項目	授業内容			
1	赤澤 【対面】	ガイダンス	演習の目的や内容, 進め方, 受講上の注意等について説明する。			
2	”	自分の将来予想	学生の自己紹介をする。 2030年, 2040年, 2050年, 2060年の自分(どんな仕事をしているか・したいか, 結婚しているか?子どもはいるか?どんな生き方をしたいかなど)を想像し, 2030年, 40年, 50年, 60年という時代に生きる自分を語る。			
3	”	議論のための準備: 社会経済情勢①	少子高齢化・人口減少社会(人口の規模・構造の過去・現在・未来) 少子高齢化・人口減少が社会経済に与える影響			
4	”	議論のための準備: 社会経済情勢②	日本経済の状況, 格差社会, ネット社会など社会の諸相について			
5	”	社会人とは, 仕事に就くとは	「大人とは?」「社会人とは?」「18歳成人について,」「社会人として生きるといふこと,」「働くということ」などについて, 各種意識調査の結果などを参考にしながら議論する。			
6	”	働き方	就活, 雇用形態の多様化・雇用の流動化, 働き方改革をキーワードに, 「働き方」について議論する。			
7	”	結婚と家族	晩婚化・非婚化(未婚率, 生涯未婚率の上昇), 所得水準と結婚, 結婚観や家族観などをキーワードに, 「結婚と家族」について議論する。			
8	”	出産・子育て	夫婦出生力の低下, ワーク・ライフ・バランス, 男性の育児参加, 養育費・教育費, 子育て支援策などをキーワードに, 「出産・子育て」について議論する。			
9	”	家族の介護	遠距離介護, シングル介護・男の介護, 介護離職, 介護者の支援などをキーワードに, 「家族の介護」について議論する。			
10	”	高齢期の医療と介護	医療と介護の連携, 医療保険制度・介護保険制度, 在宅医療・介護, 認知症などをキーワードに, 「医療と介護サービス」について議論する。			
11	”	高齢期の住まい方	高齢単独世帯の増加, 高齢者向けの住宅などをキーワードに, 「老後, どこで誰と暮らすか(生活基盤としての住まい)」について議論する。			
12	”	高齢期の社会生活	生涯現役社会, 社会参加, 居場所づくり, 高齢者の貧困, 社会からの孤立などをキーワードに, 「高齢者の就労, 生きがい, 地域づくり」について議論する。			
13	”	人生最期の選択	病院死・在宅死, 在宅での看取り, ターミナルケア, リビング・ウィル, ACP(Advance Care Planning)などをキーワードに, 「最期をどこで, どのように迎えるか, そのとき家族は…」について議論する。			
14	”	最終レポートについて	各人が最終レポートのテーマについて, その概略を発表し, その後質疑応答。			
15	”	演習全体を振り返って	全体を通しての質疑応答など。			
到達目標	取り上げたテーマの現状や問題点を説明できる。 取り上げたテーマについて, 自分の考え・意見を論理的に述べることができるようになる。 積極的に議論に参加できるようにする。					
成績評価の方法と基準	試験方法: なし 実施時期: 受講態度・議論への参加度, テーマごとのリアクション・ペーパー, 課題など平常点(55%), 最終レポート(45%)により総合的に評価する。最終レポート未提出の場合は単位を修得できません。					
学生のメッセージ(その他注意等)	「人前で話すのがどうも苦手な…」という人, まずは, 人前で話すことに「慣れ」ましょう。「場数を踏む」という表現があるように, この演習の時間(機会)をいかに活用して, 恥ずかしがらず, 躊躇せず, どんどん話してみてください。 受講にあたってのより詳細な注意事項等は初回のガイダンスの際にお伝えします。					
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価(円)		
教科書	教科書は使用せず, 適宜資料を配付する。					
参考書	参考書は適宜紹介する。					

授業期間	2023年度 前期		授業対象	指定なし（O.T専攻を除く） 火5	
科目名	大学基礎演習 （大学生としての学び方） (Academic Skills Seminar)				
科目責任者	前田 崇			単位数	1単位
担当者	前田 崇				
授業の目的	この授業の目的は、学生がこの授業の修了時に、社会学・教育社会学の基礎知識を活用して、メンバーと連携・対話しながら、社会現象や社会問題を複眼的・批判的（クリティカル）に捉え、根拠に基づいて論理的に考察し、それを表現することができるようになることである。				
教育内容	社会学・教育社会学の基礎を学びながら、以下の4点に関する実践的な演習を行う。1社会学・教育社会学の基本的知識を活用して社会現象を考察し、それを表現すること、2汎用的スキル（論理的思考、クリティカル・シンキングの力＝批判的・複眼的思考、問題発見・問題解決）、3大学生としての基本的なスキル（情報収集、テキストの読み方、レポートの書き方、プレゼンテーションの仕方）。4、市民として必要な他者との連携・対話の経験。				
教育方法	講義、履修者数が多ければグループワーク、少なればゼミ方式、対話・議論、プレゼンテーション。 【フィードバックの方法】発表やディスカッションの内容に対して、口頭で随時コメントやアドバイスをする。				
準備学習（予習・復習）	授業で提示された課題（報告資料の作成、レポートの作成、課題文献や関連文献の講読など）をする。関心のある文献を読み、考察する。 【授業時間外に必要な学習の時間：15時間】				
回	担当者	項目	授業内容		
1	前田 【対面】	ガイダンス	演習の目的と到達目標、演習の進め方、受講上の注意などの説明を行う。アイスブレイキング・自己紹介。		
2	〃	情報収集の方法	図書館の利用法、資料検索、資料収集の方法を学習する。教養図書館ツアーを行う。		
3	〃	テキストの読み方	批判的読書のコツを説明する。報告の担当箇所と発表順を決める。レジュメを用いた報告の基本を説明する。文献講読のレジュメの作成方法を説明する。文献講読と個人報告の担当箇所と発表順を決める。講読文献は受講者の興味関心のあるものを話し合っ選定する。		
4	〃	レポートの書き方、プレゼンテーションの方法	レポートと感想文の違いを知り、レポートとは何かを説明する。論理的に文章を書くための方法を説明する。問いを立て、展開させていくための方法を説明する。個人報告のやり方を説明する。自分たちで教育に関して興味関心のあるテーマの問いを立ててみる。レポートの問いを立てる。		
5	〃	文献講読とディスカッション①	教育に関する社会学・教育社会学の文献の講読を行う。発表資料を作成して、要旨、解説、疑問点、議題、考え等について検討し、報告する。グループあるいは全体で質疑応答や対話・ディスカッションを行う。		
6	〃	文献講読とディスカッション②	教育に関する社会学・教育社会学の文献の講読を行う。発表資料を作成して、要旨、解説、疑問点、議題、考え等について検討し、報告する。グループあるいは全体で質疑応答や対話・ディスカッションを行う。		
7	〃	文献講読とディスカッション③	教育に関する社会学・教育社会学の文献の講読を行う。発表資料を作成して、要旨、解説、疑問点、議題、考え等について検討し、報告する。グループあるいは全体で質疑応答や対話・ディスカッションを行う。		
8	〃	文献講読とディスカッション④	教育に関する社会学・教育社会学の文献の講読を行う。発表資料を作成して、要旨、解説、疑問点、議題、考え等について検討し、報告する。グループあるいは全体で質疑応答や対話・ディスカッションを行う。		
9	〃	文献講読とディスカッション⑤	教育に関する社会学・教育社会学の文献の講読を行う。発表資料を作成して、要旨、解説、疑問点、議題、考え等について検討し、報告する。グループあるいは全体で質疑応答や対話・ディスカッションを行う。		
10	〃	文献講読とディスカッション⑥	教育に関する社会学・教育社会学の文献の講読を行う。発表資料を作成して、要旨、解説、疑問点、議題、考え等について検討し、報告する。グループあるいは全体で質疑応答や対話・ディスカッションを行う。		
11	〃	文献講読とディスカッション⑦	教育に関する社会学・教育社会学の文献の講読を行う。発表資料を作成して、要旨、解説、疑問点、議題、考え等について検討し、報告する。グループあるいは全体で質疑応答や対話・ディスカッションを行う。		
12	〃	文献講読とディスカッション⑧	教育に関する社会学・教育社会学の文献の講読を行う。発表資料を作成して、要旨、解説、疑問点、議題、考え等について検討し、報告する。グループあるいは全体で質疑応答や対話・ディスカッションを行う。		
13	〃	文献講読とディスカッション⑨	教育に関する社会学・教育社会学の文献の講読を行う。発表資料を作成して、要旨、解説、疑問点、議題、考え等について検討し、報告する。グループあるいは全体で質疑応答や対話・ディスカッションを行う。		
14	〃	文献講読とディスカッション⑩	教育に関する社会学・教育社会学の文献の講読を行う。発表資料を作成して、要旨、解説、疑問点、議題、考え等について検討し、報告する。グループあるいは全体で質疑応答や対話・ディスカッションを行う。		
15	〃	まとめ	まとめを行う。		
到達目標	学生はこの授業の修了時に、社会学・教育社会学の基礎知識を活用して、メンバーと連携・対話しながら、社会現象や社会問題を複眼的・批判的（クリティカル）に捉え、根拠に基づいて論理的に考察し、それを表現することができる。				
成績評価の方法と基準	試験方法：なし 実施時期：試験期間外 発表の内容と対話やディスカッションでの発言（50%）とレポート（50%）。				
学生へのメッセージ（その他注意等）	身近な社会現象や社会問題に対するステレオタイプな見方や偏見から自由になって、複眼的・批判的に物事を考えられるようになってください。多様な考えを知るために、対話やディスカッションを行います。演習形式の授業ですので、授業に積極的に参加してください。教職課程の科目ではありませんが、教員志望の学生さんにはぜひ受講してください。				
教科書・参考書	書名		著者名		定価（円）
なし	教科書は使用しない。参考書については授業中に適宜指示する。				

授業期間	2023年度 前期 授業対象 指定なし（O.T専攻を除く） 火5			
科目名	大学基礎演習 (理系スタイルのスタディ・スキル #リクエスト) (Academic Skills Seminar)			
科目責任者	野島 高彦	単位数	1単位	
担当者	野島 高彦※			
授業の目的	(1) 情報を探し、集め、記録し、整理し、活用する方法を学ぶ。 (2) 実験実習科目の準備、観察、記録、レポート作成、考察ネタ探し方法を学ぶ。 (3) 検索エンジン、e-mail、SNSなどのオンラインサービスを用いた情報収集、情報交換、情報発信方法を学ぶ。 (4) 日本語による伝える文章およびメッセージの組み立て方を学ぶ。 (5) 異なる立場からの異なる結論をとりわけて、主観的に意思決定を下す方法を学ぶ。			
教育内容	書籍、メディア、インターネット、授業などから目的とする情報を探り出し、課題、レポート、ディスカッション、ディベート、試験勉強などに活用する方法を解説する。相手に伝わる言葉や文章の組み立て方を解説する。客観的な判断と主観的な決定をする能力を身につける方法を解説する。 <キーワード> e-mail、SNS、インタビュー、インターネット、グループワーク、考察ネタ探し、コミュニケーション、実験ノート、実験レポート、文章作成、メモ、ノート、レポート			
教育方法	スライド、黒板を用いたポイント解説、演習、グループによる共同作業とディスカッションを組み合わせて運営する。 【フィードバックの方法】 全3回のレポート課題は添削したうえで返却する。			
準備学習 (予習・復習)	【授業時間外に必要な学習の時間：15時間】 課題図書：適宜紹介する。 予習：授業終了時に課題を課すので次回授業までに取り組むこと。 復習：学んだスキルを次回授業までに確かめてみること。 自宅学習時間：15時間			
回	担当者	項目	授業内容	
1	野島 【対面】	オリエンテーション	半年間、何のために何をめざすのか / 受講するうえでの注意事項は何か / 他已紹介・取材「する」と取材「される」	
2	〃	インターネットは頼れるパートナー	e-mailによる連絡を円滑におこなうために何を知らなければいけないのか / オンライン上の行動で人生を破壊し得ないためにはどのような考え方をすればよいのか	
3	〃	高校から大学へ	実際に2週間送ってみた大学生活は高校生活とどのように違ったか / 日頃ヒマわりにはが切前に苦しい思いをするのはなぜか / どうすれば目標をよりな達成する計画を立てられるのか	
4	〃	授業ノートは役立つ記録その1	大学ではどのような形式の講義が行われているのか / 何のためにノートをとるのか / ノートに記録を残すときにどのような工夫をするときよいのか	
5	〃	授業ノートは役立つ記録その2	スライドショーで高速進行する講義でノートに記録を残すにはどうすればよいのか / とったノートはどのように活用できるのか / まわりの人々は大学の講義でどのようなノートをとっているのか	
6	〃	文章に記されている内容の読み解き方	文章に記されていない重要事項を文章中から探り当てるとはどのようにすればよいのか / 作業を順調に進めるための手順書を書くにはどうすればよいのか	
7	〃	実験実習科目対策講座その1	実験レポートとは何なのか / 実験ノートには何を記録するのか / 考察ネタ探しはどうか / 実験科目はどのように予習すればよいのか	
8	〃	実験実習科目対策講座その2	グループで模擬実験を実際に行ってみて何がわかるのか / どのような実験記録が残るのか / 実験を通して何を発見したのか	
9	〃	実験実習科目対策講座その3 + 論理的に考える	どのような実験レポートが完成したのか / 何を真実と「みなす」のか / 自然科学や医療を学ぶ大学生はどのようにものを考えなければならないのか	
10	〃	伝えるメッセージの組み立て方	相手を動かす言葉を組み立てるにはどうすればよいのか / ビンチやチャンスを要する言葉を組み立てるにはどうすればよいのか / 簡潔に用件を伝えるにはどうすればよいのか	
11	〃	主観的に結論を下すその1	「あなたはどうかするか」の問いに答えるためにはどうすればよいのか / 自分とは異なる意見を尊重することが重要なのはなぜか / 適切なサイズのテーマをレポートで設定するためにはどうすればよいのか	
12	〃	主観的に結論を下すその2 + 調査レポートのテーマを決める	いったん下した結論について調査をおこない再度結論を主観的に下すかどうか / どのようなテーマを選ぶのか / 限られた持ち時間で要旨を相手に伝えるにはどのようなストーリーを組み立てればよいのか	
13	〃	調査レポートの内容に基づく30秒間トーク	持ち時間30秒間をどこまで有効に使えるか / 事実と意見を分けて説明しなければいけないのはなぜか / 議論と討論と口論は何か違うのか	
14	〃	調査レポートの講評 + 学んだ内容の再構成	どのような調査レポートが提出されたのか / 共に学んだ仲間が書いたレポートからは今後のレポート制作に参考になるようなヒントが見つかるか / この授業で学んだことを実際に活かしてみようと思ったか、これらから学びを得たか、どのように成長したか	
15	〃	まとめ	まとめ	
到達目標	(1) 講義、文献、インターネットなどから有用な情報を探り出し、内容を整理および理解し、課題、試験対策、レポート提出、その他の大学生活全般の問題解決に活用することができるようになる。 (2) 明確な日本語で伝えるメールや伝えるメモを書き、伝えるメッセージを組み立てることができるようになる。 (3) 定められた形式に従ってレポートを作成できるようになる。 (4) 目標に向かって無理なく実行可能な計画を立てられるようになる。 (5) 主観的に意思決定できるようになる。			
成績評価の方法と基準	試験方法： なし 実施時期： 課題60%、授業内でのプレゼンテーション40%。			
学生へのメッセージ (その他注意等)	高校までに経験することの無かったタイプの、そして大学で開講されている他の科目とも違ったタイプの授業です。好奇心旺盛な学生、新しいものが好きな学生、そういう学生になってみたい学生、大学入学を機会に自分をよちと変えてみたいと考えている学生、を歓迎します。グループワークやディスカッションが重要な要素なので、全15回に無遅刻無欠席で出席する意思があることを履修の前提とします。2回連続無欠席で不可評価とします。全員がトークやショートプレゼンテーションをおこないます。Android OSあるいはiOS搭載のスマートフォンまたはタブレットを毎回持参できることを履修条件とします。担当者URL → http://www.takahiko.info/ 担当者Twitter → @TakahikoNojima2 SNS ハッシュタグ → #リクエスト			
実務経験の 授業への活用方法	公的研究機関での研究経験にもとづき、情報を探り出し活用する方法、論理的なものとの考え方、客観的および主観的結論の下しかたなどを解説する。			
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価 (円)
参考書	理科系の作文技術	木下是雄	中公新書	¥770
参考書	<新版>日本語の作文技術	本多勝一	朝日文庫	¥660
参考書	誰も教えてくれなかった実験ノートの書き方	野島 高彦	化学同人	¥1,320
参考書	イシューからはじめよー知的生産の「シンプルな本質」	安宅和人	英治出版	¥1,980
参考書	カーネギー心を動かす話し方ー瞬で人を惹きつける秘訣	デール カーネギー	ダイヤモンド社	¥1,760

授業期間	2023年度 前期		授業対象	指定なし（O.T専攻を除く）水2	
科目名	大学基礎演習 （大学生としての学び方） (Academic Skills Seminar)				
科目責任者	大極 光太			単位数	1単位
担当者	大極 光太				
授業の目的	文章・レポートの書き方の基礎を身につける。				
教育内容	大学生が身につけるべき基本のうち、アカデミックスキルを取り上げる。大学でのレポートの書き方が分からないという人のために、必要な資料を収集し、読み、理解し、レポートを書くための方法を教える。また、教員が添削をするのではなく、学生が自分自身で添削できる方法を扱う。				
教育方法	文章とレポートの書き方についての講義と演習を行う。 【フィードバックの方法】提出された課題レポートを添削して返却する。				
準備学習 (予習・復習)	【授業時間外に必要な学習の時間:15時間】 予習:事前にその回のシラバスに目を通し、予習課題があればそれを行う。 復習:授業中にとったノートを見直し、授業の内容を復習し、疑問点がないか確認する。疑問点があれば質問する(メール可)。授業の進路に合わせてレポートを書き進める。 授業時間外学習(予習・復習)に要する時間は15時間である。				
回	担当者	項目	授業内容		
1	大極 【対面】	オリエンテーション	授業の内容、授業の進め方、成績評価の仕方、受講上の注意等の説明を行う。		
2	〃	実験ノート・レポートの書き方①	実験ノート・実験レポートの書き方を演習で学ぶ。		
3	〃	実験ノート・レポートの書き方②	簡単な実験を実際に行い、実験ノートと実験レポートを書く。		
4	〃	実験ノート・レポートの書き方③	実験レポートを添削する。		
5	〃	レポートの書き方①	一般的なレポートの種類と、書くときの心得を紹介する。		
6	〃	レポートの書き方②	レポートの作成手順とメッセージ(目標規定文)の決め方を紹介する。		
7	〃	レポートの書き方③	情報収集の仕方(文献調査、テキストの読み方、ノートの取り方)を紹介する。		
8	〃	レポートの書き方④	構成表(アウトライン)と三部構成(序論・本論・結論)を理解する。		
9	〃	文章の書き方①	文章の構造と形式、順序と階層を理解する。		
10	〃	文章の書き方②	文章の基本原則、ロジックを理解する。		
11	〃	レポートの書き方⑤	推敲の基本的なやり方を紹介する。		
12	〃	演習①	これまでの内容を演習形式で確認する。		
13	〃	演習②	これまでの内容を演習形式で確認する。		
14	〃	確認テストとまとめ	これまでの内容の確認テストを行い、解説する。		
15	〃	個別指導	個々の履修者の質問等に答える。		
到達目標	簡潔でわかりやすい文章を書くことができる。 レポートを作成する、自分で添削することができる。				
成績評価の方法と基準	試験方法:その他 実施時期:試験期間外 成績評価はレポート等の課題(60%)と授業時間内で行う確認テスト(40%)で行う。欠席した場合は欠席回数に応じて減点する。全授業回数の3分の1以上欠席した者に対しては、単位を出さない。詳細は初回の授業時に説明する。				
学生へのメッセージ (その他注意等)	大学での勉強の仕方に不安がある人、これまで読み書きの訓練が十分ではなかったと思っている人、そういった人が履修することを想定している。基本的な話なので、多少とも訓練を積んだ人には適していない。レポートの作成はパソコンの使用を前提としている。履修希望者は必ず第1回目の授業に出席し、説明を聞いてから履修を決めること。				
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価(円)	
教科書	レポート作成のためのガイドライン (入学時に無料配布)	北里大学 編			
参考書	新版 論文の教室 レポートから卒論まで	戸田山和久	NHK ブックス	¥1,320	
参考書	レポートの組み立て方	木下是雄	ちくま学芸文庫	¥780	
参考書	数学文章作法基礎編	結城浩	ちくま学芸文庫	¥950	

授業期間	2023年度 前期	授業対象	指定なし（O.T専攻を除く）水5		
科目名	大学基礎演習 （大学生のための文章作成トレーニング） (Academic Skills Seminar)				
科目責任者	猪原 敬介	単位数	1単位		
担当者	猪原 敬介				
授業の目的	在学中の学びと卒業後に活かせる文章力を身につける。				
教育内容	「読み手が理解しやすい文章」を書けるようになるために、文章作成・添削・修正・推敲を繰り返して文章力を高める。				
教育方法	受講生に文章作成課題に取り組んでもらい、教員および受講生同士による添削を行う。 【フィードバックの方法】 文章作成課題への添削を通してフィードバックを行う。				
準備学習 (予習・復習)	【授業時間外に必要な学習の時間：15時間】 予習：文章作成課題に取り組む。 復習：自らの書いた文章と添削内容を見直す。				
回	担当者	項目	授業内容		
1	猪原 【対面】	オリエンテーション・自己紹介文1（導入）	授業の目的と進め方/受講上の注意点/受講生の自己紹介		
2	〃	「ループリック」について・自己紹介文2（フィードバック）	ループリックについて述べる。		
3	〃	文章作成についての講義1（文章作成のための思考法）	文章作成に役立つ原則について述べる。		
4	〃	文章作成についての講義2（文章構成の方法）	文章構造についての考え方について述べる。		
5	〃	調べ物レポート1（導入）	各自の関心のあるテーマを決め、調べ物レポートを作成する。		
6	〃	調べ物レポート2（途中経過チェック）	調べ物レポートの進捗について確認し、アドバイスをを行う。		
7	〃	調べ物レポート3（提出1回目・フィードバック）	現段階の原稿を提出してもらい、フィードバックを行う。		
8	〃	調べ物レポート4（ループリックの作成・相互評価）	提出された原稿について互いに読み合い、ループリックを作成する。		
9	〃	調べ物レポート5（相互評価についてのフィードバック）	ループリックに基づく相互評価の結果について伝達する。		
10	〃	調べ物レポート6（提出2回目・フィードバック）	ループリックに基づく相互評価の結果を踏まえて提出された修正原稿についてフィードバックを行う。		
11	〃	調べ物レポート7（ループリックに基づく相互評価）	修正原稿について、再度、ループリックに基づく相互評価を行う。		
12	〃	調べ物レポート8（相互評価についてのフィードバック）	修正原稿についてのループリックに基づく相互評価の結果について伝達する。		
13	〃	期末レポート1（出題）	期末レポートについて出題する。ただし、進捗によっては、追加レポートではなく、作成した調べ物レポートを改良したものを提出することを求める。		
14	〃	期末レポート2（途中経過のチェック）	期末レポートの進捗について確認し、アドバイスをを行う。		
15	〃	期末レポート3（フィードバック）	提出された期末レポートについてフィードバックを行う。		
到達目標	「読み手が理解しやすい文章」を書けるようになる。				
成績評価の方法と基準	試験方法：レポート 実施時期：試験期間外 毎回の提出物にもとづく評価（70%）、学期末レポート（30%）により総合評価する。提出物の評価は、授業のポイントをきちんと押さえた文章作成ができていくかという観点から評価する。				
学生へのメッセージ (その他注意等)	文章力は、文章作成・添削・修正・推敲を地道に繰り返すことで高まりますが、文章をじっくりと見てもらえる機会は、卒業後はもちろん、大学生活でもそれほど多くあるわけではありません。そうした機会を貴重と思える人に履修してもらいたいと思います。 *少人数授業となるので、進捗に応じて各授業回の内容は調整します。 *この授業では、各自のノートパソコンを教室に持って来てもらい、作業を行ってもらうことが多くあります。 *この授業では、書いた文章が名前あるいは学籍番号をオープンにした状態で授業内で閲覧されます。このことを了承した人だけが履修してください。 *下記で紹介している本は「参考書」であり、購入必須ではありません。図書館にも入れてありますので、興味のある人はそちらでまず読んでみると良いと思います。				
教科書・参考書	書 名		著 者 名	出版社名	定 価 (円)
参考書	図解でわかる！理工系のためのよい文章の書き方 論文・レポートを自力で書けるようになる方法		福地 健太郎（著）、 園山 隆輔（著）	翔泳社	¥1,980

授業期間	2023年度 後期		授業対象	指定なし 火5	
科目名	大学基礎演習 (大学生としての学び方) (Academic Skills Seminar)				
科目責任者	畠山 禎			単位数	1単位
担当者	畠山 禎				
授業の目的	大学で積極的に学ぶために必要な技法(学習スキル)を、実践的に身につけていきます。				
教育内容	①大学での「学び」とはどのようなものか。 ②ノートの取り方やテキストの読み方。 ③図書館の利用方法、情報の収集方法。 ④レポートやプレゼンテーションなど学術的表現の基礎。				
教育方法	発表担当者が教科書の内容を確認し、つづいて全員で報告の内容や形式の良い点・改善すべき点を討議します。その上で、各自が授業で学んだことを確認しながら、発表、レポートなどの課題に取り組んでいきます。小論文やレポートの書き方についてポイントをわかりやすく説明します。 フィードバックの方法:ワークシートや課題を採点して返却し、よかった点、工夫が必要な点についてコメントします。				
準備学習 (予習・復習)	教科書:学習技術研究会『知へのステップ―大学生からのスタディ・スキルズ』。 予習:教科書に目を通し、概要を把握して下さい。 復習:授業で学んだことに注意しながら、課題に取り組んで下さい。 予習・復習に必要な時間:15時間。				
回	担当者	項目	授業内容		
1	畠山 【対面】	オリエンテーション	演習の目的と進め方/受講上の注意点/受講生の自己紹介		
2	〃	高校から大学へ	第1章 スタディ・スキルズとは 大学で学ぶことの意義や目的とは?/大学生活の目標/どのように行動すれば目標を達成できるのか?		
3	〃	ノートの取り方	第2章 ノート・テイキング 高校と大学の授業の違い/授業タイプに合わせたノートの取り方/試験の際に活用できるノートとは?/自分のノートの添削/良い点・改善すべき点についての意見交換		
4	〃	テキストの読み方(1)	第3章 リーディングの基本スキル 文章を正しく理解するための方法/文章の内容を自分の言葉でまとめ直す方法		
5	〃	テキストの読み方(2)	第4章 より深いリーディングのために 要約の方法/文章中の「事実について書いている部分」と「著者の意見を書いている部分」とを区別するポイント/文章の中からキーワードを見つけるためのポイント		
6	〃	情報収集の方法(1)	第5章 大学図書館における情報収集 第6章 インターネットによる情報収集 大学の図書館の利用法/資料検索の方法		
7	〃	情報収集の方法(2)	第7章 情報の整理 集めた情報の整理方法/文献一覧表の作成方法		
8	〃	レポートの書き方	第8章 アカデミック・ライティングの基本スキル レポートとはどのようなものか?/レポートと感想文とはどこが違うのか?/レポート作成の流れ		
9	〃	文章表現法(1)	第9章 効果的なアカデミック・ライティングのために 文章表現の基礎		
10	〃	文章表現法(2)	第10章 パソコンによるライティング・スキル わかりやすい文章を書くために注意すべき点		
11	〃	プレゼンテーション(1)	第11章 プレゼンテーションの基本スキル レジュメとは何か?/わかりやすいレジュメを書くにはどうすればよいのか?		
12	〃	プレゼンテーション(2)	第12章 わかりやすいプレゼンテーションのために 聞き手にとってわかりやすい、印象に残る発表するためのコツ		
13	〃	発表会(1)	レポート課題の発表会		
14	〃	発表会(2)	レポート課題の発表会		
15	〃	総括	授業全体の振り返り/個別指導		
到達目標	①簡潔かつ明快で、要点を押さえた文章を書くことができる。 ②「課題の設定」、「関連資料の調査と分析」、「考察」、「結論」といった調査・研究の一連の手順を習得する。 ③資料を活用して、作法に従ったレポートを作成することができる。 ④決められた時間内でわかりやすい内容の発表をすることができる。				
成績評価の方法と基準	試験方法:なし 実施時期: 発表や提出物の内容、ディスカッションへの参加態度などにもとづき、総合的に判断します(100%)。欠席回数に応じて減点します。 授業への積極的な参加を高く評価します。				
学生へのメッセージ (その他注意等)	学習スキルは大学での勉学・研究のためだけでなく、卒業後の社会人生活のためにも必ず身につけてはならないものです。学習スキルの習得をめざして、積極的な態度で演習に参加してください。みなさんが「自ら考える力」や「自ら学ぶ力」を伸ばせるように、担当者としてできるかぎり支援してまいります。 オフィスアワーは火曜日の昼休み〜午後2時半、金曜日の午後4時半〜 です。				
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価 (円)	
教科書	知へのステップ―大学生からのスタディ・スキルズ	学習技術研究会	くろしお出版	¥1,890	
教科書	レポート作成のためのガイドライン	北里大学一般教育部/ 高等教育開発センター	北里大学高等教育 開発センター		

言語と文化A・B

1. 教科の勉強に対する総論

「言語と文化A・B」では、ドイツ語・フランス語・スペイン語・オランダ語・中国語・韓国語という五種類の外国語を学べるようになっていきます。履修の方法に関しては学部・学科・専攻によって異なるので、下記の「言語と文化A・B」履修の手引きをよく読んで履修して下さい。

皆さんの多くは、外国語としてこれまでに英語を勉強してきたと思います。現状では、英語が一番有効な国際的共通語といえますが、本当に英語だけ知ってさえいれば十分なのでしょうか。国連加盟国は193か国に達しており、それらの国々では合計2000～3000種類もの言語が話されていると推定されています。最も国際的に通用する言語である英語にしても、基本的にはそうした多様な人間の言語のうちの一つであるに過ぎません。大学生となり、広い視野に立って多様な国際社会へ目を向けてみようと考えている皆さんには、さらに一歩進んで、ぜひ英語以外の新しい言語にも挑戦して欲しいと思います。新しい言語を学ぶことによって得られる視野の広がりや、直接的、間接的に人生を豊かなものとしてくれるでしょう。

2. 「言語と文化A・B」履修の手引き

「言語と文化A・B」の履修を希望する場合は、以下の手引きおよび各学部・学科・専攻の学修要項をよく読み、誤りのないように履修届を提出して下さい。

2-1. 「言語と文化A」と「言語と文化B」の違い

「言語と文化A・B」は共に通年科目であり、一年間通して履修し、試験等に合格して単位を認められると、二単位が認定されます。「言語と文化A・B」には五つの言語が用意されていて、それぞれシラバスの科目名には「言語と文化A」（ドイツ語）・「言語と文化B」（中国語圏文化）等と記載されています。「A」も「B」も、どちらもはじめてその言語を学ぶ人のための初習（初級）外国語科目であることには変わりなく、「A」だけを履修することも「B」だけを履修することも、どちらも可能です。また、「A」と「B」を一つずつ履修することもできます。「A」と「B」の内容上の違いは、「A」では各言語の基本文法の学習に重点が置かれているのに対し、「B」では各言語の文化的背景の学習やコミュニケーション能力の向上に重点が置かれているという点にあります。このバランスやコンセプトは担当者によって異なるので、シラバスをよく読み、内容を確認して下さい。

【注意1】それぞれの言語をしっかりと学びたいと考えている人には、各言語の「A」と「B」を両方も履修することを勧めます。また、そのように考えている人には、後で説明するリンククラスが用意されていますので、リンククラスを履修することをさらに勧めます。

【注意2】「A」と「B」はそれぞれ一科目（一授業）ずつ履修することができます。しかし、たとえば「A」（ドイツ語）と「A」（フランス語）を一緒に履修することはできません。「A」の中で一科目（一授業）、「B」の中で一科目（一授業）履修することができます。したがって、たとえば「A」（ドイツ語）と「B」（フランス語圏文化）を一緒に履修することは可能です。

2-2. 「言語と文化A・B」に関する学部・学科別の単位の扱い

「言語と文化A・B」は各学部・学科の学生が履修することができます。ただし、学部・学科によって選択必修又は自由選択が異なりますので、各学部・学科・専攻の学修要項をよく読んでおいて下さい。

2-3. リンククラスについて

リンククラスは、四つの言語（ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語）それぞれの「言語と文化A」と「言語と文化B」を二科目セットで履修するクラスです。どちらか一方の科目のみを履修することはできません。各言語の授業を週二回受けることとなりますが、リンククラスの場合は、週二回の各授業を同じ教員が連続して教えることとなります。したがって、異なる教員が受け持つ「言語と文化A」と「言語と文化B」をそれぞれ個別に選択して履修する場合よりも、無駄なく、より効率的に各言語を学ぶことができます。各言語をしっかりと学び、各言語の検定試験の合格を目指したいと考える人には、リンククラスを履修することを強く勧めます。

2-4. 「言語と文化A・B」の各授業の履修上の注意

「言語と文化A・B」の各授業の履修希望者は、それぞれ希望する授業（クラス）の第一回授業（リンククラスの場合は先にある方の授業の第一回目）に必ず出席して、担当の先生の指示に従って下さい。

担当者	担当言語	受入人数	担当者	担当言語	受入人数
三田 順	ドイツ語/ドイツ語 (リンク1)	25	三田 順	オランダ語	25
風岡 祐貴	ドイツ語/ドイツ語 (リンク2)	25	高木 佳奈	スペイン語	30
井口三奈子	ドイツ語	28	司馬 虹	中国語	40
橋本由紀子	ドイツ語	32	司馬 虹	中国語 (リンク4)	30
真部 清孝	フランス語/フランス語 (リンク3)	30	金 成思	韓国語	25
黒木 朋興	フランス語	25			

※医学部では、「言語と文化B」は履修できません。

授業期間	2023年度 通年	授業対象	M学部 金1	
科目名	言語と文化A (ドイツ語-M指定) (Language and Culture A(German))			
科目責任者	三田 順	単位数	2単位	
担当者	三田 順			
授業の目的	1. 新しい言語を学ぶことで、異なる言語文化への関心を育み、母語や英語を相対化する。 2. 新しい言語を0から学びながら「効率の良い外国語(=あらゆる分野)の学び方」を身につける 3. 新しい言語を習得する手応えを通じ、「外国語コンプレックス」を解消する切掛けを見つける。 4. 無駄のない継続的な学習こそ最も効率良く、楽な方法であることを体得する。			
教育内容	ドイツ語は英語と同じゲルマン系言語に属しているが、英語に比して、文法構造が明晰かつ論理的であり、綴りと発音の関係は極めて規則的である。ドイツ語を0から学習して行くことで、言語能力のみならず、母語および英語の特殊性を相対的に見る視野を獲得する。			
教育方法	文法解説の後、多様な形式の練習問題で理解度を深め、小テストで知識の定着を図る。 作文問題、ペアワーク、グループワークでの会話練習等を通じ、能動的な運用能力も高める。 ウェブベースのアプリケーションを適宜使用し授業の双方向性を高める。 視聴覚資料を活用し、ドイツ語圏の文化に触れる。 【フィードバックの方法】 リアクションペーパーを活用して教員と学生間の双方向理解に努める。 moodle、メールを活用し、授業時間外でも質問を受け付け、回答する。			
準備学習 (予習・復習)	授業時間外に必要な学習の時間：30 時間】 予習：教科書に目を通しておく。授業で紹介するインターネット上の様々なツールや映画等を活用し、ドイツ語およびドイツ語圏の文化についての知識を深める。 復習：学んだ文法知識を定着させるための宿題、および小テストの準備。			
回	担当者	項目	授業内容	
1	三田 【対面】	ガイダンス Lektion 1	この授業についての説明、ドイツ語のアルファベット	
2	〃	Lektion 2	発音の規則、数字 0-10	
3	〃	Lektion 3	人称代名詞と動詞 sein	
4	〃	Lektion 4	規則動詞の変化①	
5	〃	Lektion 5	名詞の性、定冠詞と不定冠詞、数字 11-20	
6	〃	Lektion 6	名詞の格①、複数形、haben 動詞	
7	〃	Lektion 7	名詞の格② 二格と三格の用法	
8	〃	復習	これまでの学習事項の振り返り	
9	〃	Lektion 8	人称代名詞の格変化、語順、数字 21-99	
10	〃	Lektion 9	不規則動詞①、「不定詞句」の概念	
11	〃	Lektion 10	日本語と格の感覚がずれる動詞+否定冠詞	
12	〃	Lektion 11	不定冠詞類：所有冠詞	
13	〃	Lektion 12	定冠詞類、動詞 gehören	
14	〃	総復習	前期の復習	
15	〃	まとめ	前期の解説と確認	
16	〃	Lektion 13	前期の復習、大きな数字、年月日の表現	
17	〃	Lektion 14	前置詞① 2、3、4 格支配の前置詞	
18	〃	Lektion 15	前置詞②	
19	〃	Lektion 16	(非)分離動詞、時間の表現①	
20	〃	Lektion 17	助動詞、時間の表現①	
21	〃	Lektion 18	形用詞	
22	〃	Lektion 19	動詞の三基本形	
23	〃	Lektion 20	過去形と並列の接続詞	
24	〃	Lektion 21	現在完了形	
25	〃	Lektion 22	受動文と再帰代名詞	
26	〃	Lektion 23	副文：間接疑問文と従属接続詞	
27	〃	Lektion 24	関係代名詞	
28	〃	Lektion 25	比較表現	
29	〃	Lektion 26	総合問題	
30	〃	まとめ	後期の解説と確認	
到達目標	平易なドイツ語の文章を読み、書くことが出来るようになる。ドイツ語技能検定4級程度の総合的な力を身につける。ドイツ語圏という異文化と接することを通じて視野を広げ、かつ自文化を客観的に見る視点を獲得する			
成績評価の方法と基準	試験方法：筆記試験 実施時期：試験期間内 以下の二つの評価方法から学生が各自選択する。 ① 総合型：前期小テスト 20%+ 後期小テスト 20%+ 前期期末試験 20%+ 後期期末試験 40% ② 試験型：前期期末試験 20%+ 後期期末試験 80% 授業態度、課題の取り組みに著しい問題のある場合は減点対象となる。 最終成績が40 点未満の学生には再試験を行わない。			
学生へのメッセージ (その他注意等)	ドイツ語は近代日本が西洋の知識を学ぶに当たって中心的な役割を果たした外国語の一つです。現在でも EU 圏内で最も母語話者が多い言語であり、第二言語としても英語に次いで広く使用されている実用的な言語です。 外国語の習得に特別な才能は必要ありません。英語と似ているドイツ語を学ぶことで英語の仕組みもクリアに見えてきます。皆ゼロからのスタートでも心配せずに新しい言語とその文化に触れる貴重な機会を楽しんで欲しいと思います。			
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価 (円)
教科書	『Abstraktion』(授業中に配布)			

授業期間	2023年度 通年	授業対象	M学部 金1		
科目名	言語と文化A (ドイツ語-M指定) (Language and Culture A(German))				
科目責任者	風岡 祐貴	単位数	2単位		
担当者	風岡 祐貴				
授業の目的	この授業の目的は、ドイツ語の基礎的な知識を身につけ、言葉への関心を高めることです。授業では文法事項の学習が中心になりますが、学んだ知識を生かして、最後には学生自身が教員の補助がなくてもドイツ語を読み、聞き取り、簡単な文章を話せる力を身につけることを目標にします。				
教育内容	ドイツ語の知識を習得するために、この授業ではドイツ語の初級文法を一年間かけて学びます。具体的には、教科書の単元を約2コマに分けて進んでいきます。				
教育方法	授業では文法事項を解説し、練習問題を解きます。板書や視聴覚資料などを活用しながら進めます。なおシラバスで予定している文法事項は授業の進捗状況によって変更することがあります。さらに学んだことの復習も兼ねて小テストを行います。【フィードバックの方法】授業前に課題の出来を確認し、授業の中で解答を検討します。				
準備学習 (予習・復習)	【授業時間外に必要な学習の時間：30時間】 予習 教科書で次に学ぶ単元を読み、理解できなかったところを明確にしてください。また事前に教員が指定した練習問題を解いておいてください。予習時間の目安は30分です。 復習 授業で解いた練習問題を声に出して何度も読み、付録の音声を読みドイツ語に触れるようにしてください。復習時間の目安は30分です。				
回	担当者	項目	授業内容		
1	風岡 【対面】	ガイダンス	アルファベットとドイツ語の挨拶を学ぶ。		
2	〃	第1課	動詞の現在人称変化について説明する。		
3	〃	第1課	定動詞の位置、seinの変化について解説する。		
4	〃	第2課	定冠詞の変化を説明する。		
5	〃	第2課	不定冠詞の変化、habenの変化を説明する。		
6	〃	第3課	不規則変化動詞を説明する。		
7	〃	第3課	人称代名詞を説明する。		
8	〃	第4課	定冠詞類を説明する。		
9	〃	第4課	不定冠詞類を説明する。		
10	〃	第5課	前置詞 (2,3,4格支配) を説明する。		
11	〃	第5課	前置詞 (3格と4格の二つを支配する前置詞) を説明する。		
12	〃	第6課	名詞の複数形を説明する。		
13	〃	第6課	形容詞について説明する。		
14	〃	まとめ	前期の学習内容の定着度を測る。		
15	〃	解説	半年間の学習内容をテストの解説を通して振り返る。		
16	〃	第7課	語法の助動詞について説明する。		
17	〃	第7課	分離動詞・非分離動詞について説明する。		
18	〃	第8課	zu不定詞について説明する。		
19	〃	第8課	従属接続詞について説明する。		
20	〃	第8課	再帰動詞、再帰代名詞について説明する。		
21	〃	第9課	動詞の3基本形について説明する。		
22	〃	第9課	過去形について説明する。		
23	〃	第10課	現在完了について説明する。		
24	〃	第10課	受動態について説明する。		
25	〃	第11課	関係代名詞について説明する。		
26	〃	第11課	比較について説明する。		
27	〃	第12課	接続法1式について説明する。		
28	〃	第12課	接続法2式について説明する。		
29	〃	まとめ	後期の学習内容の定着度を測る		
30	〃	解説	テストの解説を通して一年間の学習内容を振り返る。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・初級のドイツ語の力をつける。ドイツ語検定4級程度の語学力をつける。 ・辞書を引きながら、ドイツ語の文章が理解できるようになる。 ・外国語を学ぶ意義と楽しさを知る。 				
成績評価の方法と基準	試験方法 ：筆記試験 実施時期 ：試験期間外 前期の期末試験(40%)、後期の期末試験(40%)、小テスト(20%) 欠席ならびに授業態度に問題のある学生は減点します。また、欠席は1点減点とし、欠席・遅刻による小テストの再受験は行いません。15分以上の遅刻は欠席扱いとします。途中退出は減点の対象となりますので、体調の悪い人は予め申し出てください。学んだことをその場で身につけるためにも、携帯の機器による撮影などはせず、板書が書き取れないときはGoogleclassroomを利用してください。				
学生へのメッセージ (その他注意等)	ドイツ語を学ぶ楽しさは、英語ではないもう一つの外国語を学ぶことで、視野が広がるところにあると思います。ドイツ語を学ぶことで、逆に英語のことをよく理解することもできます。私自身、大学の第二外国語にドイツ語を取ったことがきっかけで、ドイツ文学について研究するようになりました。言葉を見て、今までわからなかった文章が理解できるようになるとやりがいがあります。また参加者の関心があれば、ドイツ文学の紹介をしたいと思います。外国語の文学は敷居が高いと思われがちですが、ドイツ語を学べば、読む楽しみも出てきます。				
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価(円)	
教科書	Panorama Deutsch Express ISBN: 978-4-560-06436-8	上野成利、本田雅也	白水社	¥2,000	
教科書	独和辞典(電子辞書か紙の辞書、自分に合ったものを選んでください)				

授業期間	2023年度 通年	授業対象	M学部 金1
科目名	言語と文化A (ドイツ語-M指定) (Language and Culture A(German))		
科目責任者	野村 廣之	単位数	2単位
担当者	野村 廣之		
授業の目的	<p><キーワード: 英語以外の外国語としてのドイツ語/言語感覚/日常会話/基本文法/ドイツ事情>英語以外にも様々な外国語があるのだという素朴な事実を再認識してもらうことが、この授業の第1の目的です。そして、そうした英語以外の外国語としてのドイツ語をこの授業によって「体験」し、各自の言語感覚を磨いてもらうことが、この授業の第2の目的です。さらに、動詞の現在人称変化から現在完了形への用法までの基本文法・ドイツを旅行してもまごつかないですむくらい日常会話能力・ドイツ(語圏諸国)に関する基本的知識(ドイツ事情)を身につけてもらいたい、と思います。これが第3の、この授業の最終的な目的です。</p>		
教育内容	<p><キーワード: 基本文法/会話表現/ドイツ事情>文法に関しては、動詞の現在人称変化/冠詞と名詞の格変化/前置詞の格支配/冠詞類の格変化/接続詞/再帰動詞/分離動詞/語法の助動詞/動詞の過去人称変化/現在完了形/受動文、等々を学びます。会話表現に関しては、挨拶の仕方/好きなもの言い方/自己紹介の仕方/1格名詞を使った表現/4格名詞を使った表現/数の数え方/前置詞/再帰動詞/分離動詞/助動詞・現在完了形・受動文を使った表現、等々を学びます。ドイツ事情に関しては、ドイツ語圏諸国の地理/歴史/文化/習俗、等々を学びます。</p>		
教育方法	<p><対面授業を行います> *この授業は毎回教室で行う対面授業です。しかし、履修者は、以下で説明する授業課題(予習課題)を提出するために、Moodleのこの授業のコースに必ず登録しなければなりません。 ①毎週金曜日の午後下次週の授業のための予習用PDFファイルを、Moodleのこの授業のコースにアップします。各自、予習用ファイル及び教科書を使用して予習をしてください。 ②予習教材には必ず予習課題が含まれています。予習課題に対する各自の回答を作成し、回答を毎週月曜日の23:00までにMoodleを使用して、Moodleに直接回答を書き込んで、提出してください。課題の回答に対しては、基本的に、評価(点数付け)はしません。きちんと提出したかどうか、を問題とします。課題にきちんと答えていない場合は未提出扱いとします。また、どのような理由があろうとも、提出期限後の後出しは決して認めません。予習課題の回答は、オンラインで提出するので、たとえ新型コロナウイルスに感染した場合でも、配慮はしません。 ③成績評価の根拠となるのは、(1)前期・後期通しての、予習課題・授業内課題の回答提出状況(30%) (2)前期期末試験・後期末試験の成績(70%)の2つの要素です。 ④授業内でも、予習課題とは別の授業内課題を出します。そのための答案用紙を配るので、各自、その場で回答を作成し、授業終了時にその場で提出してもらいます(授業内課題の提出・回収にはMoodleを使用しません)。課題の回答に対しては、基本的に、評価(点数付け)はしません。きちんと提出したかどうか、を問題とします。課題にきちんと答えていない場合は未提出扱いとします。また、どのような理由があろうとも、提出期限後の後出しは決して認めません。ただし、新型コロナウイルス等の感染症のために欠席した場合は、事務室からの連絡に基づいて、授業内課題提出扱いとします。 ⑤予習課題・授業内課題の正解(模範回答例)を、次の授業内で説明します。また、履修者の回答例は複数紹介し、どこが間違っているのか、何に注意しなければいけないのか、等々を説明します。 【フィードバックの方法】予習課題に対する回答には、Moodle上で、○か×かコメントを付けます。授業内課題の答案は、採点して、次の授業時に返却します。その上で、予習課題・授業内課題の正解(模範回答例)を、次の授業内で説明します。また、履修者の回答例(誤答例)を複数紹介し、どこが間違っているのか、何に注意しなければいけないのか、等々を説明します。</p>		
準備学習(予習・復習)	<p>【授業時間外に必要な学習の時間: 30時間】 予習: 予習用教材を読み、予習課題に対する回答を作成し、提出期限を守って、回答を提出する。その上で、教科書の該当頁に目を通し、辞書を用いて単語等の意味を確認し、練習問題を自分なりに解いておく。(毎回、1時間程度) 復習: 予習課題・授業内課題の回答に関して、どこが間違っていたのか、を確認する。また、授業の内容に関して、意見や疑問があれば、質問フォーラム内で質問する。さらに、教科書の練習問題や会話練習の例文を声に出して読み、発音を確認した上で、覚えるべき事項を覚える。(毎回、1時間程度)</p>		
回	担当者	項目	授業内容
1	野村 【対面】	ガイダンス、アルファバート(会話P4)、挨拶表現(会話P5)	授業内容の説明、ドイツ語のアルファバートの説明、簡単なあいさつの練習
2	”	発音・会話	発音1(会話P6-7) 会話: 挨拶をしてみよう(会話P9)
3	”	文法・ドイツ事情	発音2(会話P6-7) ドイツ事情: ドイツ語圏諸国とは(会話P8)
4	”	文法・ドイツ事情	文法: 動詞の現在人称変化(文法P2-3) ドイツ事情: ドイツ語とは
5	”	文法・会話	文法: 規則変化の例外と不規則変化動詞(seinとhaben)の現在人称変化(文法P4-6) 会話: 自己紹介をしてみよう(会話P15)
6	”	文法・ドイツ事情	文法: ドイツ語の語順(文法P7-8) ドイツ事情: 現在のドイツ
7	”	文法・ドイツ事情	文法: 名詞の性と格変化・冠詞の格変化(文法P9-11) ドイツ事情: ドイツの歴史
8	”	文法・会話	文法: 格の役割(文法P18-21) 文法: 数の数え方1(文法P65-66) 会話: 数字を使ってみよう!(会話P21)
9	”	文法・会話	文法: 動詞の現在人称変化(不規則変化)(文法P22-26) 文法: 数の数え方2(文法P65-66) 会話: 「いくつ?」と尋ねてみよう?(会話P35)
10	”	文法・ドイツ事情	文法: 名詞の複数形(文法P27-29) ドイツ事情: 現在のオーストリア
11	”	文法・ドイツ事情	文法: 複数名詞の格変化と男性弱変化名詞(文法P30-32) ドイツ事情: オーストリアの歴史
12	”	文法・ドイツ事情	文法: 冠詞類の格変化(文法P33-35) ドイツ事情: スイスの歴史と現在
13	”	文法・ドイツ事情	文法: 形容詞の用法と3つの格変化パターン(文法P36) ドイツ事情: リヒテンシュタイン
14	”	文法・ドイツ事情	文法: 形容詞の格変化(文法P37-40) ドイツ事情: ルクセンブルク
15	”	個別指導	個々の履修者の質問等に答える

16	”	文法・会話	文法：人称代名詞の格変化（文法 P41） 会話：私は友人に CD を贈ります（会話 P36-37）		
17	”	文法・会話	文法：前置詞（文法 P43-45） 会話：私は学食に行きます（会話 P42-43）		
18	”	文法・会話	文法：命令形（文法 P46-47） 文法：疑問文と否定文（文法 P63-64） 会話：私は iPod を買います（会話 P22-23）		
19	”	文法・会話	文法：再帰代名詞と再帰動詞（文法 P48-49） 会話：時刻を尋ねてみよう！（会話 P46）		
20	”	文法・会話	文法：分離動詞（文法 P50-51） 会話：私は 7時半に起床します（会話 P48-49）		
21	”	文法・会話	文法：語法の助動詞と未来形（文法 P52-56） 会話：私は旅行をするつもりです（会話 P56-57）		
22	”	文法・会話	文法：非人称動詞と zu 不定詞（文法 P57-58） 会話：週末の予定を尋ねてみよう！（会話 P52）		
23	”	文法・会話	文法：接続詞（文法 P59-60） 会話：趣味を尋ねてみよう！（会話 P31）		
24	”	文法・会話	文法：比較表現（文法 P61-62） 会話：フランクとヴェルナー、どちらがより真面目ですか？（会話 P76-77） 会話：何が一番好きか尋ねてみよう！（会話 P80）		
25	”	文法・会話	文法：3 基本形（文法 P73-74,77） 会話：注文してみよう！（会話 P25）		
26	”	文法・会話	文法：過去人称変化（文法 P75-76） 会話：休暇に何をしたか尋ねてみよう！（会話 P68-69）		
27	”	文法・会話	文法：現在完了形（文法 P78-79） 会話：君はもうレポートを書きましたか？（会話 P64-65）		
28	”	文法・会話	文法：受動文（文法 P82-83） 会話：その店は 7時に開店します（会話 P82-83）		
29	”	文法・会話	文法：指示代名詞・関係代名詞・関係副詞（文法 P82-83） 会話：話されている言語について尋ねてみよう！（会話 P87）		
30	”	個別指導	個々の履修者の質問等に答える		
到達目標			* 文法分野：辞書を使って、新聞・テレビのニュース記事の見出し等の比較的やさしいドイツ語文を理解することができる。また、たとえばドイツ人のビジネスパートナーに、ドイツ語で面会の日時場所等をメールで伝えることができる。 * 会話分野：(1)挨拶ができる、(2)好物を表現できる、(3)自己紹介ができる、(4)数を数えることができる、(5) 商店で買い物をする事ができる、等々。 * ドイツ事情分野：現在のドイツ（語圏諸国）がどのような国なのか、その概略を説明することができる。		
成績評価の方法と基準			試験方法 ：筆記試験 実施時期 ：試験期間外 成績評価の根拠：①前期・後期通しての、予習課題・授業内課題の回答提出状況（30%）②前期期末試験・後期期末試験の成績（70%） 出欠席について：試験を除く通年の実授業回数全 26 回のうち、(通年で)9 回以上欠席した場合は、不可とします。ただし、新型コロナウイルス等の感染症のために欠席した場合は、事務室からの連絡に基づいて、出席扱いとします。		
学生へのメッセージ(その他注意等)			この授業では、教科書を 2 冊(文法用と会話用)指定してあります。2 冊とも購入すること。また、教科書ではありませんが、独和辞典を必ず 1 冊用意すること（これから購入する人は、第 1 回目の授業時に独和辞典の説明をするので、それを聞いてから購入してください）。この授業を通して、外国語を学ぶことの楽しさをわかってもらいたいと思います。		
教科書・参考書		書名	著者名	出版社名	定価(円)
教科書		中級ドイツ文法	野村廣之	三恵社	¥2,100
教科書		話すぞドイツ語！ V2 新版	在間 進	朝日出版社	¥2,800
参考書		アポロン独和辞典		同学社	¥4,200
参考書		クラウン独和辞典		三省堂	

授業期間	2023年度 通年	授業対象	M学部 金1
科目名	言語と文化A (ドイツ語-M指定) (ドイツ語文法中心の授業です。) (Language and Culture A(German))		
科目責任者	橋本 由紀子	単位数	2単位
担当者	橋本 由紀子		
授業の目的	グローバル化が進む現代、国際的視野がますます求められています。そのためには、英語以外の外国語も学んでおく必要があります。この授業では、ドイツ語のしくみ(文法)を中心に扱いますが、ドイツ語の運用能力を習得してもらうだけでなく、ドイツ語を通じてヨーロッパ社会への関心を持ってもらい、受講者のみなさん自身の世界を広げてもらうことを目的とします。		
教育内容	ドイツ語の初級文法についての説明と問題練習を行いながら、ドイツ語の基礎を習得してもらいます。時間に余裕があれば、簡単な会話練習も入れる予定です。		
教育方法	<p>以下のように授業を進めます。(特に Lektion 1 以降)</p> <p>① 文法の説明 ② 独和辞典を使って、すぐに所定の簡単な問題 (プリントで配布) に取り組んでもらう。 ③ 答え合わせ ④ 次回までに練習問題を予習。(場合によっては Moodle に提出) 授業ではパワーポイントを用いますが、必要に応じてCDやDVD、板書も併用します。 毎回の小テスト(5分程度)のほか、前期・後期ともに中間試験と期末試験を行います。 【フィードバックについて】 1) 小テスト: 翌週に答案返却。 2) 中間試験: 翌週に答案返却。 3) 前期期末試験: 9月第1回目に授業内で答案返却。 4) 後期期末試験: オフィスアワー時に答案を開示。(オフィスアワー来訪者のみ) 【フィードバックの方法】 小テスト、前期の中間と期末末、後期の中間試験は、間違いが多かった箇所を中心に授業内で解説。 後期期末試験は直接返却できないため、学年末の合格発表後に Moodle で解答例のデータを公開。</p>		
準備学習 (予習・復習)	<p>【授業時間外に必要な学習の時間: 30時間】</p> <p>予習: 事前に教科書に目を通しておき、宿題として指定された問題を予習しておくこと。(45 - 60分) 復習: 1) 授業後に、各課のポイントをノートなどにまとめておくこと。(15分) 2) 授業後に、教科書会社が提供する音声サイトで、学習した箇所の音声を必ず聴くこと。(10分) 3) 毎回の小テスト対策。(30 - 40分)</p>		
回	担当者	項目	授業内容
1	橋本 【対面】	1) イントロダクション 2) アルファベット	1) 授業についての説明 (使用教科書や授業の進め方等)、履修上の注意点など。 2) ドイツ語圏の国々の紹介。 3) ドイツ語のアルファベットの読み方とドイツ語特有の文字の説明。 4) ドイツ語由来の医学用語の紹介 (1)。
2	〃	Lektion 0 つづりと発音	1) アルファベット (復習) 2) 単語の発音 3) 簡単な挨拶のこぼ、数字
3	〃	Lektion 1 動詞の現在人称変化 (1)・語順	1) 小テスト 2) 動詞の現在人称変化 (規則動詞) 3) 語順
4	〃	Lektion 1 動詞の現在人称変化 (1)・語順	1) 小テスト 2) 8ページ練習問題 A 3) 8~9 ページ会話練習 B・C
5	〃	Lektion 2 名詞の性と格、動詞 sein と haben	1) 小テスト 2) 名詞の性と冠詞 3) 冠詞と名詞の格変化 4) 重要な動詞 sein と haben
6	〃	Lektion 2 名詞の性と格、動詞 sein と haben	1) 小テスト 2) 12ページ練習問題 A・B 3) 13 ページ聴き取り練習 C
7	〃	イントロダクションから Lektion 2 までのまとめ。	1) 中間試験 (イントロダクションから Lektion 2)。 2) ドイツ語由来の医学用語の紹介 (2)。
8	〃	Lektion 3 動詞の現在人称変化 (2)、名詞の複数形	1) 不規則な変化をする動詞 2) 名詞の複数形 3) ja, nein, doch の使い分け
9	〃	Lektion 3 動詞の現在人称変化 (2)、名詞の複数形	1) 小テスト 2) 16 ページ練習問題 A・B 3) 16 ページ会話練習 C
10	〃	Lektion 4 人称代名詞 (3、4格)、冠詞類	1) 小テスト 2) 人称代名詞の格変化 3) 定冠詞類 4) 不定冠詞類
11	〃	Lektion 4 人称代名詞 (3、4格)、冠詞類	1) 小テスト 2) 20 ページ練習問題 A・B・C 3) 21 ページ聴き取り練習 D
12	〃	Lektion 5 前置詞、zu 不定詞 (句)	1) 小テスト 2) 3 格支配の前置詞 3) 4 格支配の前置詞 4) 3・4 格支配の前置詞 5) 前置詞と定冠詞の融合形 6) zu 不定詞 (句)
13	〃	Lektion 5 前置詞、zu 不定詞 (句)	1) 小テスト 2) 24~25 ページ練習問題 A・B・C
14	〃	前期のまとめ	Lektion 3 から Lektion 5 までのまとめ。
15	〃	解説と確認	1) テストの解答と解説 2) 個別指導

16	”	Lektion 6 分離動詞、非分離動詞、従属接続詞	1) 分離動詞 2) 非分離動詞 3) 従属接続詞		
17	”	Lektion 6 分離動詞、非分離動詞、従属接続詞	1) 小テスト 2) 28～29 ページ練習問題 A・B・C 3) 29 ページ聴き取り練習 D		
18	”	Lektion 7 助動詞、非人称の es と非人称動詞	1) 小テスト 2) 助動詞 3) 非人称の es と非人称動詞		
19	”	Lektion 7 助動詞、非人称の es と非人称動詞	1) 小テスト 2) 32 ページ練習問題 A・B 3) 33 ページ聴き取り練習 C		
20	”	Lektion 8 動詞の三基本形、現在完了形、過去形	1) 小テスト 2) 三基本形 (不定詞ー過去基本形ー過去分詞) 3) 現在完了形 4) 過去形		
21	”	Lektion 8 動詞の三基本形、現在完了形、過去形	1) 小テスト 2) 36 ページ練習問題 A・B 3) 37 ページ聴き取り練習 C		
22	”	Lektion 6 から Lektion 8 までのまとめ	1) 中間試験 (Lektion 6 から Lektion 8)。 2) ドイツ語由来の医学用語の紹介 (3)。		
23	”	Lektion 9 受動文、再帰代名詞、再帰動詞	1) 受動文 2) 状態受動 3) 再帰代名詞 4) 再帰動詞		
24	”	Lektion 9 受動文、再帰代名詞、再帰動詞	1) 小テスト 2) 40 ページ練習問題 A・B・C 3) 41 ページ聴き取り練習 D		
25	”	Lektion 10 関係代名詞、関係副詞、指示代名詞	1) 小テスト 2) 定関係代名詞 3) 関係副詞の wo 4) 不定関係代名詞 was と wer 5) 指示代名詞 der		
26	”	Lektion 10 関係代名詞、関係副詞、指示代名詞	1) 小テスト 2) 44 ページ練習問題 A・B 3) 45 ページ聴き取り練習 C		
27	”	Lektion 11 形容詞の格変化、比較・最上級	1) 小テスト 2) 形容詞の格変化 3) 形容詞、副詞の原級ー比較級ー最上級		
28	”	Lektion 11 形容詞の格変化、比較・最上級	1) 小テスト 2) 48 ページ練習問題 A・B 3) 49 ページ会話練習 C		
29	”	後期のまとめ	Lektion 9 から Lektion 11 までのまとめ。		
30	”	解答と解説	1) テストの解答と解説 2) 個別指導		
到達目標		<p>1) ドイツ語の基本的な文法 (動詞の現在形・冠詞と名詞の格変化から、少なくとも、過去形・現在完了まで) が理解できる。</p> <p>2) 辞書を片手に、ドイツ語で書かれた自然科学および医学関連の記事が自力で読めるようになる。</p> <p>3) ドイツ語の簡単な会話ができるようになる。</p> <p>4) ドイツ語を通して、ヨーロッパ社会への興味を広げ、理解を深めるようになる。</p> <p>5) ドイツ語由来の医学用語が理解できる。</p>			
成績評価の方法と基準		<p>試験方法：筆記試験 実施時期：試験期間外 最終成績評価は、以下のように行います。</p> <p>・試験 (前期及び後期の中間試験と期末試験) 80% + 小テスト (ほぼ毎回実施) 20% 欠席は 1 回につき最終成績から 2 点減点、遅刻は 1 回につき最終成績から 1 点減点とします。</p> <p>その他、授業における参加態度等も加点または減点の対象とする場合があります。 全授業回数 (30 回) のうち、10 回以上欠席した受講生は、成績評価の対象としません。</p>			
学生へのメッセージ (その他注意等)		<p>ドイツ語圏の過去の自然科学分野の成果なくして、みなさんが現在学んでいる学問はありませんし、特に明治期の医学教育現場に採用されたドイツ医学なくして、日本の現代医学は存在しえません。</p> <p>このことから、なるべく多くの医学生にドイツ語を学んでもらいたいと思います。</p> <p>比較的自由のある今のうちに、幅広く一般教養科目を学び、バランスのとれた視野をもつ医療人になっていただくことを願っています。</p> <p>【注意】 ① 授業は、原則として上記の計画に沿って進めますが、場合によっては計画を変更することがあります。 ② 独和辞典は毎回持参してください (授業内で練習問題に取り組んでもらうのに必要なので)。</p>			
教科書・参考書		書名	著者名	出版社名	定価 (円)
教科書	フィール・エアフォルク！ー初めてのドイツ語ー改訂版	赤澤元務/須藤勲	同学社	Y2,640	
参考書	アポロン独和辞典 (第 4 版) 注：独和辞典については、上記以外のものがガイダンス時に紹介します。	ISBN 978-4-8102-0007-2	同学社	Y4,620	
参考書	独検合格 4 週間 neu (ノイ) 《4 級》	在間進・亀ヶ谷 昌秀	第三書房	Y2,420	
参考書	最新版 ドイツの街角から	高橋 憲	郁文堂	Y1,430	

授業期間	2023年度 通年		授業対象	M学部 金1	
科目名	言語と文化A (フランス語—M指定) (Language and Culture A(French))				
科目責任者	志村 佳菜子			単位数	2単位
担当者	志村 佳菜子				
授業の目的	フランス語の基礎を学びます。1年間を通してフランス語の全体像を掴み、フランス語、フランス文化への関心を持つということ、また、簡単なフランス語を聞き、話し、読み、書くことができるようになることを目指します。フランス語を学ぶことで新しい世界と繋がりが、新しい視野を持つことができるようになります。				
教育内容	フランス語の基礎文法、発音の規則、基本的な表現を学習し、何度も声に出して身につけていきます。同時に文化や言語についても学習していきます。コミュニケーションや発表をする姿勢を身につけていきます。				
教育方法	講義形式で文法、発音の規則、基本表現を解説します。それを口頭で繰り返し練習、ペアやグループワークで練習、発表してもらいます。練習問題にも取り組み、インプット、アウトプットを繰り返します。 【フィードバックの方法】 授業内での発表や発言に対するコメント、課題提出に対する採点、コメント、小テストの採点、コメントなどによる。授業後の質問は随時受け付けます。				
準備学習(予習・復習)	【授業時間外に必要な学習の時間：30時間】 各授業ごとに予習50分、復習50分。課題とする練習問題に取り組んでください。音源教材を使って発音練習をしてください。				
回	担当者	項目	授業内容		
1	志村 【対面】	ガイダンス 0課	アルファベと綴りの読み方、挨拶の表現		
2	〃	1課-1	名詞の性と数、主語の代名詞、動詞 être		
3	〃	1課-2 2課-1	否定形、-er 動詞、冠詞		
4	〃	2課-2 3課-1	形容詞、avoir、否定の冠詞 de、		
5	〃	3課-2	疑問文、代名詞の強勢形、疑問形容詞		
6	〃	3課までの復習 4課-1	3日までの復習 所有形容詞		
7	〃	4課-2	不規則動詞 aller, venir, vouloir, 国名につく前置詞		
8	〃	5課-1	部分冠詞、近い未来、近い過去		
9	〃	5課-2attendre	指示形容詞、疑問代名詞、不規則動詞 pouvoir, prendre,		
10	〃	6課-1	疑問副詞、前置詞と定冠詞の縮約、命令形		
11	〃	6課-2	-ir 動詞、devoir,		
12	〃	動詞の復習	これまで出てきた動詞の復習		
13	〃	読みの規則の復習	読みの規則を復習し、正しく読む練習		
14	〃	前期のまとめ	まとめ		
15	〃	解説と確認	前期学習内容の復習		
16	〃	前期の復習、7課-1	6課までの復習 形容詞 (II)		
17	〃	7課-2 8課-1	savoir, voir, mettre, 目的補語人称代名詞		
18	〃	8課-2	目的補語人称代名詞、非人称構文、connaître, faire, écrire		
19	〃	9課	代名動詞		
20	〃	9課までの復習	7-9課の復習		
21	〃	10課-1	単純未来、形容詞・副詞の比較級		
22	〃	10課-2	形容詞・副詞の最上級、指示代名詞		
23	〃	11課-1	複合過去、		
24	〃	11課-2	複合過去、中性代名詞 en		
25	〃	12課-1	半過去、複合過去と半過去		
26	〃	12課-2	大過去、中性代名詞 y, le		
27	〃	13課-1	関係代名詞		
28	〃	13課-2	強調構文 13課までの復習		
29	〃	後期のまとめ	まとめ		
30	〃	解説と確認	後期学習内容の復習		
到達目標	フランス語という言語の全体像をつかみ、言語を学習することで新たな視点を持ち、視野を広げることを目標とします。同時にフランス語である程度のコミュニケーションを取れるようになります。				
成績評価の方法と基準	試験方法：筆記試験 実施時期：試験期間外 平常点・課題・小テストで50点。期末テストで50点。				
学生へのメッセージ(その他注意等)	楽しく積極的に勉強しましょう。				
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価(円)	
教科書	Vas-y!	田辺、西部	駿河台出版社	¥2,750	

18. 講義内容 (医学部専門科目)

科目責任者	齋藤 有紀子
担当者	<p>【講義担当】 齋藤 有紀子*、小笠原 英毅(兼)*、松藤 千弥(特別講義)*、 佐々木 治一郎*、藤木 和子(非常勤)*、豊田 郁子(特別講義)*</p> <p>【演習運営担当】 守屋 利佳*、新井 雄太*、千葉 宏毅*</p> <p>【八雲牧場実習担当】 上野 俊治(兼)、向井 孝夫(兼)、小笠原 英毅(兼)*、 柿野 亘(兼)*、小野 泰(兼)、森岡 愛(兼)、山田 拓司(兼)、 西澤 和也(兼)、岩武 智彦(兼)、工藤 翔太郎(兼)</p>
実務経験のある教員	病院での臨床経験を踏まえ、患者の尊厳・医療者の責務・プロフェッショナルリズムについて概説・指導する。法律実務の実績を踏まえ、人権保護・医療安全・法令遵守の重要性を概説・指導する。牧場ならびに、農水・環境行政機関での経験を踏まえ、農医連携に根ざした環境・自然保護・食料・動物倫理問題等の概説・指導を行い、医師に必要な広い視野とグローバルな生命感を涵養する。民間シンクタンクにおける生命倫理・医療政策に関する調査・研究経験を踏まえ、高い倫理観と、患者の人権を守る意義を概説・指導する。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナルリズムと倫理：◎ 4. 知的探究と自律的学習：◎ 7. 予防医学：◎ 2. コミュニケーション能力：◎ 5. チーム医療：○ 8. 地域医療：◎ 3. 医学的知識と技術： 6. 医療の質と安全： 9. 国際貢献：
授業の目的	<p>講義</p> <p>よき医師となるためには、知識・技能の習得にとどまらず、豊かな感性を磨き、生命や尊厳への深い造詣・思惟、病や障害とともに過ごす人々の尊厳・心情に対する理解を育む必要がある。医学は歴史の中でどのような意味を持ち、どのような役割を果たしてきたのか。現代の医学・医療者に期待されているものは何か。医学生が、将来直面するであろう問題群を提示し、さまざまな視点から考察することにより、生命・身体・医学・医療について思考を深め、自らの価値観に気づき、自明と思ってきたことを再考する力を育む。</p> <p>演習</p> <p>医学・医療の枠を超えて、生命・健康を支える様々な職種・立場をもち、生活する人々の真摯な姿に触れることで、医学を学ぶことへの意欲を深める。友人との共同生活・協働作業を通して、思いやりや助け合いの心を育むとともに、自分を大切にすることに気づく契機とする。</p>
教育内容	医学部の基本理念である「人間性豊かで優れた医師」を目指し、さまざまな知識・経験・立場を有する多様な講師の講義を通して、倫理観の涵養、他者への敬意、人間の尊厳への思惟、プロフェッショナルリズム、チームワークなどを育む。地域医療の現実や、医師の使命について考察する機会も提供し、社会貢献への意欲、先人に学ぶことへの関心を惹起する。時事問題を取り上げながら、問題抽出、論理的思考、考える力を身につける。ときのテーマを取り上げることも多いため、内容は適宜、最新のものに交替・変更を行う。北海道八雲牧場実習、熊本県小国町農村体験実習、相模原倫理演習では、全人的な体験学習を通して、講義で得た知見を、さらに実践的・実証的なものにすると同時に、人としての気づき、生命に対する理解と探究心、医科学の役割や可能性を探る機会とする。
教育方法	<p>【教育方法】 講義、資料読解、映像資料鑑賞、スモールグループディスカッション、調査学習(個人・グループ)、チームによる演習、プレゼンテーションなどを行う。</p> <p>【フィードバック】 学生の授業後レポートにおけるさまざまな意見について、次回以降の授業で紹介・コメントする。</p>

No.	月	日	曜日	時限	講義テーマ	講義内容	担当者	所属
1	5	8	月	3	ガイダンス 【IPE ホール】	医学原論講義と演習の解説	齋藤有紀子	医学原論研究部門
2	5	22	月	4	八雲牧場の現代的意義 【L1-31】	人と動物の健康を守る循環型牧場	小笠原英毅	獣医学部
3	5	29	月	3	医療と法と倫理【IPE ホール】	テーマ映像鑑賞とディスカッション	齋藤有紀子	医学原論研究部門
4				食事による疾病予防の発見 (特別講義) 【IPE ホール】	医学における栄養学の意義： 高木兼寛と北里柴三郎の邂逅	松藤千弥	東京慈恵会医科大学	
5	6	12	月	3	医療と法と倫理 【IPE ホール】	テーマ映像鑑賞とディスカッション	齋藤有紀子	医学原論研究部門
6				4				
7	7	17	月	3	原論演習ガイダンス (実習別に1コマ指定) 【IPE ホール】	夏の実習別ガイダンス	齋藤有紀子	医学原論研究部門
				4				
8 ～ 17	夏期休暇期間				医学原論演習 ・3演習から1つ選択 ・すべて10コマ相当 ・詳細は講義内で説明 ・感染状況等で夏に実施でき ない場合 2022/2/19 の週に振替 (発表会含め14コマ)	日程:8月21日(月)～9月3日(日) (実習ごとの日程は後日発表) ★北海道八雲牧場実習 2泊3日もしくは3泊4日 ★熊本県小国町農村体験実習 3泊4日 (感染状況が改善しない場合、内 容を小国町SDGs実習に変更) ★相模原倫理演習3日間	齋藤有紀子 原論演習担当者 八雲牧場教職員	医学原論研究部門 医学部 獣医学部附属 FSC 八雲牧場
18 ～ 23	9	12	火	3	がんゲノム医療(BCDクラス) (Aクラスは早期体験学習1) 【L2-409】	がん患者さんの意思決定の場面で 必要な支援と寄り添い	佐々木治一郎	新世紀医療開発センター 臨床腫瘍学
				4			齋藤有紀子	医学原論研究部門
	9	19	火	3	きょうだい児(ACDクラス) (Bクラスは早期体験学習1) 【IPE ホール】	家族に病気・障害がある人への配慮 ：誰もが平等に大切にされる社会	齋藤有紀子	医学原論研究部門
				4			藤木和子	弁護士 (非常勤講師)
9	26	火	4	優生学・優生思想(ABDクラス) (Cクラスは早期体験学習1) 【L2-409】	優生学の歴史と医療のあり方	齋藤有紀子	医学原論研究部門	
10	3	火	4	医療事故(ABCクラス) (Dクラスは早期体験学習1) (特別講義) 【IPE ホール】	患者・家族と医療をつなぐ ：うそをつかない医療	齋藤有紀子 豊田郁子	医学原論研究部門 NPO 法人 架け橋	
24	10	16	月	3	発表会準備(全員) 【IPE ホールほか】	3限開始時は全員 IPE ホールに集合 発表会準備・グループワーク	齋藤有紀子	医学原論研究部門
25				4				
26	10	23	月	3	医療と法と倫理(全員) 【IPE ホール】	テーマ映像鑑賞とディスカッション	齋藤有紀子	医学原論研究部門
27				4				
28	10	27	金	3	原論演習発表会①(全員) 【IPE ホール】	原論演習発表会1日目	齋藤有紀子	医学原論研究部門
29				4				

30	10 30 月	3	原論演習発表会② (全員) 【IPE ホール】	原論演習発表会 2 日目	齋藤有紀子	医学原論研究部門
31		4				

到達目標	<p>目標と「主な」関連項目をそれぞれ次の記号で示す。 A「知識・理解」 B「思考・判断」 C「技能・表現」 D「関心・意欲・態度」</p> <p>①いのちを慈しみ、誠実で思いやりのある態度で、人に接することができる。 B・D ②他者/他職種の価値観を尊重し、その言葉に耳を傾け、積極的に学びとることができる。 B・D ③医療/医学研究における倫理的/法的/社会/心理的問題の論点を整理し、自らの問題意識を伝えることができる。 A・B・C ④コミュニケーションの大切さを理解し、目標達成のために自己の役割を自覚し、助け合っ て行動することができる。 A・B・C・D ⑤患者/被験者の人権・尊厳を尊重するための制度や規範、考え方を述べるができる。 A ⑥医学生として自律的に振る舞い、知的探究心、継続的学習意欲、社会貢献の重要性を自覚・ 説明できる。 D ⑦医学・医療の歴史、先人の言葉・経験から、人間社会について学び、社会的課題に気づ くことができる。 A・B ⑧都市部・農山間部など、さまざまな地域の医療の特性を知り、その意義を説明すること ができる。 A</p>
評価方法	<p>【評価種別】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎回講義終了後および実習時の課題レポート (標準 1,000 字以上) ・ 上記以外の提出物 (実習スケッチブック、実習先への礼状、発表時プレゼン資料など) ・ 前期試験および後期試験 (いずれも論述式) ・ 発表会学生相互採点 ・ 準備学習、実習授業における態度・身だしなみ (実習時の規定ユニフォーム着用含) <p>【割合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ レポート等提出物 30% ・ 医学原論演習関係 30% ・ 定期試験 30% ・ 態度・身だしなみ等 10% <p>【評価基準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ レポート等については、問題の抽出、論点整理、自身の意見、自身の意見に予想される 反対意見、考察などが、論理的に行われていること。 意見の是非で加点減点することはない。 事実関係の誤りは学習不足として減点対象とする。 ・ 授業態度については、自律的学習態度、自発性、協力姿勢、身だしなみ (実習時の規定 ユニフォーム着用含む)、時間管理等を勘案する。 <p>【課題に対するフィードバックの方法・時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の前後に、学生レポートや表明された意見を匿名で集約し、コメントを行う。

<p>準備学習 (予習・復習)</p>	<p>【講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当日のテーマについて予め自分なりの問題意識や質問事項をもつこと。 ・授業中は積極的質問を心がけること。 ・レポート作成では、思考の過程を丁寧に振り返ること。 <p>【演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「全員共通の準備学習」と「演習毎に異なるプログラム」、いずれも積極的に取り組むこと。 ・土壌に触れる演習に参加する人は、破傷風ワクチンの予防接種など、事前対応を怠らないこと。 ・必要な事前学習・事前対応を行うこと（行えない場合、演習に参加できないことがある）。 ・演習により、時期、場所、集合時間、費用、注意事項が異なるので、授業時に配布される資料を熟読すること。 ・日頃から時間を守り、報告・連絡・相談を密にし、自律すること。 ・演習を丁寧に記録し、学習の成果を発表すること。 <p>【予習・復習時間の目安（大学設置基準に基づく）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1コマあたり、予習復習合わせて4時間（moodle資料・動画による事前学習および、授業後の振り返りレポート執筆で充当）
<p>その他 注意事項(1) 提出物に 関する 留意事項</p>	<p>【提出物に関する注意（本項にある“レポート”の語は、原論における全ての提出物と読替可能とする）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①医学原論・医学原論演習の提出物（ウェブ上のもの含）は、すべて成績評価に反映されます ②不正・不適切行為が疑われる事例は、科目責任者が面接を行います ③不正・不適切行為が判明した場合、厳正に対処します ④対処の結果、合格点に達しなくなる（科目不合格になる）ことがあります ⑤医学生としての自覚をもち、良識ある行動をしてください <p>【不正・不適切行為の例（盗用、捏造、改竄含む）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①他人のレポート（全部・一部）を自分のレポートとして提出する（レポート内容が複数人で同様・酷似のときは全員厳正に対処する） ②他の機会に書いた自分の文章（全部・一部）を医学原論のレポートとして提出する ③インターネット上の他人の文章を引用のルールに則らず自分の文章として提出する ④参考文献・資料の内容を引用のルールに則らず転載する ⑤レポート・発表用資料を著作権・肖像権・商標権・パブリシティ権等に配慮せず作成する ⑥Moodle等の他人のレポートデータに本人の許可無くパスワードを使ってアクセスする ⑦自分の提出用レポートを他人が写すことを許可する（他人の”参考”に供することは可） ⑧自分の提出用レポートを他人に作成してもらう ⑨他人の提出用レポートを本人に代わって作成する ⑩提出物について、提出していないのに提出を装う行為（教育目的達成のため実習中預かった携帯電話等の“提出を装う・隠し持つ”行為も含む） ⑪その他、上記に準ずる行為 <p>【次の行為は不正・不適切行為を助長するので行ってはならない】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ログインパスワードを他人に教える ②ログインパスワードを他人から推測しやすいものとする
<p>その他 注意事項(2) 夏の医学原論 演習に関する 詳細情報 について</p>	<p>八雲・小国・倫理の実習内容、実習期間、実習費用等の概要・詳細は、授業時の解説・配布資料・Moodleを通して説明する。</p>
<p>教科書、参考書</p>	<p>授業時に講師によって適宜紹介</p>

生化学序説

講義 M201-Ba04

Introduction to Biochemistry

科目責任者	萬代 研二
担当者	萬代 研二*・丸尾 知彦*
実務経験のある教員	臨床医としての病院勤務の経験や研究者としての研究機関勤務の経験を踏まえ、臨床医学の発展に果たした生化学研究について概説する。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナルリズムと倫理：○ 4. 知的探究と自律的学習：○ 7. 予防医学： 2. コミュニケーション能力： 5. チーム医療： 8. 地域医療： 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全： 9. 国際貢献：
授業の目的	生化学は細胞内の化学的構成要素とそれらによる化学反応の全てを解明することを目的とする。そのため、医学における生化学では、細胞や組織の構造、代謝、遺伝といった生理現象とその異常による病的状態を分子の言葉で記述する。本授業科目では、このような広範な内容の生化学を学ぶに際して基本となる重要な知識を学ぶ。
教育内容	細胞内の化学反応を理解するための有機化学と熱力学、ならびに、細胞や生体を構成する分子、酵素の触媒作用、遺伝の生化学などについて講義する。
教育方法	スライドとプリントを用いて講義を進める。課題の解答は授業の中で検討する。

(12コマ)

講義室：M-21・22

No.	月	日	曜日	時限	講義テーマ	講義内容	担当者	所属	
1	6	13	火	3	生化学で何を学ぶのか	生化学の概要と歴史	萬代 研二	生化学 (萬代単位)	
2	6	19	月	4	化学結合ならびに水と水溶液の性質	電気陰性度、化学結合、水の性質、水溶液の性質	丸尾 知彦	生化学 (萬代単位)	
3	6	20	火	3	生体で見られる化合物の分類と化学反応	脂肪族ならびに芳香族炭化水素、酸素、窒素および硫黄含有化合物	丸尾 知彦	生化学 (萬代単位)	
4	6	26	月	4	化学熱力学ならびに立体化学	代謝反応の理解に必要な熱力学、立体化学	丸尾 知彦	生化学 (萬代単位)	
5	6	27	火	3	酸化還元反応	酸化還元反応と電子運搬体の代謝での役割	丸尾 知彦	生化学 (萬代単位)	
6	7	3	月	4	生化学を理解するために必要な高校生物の知識	高校生物の知識の確認	萬代 研二	生化学 (萬代単位)	
7	7	4	火	3	細胞	細胞と細胞小器官	萬代 研二	生化学 (萬代単位)	
8	7	10	月	4	生体を構成する分子	タンパク質、核酸などの生体を構成する分子	萬代 研二	生化学 (萬代単位)	
9	7	11	火	3	アミノ酸とタンパク質	アミノ酸ならびにタンパク質の構造と機能	萬代 研二	生化学 (萬代単位)	
10	7	13	木	2	酵素	酵素反応とその調節機構	萬代 研二	生化学 (萬代単位)	
11	7	18	火	3	有性生殖と遺伝学	減数分裂と遺伝学の基礎	萬代 研二	生化学 (萬代単位)	
12	7	20	木	2	オミックスサイエンス	オミックスと生命情報科学	萬代 研二	生化学 (萬代単位)	
準備学習 (予習・復習)		高等学校の「生物学」「有機化学」を理解しておくことが望ましい。 復習：プリントを見返し、教科書や参考図書を参考にして反復学習する。 授業時間外に必要な学習の時間：毎回、復習に1時間以上							

参考図書	教科書； 講義で配布する資料 『メディカル化学（改訂版）－医歯薬系のための基礎化学－』（齋藤、太田、山倉、八代、馬場 共著）裳華房 『Essential 細胞生物学』（原書第5版）（中村、松原 監訳）南江堂 参考書； 『エッセンシャル生化学』（第3版）（須藤、山本、堅田、渡辺 訳）東京化学同人 『イラストレイテッドハーパー・生化学』（原書30版）（清水 監訳）丸善
到達目標	① 生体物質の代謝の動態やエネルギー代謝の理解に必要な化学的原理を説明できる。 ② 細胞の構造と細胞小器官の機能の概要を説明できる。 ③ 生体を構成する分子の種類とそれらの機能を説明できる。 ④ タンパク質の構造と機能の概要を説明できる。 ⑤ 酵素の機能と調節の概要を説明できる。 ⑥ 遺伝子からタンパク質への流れに基づく生命現象の概要を説明できる。 ⑦ ゲノミクス、プロテオミクス、メタボロミクスの概要を説明できる。
評価基準	定期試験（100%）
A V 資料	なし
その他の注意事項	他科目との関連:本科目の学習内容は、前期に学習する「細胞生物学」と後期に学習する「代謝学」、「タンパク質化学」の学習内容と密接に関連している。また、2年次に学習する「医化学・栄養学」の学習内容とも密接な関連がある。これらの科目は別の科目と考えずに、関連性に留意し、統合的に理解するように心がける。 推奨する勉強方法:毎時間プリントを配布するが、きちんと綴じて保存することを勧める。プリントを見て授業内容を確認し、教科書や参考図書を参考にして自学することが求められる。重要事項を自分で抽出し、自分の言葉でわかりやすく説明できるようになるまで反復学習することが望まれる。この作業はできるだけ授業を受けた日に行うとよい。試験直前に初めてこの作業を行うのは極めて非効率的である。

タンパク質化学

講義 M201-Ba18

Protein Biochemistry

科目責任者	堺 隆一
担当者	堺 隆一*・板倉 誠*・河野 俊之*・清成 信一*・堤 良平*
実務経験のある教員	*企業・研究所での経験を踏まえ、創薬開発におけるタンパク質構造解析の重要性を概説する。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナルリズムと倫理： 4. 知的探究と自律的学習：○ 7. 予防医学： 2. コミュニケーション能力： 5. チーム医療： 8. 地域医療： 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全： 9. 国際貢献：
授業の目的	タンパク質は細胞の構造維持や細胞機能の調節に重要な役割を果たしており、細胞代謝やそれに伴う分子の変化はほとんどみなタンパク質（酵素）の触媒作用による。生命現象におけるタンパク質の多様な役割を学ぶ1年生の「代謝学」、2年生の「医学・栄養学」に先立って、「タンパク質化学」ではタンパク質の構造と機能の一般原則を理解すると共に、酵素の性質や機能、タンパク質の局在や相互作用について学ぶ。さらにコンピューター演習ではデータベースおよび解析ソフトウェアを利用したタンパク質の立体構造の解析を実体験する。これらのことを通じて、「代謝学」「医学・栄養学」を学ぶ基礎を作るとともに、臨床医学の現場で遭遇することがらの分子的背景を理解する力を養う。
教育内容	(1) 生体分子の種類とその基本構造 (2) 親水性・疎水性、浸透圧、酸塩基平衡 (3) 遺伝情報からタンパク質の合成、翻訳後修飾 (4) タンパク質の構造、安定性 (5) 酵素の種類と活性制御 (6) タンパク質の局在と相互作用 (7) 制御タンパク質の生体機能 (8) タンパク質の立体構造解析演習
教育方法	基本的にはプリントを配布し、これに従って講義を進める。クリッカー演習や最終日の演習で習得した知識の確認を行ない、終了後に解答例を配布する。

(15コマ)

講義室：M-21・22他

No.	月	日	曜日	時限	講義テーマ	講義内容	担当者	所属
1	9	5	火	2	タンパク質化学を学ぶために	生体とその構成分子	堺 隆一	生化学
2	9	6	水	1	遺伝情報からアミノ酸へ	タンパク質の合成過程とアミノ酸	堤 良平	生化学
3	9	6	水	2	タンパク質の立体構造 (ABクラス)	タンパク質の三次構造と折り畳み(3D) 【M-37】	河野 俊之	医学教育研究開発センター医療情報教育研究部門
					タンパク質の翻訳後修飾 (CDクラス)	糖などによるタンパク質の翻訳後修飾 【M-21】	堤 良平	生化学
4	9	6	水	3	タンパク質の立体構造 (CDクラス)	タンパク質の三次構造と折り畳み(3D) 【M-37】	河野 俊之	医学教育研究開発センター医療情報教育研究部門
					タンパク質の翻訳後修飾 (ABクラス)	糖などによるタンパク質の翻訳後修飾 【M-21】	堤 良平	生化学
5	9	12	火	2	タンパク質の安定性	タンパク質の変性と分解	河野 俊之	医学教育研究開発センター医療情報教育研究部門
6	9	13	水	1	タンパク質の構造から機能へ	タンパク質のモチーフとドメイン	河野 俊之	医学教育研究開発センター医療情報教育研究部門
7	9	13	水	2	酵素の構造	酵素の構造と種類	板倉 誠	生化学
8	9	13	水	3	酵素の調節	酵素の活性部位と調節因子	板倉 誠	生化学
9	9	19	火	2	酵素と疾患	酵素の異常、逸脱酵素	板倉 誠	生化学

10	9	20	水	1	タンパク質の局在と輸送	構造タンパク質、輸送タンパク質	堺 隆一	生化学
11	9	26	火	2	タンパク質の相互作用	タンパク質複合体とシグナル伝達	堺 隆一	生化学
12	9	27	水	1	さまざまな制御タンパク質	生体機能の調節に関わるタンパク質	堺 隆一	生化学
13	9	27	水	2	コンピューター演習 (AB クラス)	RasMol プログラムを用いたタンパク質の立体構造 解析実習【医療衛生A1号館6階(情報演習室2)】	河野 俊之 教員 誠 信一 清成 良平	医学教育研究開発セン ター医療情報教育研究 部門 生化学
					クリッカーを用いたタンパク質演習 (CD クラス)	タンパク質の機能と、その疾患との 関りを題材にした実践演習【M-21】	堺 隆一	生化学
14	9	27	水	3	コンピューター演習 (CD クラス)	RasMol プログラムを用いたタンパク質の立体構造 解析実習【医療衛生A1号館6階(情報演習室2)】	河野 俊之 教員 誠 信一 清成 良平	医学教育研究開発セン ター医療情報教育研究 部門 生化学
					クリッカーを用いたタンパク質演習 (AB クラス)	タンパク質の機能と、その疾患との 関りを題材にした実践演習【M-21】	堺 隆一	生化学
15	10	4	水	3	タンパク質化学演習	タンパク質化学の演習問題と解説	堺 隆一 教員 誠 信一 清成 良平	生化学 教育研究開発セン ター医療情報教育研究 部門
準備学習 (予習・復習)		予習：それまでの講義で配布されたプリントを、あらかじめ読んでおくこと。 復習：プリントを見直し、分からない点を明らかにし質問する。理解が不十分な点は参考 図書に挙げるテキストを使って理解を深める。 予習・復習あわせて1コマ当たり2時間の準備学習を要する。						
参考図書		(1) 重要参考図書 『エッセンシャル生化学』Pratt, Cornely 著 須藤、山本、堅田、渡辺訳 東京化学同人 (2) 参考図書 『イラストレイテッドハーパー・生化学』(原著 27版) Murray, Granner, Rodwell 著 上代 監訳 丸善 『マッキー生化学第4版』McKee, J. R. McKee 著 市川監修、福岡 監訳 化学同人 『イラストレイテッド生化学』(原著 4版) Champe, Harvey, Ferrier 著 石崎、丸山 監訳 丸善						
到達目標		タンパク質の構造と機能の基本原則が説明できる。 タンパク質の多彩な生理的役割のもととなる分子構造が説明できる。 酵素反応の仕組みと解析法を説明することができる。 生命現象における酵素反応の重要性を説明することができる。 タンパク質の局在や相互作用について説明できる。 制御タンパク質の生体機能について説明できる。 プログラムとデータベースを用いたタンパク質の構造解析法の基本を習得し、自ら問題解 決に活用できる。						
評価基準		講義や演習への取り組み方 (20%) と試験 (80%) の総合評価とする。						
その他 注意事項		本科目は講義と演習による15コマが系統的に配置されており、欠席すると以後の講義 の理解が困難となる。全時間出席することが必須であるが、もしもやむを得ない事情で欠 席する場合には、配布されたプリントなどを見て良く自習しておくこと。 毎時間配布する「プリント」には「確認問題」などの要点のまとめが含まれ、試験に向け て習得すべきポイントでもあるので、きちんと綴じて保存することを奨める。解答は特に配 布しないが、講義ノートや配布されたプリントを見れば答えられるような問題であるので、 復習の際に活用してほしい。 講義内容を理解する上で、実際に自分自身で問題を解いてみることは非常に有益である。 最終日のタンパク質化学演習はこの様な考えに基づいて設けられたもので試験ではない。 演習問題を解くにあたっては、教科書、参考書、プリントなどを持参し、それらを参考に して必ず自分自身の力で解答すること。 「確認問題」や「演習問題」は必ずしもそのままの形で定期試験に出題されるわけではない。 分からない場合には、生化学の教員 (M1号館4階) に質問し疑問点を残さないようにすること。 「コンピューター演習」では各自がデータベースを利用したタンパク質の構造解析法を 学ぶ。欠席すると追実習はできないので注意すること。「クリッカーを用いたタンパク質 演習」は、多肢選択問題に馴染むことと講義内容の復習とを兼ねた演習である。						

細胞生物学

講義 M201-Ba04

Cell Biology (lab.)

科目責任者	佐藤 俊哉
担当者	佐藤 俊哉*・板倉 誠*・高橋 倫子*・萬代 研二*・亀山 孝三* 梅澤 明弘(非)*・末永 忠広*・堺 隆一* (講義担当順)
実務経験のある教員	臨床経験を踏まえ、細胞生物学を学ぶこと(端的には新しく開拓された細胞生物学的知見・技術)がどのような形で医療の役に立つかを解説する。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナルリズムと倫理： 4. 知的探究と自律的学習：○ 7. 予防医学：○ 2. コミュニケーション能力： 5. チーム医療： 8. 地域医療： 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全： 9. 国際貢献：
授業の目的	細胞生物学では、後期から始まる人体の生理機能を扱う専門科目の基盤となるように、近年の分子生物学・構造生物学を取り入れ、また疾患のメカニズムと関連付けながら細胞の構造・機能についての知識を習得する。
教育内容	細胞とは何か、「生きている」とはどういうことか、という基本的な問いから始め、医学部第1学年で細胞生物学を学ぶ意義について共に考える。生物の基本単位である細胞について、各講義で細胞と細胞内小器官の基本構造・機能、化学的組成・生体高分子、膜の構造・流動モザイクモデル、についてそれぞれ詳しく学んでゆく。細胞の構造や構成分子を理解した後は、細胞膜を介する物質の輸送過程、それによって生じる細胞内液と外液間での分子やイオン組成の違いによって生じる浸透圧や膜電位の形成機構を講義する。特に膜電位についてはNernstの式から静止膜電位が計算出来ることを学ぶ。細胞は細胞骨格によってその形状を保持し、変化させていること、また細胞骨格系タンパク質により細胞運動・細胞内小胞輸送などのダイナミックな細胞機能を実現していることを学ぶ。さらには、様々な細胞と細胞社会を形成し、組織・臓器・個体と高次の集合体を形作っていることを学ぶ(ここまでが中間試験の範囲である)。後半からは、遺伝子の構造と機能、DNA複製、ゲノム、エクソン・イントロン、セントラルドグマ、RNA、転写・翻訳、スプライシング、転写調節など分子遺伝学の基礎を学ぶ。さらにタンパク合成とその細胞内輸送によるソーティング、細胞膜を介する分泌と吸収、細胞間、細胞内情報伝達の一般原理、シグナル分子を介した細胞のコミュニケーションについて理解する。細胞の分化過程、リプログラミング、山中4因子によるiPS細胞の作製、iPS細胞・胚性幹細胞による再生医療、再生医療の諸問題など、近年ノーベル賞の対象となった細胞生物学のトピックスを成育医療研究センター研究所再生医療研究センター長梅澤明弘博士にご講義頂く。最後に個体細胞の増殖の細胞周期・細胞死による個体サイズ・形態形成制御、さらには増殖制御機構からの逸脱としてのがんについて学び、以降の科目の基礎知識とする(中間試験以降が定期試験の範囲である)。
教育方法	教科書に沿って、スライドを用いて講義を行う。スライド内容はプリントとして主要部分を配布する。また授業中に練習問題を提示し、授業の中で解答を検討する。

(20コマ)

講義室：M-21・22

No.	月	日	曜日	時限	講義テーマ	講義内容	担当者	所属
1	4	10	月	3	イントロダクション：細胞とは	生命単位としての細胞、生命現象の階層性、「生きている」とは、細胞の観察法	佐藤 俊哉	実験動物学
2	4	11	火	1	細胞内小器官(1)	細胞内にある様々な装置について、その形態や機能について学ぶ：核、ミトコンドリア	佐藤 俊哉	実験動物学
3	4	17	月	3	細胞内小器官(2)	細胞内にある様々な装置について、その形態や機能について学ぶ：小胞体、ゴルジ体、リソソーム、ペルオキシソーム	佐藤 俊哉	実験動物学
4	4	18	火	1	細胞の化学組成	細胞を構成する分子の化学：主要構成元素、生体分子の特徴、生体高分子	板倉 誠	生化学(堺単位)
5	4	24	月	3	生体膜の構造と機能	生体膜の構造、流動モザイクモデル、膜を横切る輸送、細胞内外のイオン組成	高橋 倫子	生理学(高橋単位)
6	4	25	火	1	浸透と膜電位	浸透現象、浸透圧と細胞容量、イオンチャネル、膜電位の形成機構、Nernstの式	高橋 倫子	生理学(高橋単位)

7	5	9	火	1	細胞骨格・運動(1)	細胞骨格をつくる中間径フィラメントと微小管の特性、モータータンパク質、鞭毛・繊毛運動の仕組み・異常	佐藤 俊哉	実験動物学
8	5	15	月	3	細胞骨格・運動(2)	細胞骨格をつくるアクチンフィラメントの特性、細胞の移動に関わる分子機構、筋収縮のメカニズム	佐藤 俊哉	実験動物学
9	5	16	火	1	細胞の社会	細胞同士の接触・接着に関わる分子と機能、細胞を単位として見た個体	萬代 研二	生化学 (萬代単位)
10	5	23	火	1	細胞内・外輸送 前期のまとめ	細胞内区画とタンパク質の輸送、 前期に学んだ項目の復習	佐藤 俊哉	実験動物学
11	5	30	火	1	中間試験	講義前半部分について	佐藤 俊哉	実験動物学
12	6	6	火	1	核と遺伝情報(1)	遺伝子の構造と機能、DNA複製、セントラルドグマ、エキソン・イントロン、ゲノム、分子遺伝学	亀山 孝三	分子遺伝学
13	6	13	火	1	核と遺伝情報(2)	RNA分子の種類と機能、転写のメカニズム、 転写調節・転写因子、選択的スプライシング	亀山 孝三	分子遺伝学
14	6	19	月	3	タンパク合成と細胞内輸送	翻訳機構、タンパク質の生合成、細胞内輸送 に関わる分子と機能、細胞内輸送と細胞機能	板倉 誠	生化学(堺単位)
15	6	20	火	1	細胞の分泌と吸収	分泌に関わる分子複合体・調節機構、膜融合、 被覆小胞、細胞内取り込みの諸機構	板倉 誠	生化学(堺単位)
16	6	26	月	3	細胞における情報伝達(1)	細胞間、細胞内情報伝達の原理、シグナル分子、 受容体、セカンドメッセンジャー、アダプター	板倉 誠	生化学(堺単位)
17	6	27	火	1	細胞における情報伝達(2)	受容体型・非受容体型キナーゼ、G蛋白、 G蛋白共役受容体、転写因子と遺伝子発現	板倉 誠	生化学(堺単位)
18	7	3	月	3	細胞分化と再生医療の基礎	受精、発生と分化、細胞分化と遺伝子発現、 生類医療のあゆみ:胚性幹細胞、iPS細胞、組織幹細胞、 再生医療と対象疾患、再生医療に関わる諸問題	梅澤 明弘	非常勤講師
19	7	4	火	1	細胞増殖・分裂	細胞周期、サイクリン、チェックポイント、 細胞死、アポトーシスとネクローシス	末永 忠広	免疫学
20	7	10	月	3	がん	がんとは、がんの浸潤と転移、がんの 悪性度、がん治療の細胞生物学的基盤	堺 隆一	生化学(堺単位)

準備学習 (予習・復習)	<p>予習：この講義は高校レベルの生物学の基礎知識を持っていることを前提として進める。講義の前に該当箇所をざっと読み、専門用語を見ておくと理解の助けとなる。</p> <p>復習：スライドのハンドアウトと授業中に書いたメモを自分の学習ノートとしてまとめる。さらに理解不足と考えられるところを指定教科書あるいは参考書の該当部分を読んでその日の講義の内容を理解すれば完璧である。</p> <p>予・復習を合せて2時間が必要となる。</p> <p>並行して行われる生物学・生物学実験が最も良い予習あるいは復習となると考えられる。</p>
参考図書	<p>(1) 教科書 『Essential 細胞生物学』原書第5版 B. Alberts 他著 (中村桂子・松原謙一・榊 佳之・水島 昇監訳) (2021/7/13 刊 南江堂)</p> <p>(2) 学生参考図書 理系総合のための生命科学』第5版 東京大学生命科学教科書編集委員会編 (2020/2/20 刊 羊土社) 『細胞の分子生物学』原書第6版 B. Alberts 他著 (中村桂子、松原謙一監訳) (2017/9/15 刊 ニュートンプレス) 『カラー図解 アメリカ版 新・大学生物学の教科書 第1-2-3巻 細胞生物学・分子遺伝学・生化学/分子生物学』 (2022/2・3・4月刊 ブルーバックス) 新書 『基礎から学ぶ生物学・細胞生物学』第4版 和田 勝 (2020/10/15 刊 羊土社)</p> <p>(3) その他の参考図書・入門書・読み物 『新・細胞を読む』山科正平著 (2006/9/20 刊 ブルーバックス；講談社) 『カラー版 細胞紳士録』藤田恒夫・牛木辰男 (2004/2/22 刊 岩波書店) 『PAPER BIOLOGY 精密立体 ペーパーバイオロジー』土屋英夫著 (2012/9/8 刊 飛鳥新社) 『生命とは何か ホワット イズ ライフ?』ポール・ナース著 竹内 薫訳 (2021/3/11 ダイアモンド社)</p>

	<p>教科書である「Essential 細胞生物学」は「細胞の分子生物学」と同じ著者により書かれたより初学者向けの（ただし1年生の諸君にとっては充分過ぎる）内容である。第5版ではW. W. Norton社のweb site (student access) に画像・動画資料があると南江堂のサポートに書かれている。これとは別にweb上には多くの良く出来た画像・動画資料がアップされており、適切な利用で理解が助けられるものが少なくない。本書は2年生以降も辞書的に活用できる。「翻訳にあたって」もぜひ読みたい。(2)の『細胞の分子生物学』はこの分野の世界標準（厚い）。『理系総合のための生命科学』は章ごとにコンパクトにまとめられ、2020年改訂され新しい。『基礎から学ぶ生物学・細胞生物学』『カラー図解～細胞生物学』とともにいずれも教科書としても使える著書である。(3)の『新・細胞を読む』山科正平著（2006/9/20刊 ブルーバックス；講談社）、『カラー版 細胞紳士録』藤田恒夫・牛木辰男（2004/2/22刊 岩波書店）は刊行からやや経っているが、現在も読み物としても非常に面白い。山科正平氏は本学医学部名誉教授。『PAPER BIOLOGY』は自分で作るペーパーラフトで（細胞）生物学を体験的に学ぶユニークな本。細胞等も手を動かして作ってみると興味を持つかもしれない。『生命とは何か』は同名のエルヴィン・シュレーディンガー（1933年ノーベル物理学賞受賞者）による著書（岩波文庫）ではなく、2001年ノーベル生理学・医学賞受賞のポール・ナースによる。生物学の5つの重要な視点から生命とは何かという問題について、やさしくも深く考えさせてくれる名著。自らの出自など、途中のエピソードも面白く飽きさせない。</p>
<p>到達目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「生きているということ」、細胞の研究手法—特に顕微鏡の発達と応用、またモデル生物の説明ができる 2. 細胞の基本的構造・細胞内小器官について図示しながら説明できる 3. 細胞を構成する元素・有機化合物とその代謝について説明できる 4. 細胞膜が隔てる内と外のイオン環境とそれを生成・維持する細胞膜分子の構造・機能について説明できる 5. 細胞骨格・運動、多細胞による組織構築の仕組みを説明できる 6. 細胞内・外の小胞を介した物質輸送と細胞機能の関連、オートファジーについて説明できる 7. 細胞増殖に伴うゲノムの複製・セントラルドグマについて説明できる 8. 細胞の各種受容体とその下流で機能する様々なシグナル伝達系についてその概略を説明できる 9. 細胞増殖・細胞死の制御機構とそれらからの逸脱としての癌について説明できる 10. 再生医学の基礎としての細胞分化・分化制御技術の人為的制御について説明できる 11. がんの「がん」としての性質を遺伝子や細胞生物学から説明できる
<p>評価基準</p>	<p>中間試験（50%）、定期試験（45%）、授業態度（5%）により評価する。なお中間試験は学習環境・習慣づくりの評価にもなるため、中間試験で一定の基準を下回った場合は、定期試験の受験資格として以下の条件をクリアすることが必要となる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 指定した期間内に、一般教育部の生物学要習の教材を視聴する（その他注意事項を参照）。 2) その後に実施する確認テストに合格する。 <p>再試験の出題範囲は、中間と定期の範囲全体となる。</p>
<p>A V 資料</p>	<p>『Essential細胞生物学』第5版では出版社がGarland PressからW. W. Norton社となり、南江堂のサポートからhttps://digital.wwnorton.com/ebc5を經由（登録）し、Student accessで動画視聴が出来るようである。また、web上に多くの優れた画像・教材が存在しており、これらは理解を非常に助けてくれる。</p>
<p>その他注意事項</p>	<p>中間試験の成績に関わらず、生物学要習の教材を視聴することは可能である。ただし、視聴する場合には著作権の観点から、テキスト『三訂版フォトサイエンス生物図録』の購入が必要となる。</p>

科目名	チーム医療論 Interprofessional Health Care 【2023年度】			講義 M301-CC05		
授業対象	薬学部1年生、医学部1年生、看護学部1年生、医療衛生学部1年生（他学部聴講も可）		履修区分	薬学部（薬学科）、医学部、医療衛生学部：3群必修科目 薬学部（生命創薬科学科）、看護学部：3群選択科目		
授業期間	2023年度 後期 月曜日5時限（16時20分～17時50分）		授業形態	講義	単位数	1単位
科目責任者	学長	担当者	下記のとおり	開講場所	オンデマンド（配信講義）	
授業の目的	近年の生命科学、医学の進展に伴って医療は急速に高度化・細分化している。また、疾病構造や人口構造も大きく変わってきており、医療は複数の医療専門職の知を結集して行わなければならないその実施は困難である。さらに、医療に対する社会のニーズも大きく変化してきており、単に病気を治すばかりでなく、どのように診断・治療が行われるかというプロセス、倫理的、心理的、社会的な側面も含めた対応が必要になる等、医療の質が大きく問われている。このように、患者を中心とした最適な医療を実現するためには、多種類の医療専門職の協働（チーム医療）が不可欠であり、そのための優れた人材の育成が急務である。 北里大学では、医療系の4学部と2専門学校を擁し、15に及ぶ医療専門職を育成する教育を展開している。また、大学附属の3つの病院と連携した臨床教育も大きな特徴となっている。このような環境のもとに、本講義では、チーム医療の構成員として自身の専門性を活かす積極的に医療に参画し、より安全で質の高い医療を実践できるように、医療の流れ、医療チーム構成員とその職能・役割、医療倫理をはじめとしてチーム医療に関する基本的知識を修得する。					
教育内容	日本の医療システム概要（保健福祉システムとの関連）、専門職種理解（医療関連職種の職能、役割等）、疾患と医療チーム（医療現場で形成される医療チームとその構成員の連携プレーの具体例）、クリティカルパス、医療倫理、コミュニケーション論、先進医療におけるチーム医療の例等、チーム医療に関する共通認識を深めるための内容を講義する。					
教育方法	各学部および医療現場からの教員による主にパワーポイント、プリント等を用いた講義（オムニバス方式、一部演習も含む）映像をオンデマンド形式で配信する。前回の講義内容の復習、とくにキーワードについて整理しておくこと。 教育効果を高めるため、各講師より講義課題が提示され、レポート提出を課す。 【フィードバックの方法】科目責任者より、総評がMoodle（学習支援システム）などにより、フィードバックされる。 授業外学習：1.5時間					
準備学習（予習・復習）	1. 予習（30分程度） 自分の職種の医療現場における役割、専門性を調べて臨む。 他の医療保健福祉専門職の役割、専門性を調べて臨む。 2. 復習（30分程度） 講義内容・配布資料をもとに、講義終了後、講義で学んだこと、議論したことを見直し、自分の考えを整理し、理解を深める。 また、ニュース、新聞等から現在の医療現場におけるチーム医療の課題について考え、望ましい将来のチーム医療について考察し、次の講義に臨む。					
回	担当者	項目	授業内容（開講日）			
1	島袋 香子※ （学長） 【オンライン】	イントロダクション	科目概要の説明、チーム医療の必要性とその意義、北里大学の医療系学部・専門学校とチーム医療教育を紹介する。 (9/4)			
2	松永 篤彦※ （医療衛生学部教授） 【オンライン】	専門職種理解-1	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士の教育体系、役割、機能、権限、医療チーム内位置付けを説明する。 (9/11)			
3	別府 千恵※ （大学病院 看護部長） 【オンライン】	専門職種理解-2	病院施設における看護職の役割および他職種がどのようなチームを構成し、医療の質や安全を保証しているかを解説する。 (9/25)			
4	田ヶ谷浩邦※ （医療衛生学部教授） 【オンライン】	保健・医療・福祉システム概要	我が国の保健・医療・福祉システムについて、システム・成員の連携、外国との比較等を説明する。(10/2)			
5	五味 勉※ （医療衛生学部教授） 【オンライン】	専門職種理解-3	保健衛生学科の概要と教育内容、取得可能資格、医療チーム内での位置付けおよび臨床検査技師、臨床工学士、診療放射線技師の教育体系、役割、機能、権限、医療チーム内での位置付けを説明する。(10/9)			
6	渡邊 昌彦※ （北里研究所病院院長） 【オンライン】	疾患と医療チーム-1	北里研究所病院の特徴と、特にチーム医療病院実習を説明する。 (10/16)			
7	佐藤 之後※ （OIC 病院院長） 【オンライン】	疾患と医療チーム-2	北里大学メディカルセンター（KMC）の特徴と、地域医療支援病院におけるチーム医療を説明する。（大学病院との相違等） (10/23)			
8	高相 晶士※ （北里大学病院院長） 【オンライン】	疾患と医療チーム-3	北里大学病院の特徴と、大学病院の特性から見たチーム医療を説明する。 (10/30)			
9	内山 勝文※ （医学部教授） 【オンライン】	組織移植医療におけるチーム医療	臓器移植、骨移植におけるチーム医療の大切さとその構成職種を解説する。 (11/13)			
10	齋藤有紀子 （医学部准教授） 【オンライン】 渡邊 達也※ （医学部講師） 【オンライン】	医療倫理	治療におけるチーム医療の特徴について解説し、患者の人権を尊重する説明文書のあり方と、患者のインフォームドコンセンツの大切さを説明する。 (11/20)			

11	伊勢田明子※ (大学院院MSO) 【オンライン】	専門職種理解-4	医療ソーシャルワーカーの役割、機能および病院内医療チームおよび地域の保健福祉・医療チームとの連携の実際を説明する。 (11/27)		
12	尾島 勝也※ (大学院薬剤師院長) 【オンライン】	専門職種理解-5	薬剤師と法、6年制薬学教育の概要、医療環境の変化と薬剤師、チーム医療における薬剤師の仕事、薬剤師としての医療への貢献等を説明する。 (12/4)		
13	渋谷 明隆※ (医学部客員教授) 【オンライン】	医療安全	医療におけるリスクマネジメントを説明する。 (12/11)		
14	有田 悦子 (薬学部教授) 【オンライン】	チーム医療におけるコミュニケーション	専門職間でのコミュニケーション、患者とのコミュニケーション、患者の心理、言語・非言語コミュニケーション等を説明する。 (12/18)		
15	守屋 達美※ (健康管理センター長) 【オンライン】	チーム医療の科学的・客観的検証	糖尿病性腎症におけるチーム医療を例に挙げて、チーム医療の科学的・客観的検証の必要性を解説する。 (1/15)		
到達目標		患者を指向した質の高い医療の提供を目標に、チーム医療の構成員として自身の専門性を活かし積極的に医療に参画することができるようにするために、医療の流れ、各医療職の職能、医療倫理、コミュニケーションなどのチーム医療に関する基礎知識を習得する。 ・学生がチーム医療の構成員として自身の専門職の専門性を説明することができる。 ・学生がチーム医療の構成員として自身の専門職の専門性を意識した論点を述べるができる。 ・学生がチーム医療の構成員としてリーダーシップ、メンバーシップを意識してディスカッションに参画することができる。 ・学生が他の学生の意見を真摯に聞くことができる。 ・学生が自身の意見と異なる意見を尊重した態度で聞くことができる。			
成績評価の方法と基準		薬学部・医療衛生学部・看護学部：毎回の講義レポートを総合的に評価する（100％）。なお、欠席は減点をする。 医学部：レポート提出状況(30%)、レポート内容点(20%)、総合テスト(50%)を評価の配分とする。 ・レポート内容点は講義の9回目と10回目を指す。 ・総合テストは全講義終了後実施し、再試験は実施しない。 ・全講義のレポート提出を必須とするが、諸事情により欠席した場合、全講義で11回以上のレポート提出、且つ医学部教員講義（第6～10回講義及び第13回講義）で4回以上のレポート提出に満たない場合は総合テストの受験資格を喪失し、不合格とする。			
学生へのメッセージ		チーム医療の必要性や意義を理解し、医療の場におけるチームワークが医療の質と安全性の向上、患者のQOLの向上に大きく貢献することを認識してほしい。本学のチーム医療教育プログラムは、15にも及ぶ医療専門職の教育を行っている大学ならではの特色ある教育プログラムであり、本講義で学んだ基礎知識とチーム医療に関する認識を、高学年で行う「オール北里チーム医療演習」、「チーム医療病院実習」「国際チーム医療演習」等で存分に発揮して、社会に出てからの糧としていただきたい。			
実務経験の授業への活用方法		【渡邊 昌彦】病院での臨床経験を踏まえ、北里研究所病院の特徴と、チーム医療病院実習について説明する。 【佐藤 之俊】病院での臨床経験を踏まえ、地域医療支援病院である北里大学メディカルセンターの特徴とチーム医療について説明する。 【高相 晶土】病院での臨床経験を踏まえ、北里大学病院の特徴と、大学病院の特性から見たチーム医療について説明する。 【尾島 勝也】病院での臨床経験を踏まえ、チーム医療における薬剤師の役割と業務の実状を説明する。 【内山 勝文】病院での臨床経験を踏まえ、移植医療におけるチーム医療の大切さを説明する。 【松永 篤彦】病院での経験を踏まえ、リハビリテーションを展開する際のチーム医療について説明する。 【新藤 有紀子】病院・研究機関での倫理審査の経験を踏まえ、臨床・研究におけるICの意義と重要性について説明する。 【渡邊 達也】病院での実務経験を踏まえ、治療におけるチーム医療の実際とCRCの役割について説明する。			
教科書・参考書		書名	著者名	出版社名	定価(円)
参考書		『実践 チーム医療論』 インタープロフェッショナル・ヘルスケア 実際と教育プログラム	水本清久、他 編著	医療薬出版	3,150
		I PWを学ぶ	埼玉県立大学 編	中央法規	2,800

(2021. 2. 16 現在)

Medical Informatics

科目責任者	河野 俊之
担当者	河野 俊之*・守田 憲崇(兼)*・有阪 直哉(兼)・竹内 昭博(非)
実務経験のある教員	医療現場での臨床経験を踏まえ、医療におけるコンピュータを使用した業務に必要な基本的な技術を概説する。 研究所での研究経験を踏まえ、他人に理解されやすいプレゼンテーションの方法を概説する。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナリズムと倫理：○ 4. 知的探究と自律的学習：◎ 7. 予防医学： 2. コミュニケーション能力：◎ 5. チーム医療： 8. 地域医療： 3. 医学的知識と技術： 6. 医療の質と安全： 9. 国際貢献：
授業の目的	コンピュータの利用技術は、医学・医療の分野だけでなく、社会人として身につけるべき必須なものとなっている。本科目では、医師にとって必要な情報学の基礎として、コンピュータおよび基本ソフトウェアの技術的な取り扱い方を習得すること、また個人情報保護法、臨床研究の倫理、人工知能などの基礎知識を習得することを教育目標とする。
教育内容	パソコンの基本的な利用方法、アプリケーションはMS-Word、MS-Excel、MS-PowerPoint、VBAなどの基本的な使用方法について講義・実習を行う。また、情報のセキュリティ、医療情報データの取り扱い、人工知能などについて、インターネットも活用しながら講義・実習を行う。
教育方法	学生1人が1台のWindowsパソコンを用いて、教員の講義を受けながら学生が各自実習を行う。各自の進捗状況に合わせて、教員やTAが授業中に適宜助言・コメントする。

(10 コマ)

講義室・実習室：医療衛生学部 A1 号館 6 階 (情報演習室 2)、M-21

No.	月	日	曜日	時限	クラス	講義テーマ	講義内容	担当者	所属
1	9	7	木	3	C D	MS-Word	情報演習室・コンピュータの使い方、日本語入力システム (IME) の使い方を学び、テキストをメインとした文書課題を入力、装飾・作成する。 【医療衛生情報演習室 2】	守田 河野 憲崇 俊之	医療衛生学部 医療情報教育研究部門
				4	A B				
2	9	14	木	3	C D	MS-Word	図表を用いた文書課題を入力、装飾・作成する。 【医療衛生情報演習室 2】	守田 河野 憲崇 俊之	医療衛生学部 医療情報教育研究部門
				4	A B				
3	9	21	木	3	C D	MS-PowerPoint	PowerPoint を利用したスライド作成方法の基礎を学ぶ。 【医療衛生情報演習室 2】	守田 河野 憲崇 俊之	医療衛生学部 医療情報教育研究部門
				4	A B				
4	9	28	木	3	C D	MS-Excel	Excel のセルの参照や演算、オートフィルについて学ぶ。 【医療衛生情報演習室 2】	有阪 河野 直哉 俊之	医療衛生学部 医療情報教育研究部門
				4	A B				
5	10	5	木	3	C D	MS-Excel	Excel の関数について学ぶ。 【医療衛生情報演習室 2】	有阪 河野 直哉 俊之	医療衛生学部 医療情報教育研究部門
				4	A B				
6	10	12	木	3	C D	MS-Excel	Excel に関して学習した内容をまとめた演習問題に取り組む。 【医療衛生情報演習室 2】	有阪 河野 直哉 俊之	医療衛生学部 医療情報教育研究部門
				4	A B				
7	10	19	木	3	C D	医療機器と情報セキュリティ	医療機器における情報セキュリティの必要性を学ぶ。 【M-21】	守田 河野 憲崇 俊之	医療衛生学部 医療情報教育研究部門
				4	A B				

8	10	26	木	3	C D	医療情報データの取り扱い規範	医療情報データ取り扱いにおける規範を学ぶ。 【M-21】	守田 憲崇 河野 俊之	医療衛生学部 医療情報教育研究部門
				4	A B				
9	11	2	木	3	C D	人工知能	人工知能で用いられる機械学習アルゴリズムを用いた回帰分析を行う方法を学ぶ。 【医療衛生情報演習室 2】	守田 憲崇 河野 俊之 竹内 昭博	医療衛生学部 医療情報教育研究部門 非常勤講師
				4	A B				
10	11	9	木	3	C D	人工知能	人工知能で用いられる機械学習アルゴリズムを用いた画像分類を行う方法を学ぶ。 【医療衛生情報演習室 2】	守田 憲崇 河野 俊之 竹内 昭博	医療衛生学部 医療情報教育研究部門 非常勤講師
				4	A B				

準備学習 (予習・復習)	<p>実習形式で行うので、当日の実習テーマ・アプリケーションがどのように自分のためになるかを想定しておくこと。</p> <p>コンピューター・アプリケーションの操作手法を習得する。授業時間中に課題が完了しない場合や理解できない場合には、復習し、次回までに操作手順を習得すること。</p> <p>予習・復習あわせて1コマ当たり2時間の準備学習を要する。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) コンピューターを扱うことができる。 2) Microsoft Word の基本的な操作ができる。 3) Microsoft Excel の基本的な操作ができる。 4) Microsoft PowerPoint の基本的な操作ができる。 5) インターネットの検索手法、情報セキュリティ、個人情報保護、臨床研究の倫理、人工知能の基礎について説明できる。
評価基準	<p>講義・実習への取り組み方 (30%) および課題ごとの提出レポート (70%) の総合評価とする。</p>
その他 注意事項	<p>講義は段階を追って進めていくため、欠席すると以後の講義の理解が困難となる。全時間出席することが必須であるが、もしもやむを得ない事情で欠席する場合には、その講義の内容を次回の講義までに良く自習しておくこと。</p>

解剖・発生学 I

講義 M301-BM18

Anatomy and Embryology I

科目責任者	小川 元之
担当者	小川 元之*・井上 優介*・勝村 啓史・助川 浩士*・三浦 正明・新井 雄太
実務経験のある教員	小川 元之ほか： 医師として学んできたことをベースに、解剖学として大切なことはもちろんのこと、各診療科において必要とされる臨床解剖学的知識を講義する。臨床医学に触れることにより、医学を学ぶモチベーションを高めるようにする。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナルリズムと倫理：○ 4. 知的探究と自律的学習：◎ 7. 予防医学： 2. コミュニケーション能力： 5. チーム医療： 8. 地域医療： 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全：○ 9. 国際貢献：
授業の目的	解剖学は近代医学として最初に確立し、ペサリウス以降400年以上にわたり蓄積されてきた知識体系があり、また、人体には35億年に及ぶ生命の進化史が内在している。ヒトの系統発生および個体発生を理解しながら、個体レベルでの人体の正常な構造に関する知識を習得すると共に、人間の生物学的多様性を理解する。
教育内容	解剖学序論では、解剖学とは何か、また解剖学実習を行うにあたり「ご献体」とはどういうことかについて学習する。また解剖学総論では、解剖学で用いる専門用語について学習する。 解剖学各論として消化器系、呼吸器系、循環器系、運動器系、泌尿・生殖器系、中枢・末梢神経系の主要な臓器・器官についての正常構造について解説する。 臨床医学との関連として放射線科学(画像診断学)の教員によるCT解剖学の講義も行う。 定期試験において、総評、平均点、得点分布などのデータを提示する。 また、総評と共に再試験にあたっての学習ポイントを提示する。
準備学習(予習・復習)	予習(30分)：受講前に教科書、または学生参考図書で、上記講義内容の各系について予習しておく。 復習(30分)：ノートおよび講義中に配布されたプリントで十分に復習する。 学習内容が多いため、講義を指標に日頃から学習しておくことが望ましい。

(20コマ)

講義室：M-21・22

No.	月	日	曜日	時限	講義テーマ	講義内容	担当者	所属
1	9	4	月	3	解剖学序論	(1)解剖学 (Anatomy) とは？ (2)人体解剖の必要性と献体について	小川 元之	解剖学
2	9	4	月	4	解剖学総論	解剖学を理解する上での必要事項	小川 元之	解剖学
3	9	11	月	3	筋・骨格系の解剖学	骨格系の解剖学	助川 浩士	解剖学
4	9	11	月	4	筋・骨格系の解剖学	骨格系の解剖学	助川 浩士	解剖学
5	9	20	水	2	神経系の解剖学	中枢神経系の解剖学	小川 元之	解剖学
6	9	20	水	3	神経系の解剖学	末梢神経系の解剖学	小川 元之	解剖学
7	9	21	木	5	心臓・大血管系の解剖学	心臓の解剖学	小川 元之	解剖学
8	9	25	月	3	心臓・大血管系の解剖学	大血管の解剖学	小川 元之	解剖学
9	9	25	月	4	呼吸器系の解剖学	肺、気管・気管支の解剖学	三浦 正明	解剖学
10	10	2	月	3	呼吸器系の解剖学	肺、気管・気管支の解剖学	三浦 正明	解剖学
11	10	2	月	4	消化器系の解剖学	上部消化管の解剖学	新井 雄太	解剖学

12	10	4	水	1	消化器系の解剖学	下部消化管の解剖学	新井 雄太	解剖学
13	10	4	水	2	消化器系の解剖学	肝・胆・膵の解剖学(1)	新井 雄太	解剖学
14	10	9	月	3	消化器系の解剖学	肝・胆・膵の解剖学(2)	新井 雄太	解剖学
15	10	9	月	4	生殖器系の解剖学	男性生殖器と女性生殖器の解剖について比較しながら解説する	小川 元之	解剖学
16	10	11	水	2	生殖器系の解剖学	男性生殖器と女性生殖器の解剖について比較しながら解説する	小川 元之	解剖学
17	10	18	水	1	泌尿器系の解剖学	腎臓、尿管、膀胱の解剖について	勝村 啓史	解剖学
18	10	18	水	2	泌尿器系の解剖学	腎臓、尿管、膀胱の解剖について	勝村 啓史	解剖学
19	10	25	水	1	CT 解剖学	CT および MRI で見た生体における断層解剖	井上 優介	放射線科 (画像診断学)
20	10	25	水	2	CT 解剖学	CT および MRI で見た生体における断層解剖	井上 優介	放射線科 (画像診断学)

参 考 図 書	<p>(1) 教科書 『グレイ解剖学』塩田浩平 他訳 (エルゼビア・ジャパン) 『解剖学講義』伊藤隆 (著)、高野廣子 (編集) (南山堂)</p> <p>(2) 学生参考図書 ① 『解剖学』全3巻 森 於菟他 (金原出版) ② 『日本人体解剖学』全2巻 金子丑之助 (金子、稲田 改訂) (南山堂) ③ 『入門人体解剖学 改訂第5版』藤田恒夫 著 (南江堂) ④ 『ムーア臨床解剖学』坂井建雄 訳 (メディカル・サイエンス・インターナショナル) ⑤ 『Essentials of Human Anatomy』K.L. Moore, A M.R. Agur (Oxford) (④の英語版) ⑥ 『末梢神経解剖学』佐藤達夫 監修 (サイエンス・コミュニケーションズ・インターナショナル) ⑦ 『解剖学用語』日本解剖学会 監修 (医学書院)</p> <p>(3) その他の参考図書 『Anatomy for Surgeons』全3巻 W.H.Hollinshead (Harper & Row) 『人体の正常構造と機能』坂井 建雄, 河原 克雅 編集 (日本医事新報社) 『人体解剖学 改訂第42版』藤田恒太郎 著 (南江堂)</p>
到 達 目 標	<p>1. 人体の正常な構造、相互の位置関係について説明できる。</p> <p>2. 解剖学的構造と機能を関連付けて説明できる。</p> <p>3. 臨床医学と関連づけて人体の構造を説明できる。</p>
評 価 基 準	<p>1. 授業態度 10%</p> <p>2. 定期試験 90%</p> <p>3. 必要に応じ、レポート等の提出を求めることがある。</p>
A V 資 料	<p>ビデオ</p> <p>① 人体解剖学のうち Q S V C 215、216、220 目でみる医学の基礎</p> <p>② 生理学のうち Q T V C 239～244 目でみる身体のしくみシリーズ 523～530 Q T V C 315～325 身体のしくみシリーズ</p>
そ の 他 注 意 事 項	<p>(1) 解剖学実習に先立って人体の基本構造についての十分な予備知識を持てるように努力すること。</p> <p>(2) 解剖学用語の日本語の読み方は初心者には難解である。用語に慣れなければ教科書を読んでも理解が困難であるので、講義には必ず出席すること。</p>

解剖・発生学Ⅱ

講義 M301-BM18

Anatomy and Embryology II

科目責任者	小川 元之
担当者	小川 元之*・勝村 啓史
実務経験のある教員	小川 元之：医師として学んできたことをベースに、特に産婦人科学および小児科学と関連した内容について講義する。臨床医学に触れることにより、医学を学ぶモチベーションを高めるようにする。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナルリズムと倫理：◎ 4. 知的探究と自律的学習：◎ 7. 予防医学： 2. コミュニケーション能力： 5. チーム医療： 8. 地域医療： 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全：○ 9. 国際貢献：
授業の目的	解剖学は近代医学として最初に確立し、ベサリウス以降400年以上にわたり蓄積されてきた知識体系があり、また、人体には35億年に及ぶ生命の進化史が内在している。ヒトの系統発生および個体発生を理解しながら、個体レベルでの人体の正常な構造に関する知識を習得すると共に、人間の生物学的多様性を理解する。
教育内容	解剖・発生学Ⅱでは、精子や卵子の形成過程、受精から着床にいたる経過、胚葉形成および各胚葉から器官が分化する経過と先天異常の発生機序について学習する。
教育方法	『人体発生学講義ノート』を教科書とし、その記載について重要事項の説明を行う。フィードバックとして定期試験の総評、平均点、得点分布などのデータを提示する。また、総評と共に再試験にあたっての学習ポイントを提示する。
準備学習(予習・復習)	予習(30分)：受講前に教科書、または学生参考図書で、上記講義内容の各系について予習しておく。 復習(30分)：ノートおよび講義中に配布されたプリントで十分に復習する。 学習内容が非常に多いので、講義を指標に日頃から学習しておくことが望ましい。

(10コマ)

講義室：M-21・22

No.	月	日	曜日	時限	講義テーマ	講義内容	担当者	所属
1	10	11	水	1	発生学序論・生殖系発生と受精	(1)生殖系の発生 (2)減数分裂 (3)受精のメカニズムについて	小川 元之	解剖学
2	11	1	水	1	発生第1～2週：前胚子期(1)	受精と着床	小川 元之	解剖学
3	11	1	水	2	発生第1～2週：前胚子期(2)	2層性胚盤の構造を解説する	小川 元之	解剖学
4	11	8	水	1	発生第3～8週：胚子期(1)	原腸形成	小川 元之	解剖学
5	11	29	水	1	発生第3～8週：胚子期(2)	内・中・外胚葉の分化について	小川 元之	解剖学
6	11	29	水	2	発生第9週～出生：胎児期	胎児期の主な現象について	小川 元之	解剖学
7	12	6	水	1	胎盤の形成(1)	胎盤の発生と組織学的構造	小川 元之	解剖学
8	12	7	木	2	胎盤の形成(2)	多胎妊娠について	小川 元之	解剖学
9	12	7	木	4	先天異常	(1)先天異常の型：奇形、破綻、変形、異形成 (2)染色体異常の発生機序 (3)環境因子としての催奇形因子について	勝村 啓史	解剖学
10	12	7	木	5	先天異常	(1)先天異常の型：奇形、破綻、変形、異形成 (2)染色体異常の発生機序 (3)環境因子としての催奇形因子について	勝村 啓史	解剖学

参 考 図 書	(1) 教科書 『人体発生学講義ノート』塩田浩平（著）（金芳堂） 『ラングマン 人体発生学』（第 11 版）安田峯生・沢野十蔵 訳（メディカルサイエンス・インターナショナル） (2) 学生参考図書 ① 『ラーセン最新人体発生学』相川英三 他訳（西村書店刊） ② 『カールソン人体発生学—分子から個体へ』自井敏雄 監訳（西村書店刊） ③ 『ムーア人体発生学』瀬口春道 監訳（医歯薬出版刊）
到 達 目 標	1. ヒトの生殖細胞の形成を説明できる。 2. ヒトの受精から着床までを説明できる。 3. ヒトの初期発生（胎盤形成を含む）について説明できる。
評 価 基 準	1. 授業態度 10% 2. 定期試験 90% 3. 必要に応じ、レポート等の提出を求めることがある。
そ の 他 注 意 事 項	教科書は『人体発生学講義ノート』、『ラングマン 人体発生学』ともに必ず購入し、2冊の教科書を用いて人体の発生過程を時間的、空間的に正しく理解するように努めること。

実験動物学・実習

実習 M302-BM18

Laboratory Animal Science

科目責任者	佐藤 俊哉
担当者	佐藤 俊哉*・大久保 直*・東 貞宏*
実務経験のある教員	担当教員の専門領域は、医学（佐藤俊哉）、発生学（大久保直）、生殖工学（東貞宏）であり、各自の専門領域を組み合わせ、総合科学としての広範な学問領域を網羅するとともに、医学に必要な実験動物学という観点から授業を行う。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナルリズムと倫理：○ 4. 知的探究と自律的学習：◎ 7. 予防医学： 2. コミュニケーション能力： 5. チーム医療： 8. 地域医療： 3. 医学的知識と技術：○ 6. 医療の質と安全： 9. 国際貢献：
授業の目的	ヒトを含む種々の動物種でゲノムの解読が終了し、生命科学の重点は遺伝子機能の解析や遺伝子を利用した応用研究へと急速に発展している。生命科学としての医学研究では、病態解明や治療法開発のために動物実験が不可欠であり、ヒト疾患関連遺伝子を標的とした遺伝子改変動物の重要性が増している。 本科目では、医学研究における動物実験の意義について理解し、実験動物の特性や遺伝子改変動物の作成と利用法、さらにその基盤技術を支える生殖生物学、生殖工学、発生学の基礎的事項を理解する。また、動物実験は命ある動物を実験対象とするため、科学的な観点のみならず、動物愛護・福祉の観点からも適正な実施が求められていることを理解する。
教育内容	歴史的な観点から実験動物学を学ぶことにより、医学研究における動物実験の意義や倫理的配慮について理解を深める。その後、ヒト疾患モデルの開発に必要な知識として、発生・生殖工学技術、遺伝子改変技術、分子病理学の基礎を学ぶと共に、実習と自己学習を通じて、医学研究への応用法を理解する。
教育方法	配布するプリントまたは板書に従って講義と実習を進める。また授業中に練習問題を提示し、授業の中で解答を検討する。

(10 コマ)

講義室：M-21・22 実習室：M-402

No.	月	日	曜日	時限	講義テーマ	講義内容	担当者	所属
1	11	13	月	3	医学と実験動物学	医学研究における動物実験の意義、科学的かつ倫理的な動物実験の実践に必要な知識を学ぶ。	佐藤 俊哉	実験動物学
2	11	13	月	4	ヒトに認められる配列多様体と疾患モデルの開発	疾患モデル開発に必要な分子病理学の知識を学び、ヒト疾患の理解を深める。	佐藤 俊哉	実験動物学
3	11	15	水	2	遺伝子改変マウスの作成法	マウスとヒトの比較発生学、比較解剖学、および遺伝子改変マウスの具体的な作成法を概説する。	大久保 直	実験動物学
4	11	15	水	3	遺伝子改変マウスの利用法・マウスの解剖の説明	遺伝子改変マウスを用いた具体的な研究例や疾患モデル作成を概説する。マウスの解剖についてビデオで概説する。	大久保 直	実験動物学
5	11	20	月	3	実験動物の遺伝学的統御と微生物学的統御	実験動物の遺伝学的統御と微生物学的統御及び研究目的に適する動物種の選択方法を概説する。	東 貞宏	実験動物学
6	11	20	月	4	実験動物の生殖生理学と発生・生殖工学の基礎及び実習（結果上体の冷蔵保存）の説明	実験動物の生殖生理学と発生・生殖工学を概説する。加えてマウス結果上体の冷蔵保存と採取精子の観察について説明する。	東 貞宏	実験動物学
7	11	27	月	3	実習：マウスの解剖、各臓器の観察とヒトとの相違、各種疾患モデル動物の検索	A, B クラス：マウスの解剖、腹腔および胸腔臓器のスケッチ、精子の形態・運動性の観察 【M-402】	佐藤 俊哉 大久保 直 東 貞宏	実験動物学
8	11	27	月	4	各種疾患モデル動物の検索	C, D クラス：疾患モデル動物の課題レポート 【M-21】		
9	12	4	月	3	実習：マウスの解剖、各臓器の観察とヒトとの相違、各種疾患モデル動物の検索	C, D クラス：マウスの解剖、腹腔および胸腔臓器のスケッチ、精子の形態・運動性の観察 【M-402】	佐藤 俊哉 大久保 直 東 貞宏	実験動物学
10	12	4	月	4	各種疾患モデル動物の検索	A, B クラス：疾患モデル動物の課題レポート 【M-21】		

準備学習 (予習・復習)	予習：参考図書「現代実験動物学」の該当箇所、「ヒトの分子遺伝学」の4・5・8・11・12・16・21章を読んでおくことを推奨する（8時間）。 復習：講義内で指摘した重要事項を復習するとともに、第1学年の生化学序説・遺伝子学と関連づけて理解することにより（2時間）、第2学年で学ぶ臨床遺伝学の基礎を身につける。
参考図書	1) 現代実験動物学 笠井憲雪・吉川泰弘・安居院高志 編 朝倉書店 2) ヒトの分子遺伝学（第5版）邦訳 戸田達史・井上聡・松本直道 監修 メディカル・サイエンス・インターナショナル 3) マウス胚の操作マニュアル（原書第3版）邦訳 山内一也 他／訳 近代出版
到達目標	1) 動物実験の意義と動物への倫理的配慮について学び、これらの実践に必要な関連法規と実施体制を説明できる。 2) 分子病理学の基礎として、遺伝形式の推定から遺伝子改変マウス作成までの一連の解析法を説明できる。 3) 疾患モデルの作成方法、遺伝子導入と欠損マウスの相違と作成方法を説明できる。 4) 動物実験の精度と再現性に影響する遺伝要因・環境要因、生物学的要因としての微生物学的統御に関する事項を説明できる。 5) 実習を通して、マウスの解剖学的特徴や発生・生殖学の基礎的事項を説明できる。 6) 特定の疾患モデルについて自己学習し、ヒトと動物の類似・相違点について科学的に考察できる。
評価基準	定期試験（90%）、課題提出（8%）、実習への参加状況（2%）により評価する。
その他 注意事項	1) 清潔な白衣（洗濯してあれば良い）を着用すること。また、試薬や動物の組織液等が付着することも考慮した服装で臨むこと。 2) 実習では、各臓器の計測とスケッチを行なうので、筆記具と定規を持参すること。 3) 動物アレルギーが疑われる場合は、事前に教員へ連絡すること。

代謝学

講義 M301-BM18

Metabolic Biochemistry

科目責任者	萬代 研二
担当者	山森 早織*・丸尾 知彦*・萬代 研二*
実務経験のある教員	臨床医としての病院勤務の経験や研究者としての研究機関勤務の経験を踏まえ、臨床医学の発展に果たした生化学研究について概説する。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナルリズムと倫理：○ 4. 知的探究と自律的学習：○ 7. 予防医学：○ 2. コミュニケーション能力： 5. チーム医療： 8. 地域医療： 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全： 9. 国際貢献：
授業の目的	私達の体は、食餌や呼吸により取り入れた物質を、細胞内の化学的構成要素に作り変えることで成り立っている。活動するためには、食物中の物質を分解して得た分子やエネルギーを、生体内の化学反応に用いることができる形に作り変えることが必要である。これらの過程は代謝と呼ばれ、高度に組織化された調節を受けている。代謝に異常が生じると様々な体内環境の恒常性の障害、さらには疾患が引き起こされる。本授業科目では、糖質、脂質、アミノ酸、核酸、ビタミン類などの生体分子の動態と変化、エネルギーの代謝、ならびに細胞や全身における代謝の調節の仕組みを学ぶ。さらに、生体の恒常性維持に関わる分子の性質と代謝を理解することによって、その破綻がどのようにして代謝異常症の発症と病態の進展に関わるのかを学ぶ。
教育内容	糖代謝、脂質代謝、アミノ酸代謝、核酸代謝の詳細、エネルギー代謝、代謝調節の仕組み、代謝異常症などについて講義する。
教育方法	スライドとプリントを用いて講義を進める。課題の解答は授業の中で検討する。

(28 コマ)

講義室：M-21・22

No.	月	日	曜日	時限	講義テーマ	講義内容	担当者	所属
1	9	8	金	2	代謝学概論	代謝学を理解するための基本事項	萬代 研二	生化学 (萬代単位)
2	9	15	金	2	代謝学研究 (その1)	代謝学の基礎研究と疾患の治療法開発の一例	萬代 研二	生化学 (萬代単位)
3	9	22	金	2	高エネルギー化合物	高エネルギー化合物の代謝系における役割	萬代 研二	生化学 (萬代単位)
4	9	29	金	2	糖質	糖質の種類とそれぞれの生体内での分布と役割	丸尾 知彦	生化学 (萬代単位)
5	10	6	金	2	解糖	解糖系の反応と調節ならびに役割	山森 早織	生化学 (萬代単位)
6	10	13	金	2	ペントースリン酸経路	ペントースリン酸経路の反応と調節ならびに役割	山森 早織	生化学 (萬代単位)
7	10	17	火	2	クエン酸サイクル	クエン酸サイクルの反応と調節ならびに役割	山森 早織	生化学 (萬代単位)
8	10	20	金	2	電子伝達系	電子伝達系の概要	山森 早織	生化学 (萬代単位)
9	10	24	火	2	酸化的リン酸化	電子伝達系と共役した ATP 産生	山森 早織	生化学 (萬代単位)
10	10	27	金	2	血糖値の維持とグリコーゲン代謝	血糖値の維持の重要性とグリコーゲン代謝	山森 早織	生化学 (萬代単位)
11	10	31	火	2	グリコーゲン代謝調節	ホルモンなどによるグリコーゲン代謝の調節の仕組み	山森 早織	生化学 (萬代単位)
12	11	7	火	2	糖新生	糖新生の仕組みと役割ならびに糖代謝の復習	山森 早織	生化学 (萬代単位)
13	11	8	水	2	糖質代謝調節の異常	糖質代謝調節の異常が関わる疾患	萬代 研二	生化学 (萬代単位)
14	11	8	水	3	脂質	脂質の種類とそれぞれの生体内での分布と役割	山森 早織	生化学 (萬代単位)

15	11	10	金	2	脂質の機能と輸送	脂質の生体内での役割と血中輸送	山森 早織	生化学 (萬代単位)
16	11	14	火	2	脂質の分解と脂肪酸酸化	コレステロール以外の脂質の分解経路	山森 早織	生化学 (萬代単位)
17	11	17	金	2	脂肪酸合成	コレステロール以外の脂質の生合成経路	山森 早織	生化学 (萬代単位)
18	11	21	火	2	コレステロール	コレステロールの生合成と代謝経路	山森 早織	生化学 (萬代単位)
19	11	24	金	2	脂質代謝異常	脂質代謝の異常が関わる疾患	山森 早織	生化学 (萬代単位)
20	11	28	火	2	代謝の統合 (その1)	種々の生理状態における代謝とがん細胞における代謝	山森 早織	生化学 (萬代単位)
21	12	1	金	2	代謝学研究 (その2)	代謝学の学術論文の紹介	山森 早織	生化学 (萬代単位)
22	12	5	火	2	窒素代謝概観	窒素代謝の概説	丸尾 知彦	生化学 (萬代単位)
23	12	8	金	2	アンモニアと尿素回路	アンモニアの代謝と尿素回路	丸尾 知彦	生化学 (萬代単位)
24	12	11	月	3	ヘム代謝	アミノ酸から生合成される生体物質の性質と代謝	丸尾 知彦	生化学 (萬代単位)
25	12	11	月	4	ヌクレオチド代謝	ヌクレオチドの合成と分解	丸尾 知彦	生化学 (萬代単位)
26	12	15	金	2	窒素代謝異常と疾患ならびに演習	窒素含有分子の代謝異常が関わる疾患と窒素代謝の復習(演習を含む)	丸尾 知彦	生化学 (萬代単位)
27	12	18	月	3	代謝の統合 (その2)	脳における代謝と臓器間の代謝連関	萬代 研二	生化学 (萬代単位)
28	12	18	月	4	代謝学研究 (その3)	代謝学の学術論文の紹介	萬代 研二	生化学 (萬代単位)

準備学習 (予習・復習)	前期の「生化学序説」「細胞生物学」の知識を再確認しておくことが望ましい。 復習：プリントを見返し、教科書や参考図書を参考にして反復学習する。 授業時間外に必要な学習の時間：毎回、復習に1時間以上
参考図書	(1) 教科書 講義で配布する資料 『エッセンシャル生化学』(第3版)(須藤、山本、堅田、渡辺 訳)東京化学同人 (2) 参考図書 『イラストレイテッドハーパー・生化学』(原書30版)(清水 監訳)丸善
到達目標	① 生体物質とエネルギーの代謝における基本原理を説明できる。 ② 代謝異常による病態の基本原理を説明できる。 ③ ホルモンによる全身性調節とアロステリック効果による細胞レベルの調節を説明できる。 ④ 解糖、クエン酸サイクル、ペントースリン酸経路の反応と調節及びその異常による疾病を説明できる。 ⑤ 高エネルギー化合物の産生反応を説明できる。 ⑥ 血糖値維持の意義と方法、その異常による疾病を説明できる。 ⑦ グリコーゲン代謝と糖新生の反応と調節及びその異常による疾病を説明できる。 ⑧ 脂質の種類と機能を説明できる。 ⑨ 脂質の合成、輸送と分解の反応及びその異常による疾病を説明できる。 ⑩ アミノ酸の異化、尿素回路の反応と調節及びその異常による疾病を説明できる。 ⑪ ヌクレオチド代謝の反応と調節及びその異常による疾病を説明できる。 ⑫ ヘムの合成と分解の代謝及びその異常による疾病を説明できる。 ⑬ 糖尿病、高脂血症、高尿酸血症の疾病予防法を理解するために必要な代謝経路を説明できる。
評価基準	定期試験 (100%)
A V 資料	KEGG Pathway Database : http://www.genome.jp/kegg/pathway.html

<p>そ の 他 注 意 事 項</p>	<p>他科目との関連： 本科目の学習内容は、前期に学習する「生化学序説」「細胞生物学」と後期に学習する「タンパク質化学」の学習内容と密接に関連している。これらの学習内容をしっかり復習しておくこと。また、2年で学習する「医化学・栄養学」の学習内容とも密接な関連がある。これらの科目は別の科目と考えずに、関連性に留意し、統合的に理解するように心がける。</p> <p>推奨する勉強方法： 毎時間プリントを配布するが、きちんと綴じて保存することを勧める。プリントを見て授業内容を確認し、教科書や参考図書を参考にして自学することが求められる。重要事項を自分で抽出し、自分の言葉でわかりやすく説明できるようになるまで反復学習することが望まれる。この作業はできるだけ授業を受けた日に行うとよい。試験直前に初めてこの作業を行うのは極めて非効率的である。代謝学では極めて多くの分子や化学反応が扱われる。丸暗記に頼るのではなく、法則を理解してから各論を覚えるのが早道である。</p>
---------------------------------	--

科目責任者	堺 隆一・萬代 研二・藤岡 正人
実務責任者	山森 早織
担当者	堺 隆一*・萬代 研二*・藤岡 正人*・河野 俊之*・板倉 誠*・丸尾 知彦* 亀山 孝三*・高山 吉永・長尾 和右*・山森 早織*・清成 信一*・堤 良平* 三枝 智香*
実務経験のある教員	堺 隆一・萬代研二・藤岡正人： 医師としての実務経験を、分子生物学研究の医学への応用についての事例を交えた説明に活かしている。 その他： 研究所・会社での経験を、実習レポート作成要領の説明などに実務での報告書作成の経験を生かしている。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナルリズムと倫理： 4. 知的探究と自律的学習：◎ 7. 予防医学： 2. コミュニケーション能力：○ 5. チーム医療： 8. 地域医療： 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全： 9. 国際貢献：
授業の目的	生化学・細胞生物学・分子遺伝学について実習を行い、医師に必要な基礎的知識や論理的な考え方を習得する。また疾患や病態を分子レベルで解明することの重要性を理解する。
教育内容	20名前後のグループに分かれて、次の各項目を交替に実習する。 I. 血清中インスリン濃度測定と酵素法による血糖値の測定： ラット血清中のインスリン濃度を酵素免疫測定法 (ELISA) で定量する。またグルコース酸化酵素を用いて、ラット血糖値を測定する。 II. 細胞分画法と乳酸脱水素酵素の活性測定による局在推定： 肝臓のショ糖ホモジネートを遠心分離法により、核、ミトコンドリア、上清 (マイクロソームと可溶画分) に分画し、標識酵素活性を測定する。 III. ヒト細胞への遺伝子導入と発現解析： 緑色蛍光タンパク質 (GFP) 標識タンパク質発現ベクターをヒト細胞にリン酸カルシウム法で遺伝子導入し、発現したタンパク質の細胞内局在を蛍光顕微鏡で観察する。 IV. 血清タンパク質の分画と精製、タンパク質のゲル電気泳動： ヒト血清の硫酸分画および血清 IgA1 の分離精製を行う。また、それらを SDS-PAGE (ポリアクリルアミド電気泳動) を用いて、分析する。 V. DNA の塩基配列の決定と解析： ヒトのアルデヒド脱水素酵素 2 型 (ALDH2) 遺伝子の塩基配列を決定する。 その塩基配列を解析して、遺伝子の構造と遺伝子多型を調べる。 VI. PCR 法による DNA の増幅と制限酵素による切断： PCR 法を用いて DNA 増幅を行う。PCR 産物を制限酵素で切断し、その大きさを測定する。
教育方法	各グループ担当の教員が当日行う実習の概略を講義した後、実習書に従ってグループ毎に実験を行う。 実習グループごとに実習中の口頭での試問やレポート (実験ノート) 作成によって到達度を確認し、疑問点については実習中ないし実習後にフィードバックを行う。 最終日に 6 つの項目それぞれについて筆記での試問を行う。

(16 コマ)

実習室：M-301 (M-201、M-202 も使用する可能性あり)

No.	月	日	曜日	時限	講義テーマ	講義内容	担当者	所属		
1	10	24	火	3	生化学実験入門	生化学実験の用語と基礎知識 【M-21】	堤 良平	生化学		
2	10	24	火	4	準備	オリエンテーション	堀 隆一 萬代 研二 藤岡 正人 河野 俊之 板倉 誠 清成 信一 堤 良平 丸尾 知彦 山森 早織 亀山 孝三 高山 吉永 長尾 和石 三枝 智香	生化学 分子遺伝学 医学教育研究 開発センター 医療情報教育 研究部門		
3	10	31	火	3	各項目の実習	実習書記載の項目 I～VIを グループごとにローテーションして実施				
4	10	31	火	4						
5	11	7	火	3						
6	11	7	火	4						
7	11	14	火	3						
8	11	14	火	4						
9	11	21	火	3						
10	11	21	火	4						
11	11	28	火	3						
12	11	28	火	4						
13	12	5	火	3						
14	12	5	火	4						
15	12	12	火	3					各項目の実習・試問	実習書記載の項目 I～VIをグループ ごとにローテーションして実施・試問
16	12	12	火	4						

準備学習 (予習・復習)	予習： ・実習書を熟読し、当日の実験内容をよく理解しておくこと。 ・実習書の各項目の予習を当日までに終わらせておくこと。 ・実習書の内容で疑問点があれば当日までに調べておくこと。 復習： ・各課題の実験終了後に方法や結果を各自でまとめ、試問までに理解できない部分を解決しておく。 予習復習あわせて1回(2コマ)あたり4時間の準備学習を要する。
参考図書	(1) 教科書 『分子医化学実習書』北里大学医学部 編 (2) 参考図書 『エッセンシャル生化学』Pratt, Cornely 著(須藤, 山本, 堅田, 渡辺 訳)東京化学同人 『エッセンシャル細胞生物学』(中村桂子, 松原謙一 訳)南江堂
到達目標	1) 生化学・細胞生物学・分子遺伝学の実験を行うための基礎的な手技を理解し行うことができる。 2) 実験操作・実験結果を論理的に解釈および考察し、わかりやすく説明したり文章にまとめたりすることができる。 3) 生化学および分子遺伝学的手法によって、疾患や病態を分子レベルで解析することの重要性を説明できる。 4) 指導者および共同実験者と適切なコミュニケーションをとることができる。
評価基準	毎回の実習に取り組む態度(70%)および最終日に行われる実習内容に関する試問(30%)による。 原則として、すべての実習と試問に参加することで評価の対象となる。

遺伝子学

講義 M301-BM18

Molecular Genetics

科目責任者	藤岡 正人
担当者	藤岡 正人*・亀山 孝三*・高山 吉永*・長尾 和右*・三枝 智香*
実務経験のある教員	藤岡 正人：医療機関、研究機関での臨床経験、研究歴を踏まえ、一般臨床における遺伝学の有用性につき概説する。 亀山 孝三：研究所での研究歴を踏まえ、基本事項から最先端のトピックについて概説する。 長尾 和右：研究所での研究歴を踏まえ、基本から最先端まで概説する。 三枝 智香：研究所での研究歴を踏まえ、基本から最先端まで概説する。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナルリズムと倫理： 4. 知的探究と自律的学習：◎ 7. 予防医学： 2. コミュニケーション能力： 5. チーム医療： 8. 地域医療： 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全： 9. 国際貢献：
授業の目的	生化学が生体内の分子を化学的側面から研究するのに対し、分子生物学は、遺伝情報（生命の設計図）の流れやその発現制御機構を中心に生命現象を扱う学問である。分子生物学は、微生物学や遺伝学、生化学を基にして始まり、近年、発がんや神経・免疫機構の究明に大きく貢献してきた。 ヒトゲノム計画により、約30億塩基対からなるヒト塩基配列が決定され、特定の遺伝病やがんの発症機序のみならず、生活習慣病等、複数の遺伝子や環境因子が影響する病気も塩基配列の違いで理解できるようになりつつある。従ってこれからの医師にとって最低限の遺伝子学の知識は必須である。 以上をふまえ、本科目では、ゲノムの構造と機能、遺伝子の発現制御機構などの分子生物学の基礎を、がん、遺伝子疾患、より高次の生命現象と関連づけて理解することを目標とする。
教育内容	「細胞生物学」で学んだDNAを中心とした分子生物学の基礎をより深めるとともに、遺伝子情報の意味、遺伝子工学を理解するための基本事項から始まり、がん研究や遺伝子診断などの、医学における分子生物学の最前線の話も交えながら講義を進める。
教育方法	プリントを配布し、これに従って講義を進める。 遺伝子学実習では、学生にウェブサイトアクセスしてもらい、ヒトゲノム、遺伝子について情報収集を行う。講義時間内に問題を提示し、解答を説明し、フィードバックする。

(20コマ)

講義室：M-21・22、M-35

No.	月	日	曜日	時限	講義テーマ	講義内容	担当者	所属
1	9	7	木	2	基本の復習	核酸の構造とセントラルドグマ	藤岡 正人	分子遺伝学
2	9	14	木	2	核酸、染色体の構造	核酸構造の特徴と相互作用	高山 吉永	分子遺伝学
3	9	21	木	2	染色体の構造	染色体の成り立ちと特徴	高山 吉永	分子遺伝学
4	9	28	木	2	組換えDNA技術	DNAを切る、つなぐ、増やす、読む	高山 吉永	分子遺伝学
5	10	3	火	2	原核生物の遺伝子発現の制御	プロモーター配列とRNAポリメラーゼ、転写因子、オペロン	長尾 和右	分子遺伝学
6	10	5	木	2	真核生物の遺伝子発現の制御	真核生物の遺伝子発現は複雑に制御される	高山 吉永	分子遺伝学
7	10	10	火	2	RNAプロセッシング	転写から成熟メッセンジャーRNAができるまで	長尾 和右	分子遺伝学
8	10	11	水	3	翻訳	翻訳の基礎および真核生物と原核生物の翻訳の違いとその臨床応用	三枝 智香	分子遺伝学
9	10	12	木	2	低分子RNAの多彩な機能	RNAが支配する遺伝子の発現調節	三枝 智香	分子遺伝学
10	10	18	水	3	DNAの修復、複製	DNA傷害の要因とその修復の仕組み、複製開始点、岡崎フラグメント	長尾 和右	分子遺伝学

11	10	19	木	2	ゲノム	ヒトゲノム解読とポストゲノム時代	長尾 和右	分子遺伝学
12	10	25	水	3	がん遺伝子	がん遺伝子発見の歴史、変異とシグナル伝達への影響	亀山 孝三	分子遺伝学
13	10	26	木	2	がん抑制遺伝子	細胞周期のチェックポイント、p53、Rb 遺伝子を中心に	亀山 孝三	分子遺伝学
14	11	1	水	3	抗体の多様性	免疫グロブリン遺伝子の再構成の仕組み	高山 吉永	分子遺伝学
15	11	2	木	2	ミトコンドリアの遺伝子	独立した遺伝子ミトコンドリア DNA	三枝 智香	分子遺伝学
16	11	9	木	2	遺伝子関連法規制	遺伝子にまつわるさまざまな法規制	高山 吉永	分子遺伝学
17	11	16	木	2	遺伝子診断	様々な遺伝子変異とその検出法	高山 吉永	分子遺伝学
18	11	30	木	2	遺伝子工学・バイオテクノロジー	バイオテクノロジーの基礎から応用まで	藤岡 正人	分子遺伝学
19	12	6	水	2	遺伝子学実習 (AB クラス) 【M-35】	ウェブサイトからの塩基配列情報の入手	担当者全員	分子遺伝学
20	12	6	水	3	遺伝子学実習 (AB クラス) 【M-35】	ウェブサイトからの塩基配列情報の入手	担当者全員	分子遺伝学
19	12	14	木	2	遺伝子学実習 (CD クラス) 【M-35】	ウェブサイトからの塩基配列情報の入手	担当者全員	分子遺伝学
20	12	14	木	3	遺伝子学実習 (CD クラス) 【M-35】	ウェブサイトからの塩基配列情報の入手	担当者全員	分子遺伝学

準備学習 (予習・復習)	<p>予習：細胞生物学で学んだゲノム、遺伝子に関する事項を復習しておくこと。 復習：遺伝子学は前回までに学んだことを理解していないと、次の講義が理解しにくいことが多いので、配布資料で復習するとともに、判りにくい点は参考図書で学習すること。 各講義 60 分の準備学習を行うこと。</p>
参考図書	<p>参考図書 『エッセンシャル細胞生物学 第 5 版』B. Alberts 等著 中村桂子、松原謙一 訳 南江堂 『分子生物学イラストレイテッド 改訂第 3 版』田村隆明、山本雅 編 羊土社</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 核酸の構造を理解し、塩基配列、遺伝子、染色体、ゲノム (多様性を含む) およびこれらの関係について学び、説明できるようになる。 2. 複製、転写、翻訳の機構について学び、説明できるようになる。 3. 遺伝子の発現制御について学び、説明できるようになる。 4. 発がんの分子機序について学び、説明できるようになる。 5. ゲノムの損傷とその修復について学び、説明できるようになる。 6. DNA 変異と遺伝子病について学び、説明できるようになる。 7. PCR 法、ES 細胞、iPS 細胞、遺伝子組換え動物など、バイオテクノロジーの原理とその応用について学び、説明できるようになる。
評価基準	<p>定期試験 85%、講義・演習内の活動 (小テストを含む) 10%、レポート 5%</p>
A V 資料	<p>入門・ゲノム科学 I. 遺伝子の世界 II. ヒトゲノムの現在・将来 III. 遺伝子と病気 NHK スペシャル・驚異の小宇宙・人体Ⅲ遺伝子 DNA (入門編) ①ヒトの設計図、②病気の設計図、③人類の期限、④老化と死、 ⑤精神の設計図、⑥未来人の設計図</p>
その他 注意事項	<p>わからなくなったら細胞生物学や一般の生命科学の啓蒙書を読む。臨床現場では、低学年で教わった基礎を前提として議論されることが多いので、暗記に走らず、理解しながら学習してほしい。</p>

早期体験学習Ⅰ

演習 M301-CP13

Early Clinical Exposure I

科目責任者	守屋 利佳 (医学教育研究部門)
担当者	守屋 利佳 *・千葉 宏毅 *・河村 晃依 (兼・医療衛生学部) * 青木 節子 (非・北里大学 SP 研究会) *・西成 真琴 (循環器内科) * 神應 知道 (非・新町クリニック) *
実務経験のある教員	医療者 (医師・作業療法士) としての経験を活かして多職種連携への取り組み方や医療に必要な基本的な知識・技術の指導を行う。様々な医療の現場で勤務した医師としての経験から、医師のキャリアを考えるきっかけを提示し、指導する。模擬患者のコーディネーターの経験から、患者の立場としてコミュニケーションに関する指導に貢献する。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナリズムと倫理：○ 4. 知的探究と自律的学習：◎ 7. 予防医学：○ 2. コミュニケーション能力：◎ 5. チーム医療：◎ 8. 地域医療： 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全：○ 9. 国際貢献：
授業の目的	医師として個々の患者さんに適した医療を提供するためには、医学以外の知識、医学的知識、技能、適切な態度を身に付ける必要がある。医学的知識は加速度的に倍増しており、自らの学びを振り返り、自律的に学習できることも大切である。この科目では、医学生として必要な基本的なスキル (BLS、標準予防策、車椅子操作法など) を習得するとともに本学の病院における医療現場に身を置き、自分が取るべき振る舞いやコミュニケーションのとり方を改善すること、医学生としての自覚を深め、学びの基盤とすることを目標とする。
教育内容	グループワークと実習 <概要> ①オリエンテーション ②BLS 講習会 ③振り返り (振り返りの意義と目的を知り、実践する) ④キャリアデザイン ⑤スタンダードプリコーション：講義と実習 ⑥体験当直 ⑦高齢者体験・車椅子操作法実習 ⑧コミュニケーション実習 (模擬患者さんと話そう)
教育方法	①オリエンテーション：講義 (学年全体) ②BLS 講習会：講義及び実習 (各回2クラスずつ：午前午後) ③振り返り：講義とグループワーク ④キャリアデザイン：講義とグループワーク ⑤スタンダードプリコーション：講義と実習 (各回1クラス) ⑥体験当直：病院内実習 (各回3名) ⑦高齢者体験・車椅子操作法実習：講義と実習 (各回1クラス) ⑧コミュニケーション実習 (模擬患者さんと話そう)：講義とグループワーク (各回1クラス) ・グループ編成は別途 moodle に掲示 ★⑤、⑦は医学原論との組み合わせで実施 ★実習を振り返り、ポートフォリオ (レポートを含む) をまとめる。随時全体又は個別にフィードバックを行う

No.	月	日	曜日	時限	講義テーマ	講義内容	担当者	所属
1	5	22	月	3	オリエンテーション	早期体験学習1を学ぶにあたって	守屋 利佳・ 千葉 宏毅	医学教育研究部門
2	6	3	土	1	BLS (Basic Life Support) A/C クラス	AEDを含めたBLSの意義を講義 で学び、実践する	守屋 利佳・ 千葉 宏毅・ 齋藤 有紀子・ 西成 真琴 他	医学教育研究部門 医学原論研究部門 循環器内科学 湘央学園
3				2				
2	6	3	土	3	BLS (Basic Life Support) B/D クラス	AEDを含めたBLSの意義を講義 で学び、実践する	守屋 利佳・ 千葉 宏毅	医学教育研究部門
3				4				
4	6	5	月	3	振り返り	BLSの振り返りを通して、「振り返り」の意義と方法を学ぶ	守屋 利佳・ 千葉 宏毅	医学教育研究部門
5				4	キャリアデザイン	先輩医師のキャリアを聞き、将来像を描く(講義とグループワーク)	守屋 利佳・ 千葉 宏毅 神徳知道	医学教育研究部門 新町クリニック
6	8	29	火	3	スタンダードプリコーション クラスは未定 (除：原論演習・実習参加者)	・手洗いの基本を習得し、衛生操作を身につける(講義と実習)	守屋利佳・ 千葉宏毅	医学教育研究部門
				4	スタンダードプリコーション クラスは未定 (除：原論演習・実習参加者)			
9/～11/					体験当直(夜間)	内科・外科・小児科の当直を見学し、臨床の現場を実感する	守屋利佳・ 千葉宏毅	医学教育研究部門 救急内科・外科・小児科
6	9	5	火	3	*冒頭で体験当直の説明【全員対象】 スタンダードプリコーション クラスは未定	・手洗いの基本を習得し、衛生操作を身につける(講義と実習) ・9/5 体験当直の説明を1年生全員に実施(301実習室にて)	守屋利佳・ 千葉宏毅	医学教育研究部門
				4	スタンダードプリコーション クラスは未定			
7 ・ 8	9	12	火	3	高齢・車いす体験 Aクラス	障害者や高齢者の感覚をシミュレーターを用いて体験し、器具の操作や援助方法を実践する(4日のうち指定の1日参加。受講日以外の90名は医学原論)	河村晃依	医学教育研究部門
				4				
	9	19	火	3	高齢・車いす体験 Bクラス			
				4				
9	26	火	3	高齢・車いす体験 Cクラス				
			4					
9	10	3	火	3	高齢・車いす体験 Dクラス			
				4				
9 ・ 10	10	10	火	3	コミュニケーション講義 A/Dクラス	世代間、性別など、背景の異なる人とのコミュニケーション(講義)	守屋利佳・ 千葉宏毅	医学教育研究部門
				4	コミュニケーション演習 A/Dクラス	世代間、性別など、背景の異なる人とのコミュニケーション(グループワーク)	北里大学SP研究会 模擬患者	北里大学SP研究会
9 ・ 10	10	17	火	3	コミュニケーション講義 B/Cクラス	世代間、性別など、背景の異なる人とのコミュニケーション(講義)	守屋利佳・ 千葉宏毅	医学教育研究部門
				4	コミュニケーション演習 B/Cクラス	世代間、性別など、背景の異なる人とのコミュニケーション(グループワーク)他	北里大学SP研究会 模擬患者	北里大学SP研究会

準備学習 (予習・復習)	<p><予習> 具体的な内容は Moodle に掲示する。 毎回ごとに行うことが異なるが、事前に提示した事前学習を行って臨むこと。事前学習は履修済みとして講義や実習を行う。</p> <p><復習> 毎回ごとに自らの学びを振り返り、レポート記載などでまとめておくこと。 予習・復習あわせて1コマ当たり、1時間の学習を要する。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 基本的なスキル（BLS、標準予防策、車椅子操作法など）を行うことができる。 2) 世代や性別などの異なる人とコミュニケーションができ、自身のコミュニケーションについて特徴を確認できる。 3) 医師としてのキャリアについて述べるができる。 4) 医師や医療に関わる多職種の夜間の仕事について具体的にイメージすることができる。 5) 自らの学びを振り返り、互いにフィードバックをすることができる。 6) 医療者を指すものとして適切な振る舞いをするができる。
評価基準	<p><評価> ①基本的スキルの修得状況と参加姿勢や態度（40％）スキルに関しては、その場でフィードバックを行う ②ポートフォリオ（各回の振り返り、レポートなどの学習の足跡が分かるもの：40％） ③ moodle への課題提出状況（20％） 上記を総合的に評価する ※欠席や遅刻などは減点の対象とする ※試験期間でのペーパーテストは実施しないが、上記採点が合格点に達しない場合は、再試験の代わりにポートフォリオ再提出などの再評価を行う。</p>
その他 注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医学原論との組み合わせで少人数のグループワークを行うことが多いので、「学習ガイド」を熟読し、各自学習内容を確認しておくこと。 ・ 提示した事前学習を必ず行って講義に臨むこと。 ・ 社会情勢によってスケジュールや内容が変更になることがある。

Patient Safety and Healthcare Administration

科目責任者	内山 勝文
担当者	内山 勝文*
実務経験のある教員	特定機能病院での臨床経験が豊富な医師が、医療の質の向上と医療安全の推進について、コミュニケーションスキル、問題解決スキル、危険予知能力など、具体的事例に基づいて講義をする。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナルリズムと倫理：◎ 4. 知的探究と自律的学習：○ 7. 予防医学： 2. コミュニケーション能力：◎ 5. チーム医療：◎ 8. 地域医療： 3. 医学的知識と技術：◎ 6. 医療の質と安全：◎ 9. 国際貢献：
授業の目的	ヒューマンエラーの特性から医療過誤の実態、予防、事故後の問題解決、質の高い医療提供体制とそれを支える医療マネジメントまでの広い意味での医療安全と医療管理学の基礎を習得する。 医学の習得段階に応じて1年生で導入を行い、臨床実習前の3年生で再度、医療安全の基礎と各論、医療安全マネジメントについて学ぶ。 第1学年では過去の代表的医療事故事例を通して、患者安全の重要性とヒューマンエラーの特性やチーム医療における医療の安全確保について、さらにインシデントレポートの重要性について学ぶ。 第3学年では医療安全の基礎と各論（1年生での講義の復習と医療事故の歴史、原因と予防、事故後の対応、コミュニケーションスキルを養うためのチーム STEPPS）と、医療の質とその評価、医療組織や医療安全マネジメントについて学ぶ。
教育内容	医療安全や医療安全マネジメントは知識の伝授のみで身につけることはできない。コミュニケーション、リーダーシップ、状況認識、意思決定など医療技術とは異なるノンテクニカルスキルの涵養が重要である。1学年において具体的な医療事故から原因としてのヒューマンエラーの特性、医療現場の窮状や社会的背景インシデントレポートの重要性について学んだうえで、3学年になり、医学的知識が増えるのに合わせて、具体的な医療事故の事例研究、医療安全マネジメントに必要な能力、自ら考え説明し、解決する問題解決能力を養うことを目指す。
教育方法	①知識を伝授する講義のみではなく、グループワークなどを通じて問題解決能力の習得を図る。 ②医療現場のシミュレーションを通じて、危険予知、院内安全対策の実態（フェイルセーフ・フルプルーフなど）を理解する。 ③事例研究を通じて医療事故発生時の対応、医療危機管理および原因分析手法を体得する。 ④知識の伝授だけでなく、ケースメソッドを用いた教授法により討論を通じて考え、自ら問題解決できる能力を養う。 1年次においては、上記①～④の準備として、事例から問題点の抽出と実現可能な解決策の立案を学ぶ。次の授業で課題の中の特徴的な見解や誤解についてコメントする。

(2コマ/8コマ)

講義室：M-21・22、M-35

No.	月	日	曜日	時限	講義テーマ	講義内容	担当者	所属
1	7	11	火	1	医療安全の基本1	医療安全とヒューマンエラー	内山 勝文	医療安全・管理学
2	7	18	火	1	医療安全の基本2	インシデントレポート	内山 勝文	医療安全・管理学
3	第3学年で実施				医療安全とは	医療安全の基礎	内山 勝文	医療安全・管理学
4	第3学年で実施				医療事故	医療事故・医療事故調査制度	内山 勝文	医療安全・管理学
5	第3学年で実施				ノンテクニカルスキル(1)	医療安全に必要なスキルを体験する(KYT)	内山 勝文	医療安全・管理学
6	第3学年で実施				ノンテクニカルスキル(2)	医療安全に必要なスキルを体験する(ノンテクニカルスキル)	内山 勝文	医療安全・管理学

7	第3学年で実施	コミュニケーション	チーム STEPPS	内山勝文・安藤 寿・荒井有美・箱田美知恵・富沢 淳・菊地弘美	医療安全・管理学
8	第3学年で実施	コミュニケーション	チーム STEPPS	内山勝文・安藤 寿・荒井有美・箱田美知恵・富沢 淳・菊地弘美	医療安全・管理学
準備学習 (予習・復習)	<p>授業のあとレポート提出は必須となる。内容はインシデントレポートを報告する重要性を理解しているか評価する。</p> <p>1 コマあたり予習・復習あわせて2時間の準備学習を要する。</p>				
参考図書	<p>①医療におけるヒューマンエラー 河野 龍太郎 医学書院</p> <p>②医療・介護問題を読み解く 池上直己(日経文庫)</p> <p>③MBA 流ケースメソッドで学ぶ医療経営学入門 渋谷明隆(日経 BP)</p> <p>④MBA 流ケースメソッドで学ぶ医療経営学入門 II 渋谷明隆(日経 BP)</p> <p>⑤医療安全ことはじめ 中島和江、児玉安司(編) 医学書院</p> <p>⑥医療経営フレームワーク入門 渋谷明隆 (日経 BP)</p> <p>⑦医療安全多職種でつくる患者安全をめざして、山内豊明、荒井有美：南江堂、2015</p> <p>⑧今日からのリスクマネジメント実践講座 鮎澤純子 看護学雑誌 63、医学書院、587,1999</p> <p>⑨WHO患者安全カリキュラムガイド多職種版 2011、東京医科大学</p> <p>⑩患者安全、CharlesVincent：篠原出版社、2015</p> <p>⑪ Safety-1 & Safety-2—安全マネジメントの過去と未来、エリックホルナゲル：2015</p> <p>⑫知識創造企業、野中郁次郎、竹内弘高：東洋経済新聞社、2016</p> <p>⑬組織事故一起こるべくして起こる事故からの脱出、ジェームズブリーズン、日科技連、1999</p>				
到達目標	<p>①ヒューマンエラーの概略を述べることができる。</p> <p>②医療事故の原因を列挙できる。</p> <p>③医療事故とヒューマンエラーの関連を説明できる。</p> <p>④医療事故の予防における良好なコミュニケーションとチーム医療の重要性を説明できる。</p> <p>⑤医療事故後の対応や危機管理について説明できる。</p> <p>⑥医療の質を評価する指標を列挙できる。</p> <p>⑦安全で質の高い医療を効率的に提供するための自己および医療組織、医療安全マネジメントについて説明できる。</p>				
評価基準	<p>1 年次においては、授業中の発言とレポート（インシデントレポートを報告する重要性を理解しているか評価する）で総合的に判断する。発言 30% レポート 70%</p>				
その他 注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 コマのみ配当の学年において1 コマ以上欠席の場合は、追加レポートを課し、合否を決める場合がある。 ・ 3 年次の定期試験で行われる筆記試験の受験資格については、最終学年までの総コマ数の1/3 以上欠席した場合は受験資格を与えない。 				

テュートリアル教育 I

演習 M301-CC04

Tutorial I

科目責任者	草野 央
担当者	堺 隆一*、狩野 有作*、板倉 誠*、新井 雄太*、中西 彦彦*、 福田 英一、細野 加奈子、佐藤 崇
実務経験のある教員	臨床経験を踏まえ、チーム医療の重要性について概説する。
卒業・学位授与の方針と当該科目の関連	1. プロフェッショナリズムと倫理： 4. 知的探究と自律的学習：◎ 7. 予防医学： 2. コミュニケーション能力：○ 5. チーム医療：○ 8. 地域医療： 3. 医学的知識と技術： 6. 医療の質と安全： 9. 国際貢献：
授業の目的	<p>講義のように人から「教えてもらう」という受動的な知識伝授型の教育では、広範な知識を効率的に得ることはできるが、最先端に立った時、自ら道を切り開くこと術を学ぶことは難しい。大学に至る日本の教育では、自ら学び議論を積み重ねて研鑽を積むことに欠けていることが否めない。今後の医学、特にそのフロンティアを進むためには自ら能動的に情報を集め、体系化し、議論を通じて知識を蓄積し、深く理解して自ら考える能力を培うことが必要である。</p> <p>今日、医学の情報は日々増大しており、多くの情報を簡便に集めることが容易になった反面、正しい知識を得るための情報の取得方法とその選択の術を学ぶことも非常に重要となっている。</p> <p>テュートリアル学習では、自分で情報を集め、選択し、考え、仲間と議論することで問題を解決することにより、知識を多面的に深く理解する事が可能となる。チーム内でのコミュニケーションを図り、自分の考えを正確に論理的に相手に伝え、同時に自己主張をすることだけでなく相手の考えを理解することを学ぶ。また、チューターと密に接し、仲間と協力して問題解決に向かうことにより、チーム医療の大切さを学習する第一歩となる。</p>
教育内容	<p>テュートリアル学習とは一般には「チューターによる少人数教育」のことであり、医学教育においては、学生が、チューターとなる教員の助言を得ながら、個々の問題解決に必要な事柄を学ぶ方式の教育を指す。小グループ（6名位）において、学生が与えられた課題の文章中から疑問点や問題点を見つけ、それらの点について分担して教科書、文献、コンピュータなどを検索し、調べた事柄を分析、発表、討論して、知識を深め合いながら疑問点や問題点の解決を図っていき、この過程を通じて自己学習能力を伸ばすものである。これらを学生たちが自主的に行うことで、問題解決型の学習を体験することができる。</p>
教育方法	6～7名位の小グループで学習を行う。課題から疑問点や問題点を見つけ、分析、発表、討論をしながら解決を図っていく。フィードバックとして、発表会終了後に講評を行う。

(12コマ)

講義室：M-21・22他

No.	月	日	曜日	時限	講義テーマ	講義内容	担当者	所属
1	11	10	金	3	オリエンテーション	情報検索・収集の仕方について学習する 【M-36】	テュートリアル教育小委員会	
2	11	10	金	4				
3	11	17	金	3	テュートリアル学習	小グループに分かれ、各テーマについて学習する	各担当者	
4	11	17	金	4				
5	11	24	金	3	テュートリアル学習	小グループに分かれ、各テーマについて学習する	各担当者	
6	11	24	金	4				
7	12	1	金	3	テュートリアル学習	小グループに分かれ、各テーマについて学習する	各担当者	
8	12	1	金	4				

9	12	8	金	3	テュートリアル学習	小グループに分かれ、各テーマについて学習する	各担当者	
10	12	8	金	4				
11	12	15	金	3	テュートリアル発表会	ローテーションでグループごとに発表する 【M-21, 36, 37】	テュートリアル教育小委員会	
12	12	15	金	4				
準備学習 (予習・復習)					予習：図書館等を利用し、情報収集方法・文献検索・インターネット検索等を体験しておくこと。(30分程度) 復習：学習過程や考察を学習ノートにまとめ、単に資料のコピーだけの記録にならないようにすること。 オリエンテーションで配布する評価のルーブリックを読んでおくこと。(30分程度)			
到達目標					1) 問題点、疑問点の抽出ができる。 2) 問題解決のための適切な情報調査ができる。 3) 自分の意見を要領よく相手に伝えることができる。 4) 相手の意見を理解し受領することができる。 5) 建設的な討論により自分の主張と相手の意見との相違を認識し、すり合わせができる。 6) 自己学習と討論を通じて、問題点の深い理解ができる。 7) 調査した情報と自分の考えを整理して、問題解決ができる。 8) 発表を通じて、情報や考えを十分に伝達できる。 9) 医学・医療に必要な記述・数値・情報を正しく読みとり理解して活用するための基礎知識を習得できる。 10) テュートリアルⅡで行う、より臨床に即した課題への対応への道筋ができる。			
評価基準					ノートおよびチューター評価 90%、その他提出物や発表会 10% で評価する。オリエンテーションで配布する評価のルーブリックを読んでおくこと。			
その他 注意事項					学習ノートを中心とした評価が基準に達しない場合、再試験としてレポートの再提出を求める。			

19. 本学の特色ある教育科目

特色ある教育科目

本学では、特色ある教育科目として「北里の世界」「農医連携論」「仕事と人生」「チーム医療論」を展開しています。

「北里の世界」

細菌学・免疫学の基礎を築き、予防医学の面で多くの人命を救った北里柴三郎の事績を学び、その理念が結実した本学の現況を理解するとともに、生命科学系総合大学に学ぶ私たちに求められている『生命科学・医学の進展と制御』、また、その『両者の調和』を図ることを学ぶ。

「農医連携論」

農医連携ってなに？と疑問を持つ一年生の皆さんは多いことでしょう。「農」を食・環境・多様な生命、「医」を人の健康の維持・増進ととらえれば、農医連携の目指すところは「あらゆる生命との共存を図りながら、食・環境と人の健康の維持・増進とのつながりを考えるための連携」と理解できます。今後、豊かで持続可能な健康な社会を作るために農医連携は大きなヒントを与えてくれるでしょう。ぜひ受講して下さい。

「仕事と人生(未来への羅針盤)」

“仕事と人生”の底流は、科学と技術の進化にしたがう社会構造の移り変わり、あるいはジェンダーなどの理解を含む個と集団のつながりの変化にともない、常に変動する。生命科学を基盤とする様々な分野の話から、未知の世界を見開きして視野を広げることにより、“未来への羅針盤”として自身の今後の人生を考える契機とすることを学ぶ。

「チーム医療論」

生命科学、医学の進展に伴って医療は急速に高度化・細分化しており、複数の医療専門職の知を結集して行わなければ個々の患者に対して最善の医療を提供することは困難となっている。さらに、医療に対する社会のニーズも大きく変化しており、単に病気を治すばかりでなく、どのように診断・治療が行われるか、倫理的、心理的、社会的な側面も含めた対応が求められており、医療の質が大きく問われている。

患者を中心とした最適な医療を実践するために、医療の流れ、医療チーム構成員とその職能、役割、医療倫理をはじめとしたチーム医療に関する基本的知識を学ぶ。

※医学部では、「北里の世界」「農医連携論」「仕事と人生」は履修できません。

※「チーム医療論」は18、講義内容（医学部専門科目）を参照してください。

授業期間	2023年度 前期・後期 授業対象 【前期】指定なし（P学部除く）金2 / 【後期】[必修]木2（P学部）			
科目名	北里の世界 (The World of Kitasato)			
科目責任者	江川 徹	単位数	1単位	
担当者	島袋 香子/江川 徹/森 孝之/石多 正明/檀原 宏文※			
授業の目的	1年次の皆さんが、これから4年間あるいは6年間を北里大学で過ごし、それぞれの専門課程へ進むにあたり、生物界の一部としての人類を見つめ、サイエンスやテクノロジーとの調和を図りながら「生命に対する畏敬の念」を持つという視点から、科学に基づいて考え行動する力を養成するために、以下のごことを目標とします。 1. 近代日本医学の黎明期を支え、免疫動物の血清を用いた画期的な予防治療法を発見し、細菌学・免疫学の基礎を築いた学祖、北里柴三郎の事績や生きた時代、そこに込められた思い、さらに、北里の学統を継承し、2015年ノーベル生理学医学賞を受賞した大村智の研究業績などを知ることにより、医療従事者・研究者を教育などを志す者として、人類に恩恵を与える生命科学・医学の進展とその制御の重要性を理解する。 2. 大学の理念は、基礎研究や応用を通して社会貢献をすることである。しかし、最先端の科学は、時として人間による制御を越えて自己増殖する危険性をはらんでおり、大きな倫理的な問題も惹起する。研究倫理を遵守することや大学という最高学府で学ぶことの意義を理解し、今後の学習に対する目標やモチベーションを獲得する。			
教育内容	科学者としての北里柴三郎とその弟子たち、柴三郎が生きた時代背景を知り、北里研究所および北里大学の歩みをたどるとともに、生命科学・医学の最先端を知り、科学的なものの見方、考え方、学ぶことの面白さを理解する。(キーワード) 生命科学/北里柴三郎/細菌学/免疫学/感染制御/チーム医療/農医連携/創薬/臨床研究/福沢諭吉			
教育方法	学長、副学長をはじめ、本学の名誉教授、北里柴三郎記念室の職員など多彩な講師による多面的な視点によりオムニバス形式の講義を展開し、北里大学全体を俯瞰する。また教育効果を高めるため、課題を提示し、小論文試験を課す。講義はプリントやPC（プレゼンテーション）、ビデオ上映による講義形式、記念館展示室見学によるフィールドワークで行う。 【フィードバックの方法】小論文の採点結果について、講師から総評としてコメントを Moodle（学習支援システム）でフィードバックする。			
準備学習(予習・復習)	予習：授業内容に関連した文献を読んでおくこと。復習：授業中に取り上げた文献を読み直し自分の考えをまとめる。授業時間外学習：30時間			
回	担当者	項目	授業内容	
1	島袋 香子 学長 江川 徹 副学長【対面】	北里大学で学ぶために 【前期】4/14【後期】9/7	ガイダンス/生命科学と研究倫理、大学で学ぶことの意味。大村智北里大学特別栄誉教授の研究業績について。	
2	森 孝之 北里柴三郎 記念室【対面】	北里柴三郎の人生と行動、ポリシーの紹介 【前期】4/21【後期】9/14	映像で北里の生涯をたどる。医学研究とその実践に全力を傾注した北里。彼が著した『医道論』と、彼が日本政府に宛てた書簡『留学延期願』から北里が理想とする医者のあるべき姿を考察する。	
3	森 孝之 北里柴三郎 記念室【対面】	北里柴三郎の功績～見えざる敵、伝染病との戦い～ 【前期】4/28【後期】9/21	毎年繰り返される伝染病の流行を封じ込めるために北里柴三郎がとった行動を考察する。研究拠点の立ち上げと、公衆衛生観念の向上、衛生行政との連携を促進、これらの施策は医療の近代化として効果的であったのか。	
4	石多 正明 北里大学 名誉教授 【対面】	北里柴三郎が生きた社会と文化 【前期】5/12【後期】9/28	北里柴三郎が生きた1853年～1931年の日本、そしてヨーロッパの社会や文化はどのようなものだったのか。先祖の人格、そしてあのパワーを生み出した時代の諸相を考察する。	
5	檀原 宏文 北里大学 名誉教授 【対面】	細菌学者としての北里柴三郎～血清療法とノーマル賞～ 【前期】5/19【後期】10/5	破傷風菌はどのようにして純粋培養され、そしてこれほどのように血清療法の創始に発展していったのか。さらにこれらは免疫学の発展にどのように寄与したのか。北里柴三郎の原著論文からこれを読み解く。	
6	檀原 宏文 北里大学 名誉教授 【対面】	細菌学者としての北里柴三郎～ベスト菌の発見と「学者の一分」～ 【前期】5/26【後期】10/12	ベスト菌は北里柴三郎とエルサンがそれぞれ独立に香港で発見した。しかし、ベスト菌の学名は <i>Yersinia pestis</i> (エルサンのペスト菌) である。何故か。香港のラウン医師の日記からこの理由を読み解く。	
7	森 孝之 北里柴三郎 記念室【対面】	北里柴三郎の弟子たち 【前期】6/2【後期】10/19	衛生立国を標榜した北里の学統を継承した弟子達。彼らが北里大学に込めた思いとは何かを考察する。	
8	江川 徹 副学長【対面】	北里柴三郎記念館展示室見学	資料・書簡・北里博士が実際に使用した実験器具等に接し、業績とその生涯を実感する。興味を持った点、感銘を受けた点などをレポートとして提出。(授業全体のアンケートを含む)	
到達目標	1. これから何をめざして進むべきか、自己探求のきっかけをつかみ、北里大学で学ぶことの意義や学び方を理解できる。 2. この授業で学修したことから、自分は北里大学の学生として、どのように過ごすか、また、就職活動や留学の際などに北里大学って、どんな大学ですか?何を学びましたか?という質問に、どう回答するかを結びつけて考えることができる。			
成績評価の方法と基準	試験方法：その他 実施時期：試験期間外 ①小論文試験：A4判 約1,200文字。出題担当者：石多、檀原、森。小論文提出：各課題提示の別途指示する。採点：各担当者の採点を合計して90点とする。②北里柴三郎記念館展示室見学：10点（白金キャンパス、記念館展示室内にて出欠を取る）。後期の見学期間等の詳細は別途掲示する。成績評価は①小論文試験と②記念館展示室見学の合計100点満点で評価する。なお、小論文・見学課題を Moodle に提出できなかった場合に対しては、一切の救済措置はとらないで注意すること。			
学生へのメッセージ(その他注意等)	積極的に取り組めば学生生活に自信と誇りが生まれる。自分の中の秘められた可能性を見つけよう。			
実務経験の授業への活用方法	【檀原 宏文】 研究所での細菌研究を通して北里博士の功績に触れ、細菌学者としての北里博士や細菌学の意義を概説する。			
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価(円)
参考書	ラウソンレポート	檀原宏文	北里柴三郎記念会発行	
参考書	北里柴三郎学術論文集	林志津江、森孝之 檀原宏文、手塚甫	学校法人北里研究所発行	
参考書	北里柴三郎 / 増補 北里柴三郎とその一門	長木大三	慶応義塾大学出版会	
参考書	破傷風菌論	北里柴三郎、中村桂子	哲学書房	
参考書	徹底解剖！北里柴三郎：一不撓不屈の精神で予防医学の礎を築いた人	森孝之	北里研究所北里柴三郎記念室	

授業期間	2023年度 前期 授業対象 指定なし（PL学科 [必修]）金2 <履修推奨科目>			
科目名	仕事と人生（～未来への羅針盤～） (Vocational Education)			
科目責任者	高橋 明義	単位数	1単位	
担当者	高橋 明義／高橋香代子※／清野 正子※／青木 友寛※／金原 嘉子※／山下 真由※／佐々木洋武※／伊藤 道彦※			
授業の目的	「仕事と人生」の底流は、科学と技術の進化にしたがう社会構造の移り変わり、あるいはジェンダーなどの理解を含む個と集団のつながりの変化にもない、常に変動する。生命科学を基盤とする様々な分野の話から、未知の世界を見聞を広げることにより、「未来への羅針盤」として自身の今後の人生を考える契機とすることを、この講義の目的とする。			
教育内容	北里大学の理念「いのちを尊び、生命の真理を探究し、実学の精神をもって社会に貢献する」に則り、多様な社会で働く人の生き方を見聞させることにより、夢や希望を抱かせ、向学心を高める。また、社会や考え方の多様性を認識させる。さらに、未知の世界を知らせ、視野や思考経路を広げることにより、社会を生き残るための「理系+αの知識と思考力・創造力」の必要性を理解させる。			
教育方法	下記にあげる参考書等を材料とする、学内外の講師によるオムニバス形式の講義。 【フィードバックの方法】 初回講義に課題を出し、それに対するレポートの内容を次回以降の講義内容に反映する。			
準備学習 (予習・復習)	【授業時間外に必要な学習の時間：30時間】 予習：下記の「授業内容」にあげた参考書等の精読。 復習：講義を受け考えたこと、重要だと感じたことの本まとめ。			
回	担当者	項目	授業内容	
1	高橋 明義 高橋香代子 (6/9) 【対面】	オリエンテーション 【副学長・就職センター長】 出会いの一つ一つが自分にとっての「仕事」をかたどっていく 【医療衛生学部 教授】	講師を紹介し、本講義の目的と全体像を示す。（講義ガイダンス） 作業療法士を目指して北里に入学し、大学から大学院へ進学、さらに米国留学へ、役割という意味での「仕事」の概念の変遷を、ライフステージにおける様々な出会いを通して紹介する。 参考書：仕事が入をつくる 著者名：小関 智弘 出版社：岩波書店	
2	清野 正子 (6/16) 【対面】	薬学と仕事～北里生の未来について～ 【薬学部 教授】	北里大学での教育・研究・就職の変遷について薬学部を例に概説する。各自が社会人として活躍する場所（仕事）を明確化・実現化するために、今、何を学び、経験するべきか意識することが出来る。 参考書：チーズはどこへ消えた？ 著者名：スベンサー・ジョンソン 出版社：扶桑社	
3	青木 友寛 (6/23) 【対面】	私たちが食の未来について～好きなことを仕事に選んだ私がさかなを通じて人生をデザインしていくまで～ 【農林水産省 輸出・国際局 国際経済課 国際専門職員】	世界の食料問題や我が国の食料事情等について概説したうえで、我が国の農林水産業、特に水産業の現状や課題について掘り下げて紹介する。その中で、国家公務員を就職先として選んだ経緯や水産庁で働いてきた自身の経験等を振り返り、受講者に向けて自分の生き方やキャリアをデザインするためのヒントやそれらを考えるためのきっかけを提供する。 参考書：道をひらく 著者名：松下幸之助 出版社：PHP 研究所	
4	金原 嘉子 (6/30) 【対面】	「自分らしく幸せな働き方」を実現させるためのマインドを磨こう 【(株)サクセスフルエイジングサポート 代表取締役】	看護師・保健師としての経験から学んだ「自分らしく幸せな働き方」とは？そして、今から実践できる、その働き方を実現させるためのマインドの磨き方を紹介・体験する。 参考書：心に響く！行動を促す！勇気づけ保健指導®&健康教育ハンドブック 「健やかで幸せな人生」を支えるマインドとスキル 著者名：加倉井さおり 出版社：とみん	
5	山下 真由 (7/7) 【対面】	夢が叶っても叶わなくても、自分の人生を生きられる大人になろう 【健康管理センター 助教】	働く人の心の支援をする中で考えた「仕事の選び方」「仕事への向き合い方」、そして、誰もがいつか迎えるかもしれない「人生で心折れた時の過ごし方」について伝えたい。 参考書：1リットルの涙 いのちのハードル 著者名：木藤 亜也 木藤 潮香 出版社：幻冬社	
6	佐々木洋武 (7/14) 【対面】	『夢と現実』今の自分に出来る事 【Meijiseika ファルマ(株) MR】	もしも自分の想い描いていた未来と少し違う場所に行きついてしまったら!? 『将来の夢≠仕事』だとしても、やり抜く事と志の重要性を紹介する。 参考書：すべては海かれている逆境を超え、人生を拓く5つの覚悟 著者名：田坂 広志 出版社：小学館	
7	伊藤 道彦 (7/21) 【対面】	Passion・Art・Love・Science と仕事 【理学部 准教授】	研究者、教育者、あるいは人間としての「仕事と人生」に関する個人的アフォーリズムを紹介する～瞬間を、今の時代を、楽しんで学ぼう！脳（経験）はDNAを凌駕する！～ 参考書：テキストの楽しみ 著者名：ロラン・バルト 出版社：みすず書房 (注：この参考書購入の判断は、講義を聴いた後をお願いします)	
8	高橋 明義 (7/28) 【対面】	まとめ 【副学長・就職センター長】	本講義での疑問、質問を受け付ける。	
到達目標	自分に与えられた時間と環境を認識し、自己の特性を理解したうえで将来の進路選択を含め、大学生活4年間（あるいは6年間）でやるべきことを自ら考え、人生計画の概要を設計できるようにする。			
成績評価の方法と基準	試験方法：レポート 実施時期：試験期間外 学期末レポート（90点）、課題レポート（10点）により評価する。			
学生へのメッセージ (その他注意等)	講義から様々なことを学び、学生生活を有意義に過ごすためのプランをつくりあげ、実践していくことを望みます。 また、目標へ到達する道筋はないので、受講後には是非とも友人とディスカッションをしてみてください。			
実務経験の 授業への活用方法	[高橋香代子] 大病院や医療衛生学部での実務経験から、北里大学での学生時代の経験が、どのように現在の仕事へと繋がっているか紹介する。[清野 正子] 大学にて教育と研究に従事してきた約30年間の経験について、自分の視点から、また送り出した卒業生の視点から、それぞれ例を挙げて紹介する。[青木 友寛] 国家公務員として働いてきた経験等を紹介し、キャリアや人生をデザインすることについて考えてもらうきっかけを提供する。[金原 嘉子] 健康支援の実務経験、更に病院→行政→独立という働き方の変化から得られた学びと気づきを伝える。[山下 真由] 臨床心理士として出会った多くの人たちから学んだこと、自分自身が社会人として、女性として、仕事を続ける中で考えたことを伝える。[佐々木洋武] 製薬会社での実務体験を踏まえ、激変する社会環境に於いて働くことの意味や心構え等を会社員の立場から紹介する。[伊藤 道彦] 研究所での基礎研究経験と本学での研究経験が、自身の研究人生（仕事）などどう関わってきたかを話す。			
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価 (円)
参考書	各講師の授業内容の欄を参照してください。			

授業期間	2023年度 後期			授業対象	指定なし 火2 ≪履修推奨科目≫		
科目名	農医連携論 (Agromedicine)						
科目責任者	向井 孝夫				単位数	1単位	
担当者	向井 孝夫/堤 明純※/佐藤 繁/伊藤 道彦/柿野 亘/清 和成※/小林 義典※/齋藤 尚子※/齋藤 有紀子						
授業の目的	農医連携ってなんだろう?という疑問を持つ学生諸君も多いだろう。本学がすすめる農医連携は農を「食・環境・多様な生命」、「医」を「人の健康の維持・増進」と捉え、両者が互いに理解しあい密接に結びつくことで、持続可能な健康長寿社会の土台をつくることを目指している。本講義では、生命科学を軸に学ぶ本学の学生が、持続可能な健康長寿社会をつくるために食や環境と心身の健康のつながりを理解することがいかに重要であるかを学び、現代社会あるいは将来起こり得る問題を幅広い視点で理解する。また、グループワーク、ディスカッションや発表を通して自分の意見を論理的に話す基礎能力を身につけることを最終目的とする。						
教育内容	人の健康とは何かを解説した上で、健康に及ぼす正と負の影響に関する食や環境問題の現状を紹介する。また、学生諸君においても、身近な健康問題と食や環境とのつながりを自発的に調べてもらい、問題解決への道筋を議論し考えてもらう。なお、本講義は、種々の専門を持つ教員が担当することで、学生諸君は自身の専門外に目を向け、幅広い柔軟な考えを身に付けることができるようになることを期待する。						
教育方法	複数教員によるオムニバス方式の講義を実施する。また、あらかじめ提示された課題に対するレポートを最終講義日のグループ演習時に提出する。最終講義日に課題についてグループワークを通して個人の意見を提示するとともに一つの意見に集約し、プレゼンテーションを行う。 【フィードバックの方法】グループごとにまとめられた発表に対して、複数の教員によるフィードバックをリアルタイムで取り、自身の考えを再考しリアクションペーパーとしてまとめる。						
準備学習(予習・復習)	【授業時間外に必要な学習の時間：30時間】 予習：ガイダンス時に紹介する授業内容に関連した文献を読んでおくこと。 復習：授業中に取り上げた資料や文献を読み直すこと。						
回	担当者	項目	授業内容				
1	向井 孝夫 (獣医学部) 【対面】	いまなぜ農医連携か? ～北里大学発 農医連携 (概説)～	北里大学で農医連携を推進する意義を理解する。				
2	堤 明純 (医学部) 【対面】	健康とは? ～医学からみた農医連携～	健康とは何かを理解するとともに、疾病を予防し、健康な状態で生命を延伸し、身体的・精神的機能の増進をはかるために、食に関わる健康リスクと予防について視野を広げる。				
3	佐藤 繁 (海洋生命科学部) 【対面】	海洋生物の多様性と健康とのつながり	海洋に生息する多様な生物は、食糧・医薬品などの生物資源としてだけではなく、地球環境の維持を通じて我々の健康に大きく貢献している。海洋生物の多様性の重要性について考える。				
4	伊藤 道彦 (理学部) 【対面】	陸生生物の多様性と健康とのつながり	地球上には200万種ほどの生物種が存在すると考えられている。生命進化と生物多様性について、環境とゲノム進化という観点から概説する。さらに、生物の多様性・食・環境・疾病とのつながりを進化的観点から考える。				
5	柿野 亘 (獣医学部) 【対面】	SDG'sと持続可能な水田稲作農法	SDG'sにおける目指すべきゴールのひとつである陸上生態系の保護・回復および持続可能な利用の推進に大きく影響を与える稲作農法を紹介し、今後の生態系保全と私たちの健康にも関わる稲作のあり方について考える。				
6	清 和成 (医療衛生学部) 【対面】	環境汚染と私たちの健康	人類は産業革命以後、物質的な豊かさの恩恵には恵まれたが、一方で有害物質の的確な管理や制御ができて、環境汚染や職業性暴露から多くの被害者を発生させてきた。また、開発途上国では、今なお基本的な衛生問題に直面している。現在の環境問題や衛生問題を、世界を見渡して解説・議論する。				
7	小林 義典 (薬学部) 【対面】	食と医薬、生活習慣と健康 ～東洋医学の視点から～	「健康長寿」は、現代人が実現すべき大きな目標の1つである。古来、人類は「不老長生」を夢とし、それを実現するために、様々な考察や試みが行われてきた。本講義では、「健康長寿」を実現するためのツールとしての食と医薬、生活習慣の改善について講義し、東洋医学の視点から考察する。				
8	堤 明純 (医学部) 【対面】	医学からみた食の安全・安心	公衆衛生的な視点から、食品の安全・衛生と食行動を材料に、健康障害の予防について考える。食品中の化学物質、微生物が健康に及ぼす影響及び評価について理解し、リスク回避のために生産、加工、流通、消費に渡って取るべき行動について考える。				
9	向井 孝夫・ 齋藤 尚子 【対面】	農医連携による新しい試み ～動物介在医療の実践的取組～	北里大学メディアセンターで実践している動物介在活動療法を紹介するとともに、その意義について理解する。				
10	向井 孝夫・ 佐藤 繁・ 齋藤 有紀子 (医学部) 【対面】	総合討論	21世紀における農医連携のあるべき姿を考える。そのために、学生の意見をとりまとめ、討論・発表する場を設置する。履修者数によってグループ分けし、数回に分けて行う。 【注意事項】 この講義は全10回です。10回目の最終講義は、履修者数によりグループ分けし、グループ毎に講義日が異なります(曜日・時間は変更なし)。グループ及び10回目の講義日については後日掲示にてお知らせします。				
到達目標	21世紀には農医連携の科学が不可欠であるとの理解ができる。農と医の歴史的背景が理解できる。						
成績評価の方法と基準	試験方法：なし 実施時期： 評価はレポート60% (各講義のまとめ60%) 課題に対するまとめ40%)と最後の講義時間に課すグループワークによる発表40%により評価する。						
学生へのメッセージ(その他注意等)	専門分野の境界を超えて、課題を解決する力をつけることが大切であることを伝えたいと思います。分野を超えた北里ならではの考え方が「農医連携」です。ぜひ受講して下さい。						
実務経験の授業への活用方法	1) 地域における食生活を含めた予防活動および食品中毒に関する治療経験から食と健康とのつながりを解説する(堤)。2) JICA 専門家として派遣された、タイ、ネパールでの環境問題、衛生問題に関する教育と調査、研究の経験を踏まえ、開発途上国の環境問題、衛生問題の実践について概説する(清)。3) 民間企業研究所における機能性素材(食品を含む)の開発や薬剤師および大塚幸吉指導員としての東洋医学の実践の経験を踏まえ、生活習慣の予防について、東洋医学の視点から考察する(小林)。4) 病院での臨床経験を踏まえ、動物介在療法の意義及び実際の動物介在療法がどのように展開されるのかを概説する(齋藤)。						
教科書・参考書	書名	著者名	出版社名	定価(円)			
参考書	北里大学農医連携学術叢書第1号～第8号	陽 捷行	養賢堂				

